

令和2年度

# 学生による授業評価実施報告書

令和4年3月

鳴門教育大学 学校教育学部

## はしがき

大学は、教育の質の向上のために、常に授業を検証し、改善を図らなければならない。学生による授業評価アンケートは、受講生からみた学びの実態を示す貴重なデータである。本学では受講生が3人以下の授業科目、実地教育専門部会が別にアンケートを実施する実地教育科目、卒業研究を除き、開講するすべての授業科目において学生の授業評価アンケートを実施している。各教員がそれを活用し、自らの授業改善のためにPDCAサイクルを回すことが重要である。

Society 5.0やSDGsの新しい時代をむかえ、予測困難な社会において課題を解決し未来を切り開く能力や多様性社会のなかで協働できる力を育むことが、大学教育に求められている。

さらに新学習指導要領が、小学校では昨年度から、中学校では今年度から、高等学校では来年度から全面実施となり、知識・技能の習得に加えて、思考力・判断力・表現力、さらに学び続ける力、社会のなかで協働できる人間性などが育むべき能力として掲げられた。さらにコロナ禍のもとGIGAスクール構想の導入により、学校の学習環境も子ども1人にタブレット1台と様変わりした。当然教員養成において学生が培うべき能力も変化しつつある。

授業における学生の主体的な学びを検証するために、数年前からアクティブラーニングに関する項目を付け加えたが、授業評価において経年変化を明らかにするねらいで、第3期（平成28～令和3）の6年間は項目をほぼ変えずに実施してきた。

今後の課題としては、コロナ禍の中で対面授業とオンライン授業が併存する時代へと変わったが、それぞれの特長を活かすためにもこれらの授業形態が学生の学びに与える有効性について、学生の授業評価アンケートによる検証は必要となろう。さらに授業形態だけでなく、新しい時代に対応した能力の育成の観点からの時宜にあったアンケート項目の見直しも必要となるのではないかと考える。

教員の方々が、学生における授業評価アンケートを、授業の改善に役立てて頂けることを期待する。

（令和4年2月 理事・副学長（教育・研究担当）大石雅章）



# 目 次

## はしがき

I 学生による授業評価の結果と考察 .....	1
1. 調査の方法と種類別回答数 .....	1
2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴 .....	3
3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴 .....	4
4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴 .....	5
5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴 .....	7
6. アンケート様式 .....	13
II 学部授業評価の結果報告書 .....	15

## あとがき



# I

## 学生による授業評価の 結果と考察



## I 学生による授業評価の結果と考察

### 1. 調査の方法と種類別回答数

従来はアンケート用紙を教員が配布する方式であったが、令和2年度からオンライン方式でアンケートを実施した。

#### ○対象

- ・原則として、開講した全授業科目（嘱託講師担当の科目を含む）を対象とする。
- ・受講生が3人以下の授業科目、実地教育科目及び卒業研究は除く。

実地教育科目については実地教育専門部会が本調査とは別にアンケートを行っている。

#### ○調査方法・調査項目

- ・学校教育学部教務委員会が作成したアンケート様式を使用した。
- ・最終回の授業を担当する教員が、アンケート回答様式の QR コード(URL)と授業コードを伝えて受講生に回答を依頼する。受講生が回答したデータは教務課へ自動送信される。回答は無記名とする。
- ・質問は、三つの大項目の下に3～5の下位項目を設ける（教育実践コア科目については、さらに一つの大項目（下位項目は3）を加える（下記の大項目4））とともに、最後に授業の総合的評価を訊ねる形式を採った。
- ・大項目1から5は以下のとおりである。
  - 1 授業の計画と内容について（質問項目：5）
  - 2 授業の進め方について（質問項目：3）
  - 3 あなたの授業への取り組みについて（質問項目：3）
  - 4 教育実践コア科目について（質問項目：3）
  - 5 授業に対する総合的評価（質問項目：1）
- ・各質問に対する回答は、「5 そう思う」、「4 ややそう思う」、「3 どちらとも言えない」、「2 あまりそう思わない」、「1 そう思わない」という五つの選択肢から一つを選ばせる形式を採る。

○有効回答数、実施授業科目数は次の頁のとおりである。



表1 学生による授業評価の授業の種類別有効回答数

	有効回答数
教養基礎科目	578
教育実践コア科目	174
教職共通科目	1,362
専修専門科目	1,613
合 計	3,727

表2 学生による授業評価の授業の種類別実施授業科目数

	授業科目数
教養基礎科目	38
教育実践コア科目	36
教職共通科目	72
専修専門科目	176
合 計	322

なお従来の報告書では、大項目1, 2, 4, 5の平均値を総合評価としている。項目ごとの平均値ともども無意味な数字であるがデータの集計作業は本専門委員会の埒外にあるため、従来通り掲載されている。

## 2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

令和2年度には教養基礎科目38に対して授業評価が行われ、有効回答数は延べ578であった。評価結果は、図1の通りである。

大項目1・2については多くの質問項目において「そう思う」が60%弱から70%であり、「ややそう思う」も加えると9割となる。一方、オンライン授業が実施されたことにより、影響を受けてる項目も見られた。しかし各授業に対する総合的評価(大項目4)で「そう思う」が70%、「ややそう思う」が25%であることを見れば、これまでと同様に、教養基礎科目は全体として学生から満足できるものと評価されていると言えよう。またこれらについて昨年度と比較すれば、多くの項目で「そう思う」の回答率は昨年度よりも高くなっている。

### 2) 個別の項目について

大項目「1 授業の計画と内容について」の「シラバスによって示された評価方法が適切に実施された」については、昨年度は「そう思う」の回等が55%であったが今年度は67%となった。

大項目「2 授業の進め方について」のうち「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」について「そう思う」の回答率は昨年度は57%であったが今年度は67%となった。「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた」でも「そう思う」の回答率は58%から65%に上昇している。

これに対して、大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」に関してはこれまでと同様に問題とすべき点がある。まず「授業内容をよく理解するために予習・復習を行った」に対する「そう思う」回答率は54%で、昨年度(46%)よりも上昇しているが、まだ十分に高くはない。そして「授業内容をよく理解するために、教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」ともども「3」以下の回答者が2割近くを占める。これらは今年度のオンライン授業の影響も考えられるが、「授業によく出席し、積極的に取り組んだ」では「そう思う」回答率が76%(昨年度65%)となっており、依然学生の自己評価における乖離がみられる。社会の状況に合わせて授業形態が変わる中でも、学生が主体的に学ぶことに向けてその意識を変革するよう教員もはかる必要がある。

### 3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴

#### 1) 評価結果の概要

令和2年度に実施された、教育実践コア科目に対する授業評価の実施授業科目数は36科目であり、有効回答人数は174人であった。図2は、教育実践コア科目に対する評価結果を表す。

図2から、5つの大項目の下に設けられた15の質問項目の全てで、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が90%前後であったことが分かる。大項目「5 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価してこの授業が満足できるものであった」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数はそれぞれ、135人、30人であり、有効回答人数の約95%であることが分かる。教育実践コア科目は全体として学生から満足できるものと評価されていると言えよう。またこれらについて昨年度と比較すれば、多くの項目で「そう思う」、「ややそう思う」の回答率は昨年度よりも高くなっている。

「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が90%に満たない質問項目は、「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」(88%)や「授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした」(89%)であった。私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われたについては、オンライン授業の実施期間も長く、私語等への対応が不必要だったことも推測される。また、「授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした」については例年に比べてその割合は非常に改善されている。自ら主体的に学ぶ機会が増えたと考えられる。

#### 2) 評価結果の特徴

教育実践コア科目では、評価平均値は最も低い質問項目で4.5であり、全ての質問項目の評価は非常に高い。その理由として、自身が取得を目指している免許教科や教育実習に直結する授業であることがあげられる。同時に、教科の成り立ちの理解と教師像の形成や教師として必要な実践的指導力の育成等を目的とする科目であるため、授業で実施されている内容・方法と指導者としての資質・能力の向上との関連を捉えやすいことがあり、受講する学生が自己の将来像に照らして授業の意義を実感できていることが考えられる。

大項目「4 教育実践コア科目について」では、3つの質問項目とも他の大項目と比べ無回答者が多い項目である。他の大項目の質問項目では無回答者は0人である。平成27年度以降毎年同様の傾向がある。教養基礎科目や教職共通科目、専修専門科目には見られない傾向である。何故、大項目4の質問項目だけ無回答者が特に多いのか、原因を探る必要がある。

## 4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

令和2年度に実施された教職共通科目に対する授業評価実施授業科目数は、72科目であり、有効回答人数は1362人であった。これは、前年度（令和元年度）の実施授業科目75科目から減少し、有効回答人数2997人に比べても大幅に減少している。原因の1つは評価のオンライン化にあることが想定される。科目コードなどを手動で入力せざるを得ない手間などが、評価の実施のためのハードルになっていること。オンライン授業が増えたことも相まって、必ずしも授業時間中に評価を実施するわけではないこと。このような原因が想定されるが、次年度の状況を踏まえて、運用面だけではなくシステム面においても調査・改善の必要があるだろう。11ページの図3は、教職共通科目に対する評価結果を表している。令和元年度と比較すると、図3が示す各項目の評価は同じ傾向が見られる。総合評価も、令和元年度が4.4、令和2年度が4.4と変化はない。

プラスの評価である「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が80%以上の項目が12項目中10項目あり、高評価を維持している。

12項目のうち最も「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が少なかったのは、大項目「1 授業の計画と内容について」の質問項目「授業では、シラバスに示されていたアクティブ・ラーニングが実施されていた」である。この質問項目について、令和元年度のアンケート結果に対する同様の解答は80%を超えていた。この落ち込みの原因の1つは、授業のオンライン化が一段と進んでいることであると考えられ、例えばオンデマンド（非同期）型の授業において、学生がイメージするようなアクティブラーニングを毎時間実行することは現実的ではない。学生や教員の問題というよりも、オンライン授業が当たり前になる時代を前提としたシラバス・授業評価の設計が必要である、といえよう。

大項目「4 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数は回答数の約91%に達している。前年度の88%に引き続き高評価を維持していることは望ましいことであるが、完璧な授業が無い以上、授業に潜在されていると想定される課題が学生からは見えにくくなっているということでもあろう。更に授業の質を高めるには、大学・教員側による積極的な評価・改善が望まれることが示唆される。

### 2) 評価結果の特徴

教職共通科目の内部で各質問や大項目の結果を比較すると、どの項目の平均値も4.3-4.7の範囲に収まっており、概ね良好な水準である。一方、他の授業科目と比較を行うと、大項

目「3 あなたの授業への取り組みについて」の評価が他の授業科目より低い傾向にある。学生に対する意識の変化を促す必要があると共に、教員の側も授業の価値を学生に積極的に伝える必要が認められよう。

予習・復習という点に関連しては、インターネットが身近になった現在、学生達に「読書」をする動機が薄いことも関連があることが推定される。学術的にも信用度の高いものが豊富に存在するインターネットの積極的な利用は望ましい一方で、信用度の低いものがそれ以上に存在している。こうした時代に合わせ、文献とインターネットなど、各種のメディアの特性に合わせた適切な利用法を教員の側が発信し、また学生に体験させていく必要が認められる。そのためにも、質・信頼度の高い情報とはどのようなものであるか、またどのようにしてそれらにアクセスするか、ということについて全学的に学生に指導していくことが肝要である。更に、そうした情報を利用する思考の方略についても、教員になる学生、ならない学生を問わず、指導していく必要が認められよう。

## 5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴

### 1) 評価結果の概要

令和2年度に実施された専修専門科目に対する授業評価科目数は176科目(前年度204科目)、有効回答人数は1613人(同3279人)と、授業科目数・回答者数とも前年度に比べて大幅に減少している。原因の1つは評価のオンライン化にあることが想定される。科目コードなどを手動で入力せざるを得ない手間などが、評価の実施のためのハードルになっていること。オンライン授業が増えたことも相まって、必ずしも授業時間中に評価を実施するわけではないこと。このような原因が想定されるが、次年度の状況を踏まえて、運用面だけではなくシステム面においても調査・改善の必要があるだろう。12ページの図4は、専修専門科目の評価結果である。総合評価の平均値は4.5(同4.4)であり、昨年度より改善が認められた。

個別の質問項目の評価も全体的に高い。大項目1「授業の計画と内容について」の5つの質問項目の評価平均値は、「授業では、シラバスに示されていたアクティブ・ラーニングが実施されていた」を除けばいずれも前年度、前々年度とほぼ同様の4.4~4.5であり、高い水準を保持している。当該項目が低水準であった原因の1つは、授業のオンライン化が一段と進んでいることであると考えられる。例えばオンデマンド(非同期)型の授業において、学生がイメージするようなアクティブラーニングを毎時間実行することは現実的ではない。学生や教員の問題というよりも、オンライン授業が当たり前になる時代を前提としたシラバス・授業評価の設計が必要である、といえよう。また、大項目3「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」の水準が例年に比べて低いことも指摘される。こちらも同様に授業のオンライン化が影響していると考えられ、学生が「指導が必要に応じて行われていない」と考えたのはどのような状況だったのかについて、把握していく必要が認められよう。

### 2) 評価結果の特徴

評価結果を大項目別に検討する。大項目1「授業の計画と内容について」と2「授業の進め方について」は、前述した2つの質問を除けば、全体的な評価は高い傾向にある。これは、教員側が授業をしっかりと計画し進行していることを示している故に、前述の2項(特に後者)の改善が望まれるものである。アクティブ・ラーニングについては、シラバスには実施頻度や、それが何を指しているかということを示すににくいので、評価に際し認識のずれが生じやすい部分と思われる。

大項目3「あなたの授業への取り組みについて」では、「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」が4.4と最も低い評価であった。COVID-19の流行により、直接的な対面・接触が控えられたことは無関係ではなかろう。このような状況で、教員側が一般に学生に対して開いている門戸はメールである。しかし、メールは

現在の学生達が私生活で利用することがほぼ無く、メールを送ることには相当の心理的・技術的ハードルがあると考えられる。また、Teamsなどのツールを使っても、こうした知的な議論の場を整えるのは簡単では無いことも考えられる。こうしたツール上の制約を極力低減させつつ、一方でオンラインでの議論や質問を可能な限り有意義なものにするよう、工夫が求められるところである。

大項目「4 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数は回答数の約93%に達している。高評価であることは望ましいことであるが、完璧な授業が無い以上、授業に潜在されていると想定される課題が学生からは見えにくくなっているということでもあろう。更に授業の質を高めるには、大学・教員側による積極的な評価・改善が望まれることが示唆される。

そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない

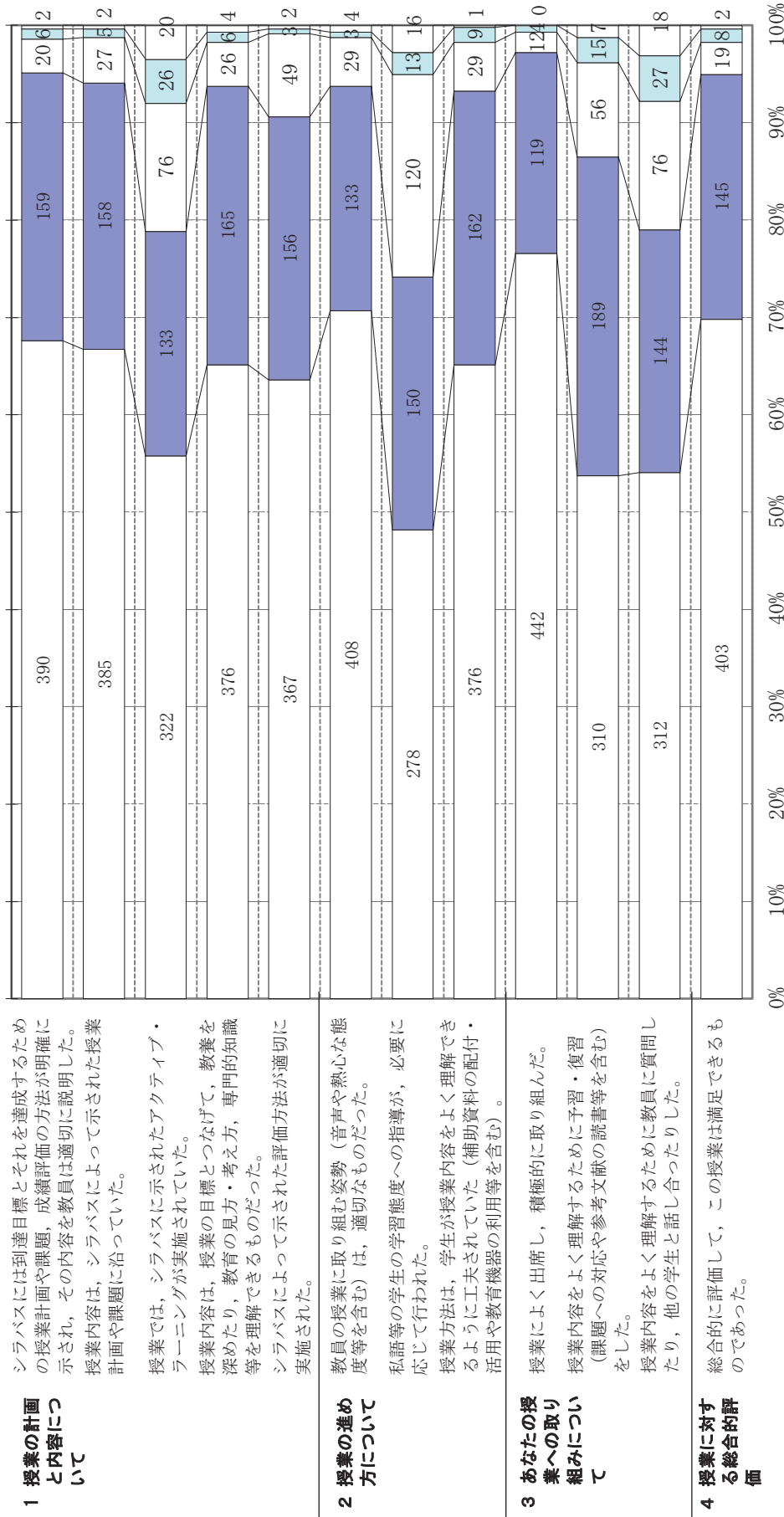


図1 教養基礎科目に対する評価結果



そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない

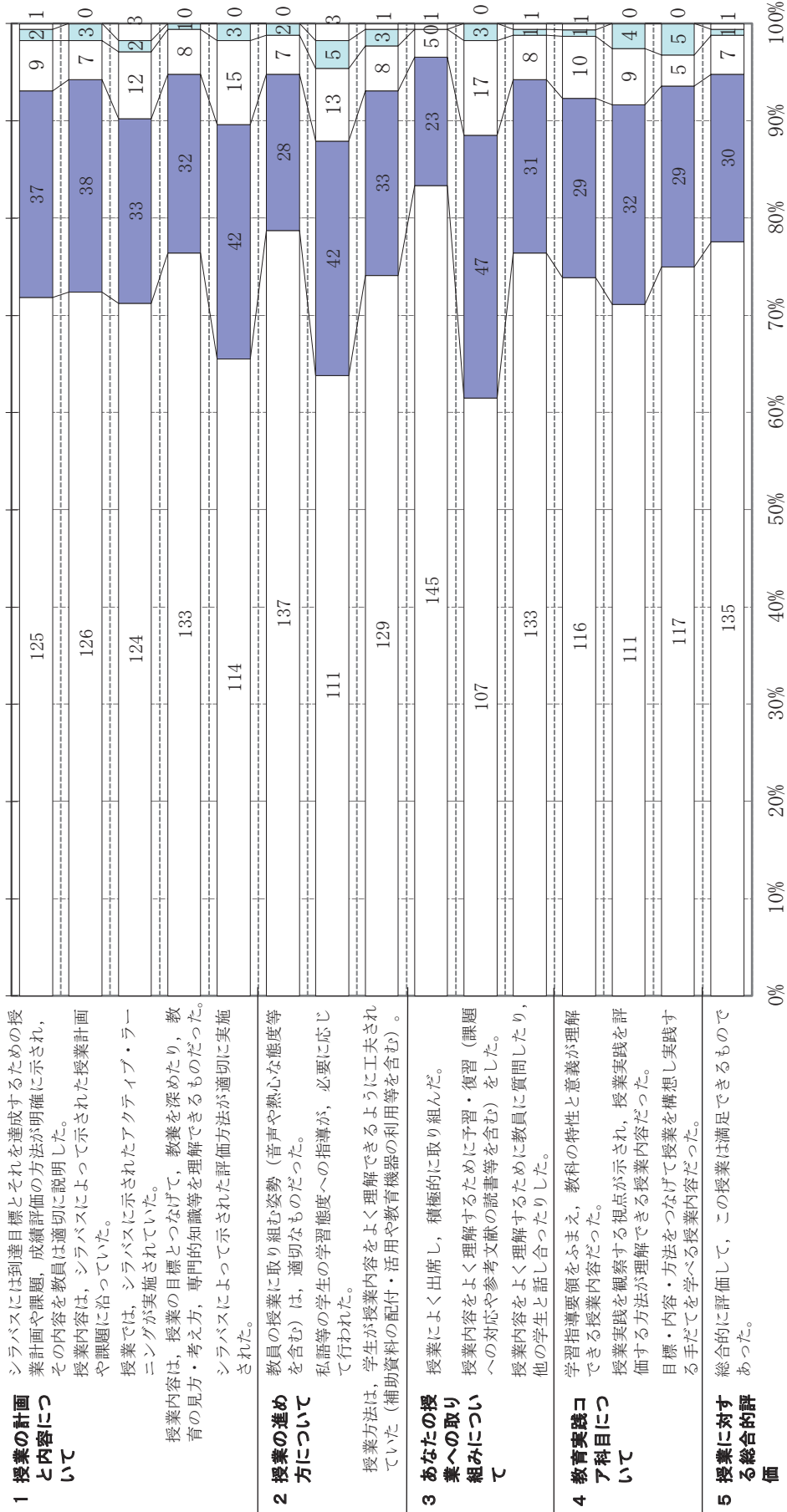


図2 教育実践コア科目に対する評価結果

そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない

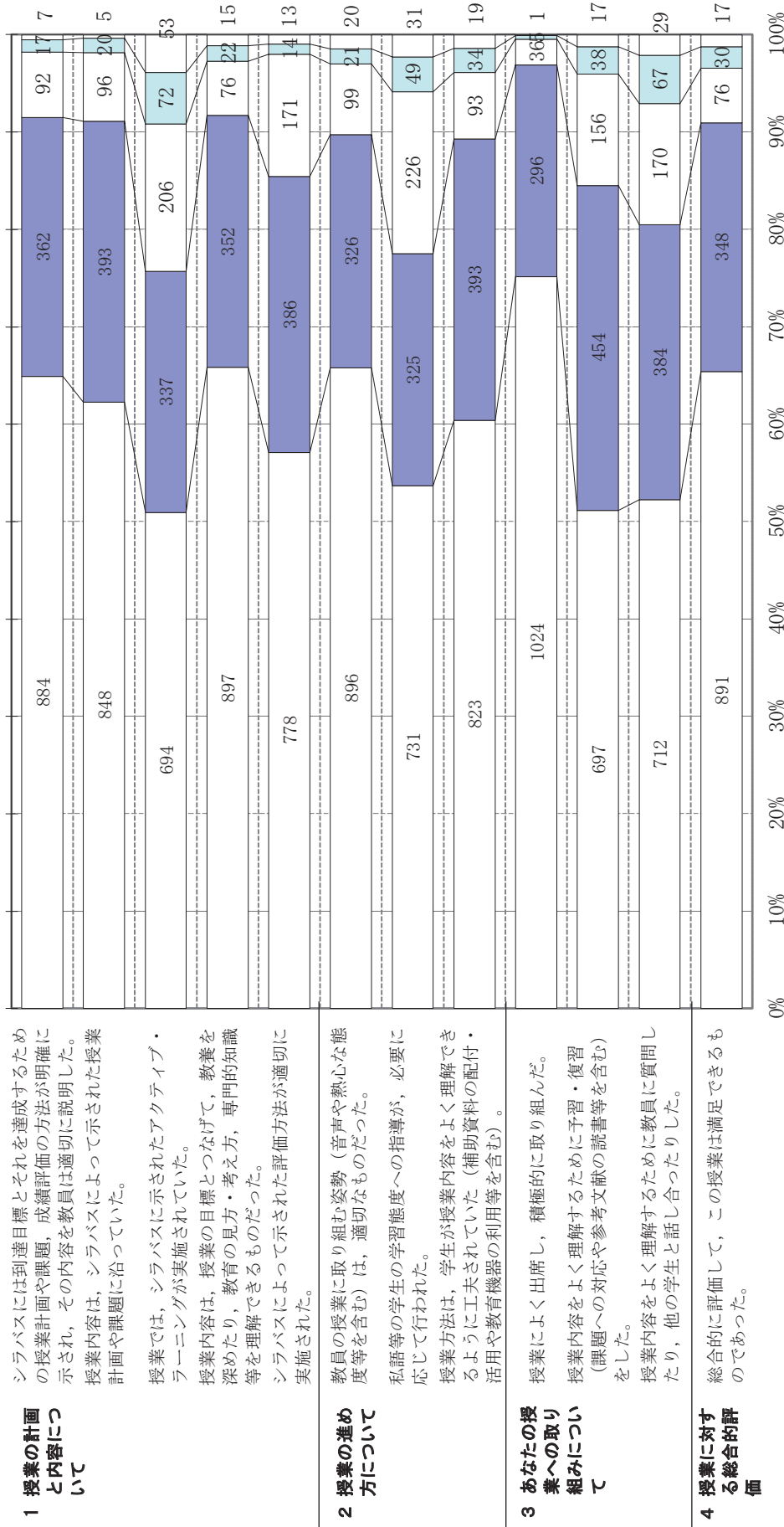
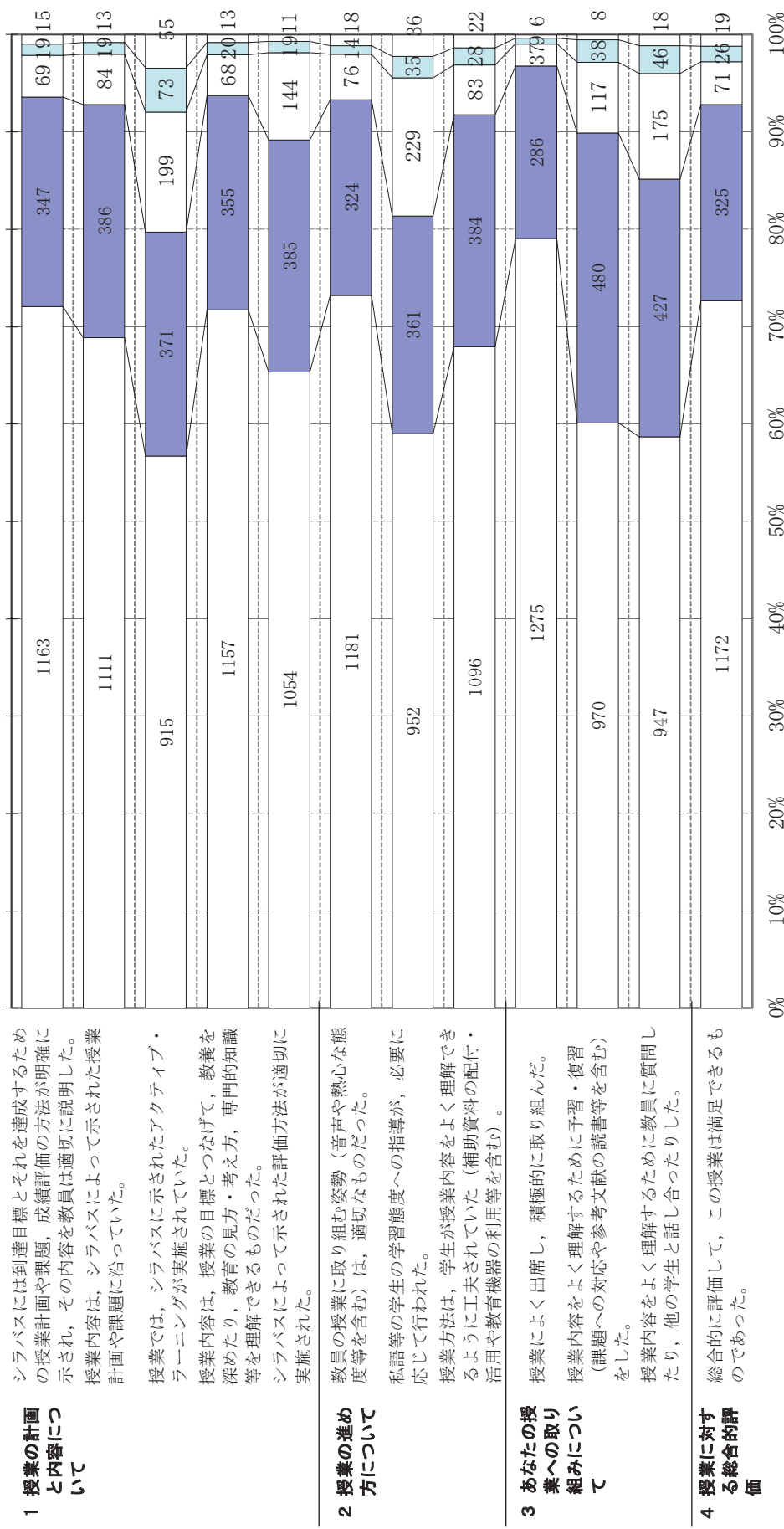


図3 教職共通科目に対する評価結果

そう思う   
 ややそう思う   
 どちらとも言えない   
 あまりそう思わない   
 そう思わない



シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。  
 授業では、シラバスに示されたアクティブラーニングが実施されていた。  
 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。  
 シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。  
 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。  
 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。  
 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。  
 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。  
 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。  
 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。  
 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。

図4 専修専門科目に対する評価結果

## 令和 2 年度 学部 授業 評価 アンケート 調査

科目コード \_\_\_\_\_

このアンケート調査は、評価結果を教員にフィードバックし、今後の学部の授業の改善に役立てることを目的として行うものです。

以下の各項目について、次の5段階で評価し、その該当する番号をマークしてください。

このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。

※このアンケート調査の回答者情報（ログイン情報）は、集計・分析を担当する事務職員（以下「所有者」）以外へは開示されません。

このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。

⑤ そう思う    ④ ややそう思う    ③ どちらとも言えない    ② あまりそう思わない    ① そう思わない

## 1 授業の計画と内容について

- (1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。 ⑤ ④ ③ ② ①

## 2 授業の進め方について

- (6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。 ⑤ ④ ③ ② ①

## 3 あなたの授業への取り組みについて

- (9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。 ⑤ ④ ③ ② ①

## 4 教育実践コア科目について（コア科目以外の場合は(15)へ）

- (12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。 ⑤ ④ ③ ② ①
- (14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。 ⑤ ④ ③ ② ①

## 5 授業に対する総合的評価

- (15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。 ⑤ ④ ③ ② ①

## 6 先の1から5の項目以外で、本授業で設定する項目（※独自の設問を設定できます。）

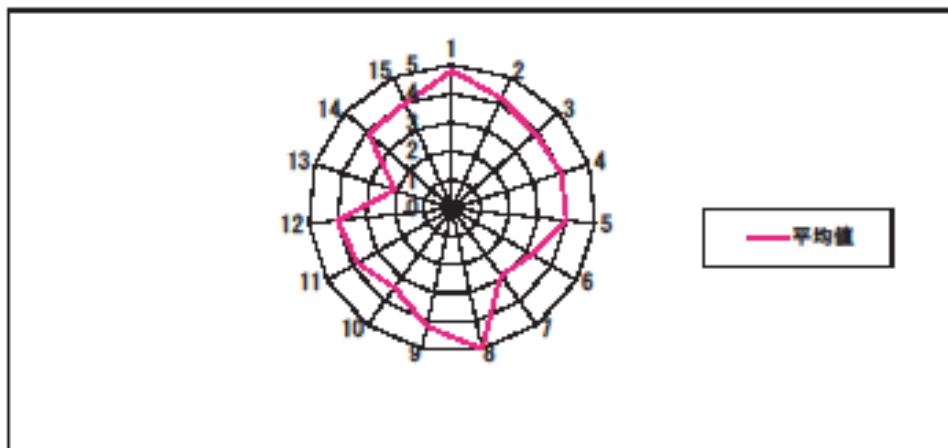
- (1) ⑤ ④ ③ ② ①
- (2) ⑤ ④ ③ ② ①

あなたの満足度に対する理由と授業改善にむけての提言

授業科目名 ○○○○教育論  
 評価実施日 令和 年 月 日  
 担当教員名 ○○ ○○

回答者数 ○○名

質問項目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	未答	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。							4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。							4.2
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。							3.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。							4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。							4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。							3.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。							2.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。							4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。							3.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。							3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15) へ)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							4.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							2.1
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							3.9
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。							4.0



**総合評価**  
 ※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

---

# Ⅱ

---

## 学部授業評価の 結果報告書

---



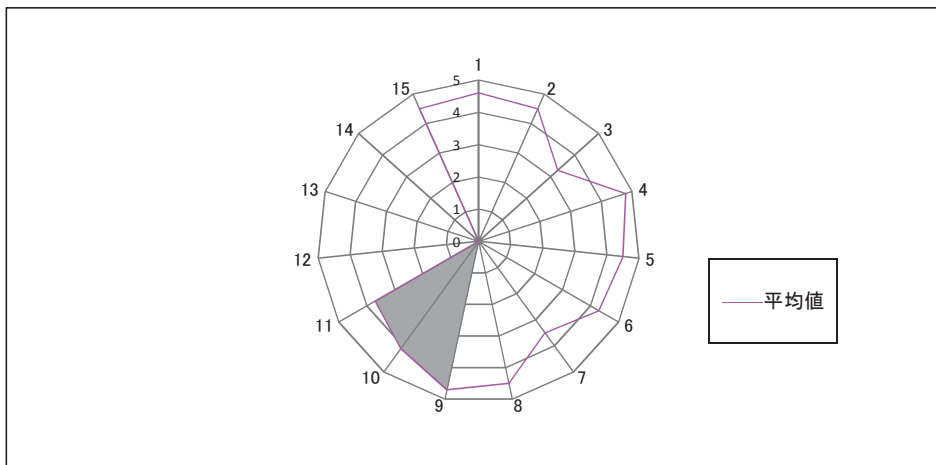
# 教 養 基 礎 科 目



授業科目名 日本国憲法  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 32名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	20	10	2	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	9	4	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	6	8	3	6	0	3.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	24	7	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	9	5	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	10	5	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	4	11	1	5	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	13	3	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	20	12	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	10	6	1	1	0	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	6	8	3	3	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	11	1	2	0	0	4.5



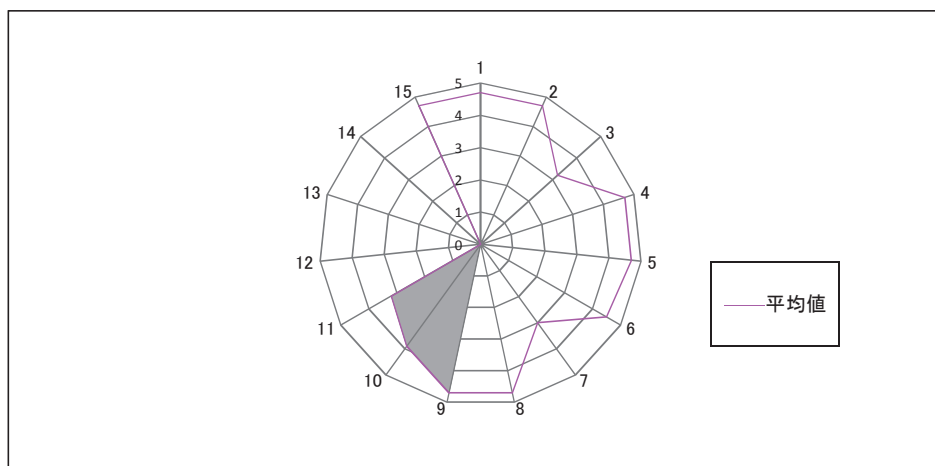
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 開発と環境  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 青葉 暢子, 田村 和之, 畠山 輝雄

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	1	1	1	0	3.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	1	0	2	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	0	0	1	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	1	1	1	0	3.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7

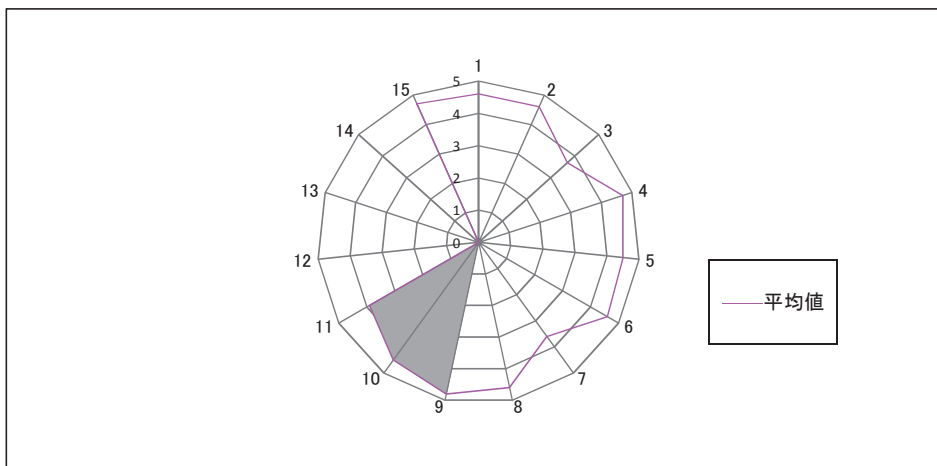


総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 人権確立の歴史  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 芝山 明義, 葛上 秀文, 高橋 眞琴, 大谷 博俊, 井上 とも子, 町田 哲 回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						3.6
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.7



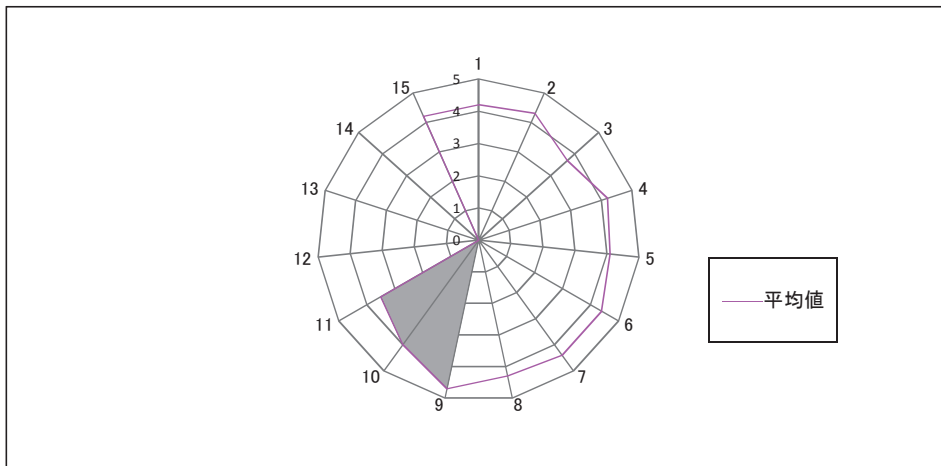
総合評価 4.4

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 阿波学(地域文化研究)  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 富山 輝雄, 内藤 隆, 皆川 直凡, 久米 禎子, 小倉正義, 田村 隆宏, 立岡 裕士, 町田 哲, 山本 準, 栗原 慶, 木原 資裕, 南 隆尚, 宮下 晃一, 藤原 伸彦, 眞野 美穂

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



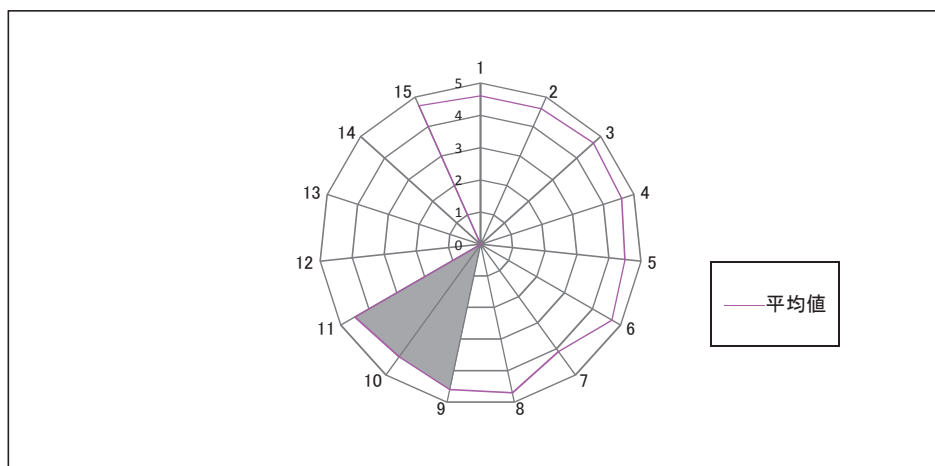
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 基礎情報教育A  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 曾根 直人, 長瀬 大, 大野 将樹

回答者数 50名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	28	20	2	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	18	2	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	36	13	1	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	30	17	3	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	30	15	5	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	33	16	0	1	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	19	19	10	2	0	0	4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	34	16	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	34	12	1	3	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	26	16	5	2	1	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	15	2	1	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	35	14	1	0	0	0	4.7



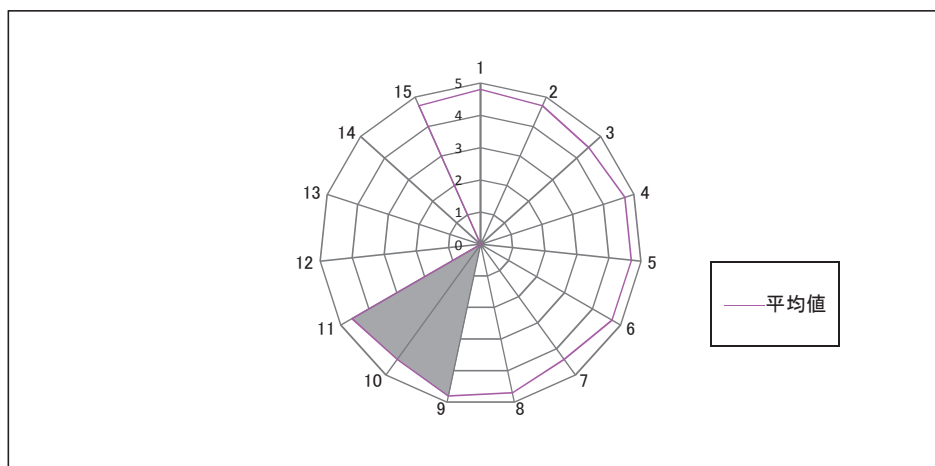
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎情報教育B  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 曾根 直人, 長瀬 大, 大野 将樹

回答者数 51名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



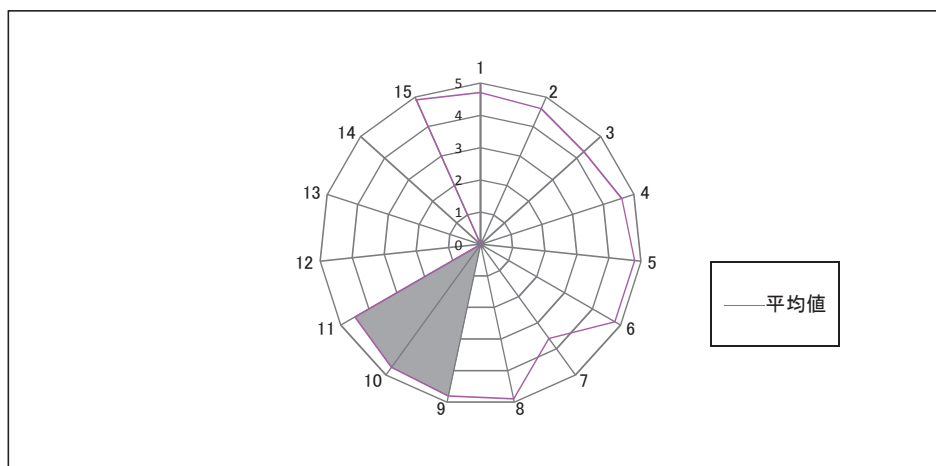
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 実践情報教育 I A  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	2	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	3	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	5	0	0	0	3.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	0	4.9



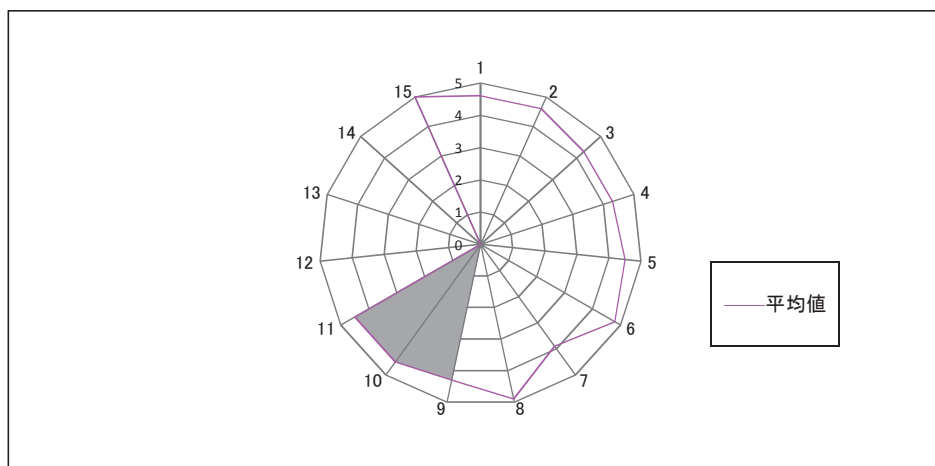
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育 I B  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	2	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	3	0	0	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	5	0	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.5**

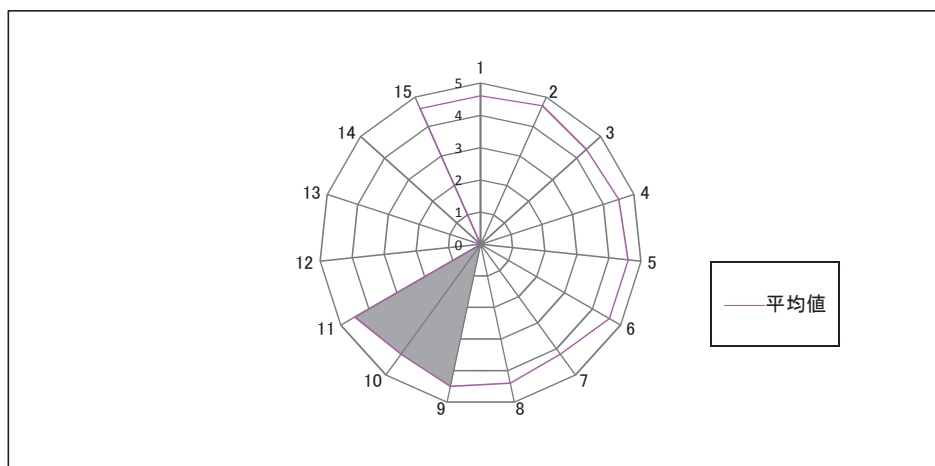
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 実践情報教育ⅡA  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	0	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	4	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	4	3	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	6	0	1	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	5	1	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	4	5	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	6	1	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	6	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	9	2	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	6	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	5	1	0	0	0	4.6



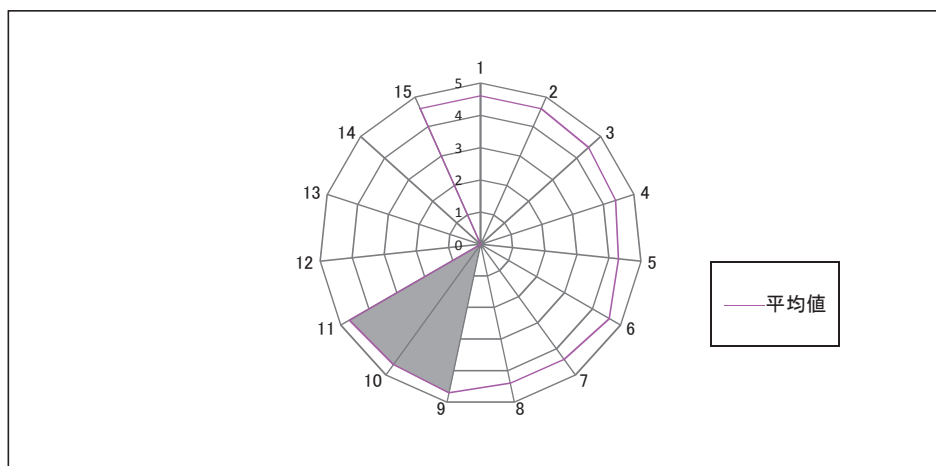
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡB  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	7	0	0	0	1	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	7	0	0	0	1	4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	6	1	0	0	1	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	7	1	0	0	1	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	5	3	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	7	0	0	0	1	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	7	1	0	0	1	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	7	1	0	0	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	5	0	0	0	1	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	4	1	0	0	1	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	5	0	0	0	1	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	6	0	0	0	1	4.6



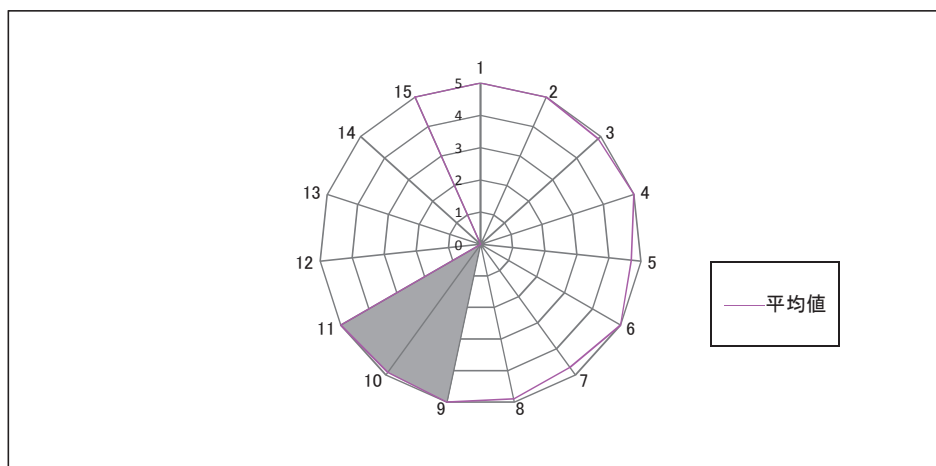
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育Ⅲ  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 鈴木 直美

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



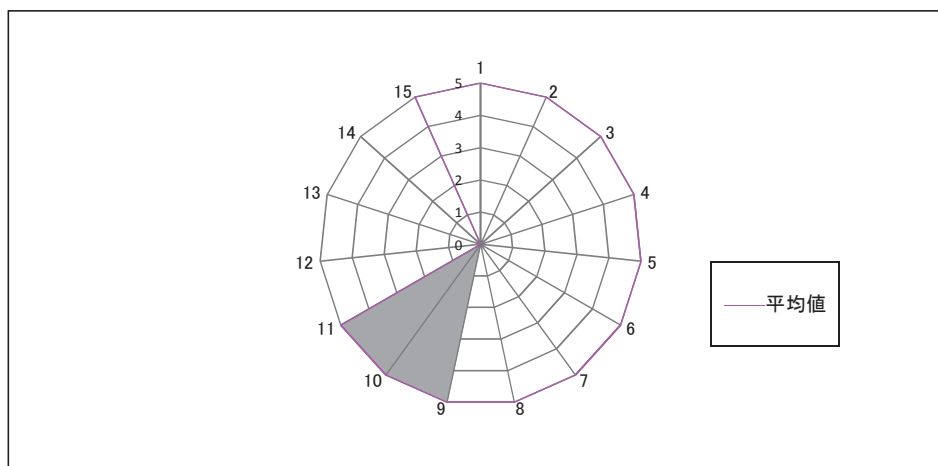
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I B  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 ジェラード マーシェソ

回答者数 1名

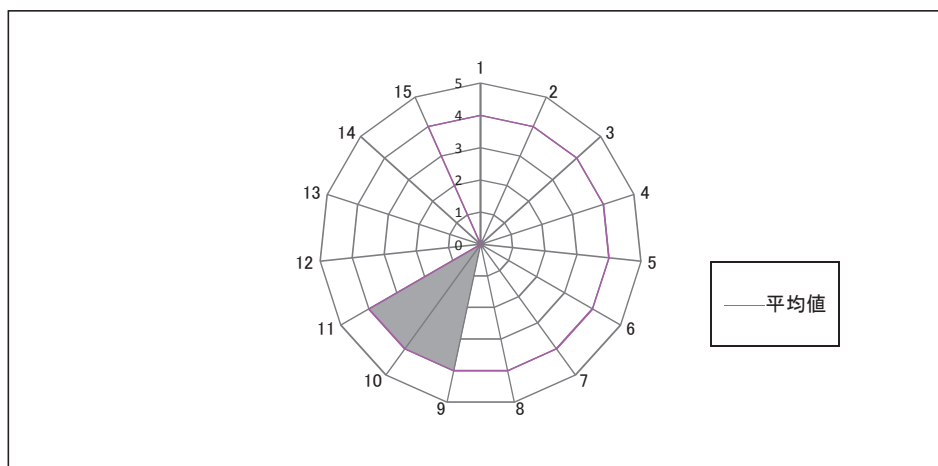
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 英語コミュニケーション I C  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



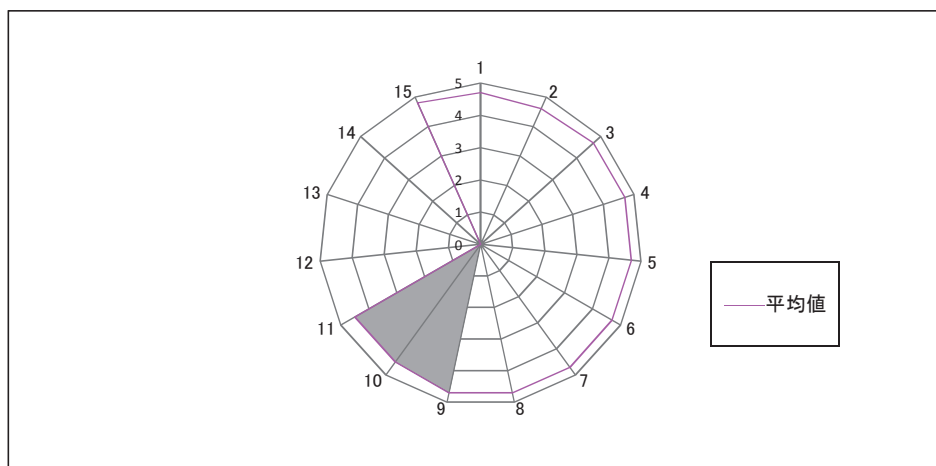
総合評価	4.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I D  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	6	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	7	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	5	1	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	5	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	15	4	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	6	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	15	4	2	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	6	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	14	6	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	7	2	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	7	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	16	4	1	0	0	0	4.8



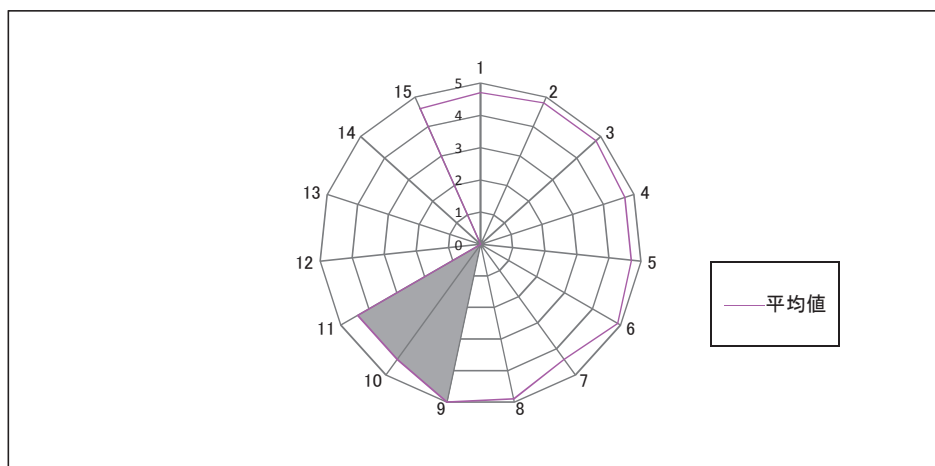
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I E  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	7	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	5	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	4	1	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	4	2	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	4	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	3	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	7	2	0	1	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	3	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	20	2	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	5	3	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	8	1	0	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	7	1	0	0	0	4.6



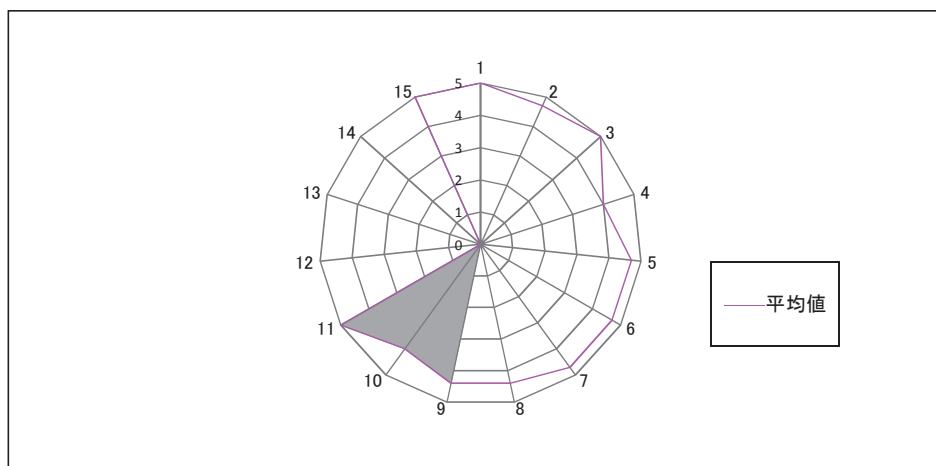
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢA  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	1	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.7**

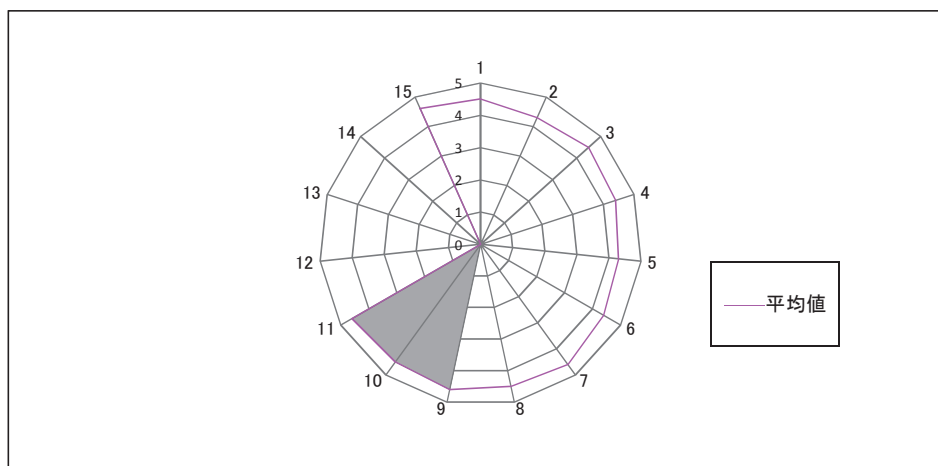
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語コミュニケーションⅢB  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	7	2	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	7	1	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	6	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	7	1	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	6	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	6	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	6	0	0	0	0	4.6



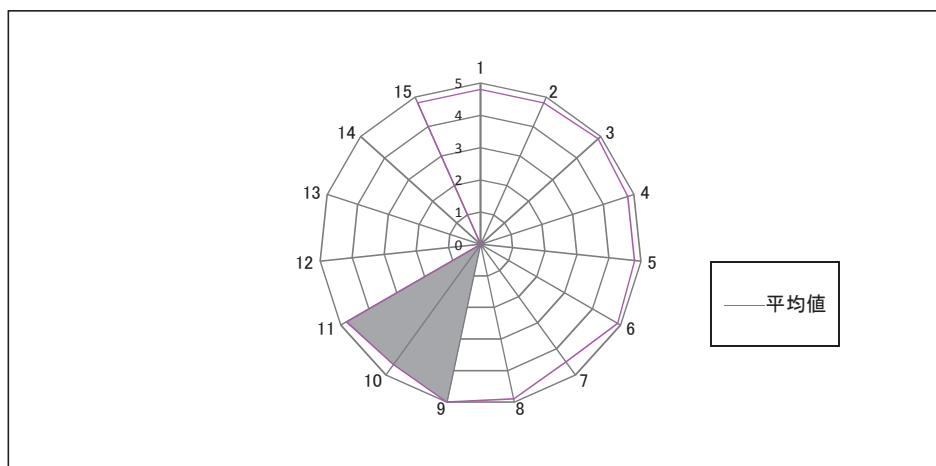
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢD  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	4	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	16	4	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	15	6	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	18	2	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	6	3	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	4	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	19	2	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	5	2	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	16	4	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	17	3	1	0	0	0	4.8



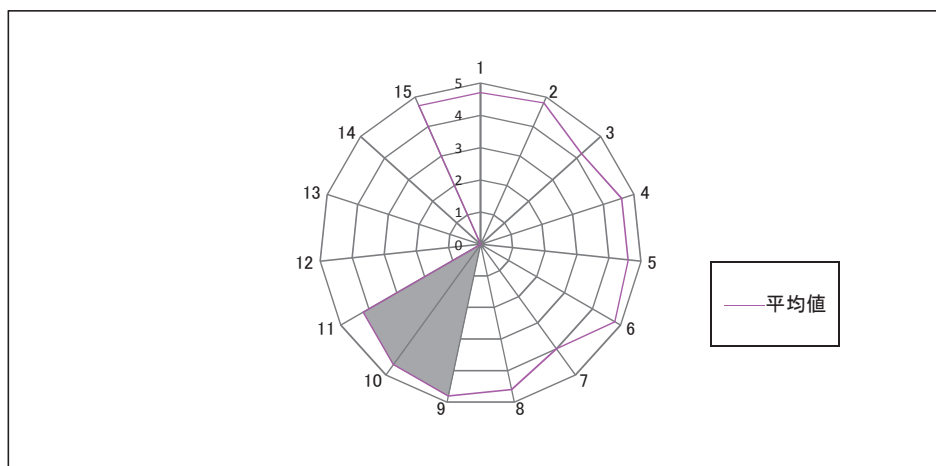
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I A  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 西 嶋 俊 彦

回答者数 35名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	22	13	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	10	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	12	3	2	1	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	12	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	23	10	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	28	6	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	9	8	2	1	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	5	4	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	28	6	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	19	15	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	9	8	2	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	12	0	0	0	0	4.7



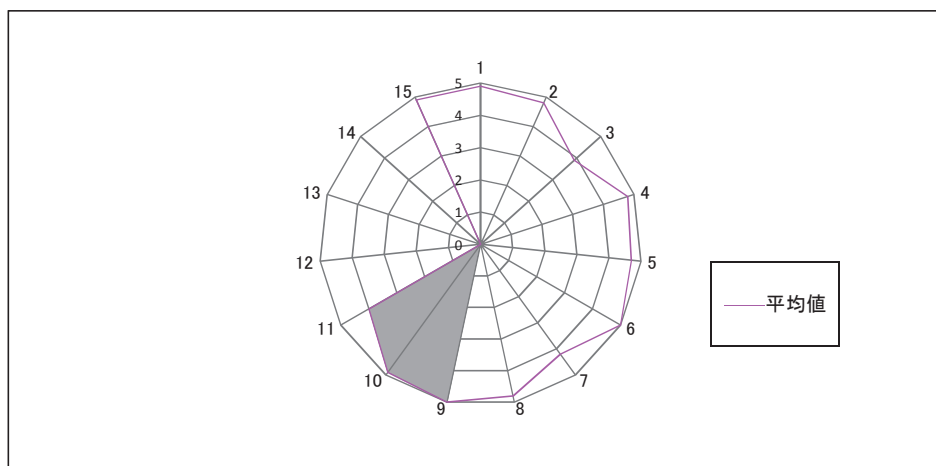
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I B  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	4	0	1	0	3.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	1	2	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	2	1	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	0	4.9



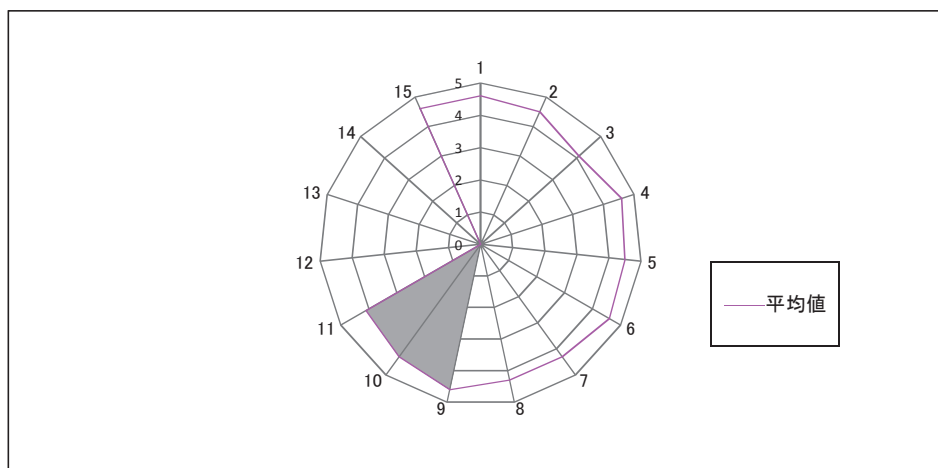
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I C  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	6	2	1	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	7	2	0	1	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	7	5	0	2	0	4.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	17	7	3	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	8	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	5	4	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	7	6	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	7	5	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	19	5	3	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	5	6	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	4	4	3	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	7	3	0	0	0	4.6



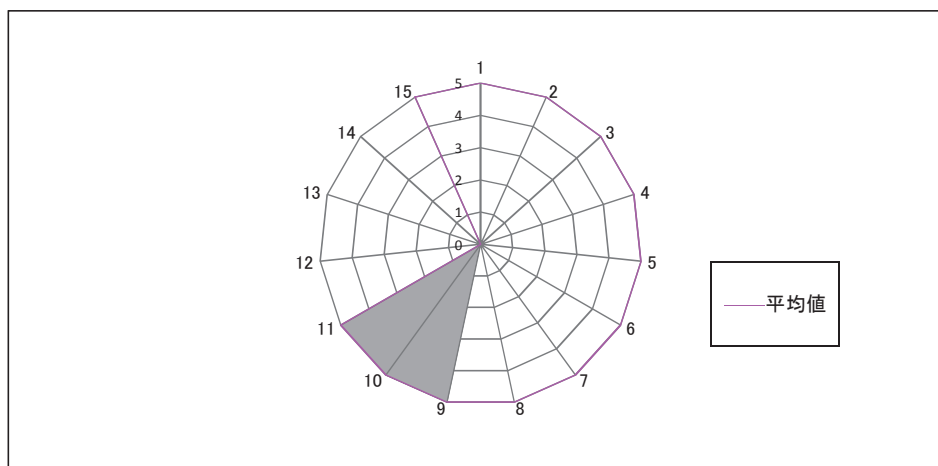
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英会話  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 2名

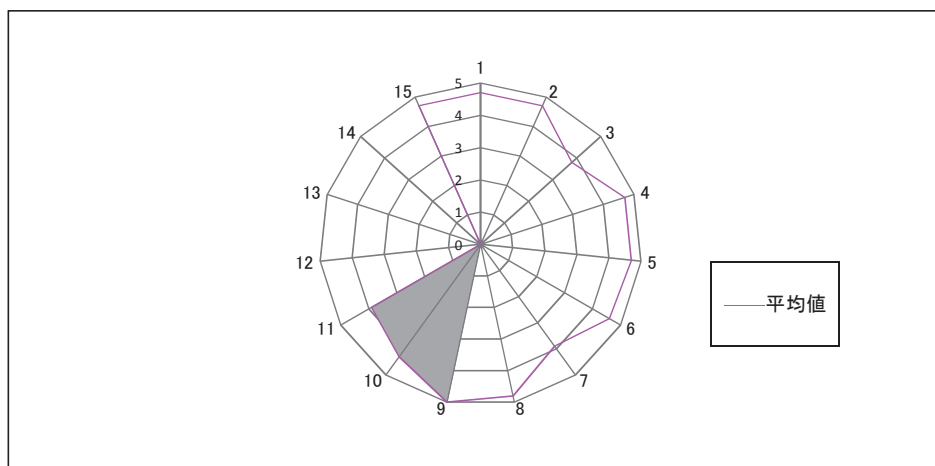
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 人口と食糧問題  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 宮口 智成, 西川 和孝, 畠山 輝雄

回答者数 33名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	21	11	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	11	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	4	13	2	1	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	21	12	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	22	9	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	24	6	2	0	1	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	6	12	0	2	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	8	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	30	3	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	13	4	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	10	7	3	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	9	2	0	0	0	4.7



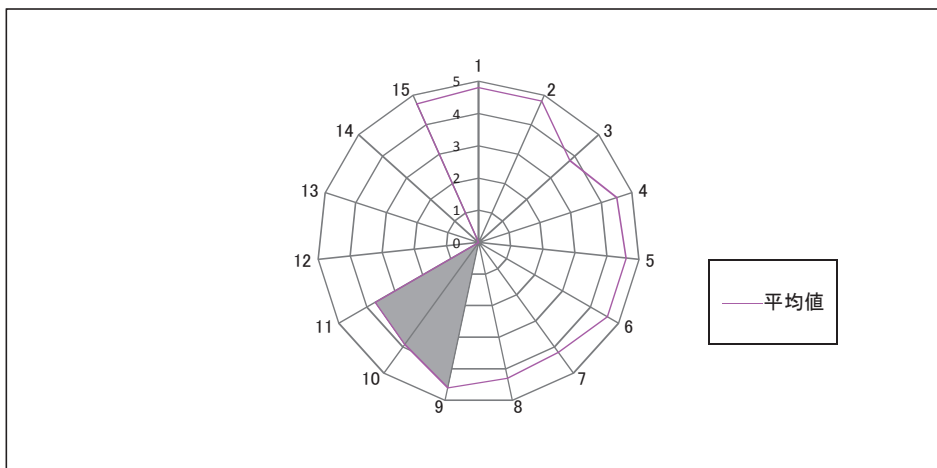
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 科学技術と社会  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 宮下 晃一, 胸組 虎胤, 工藤 慎一, 栗田 高明, 村田 守

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	4	4	1	0	0	3.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	5	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	5	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	5	3	1	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	3	3	1	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	0	4.7



総合評価	4.5
------	-----

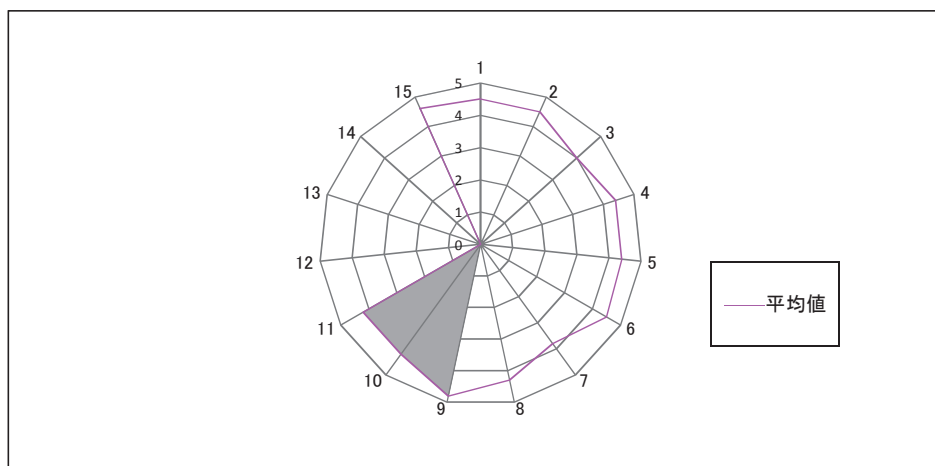
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 東洋の文化研究  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 小川 勝, 山根 秀憲, 平川 恵実子

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	0	1	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	3	1	3	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	6	0	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	3	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	5	0	1	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	8	0	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	3	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	4	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	3	0	1	0	0	4.6



総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

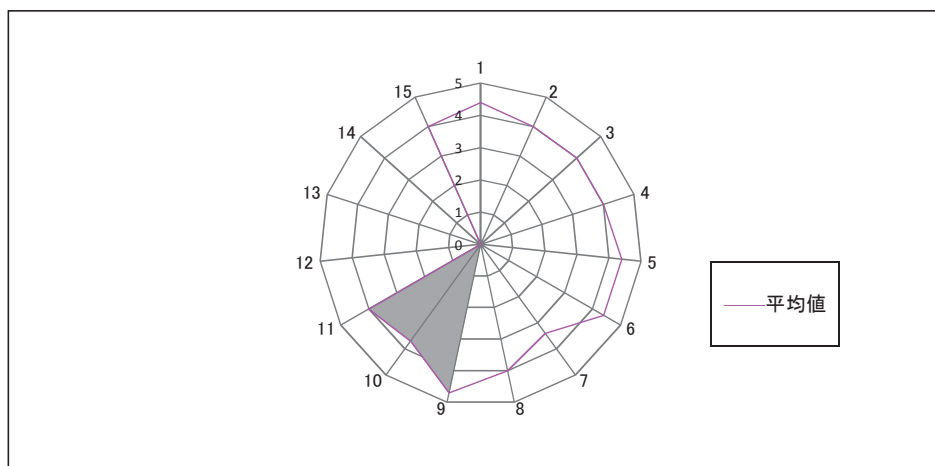
授業科目名 健康・スポーツ科学 I

評価実施日 令和3年2月5日

担当教員名 藤田 雅文, 松井 敦典, 南 隆尚, 綿引 勝美, 田中 弘之, 宮本 賢作, 小島 理永

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						3.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.0



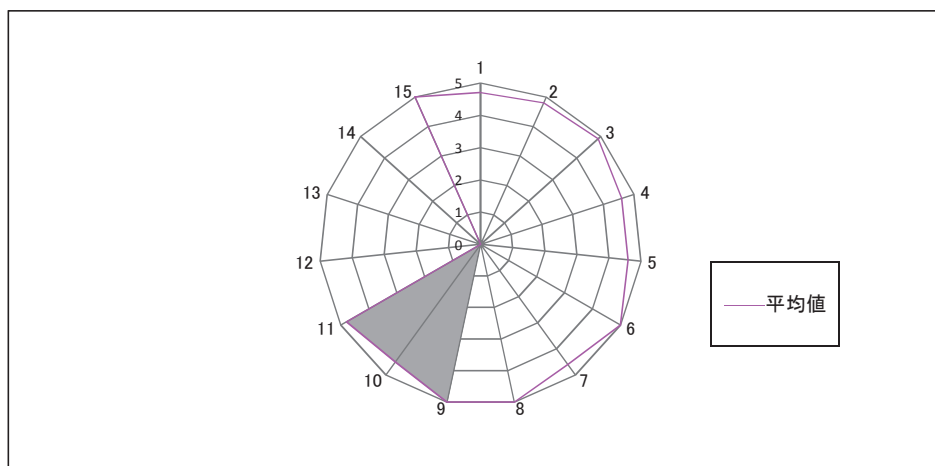
総合評価	4.1
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡA  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	1	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	0	5.0



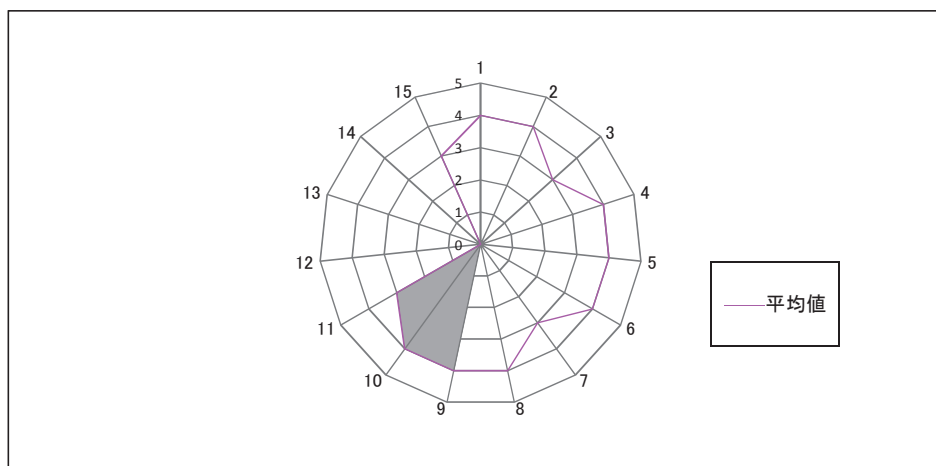
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡC  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 ノリー・M・マドックス

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	0	3.0



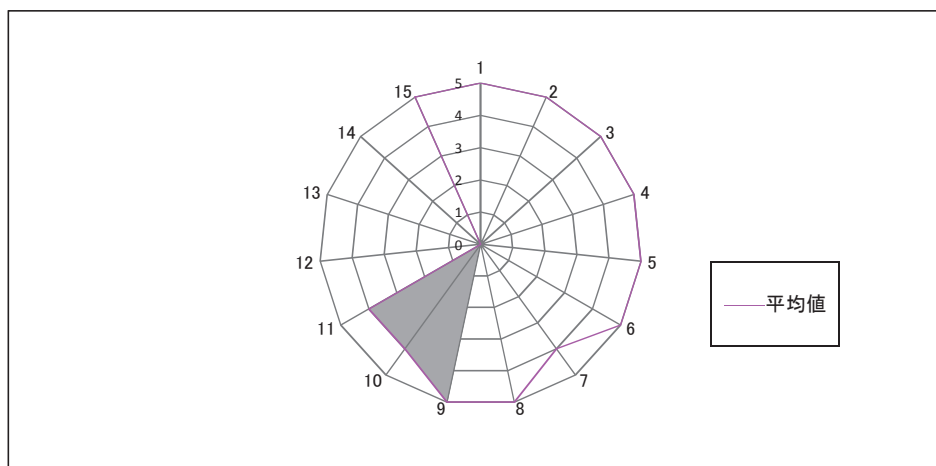
総合評価 **3.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡE  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



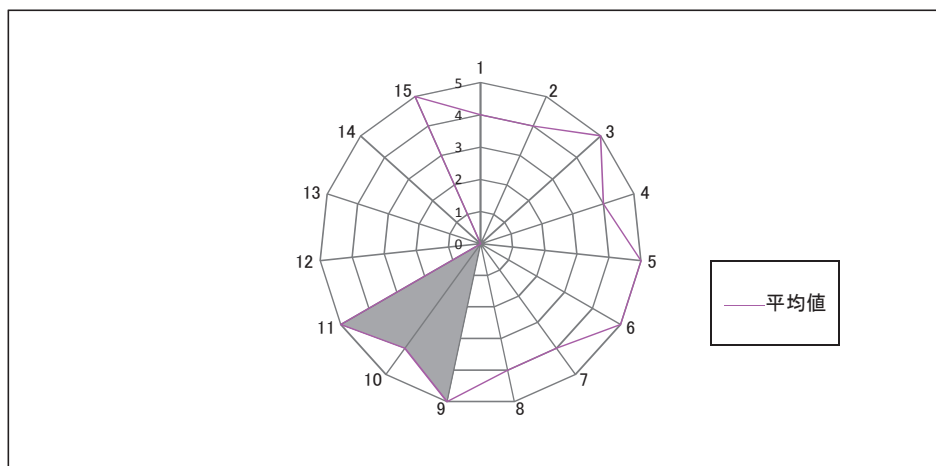
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅣA  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



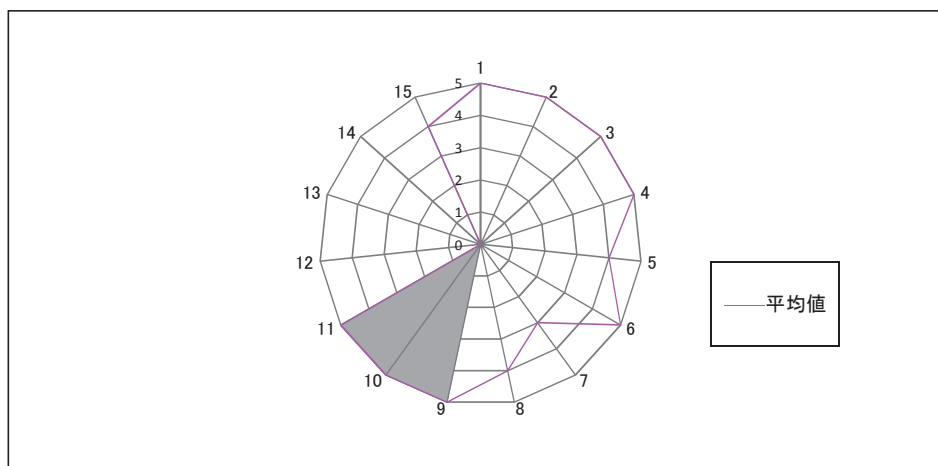
総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVB  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



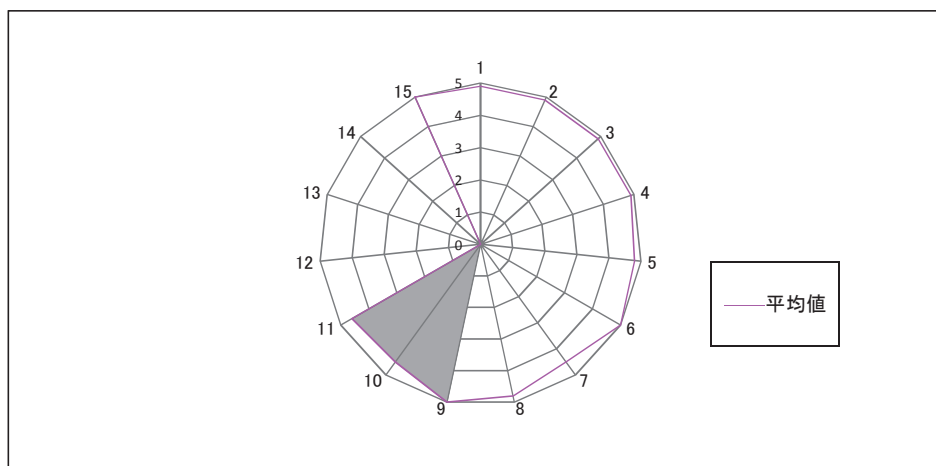
総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVC  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 ジョナサン・D・フロレス

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	4	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	4	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	1	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

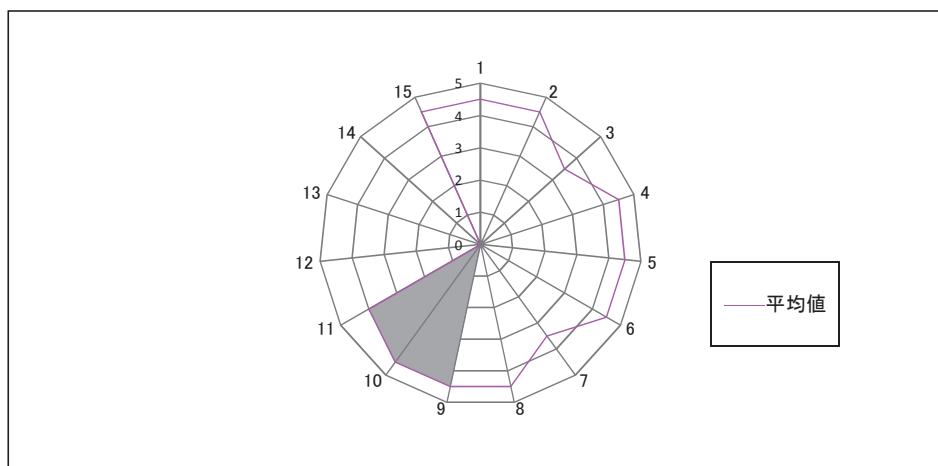
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語リーディングⅡA  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



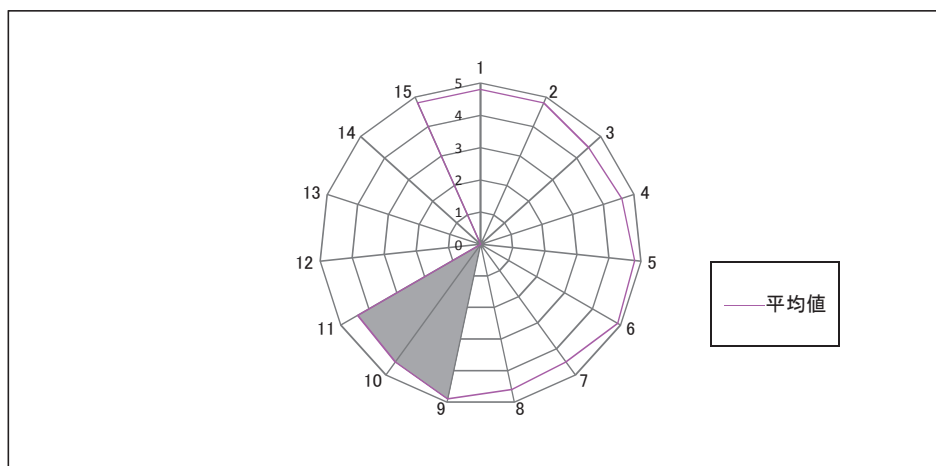
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡB  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 西嶋 俊彦

回答者数 34名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	28	5	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	7	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	21	8	4	0	1	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	22	10	1	0	1	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	27	4	3	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	29	4	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	23	5	6	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	22	10	1	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	29	5	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	20	10	4	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	9	7	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	26	8	0	0	0	0	4.8



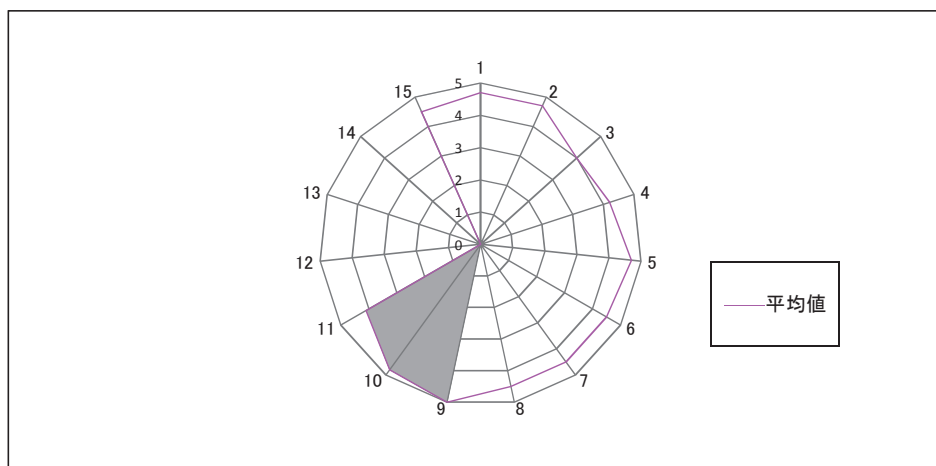
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡC  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 小笠原 麻衣子

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	3	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	0	3	1	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	2	1	1	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	1	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	4	0	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	4	2	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	2	2	1	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	2	0	2	0	0	4.5



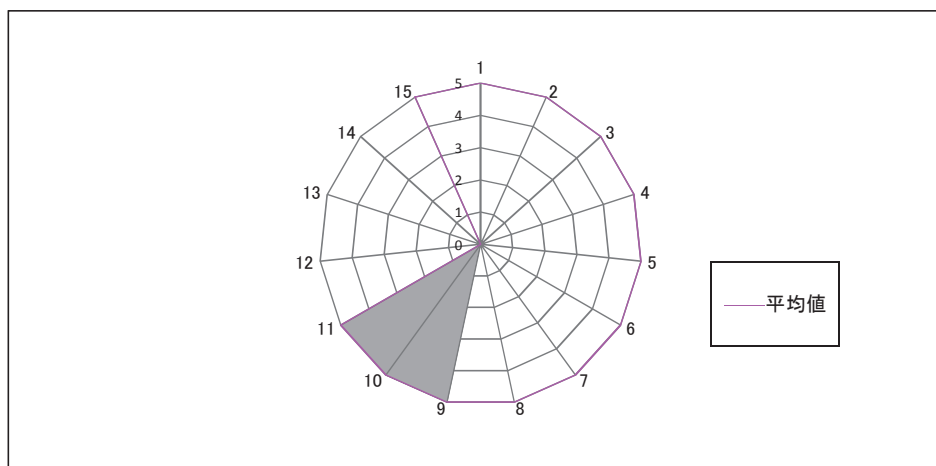
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語 I  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 シートゲス・オラフ

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



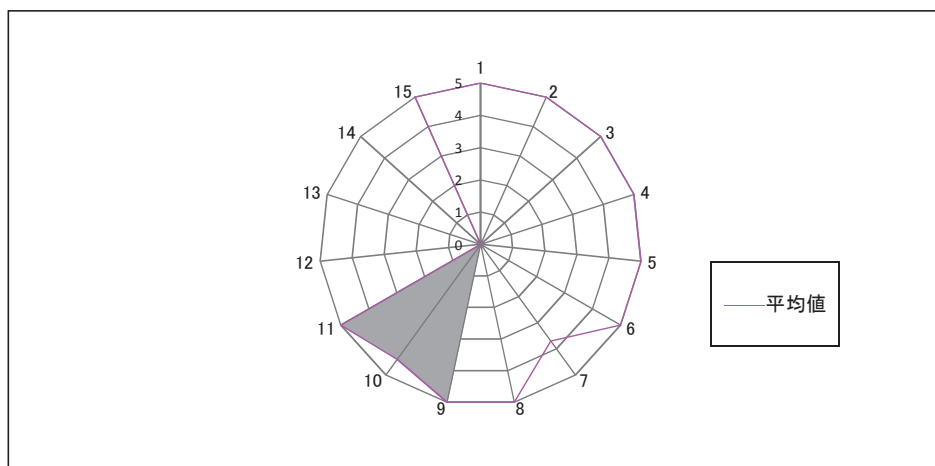
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 フランス語 I  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 木村 敦子

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	2	0	0	0	3.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



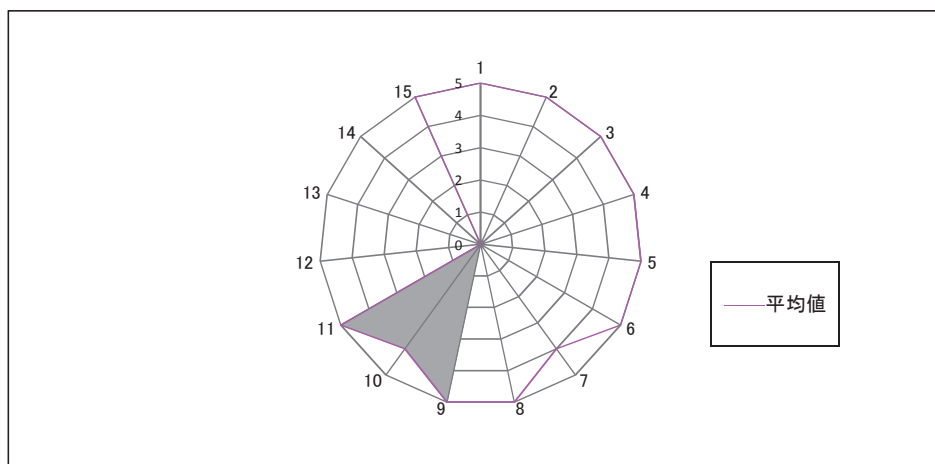
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中国語 I  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 金 英傑

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



# 教育実践コア科目

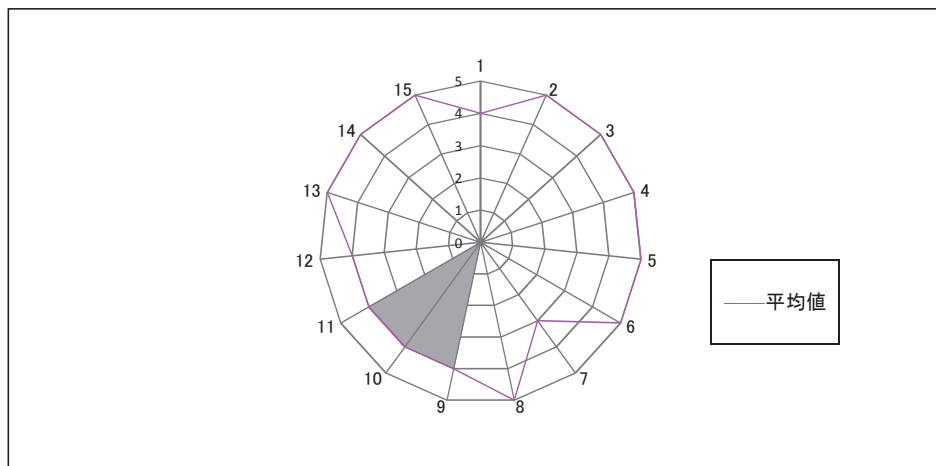


授業科目名 学校教育実践Ⅴ(生徒指導)(旧)

評価実施日 令和2年8月4日

担当教員名 葛上 秀文, 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 末内 佳代, 池田 誠喜, 金森 三枝 回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は、適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						3.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



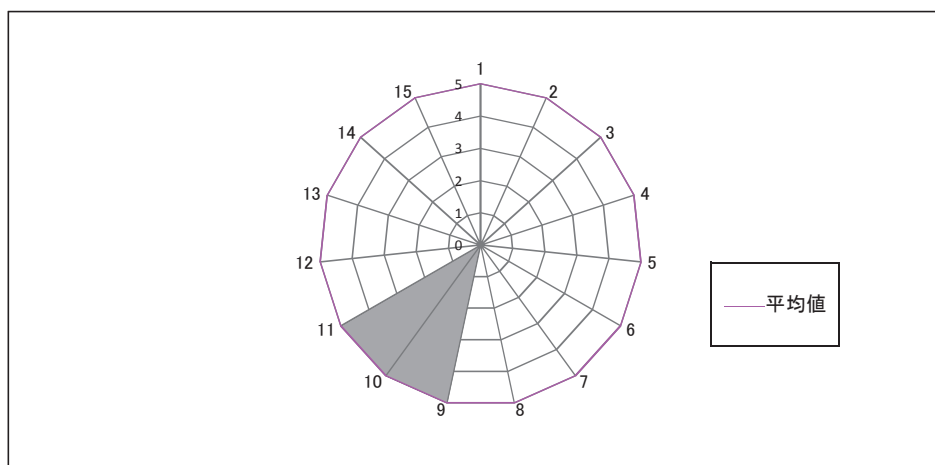
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 幼児教育実践基礎演習  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹, 塩路 晶子, 木村 直子, 湯口 雅史

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



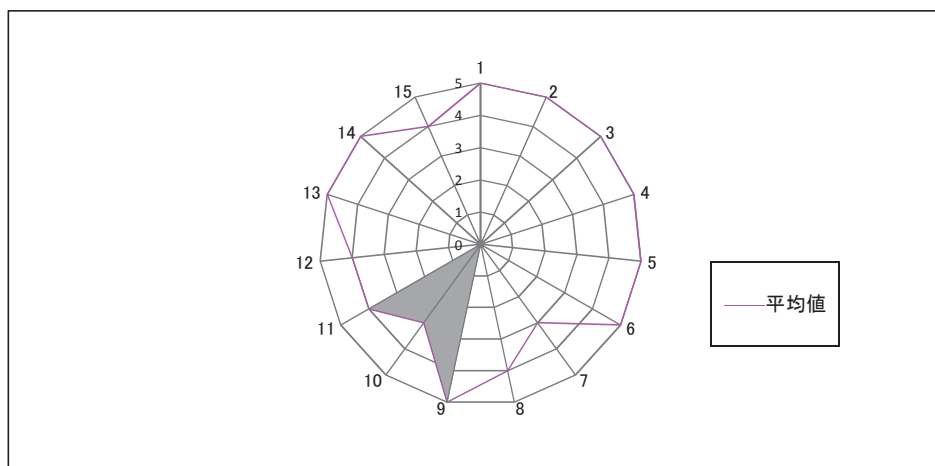
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(学校教育実践)  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 木下 光二, 湯口 雅史

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

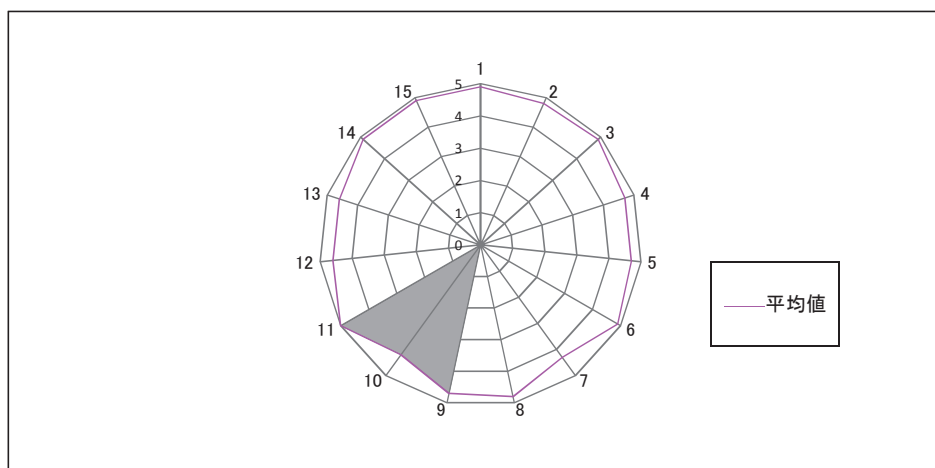
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(国語)

評価実施日 令和2年8月5日

担当教員名 村井 万里子, 黒田 俊太郎, 原 卓志, 平川 恵実子, 湯口 雅史

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

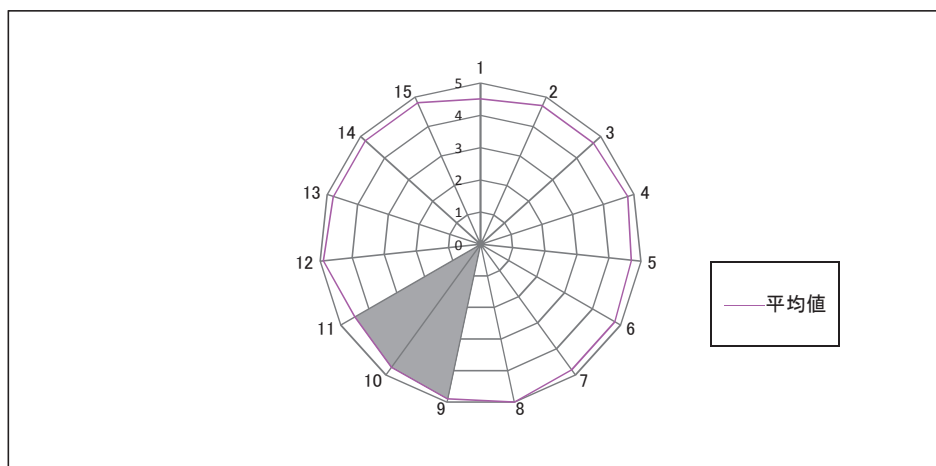
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(社会)

評価実施日 令和2年8月5日

担当教員名 井上 奈穂, 青葉 暢子, 畠山 輝雄, 湯口 雅史

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	0	4.8



総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(算数・数学)

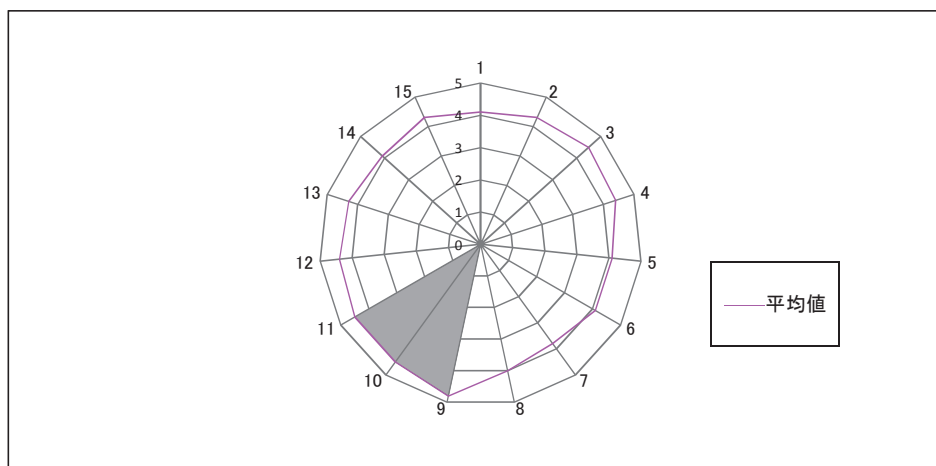
評価実施日 令和2年8月5日

担当教員名 佐伯 昭彦, 湯口 雅史

回答者数

12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	2	1	1	1	0	4.1
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	2	0	0	4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	0	1	0	0	4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	1	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	1	2	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	3	1	0	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	3	1	2	1	0	3.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	3	1	1	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	8	3	0	1	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	2	1	1	0	1	4.4
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	3	1	1	0	1	4.3
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	1	2	0	1	4.1
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	3	1	0	1	0	4.3



総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

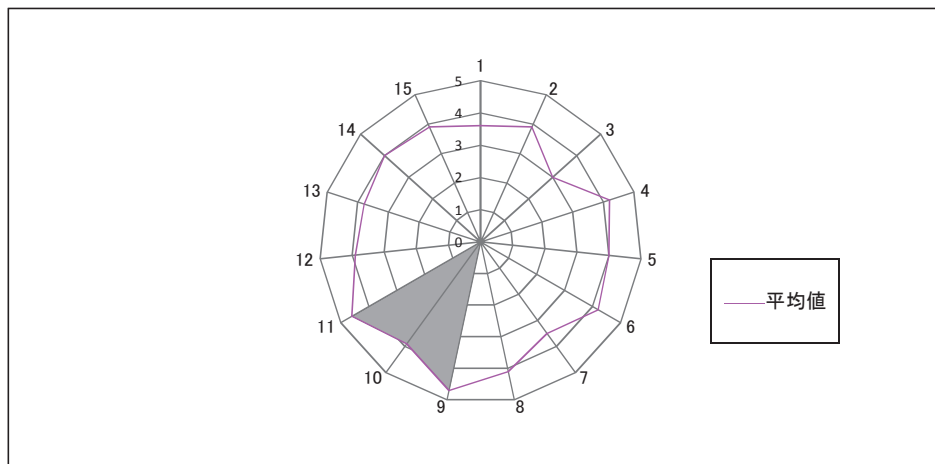
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(理科)

評価実施日 令和2年8月5日

担当教員名 寺島 幸生, 工藤 慎一, 早藤 幸隆, 村田 守, 本田 亮, 粟田 高明, 胸組 虎胤, 武田 清, 佐藤 勝幸, 湯口 雅史

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	5	3	1	0	0	3.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	2	1	0	0	3.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	4	2	0	3	0	3.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	1	1	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	3	1	1	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	2	1	2	0	3.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	2	2	1	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	1	2	2	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	0	0	0	1	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	3	4	0	0	0	3.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	4	1	2	0	0	3.8
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	4	0	2	0	0	4.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	3	4	0	0	0	3.9



総合評価	3.8
------	-----

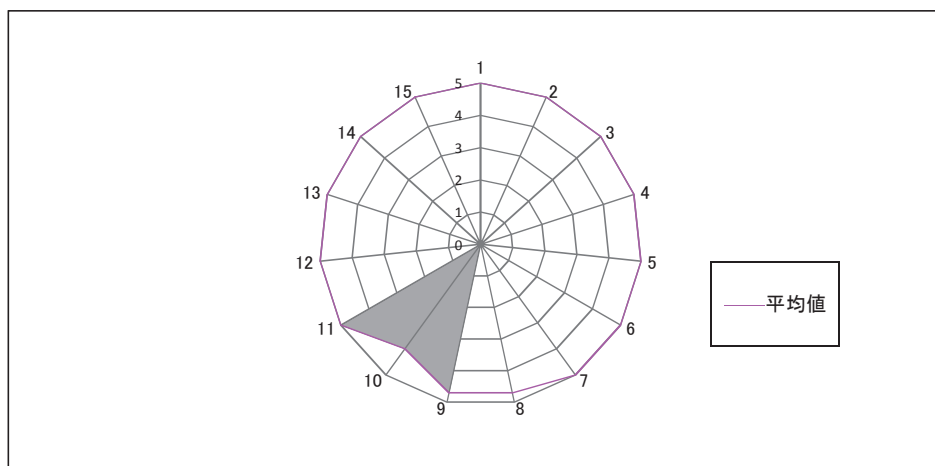
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(音楽)

評価実施日 令和2年8月5日

担当教員名 山田 啓明, 鉄口 真理子, 米田 佳子, 湯口 雅史 回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 5.0

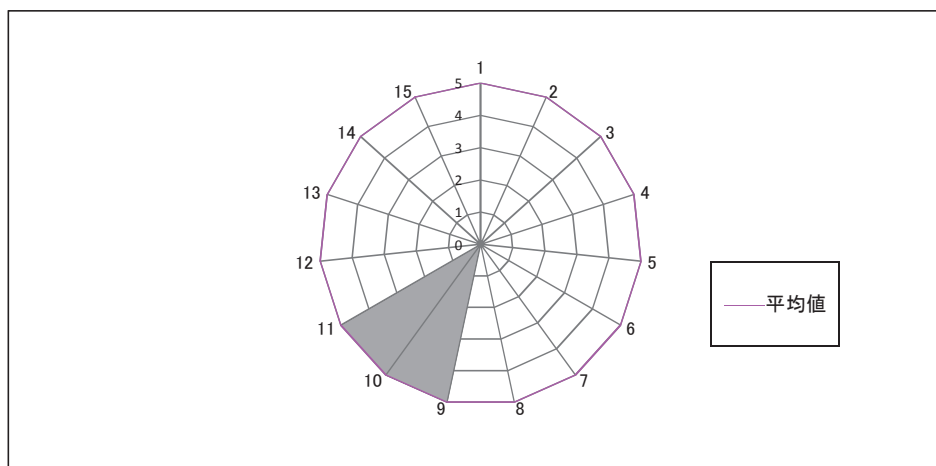
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(図工・美術)  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 山木 朝彦, 湯口 雅史

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 5.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

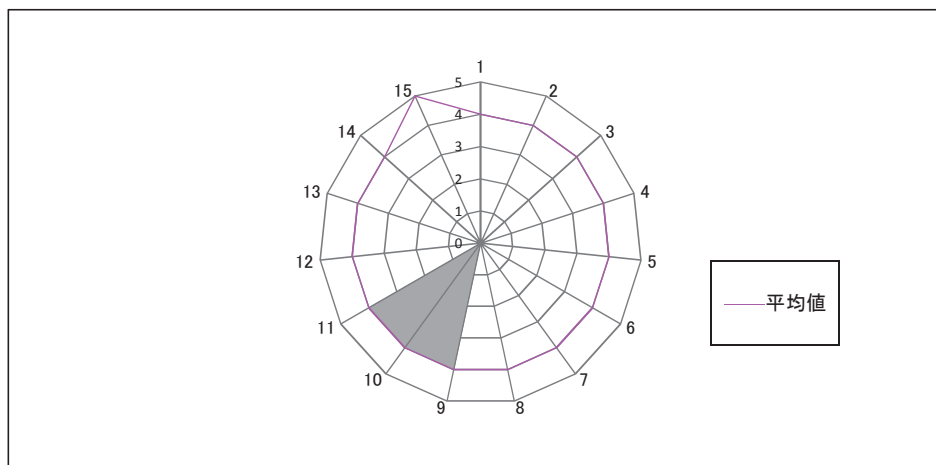
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(技術)

評価実施日 令和2年8月5日

担当教員名 伊藤 陽介, 尾崎 士郎, 宮下 晃一, 菊地 章, 宮本 賢治, 米延 仁志, 湯口 雅史

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						5.0



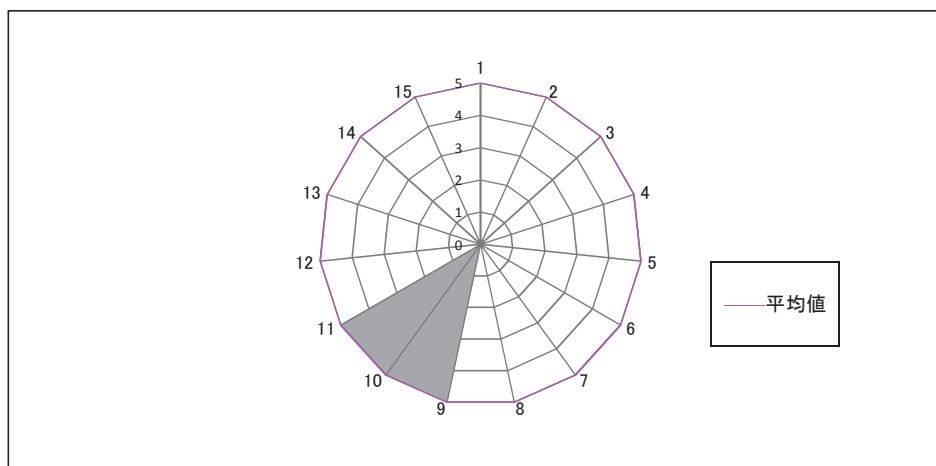
総合評価	4.1
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(家庭)  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 金 貞均, 黒川 衣代, 西川 和孝, 湯口 雅史

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0

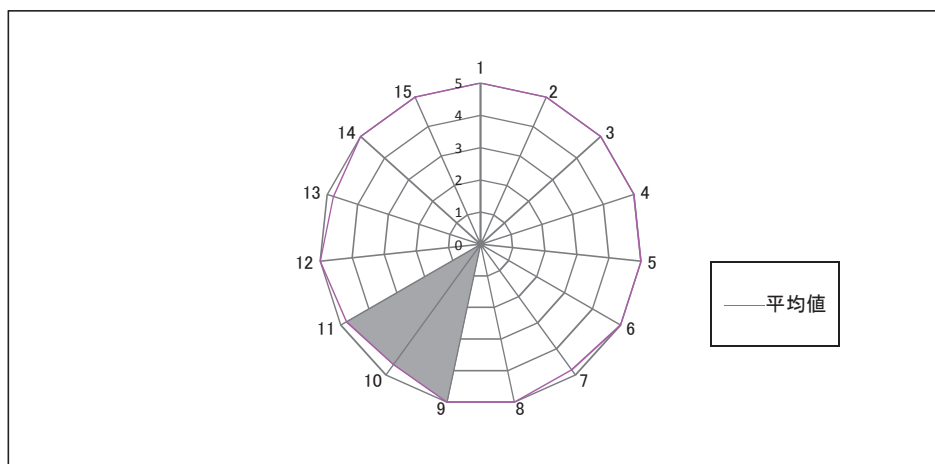


総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践基礎演習  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 高原 光恵, 大谷 博俊, 高橋 真琴, 田中 淳一, 湯口 雅史 回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



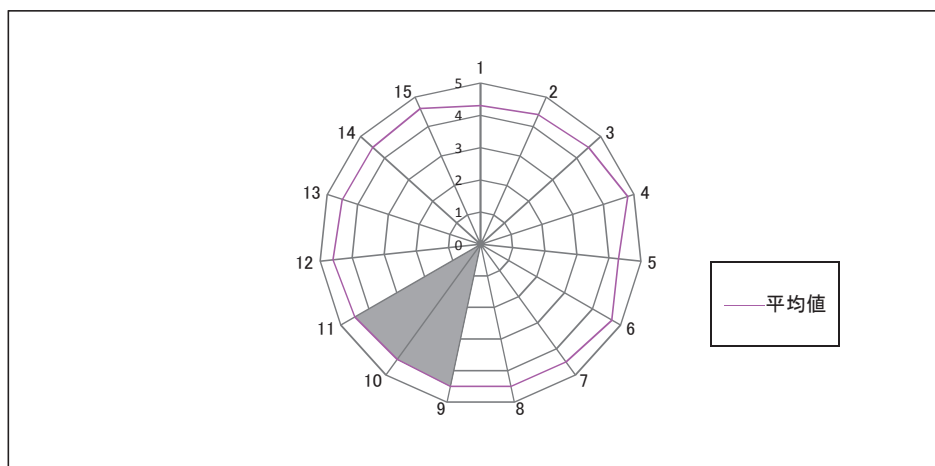
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(国語)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 幾田 伸司, 黒田 俊太郎

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.5
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.5
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



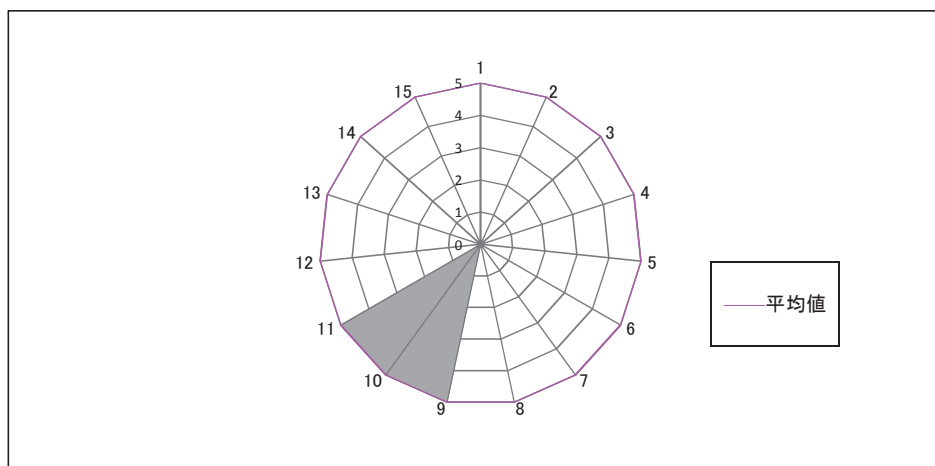
総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(英語)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 山森 直人, 佐藤 美智子

回答者数 2名

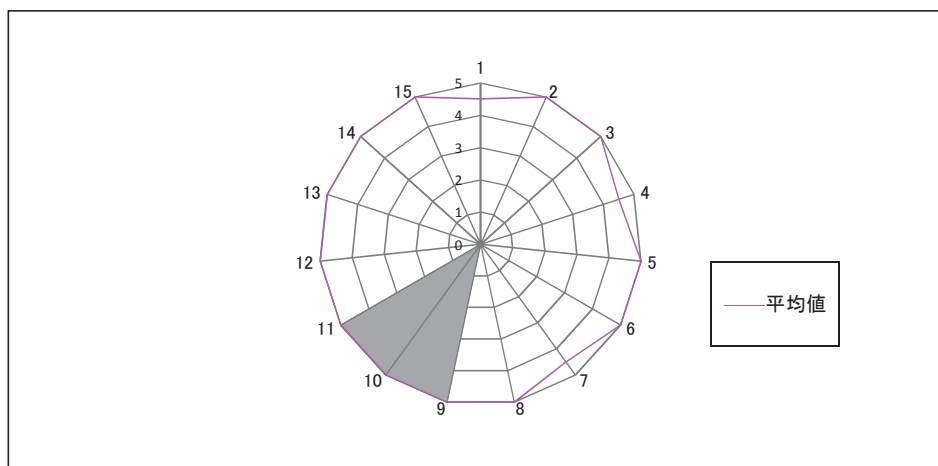
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(社会)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 井上 奈穂, 麻生 多聞

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

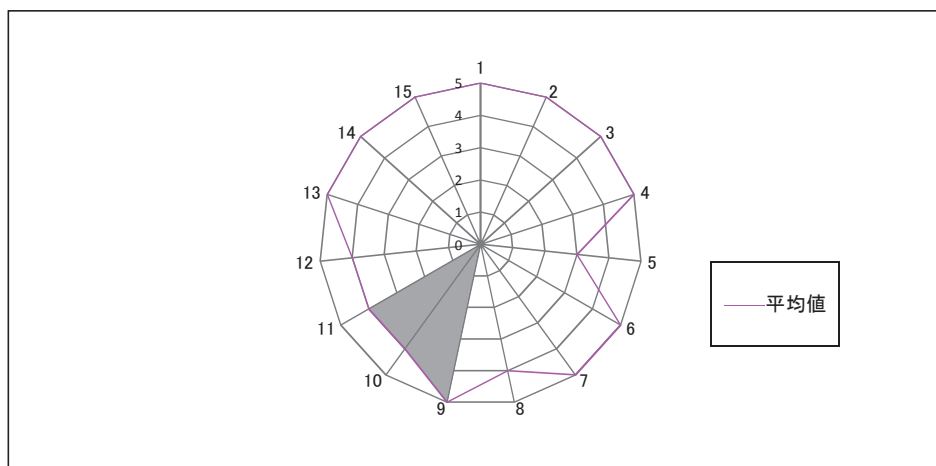
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(算数・数学)

評価実施日 令和2年8月11日

担当教員名 秋田 美代, 山中 仁

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.7
------	-----

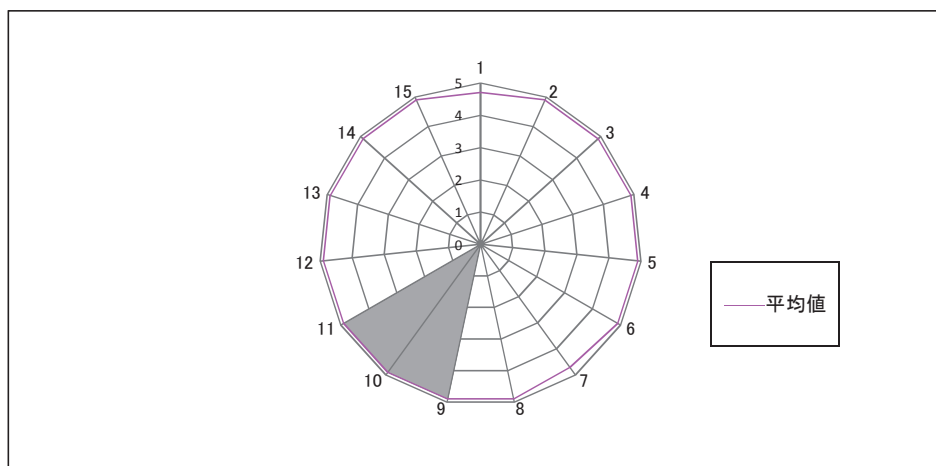
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(音楽)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 鉄口 真理子, 松岡 貴史

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

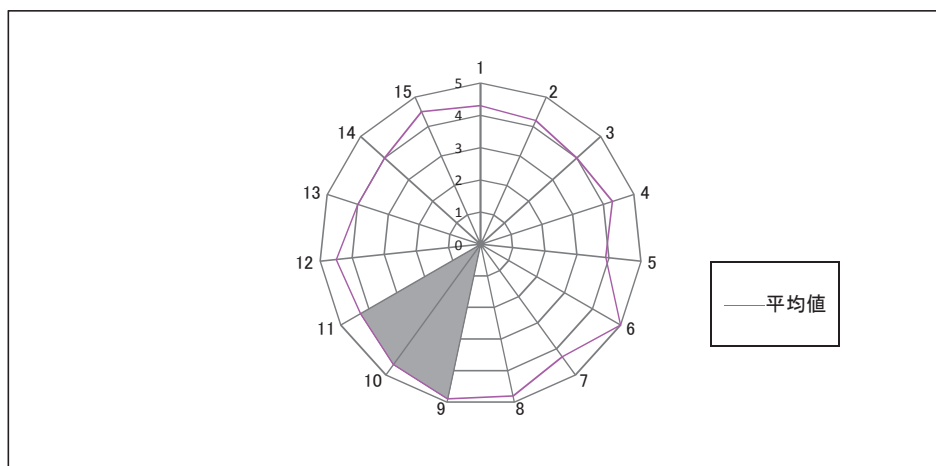
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(図工・美術)

評価実施日 令和2年8月11日

担当教員名 小川 勝, 内藤 隆

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	1	0	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	3	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	3	0	0	0	3.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	2	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	2	0	0	0	3	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	2	1	0	0	3	4.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	2	1	0	0	3	4.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	4	0	0	0	0	4.5



総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

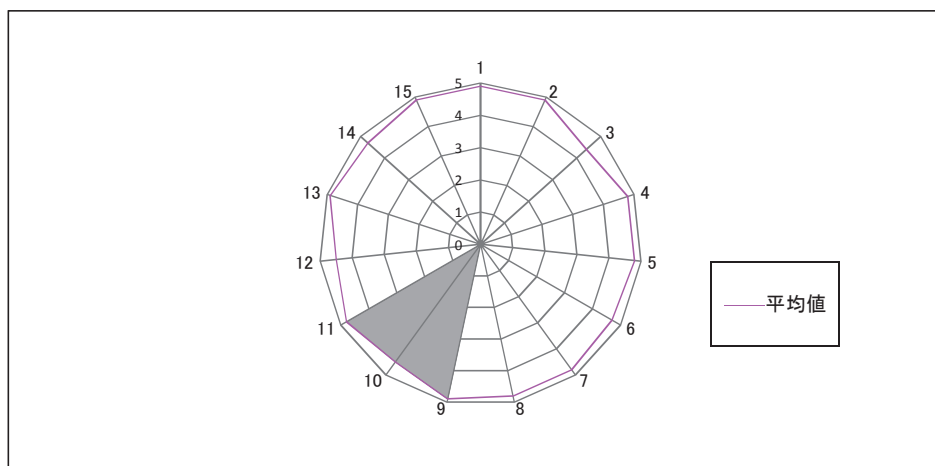
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(体育・保体)

評価実施日 令和2年8月11日

担当教員名 松井 敦典, 田中 弘之, 南 隆尚

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	2	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	1	2	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	1	0	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	1	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	1	0	0	1	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	0	4.9



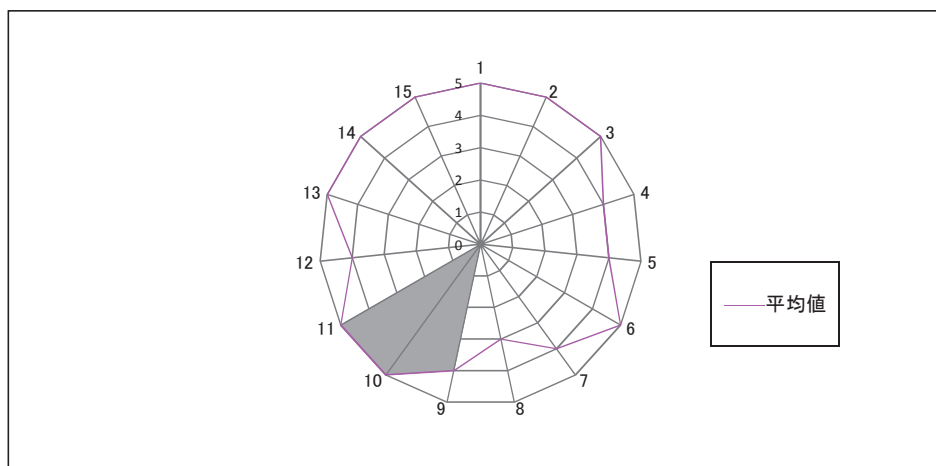
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(技術)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 伊藤 陽介, 菊地 章

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



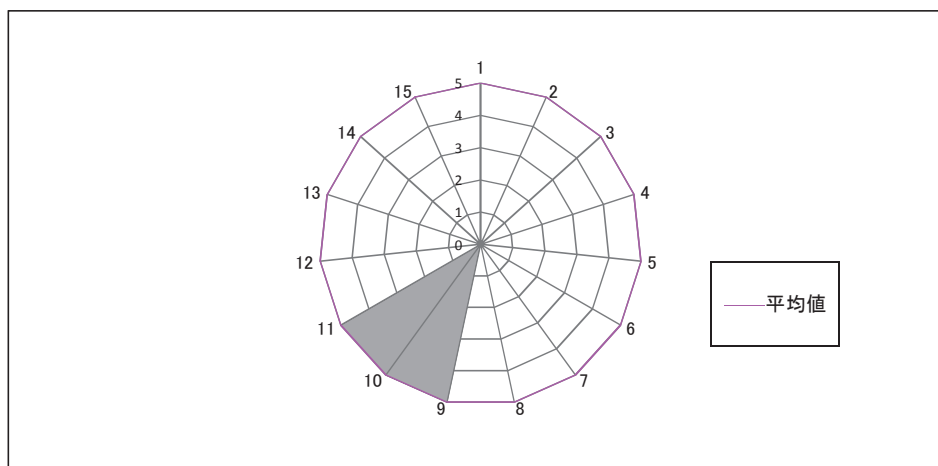
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(家庭)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 速水 多佳子, 西川 和孝, 金 貞均

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



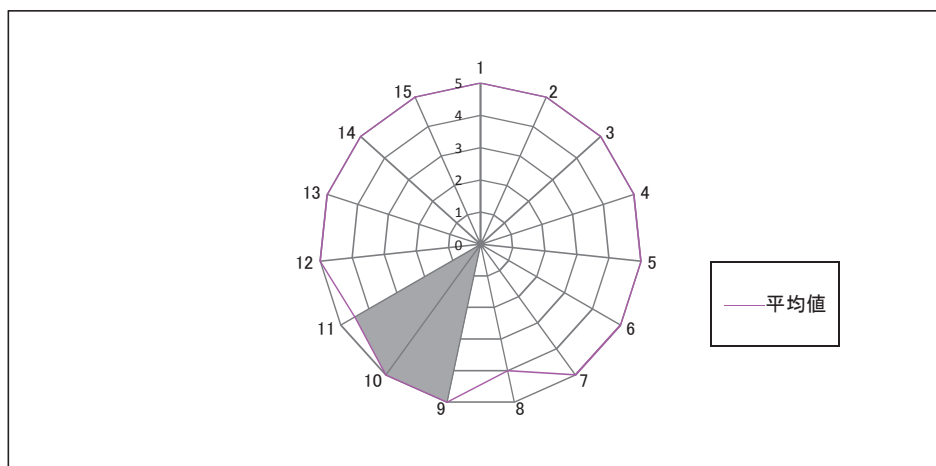
授業科目名 学校教育実践 I (授業設計) (新課程)

評価実施日 令和3年2月5日

担当教員名 藤原 伸彦, 江川 克弘, 金児 正史

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	1	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	1	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	1	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



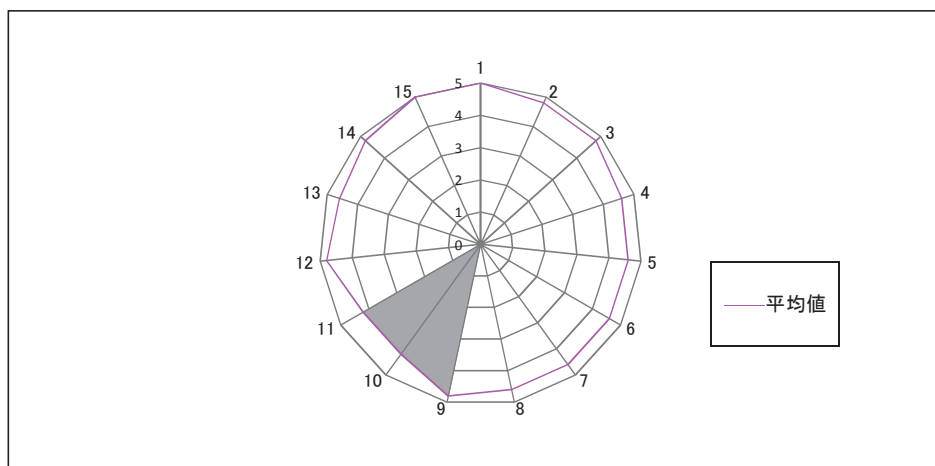
総合評価 4.9

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (国語)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 余郷 裕次, 原 卓志, 湯地 宏樹

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	4	0	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.7

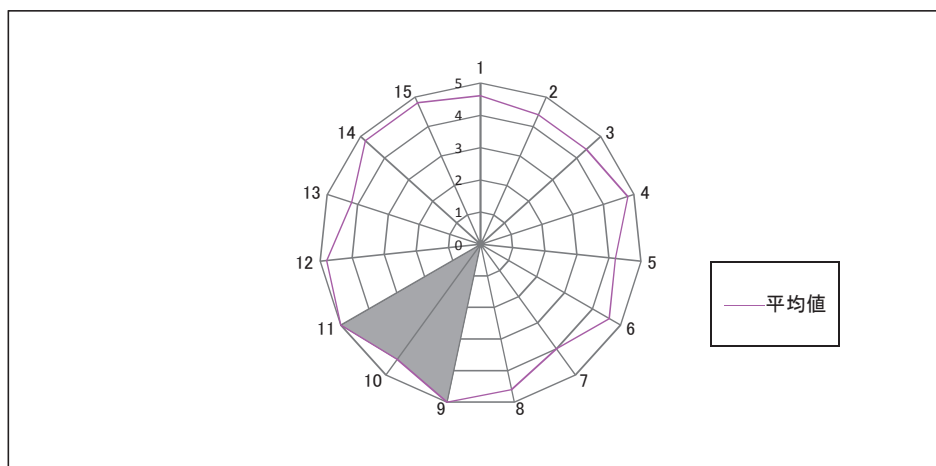
※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (社会)

評価実施日 令和3年2月3日

担当教員名 伊藤 直之, 青葉 暢子, 立岡 裕士, 湯地 宏樹 回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 4.5

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値



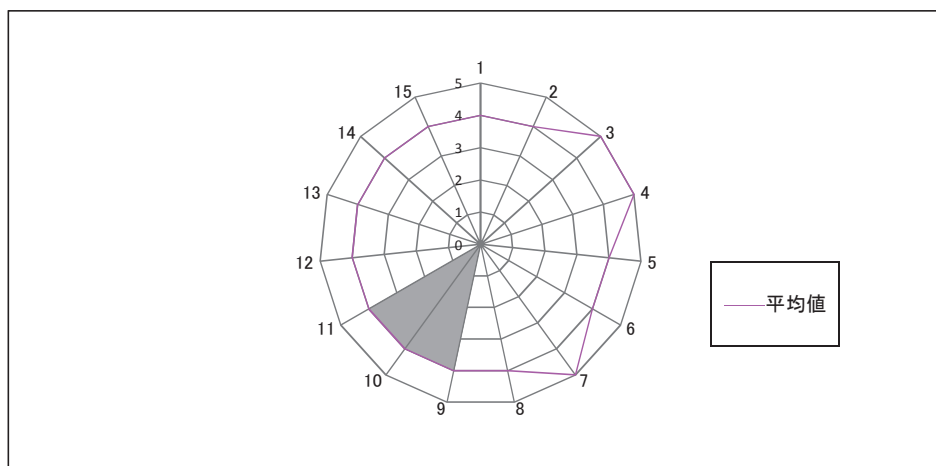
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (算数・数学)

評価実施日 令和3年2月3日

担当教員名 成川 公昭, 早田 透, 湯地 宏樹

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



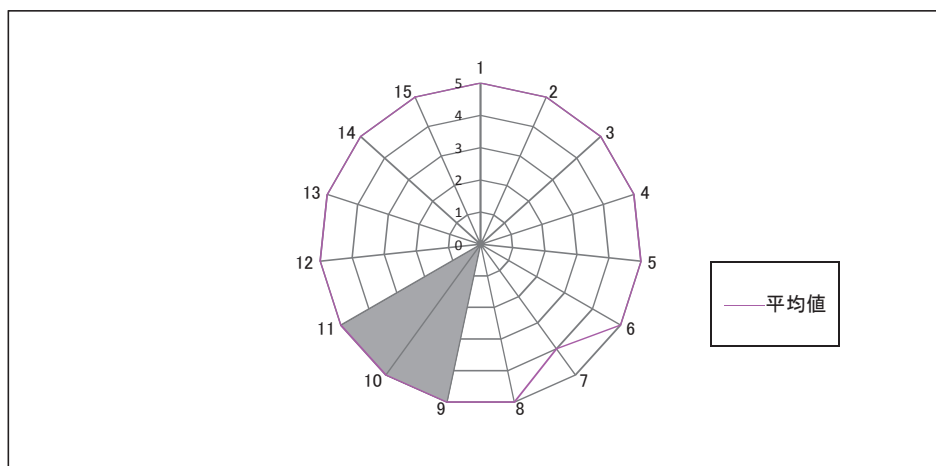
総合評価	4.3
------	-----

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (音楽)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 鉄口 真理子, 頃安 利秀, 湯地 宏樹

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.9

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

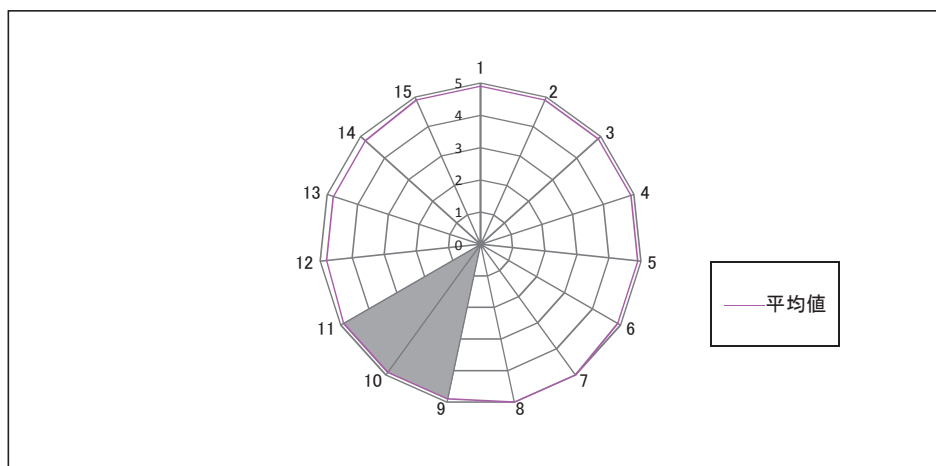
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (図工・美術)

評価実施日 令和3年2月3日

担当教員名 小川 勝, 山田 芳明, 湯地 宏樹

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。						4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



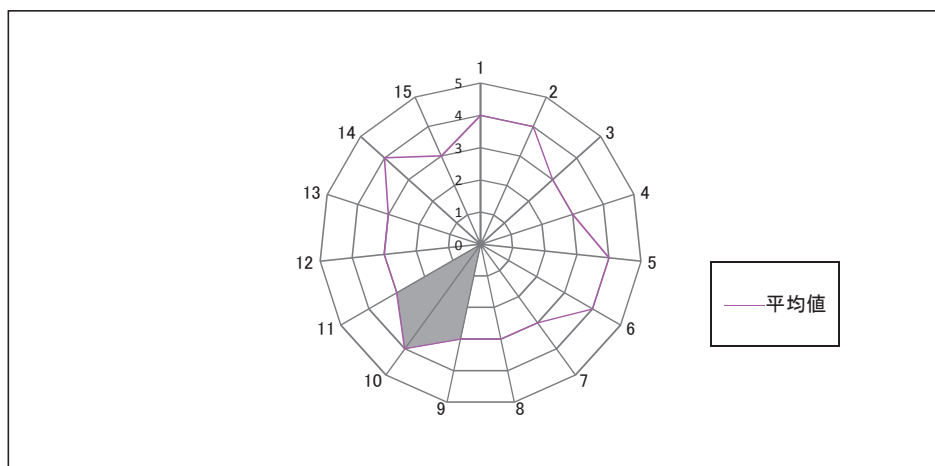
総合評価 4.9

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (技術)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志, 湯地 宏樹

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	1	0	0	0	0	4.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	0	3.0



総合評価 3.4

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

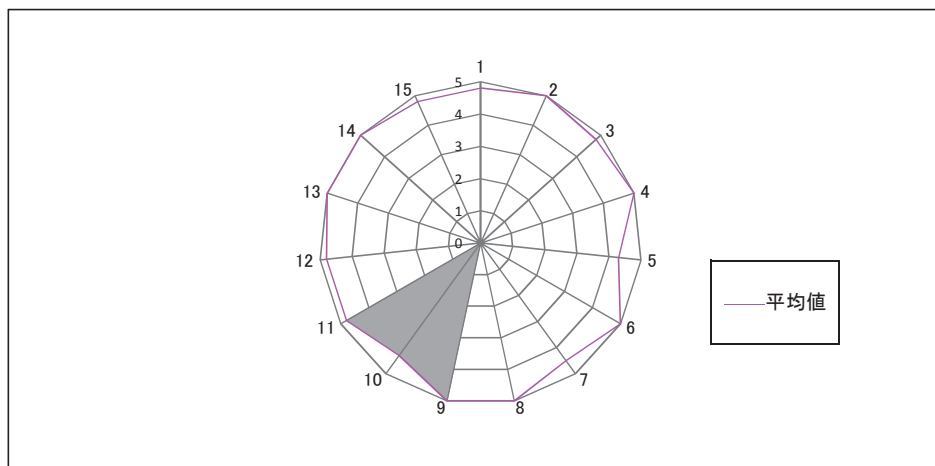
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (家庭)

評価実施日 令和3年2月3日

担当教員名 金 貞均, 黒川 衣代, 速水 多佳子, 西川 和孝, 坂本 有芳, 湯地 宏樹

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



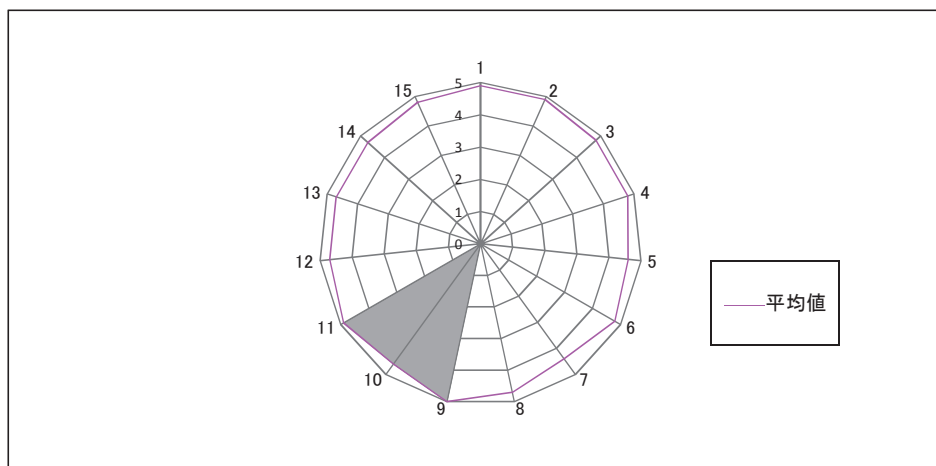
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(国語)  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 村井 万里子, 平川 恵実子

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



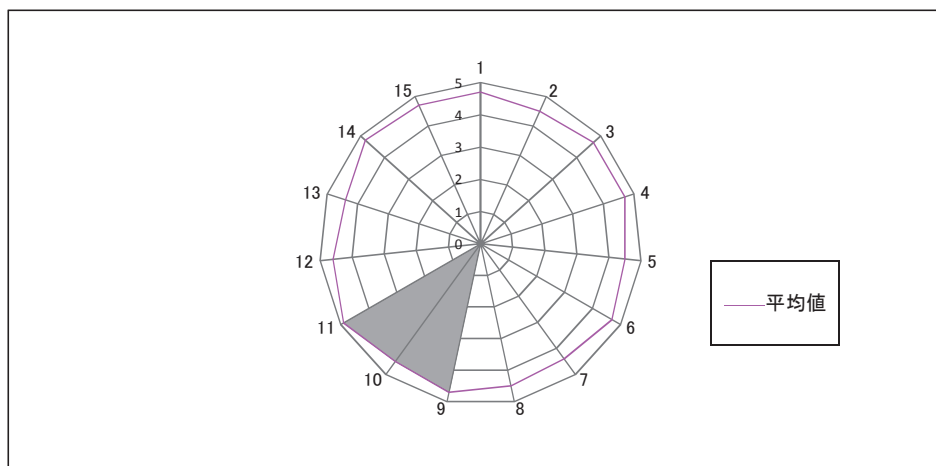
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(英語)  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 眞野 美穂, 山森 直人

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	3	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	2	0	0	0	1	4.6
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	3	0	0	0	1	4.4
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	1	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



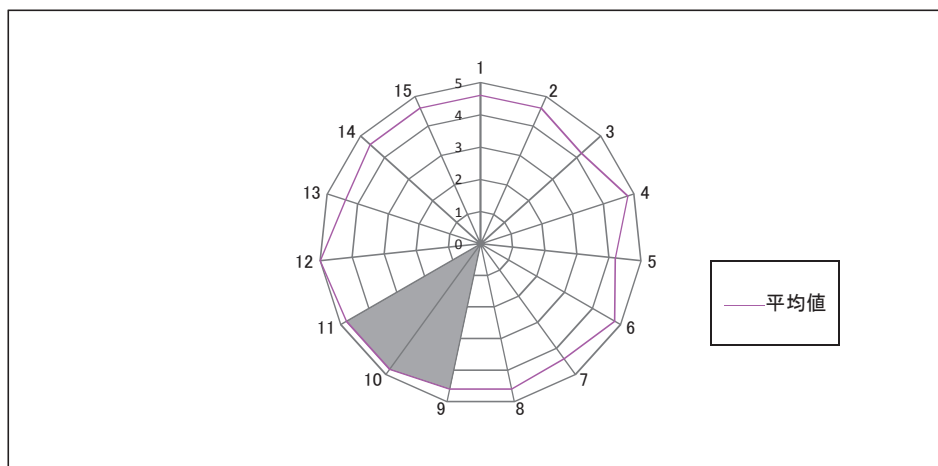
総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(社会)  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 梅津 正美, 町田 哲

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	2	0	0	0	0	4.6
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	0	4.6



総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



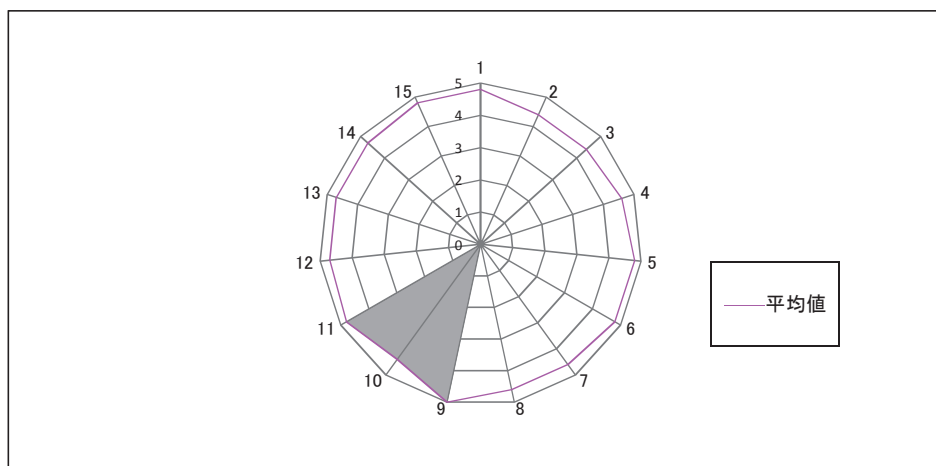
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(算数・数学)

評価実施日 令和3年2月9日

担当教員名 佐伯 昭彦, 山中 仁

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	1	0	0	0	2	4.7
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	1	0	0	0	2	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	1	0	0	0	2	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



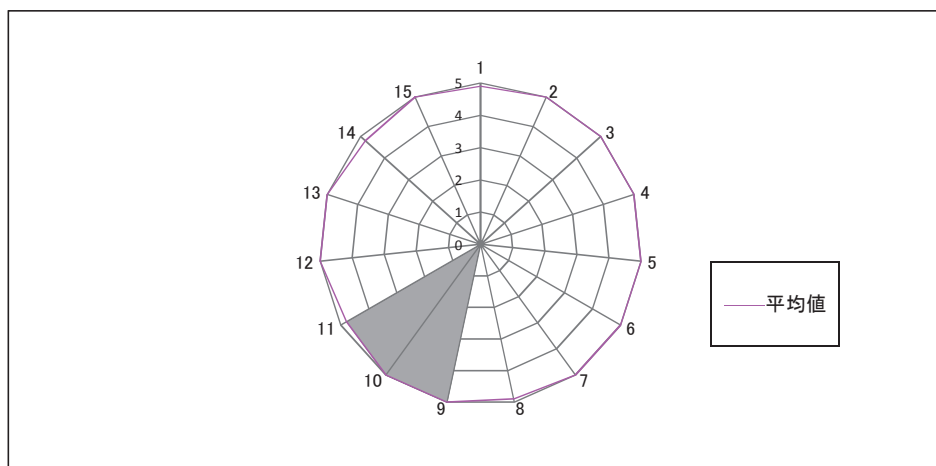
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(音楽)  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 森 正, 山田 啓明, 鉄口 真理子

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	3	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	3	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	0	0	0	3	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 5.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

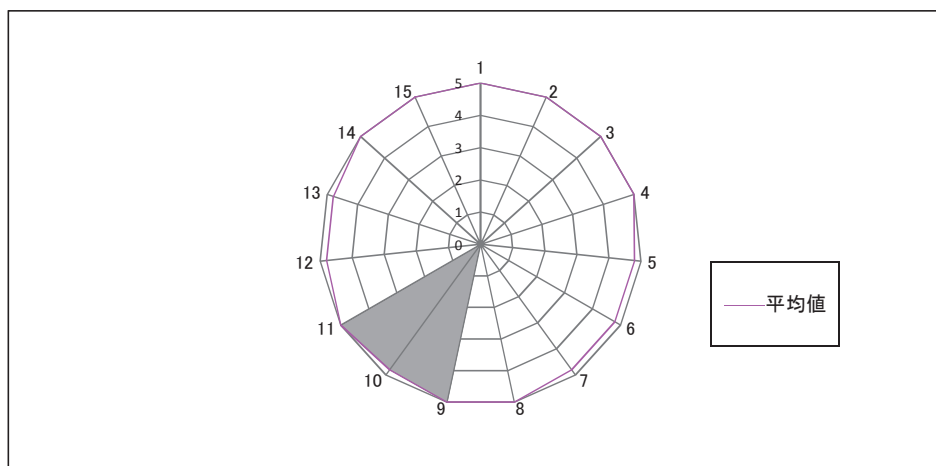
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(図工・美術)

評価実施日 令和3年2月9日

担当教員名 山田 芳明, 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 4.9

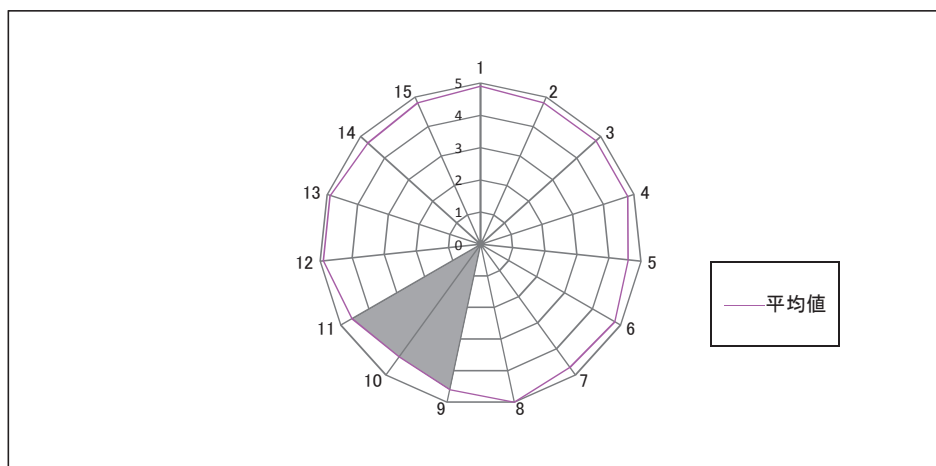
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(家庭)

評価実施日 令和3年2月9日

担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子, 黒川 衣代, 坂本 有芳 回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	1	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	4	3	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	3	0	0	0	0	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

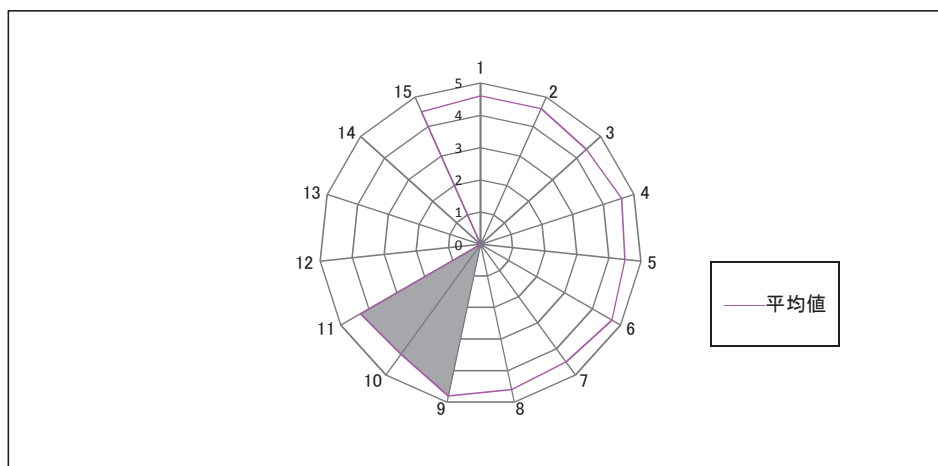


# 教 職 共 通 科 目

授業科目名 教職論  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 阪根 健二, 湯地 宏樹

回答者数 115名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	73	38	4	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	70	42	3	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	63	35	13	4	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	78	30	4	2	1	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	64	38	12	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	81	31	3	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	69	30	12	2	2	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	74	33	5	2	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	95	16	3	1	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	49	45	14	5	2	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	61	33	10	10	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	71	33	9	1	1	0	4.5



総合評価 **4.6**

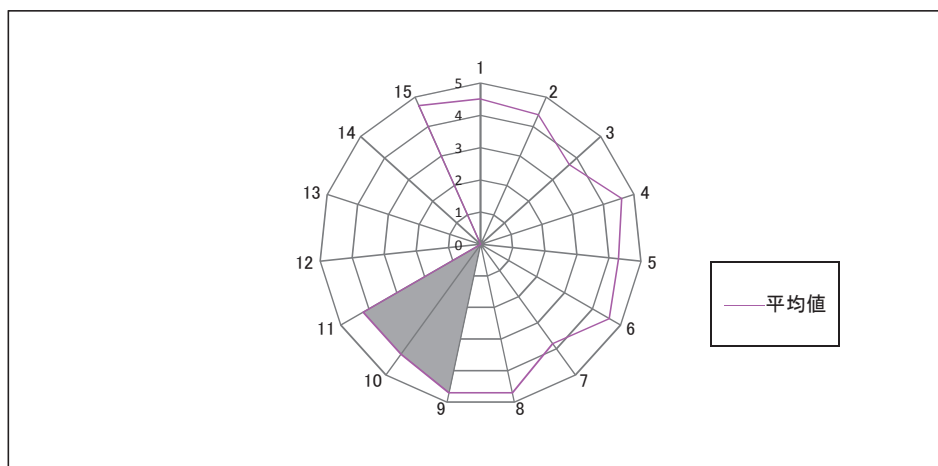
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容総論

評価実施日 令和2年8月11日

担当教員名 塩路 晶子, 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹 回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	5	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	6	0	1	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	3	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	4	6	0	0	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	5	3	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	5	1	0	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	5	0	0	0	0	4.7



総合評価	4.4
------	-----

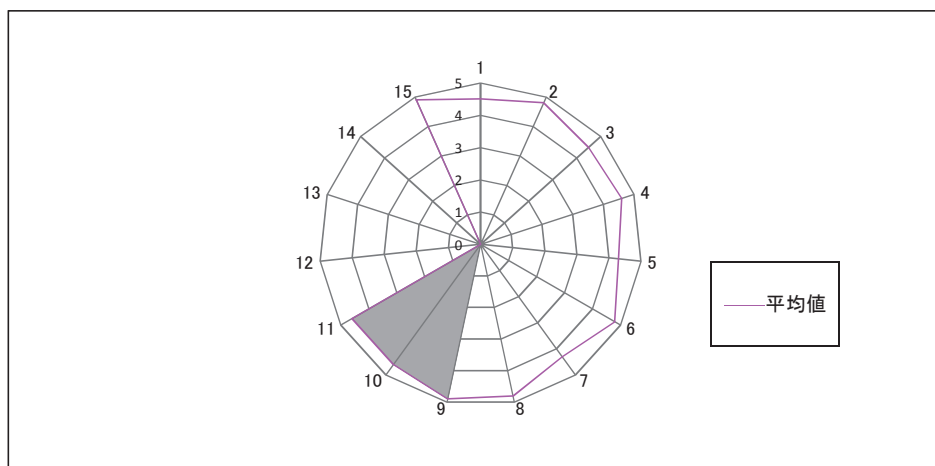
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 保育内容(表現Ⅰ)(新課程)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 湯地 宏樹, 山田 啓明

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



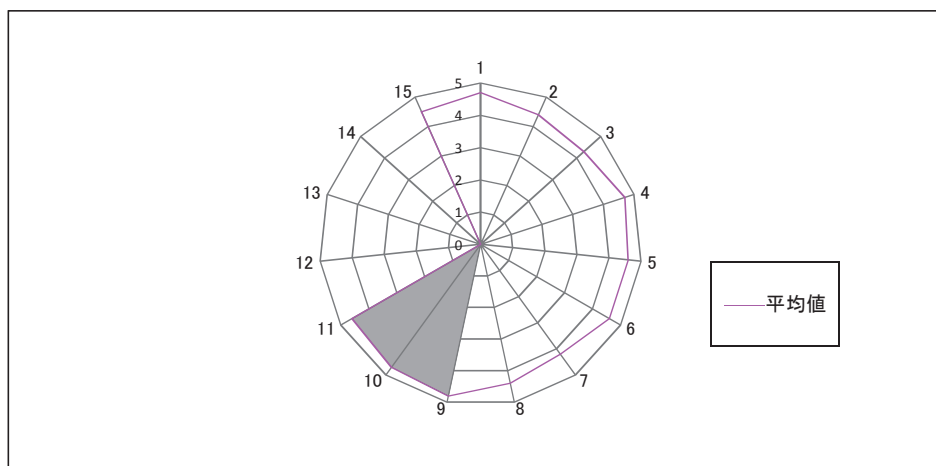
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 保育内容(表現Ⅱ)(新課程)  
 評価実施日 令和2年8月30日  
 担当教員名 谷口 幹也

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	3	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	3	1	0	0	0	4.5



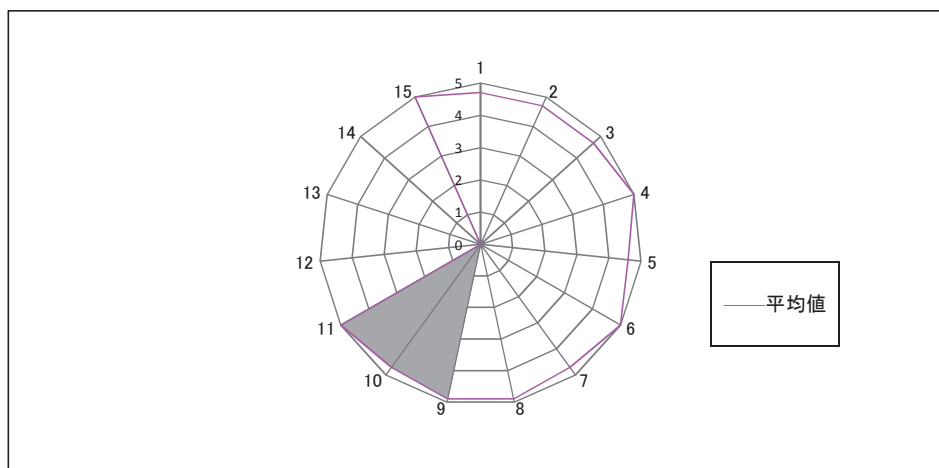
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(健康)  
 評価実施日 令和2年8月25日  
 担当教員名 林 修

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



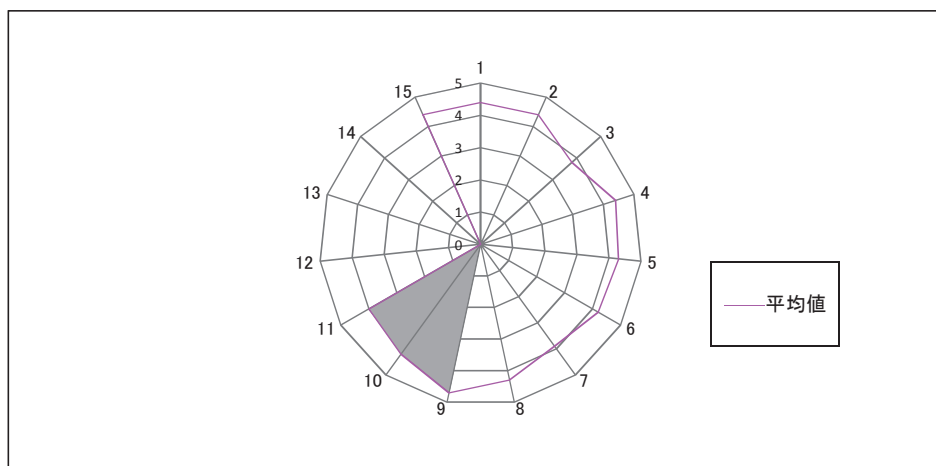
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 人間形成原論  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 木内 陽一

回答者数 87名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	45	32	6	2	2	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	47	30	8	1	1	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	29	29	13	8	8	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	44	34	4	2	3	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	43	31	8	3	2	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	40	31	10	3	3	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	36	22	17	6	6	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	43	29	11	3	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	61	21	3	1	1	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	41	27	13	3	3	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	38	26	10	8	5	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	43	33	8	1	2	0	4.4



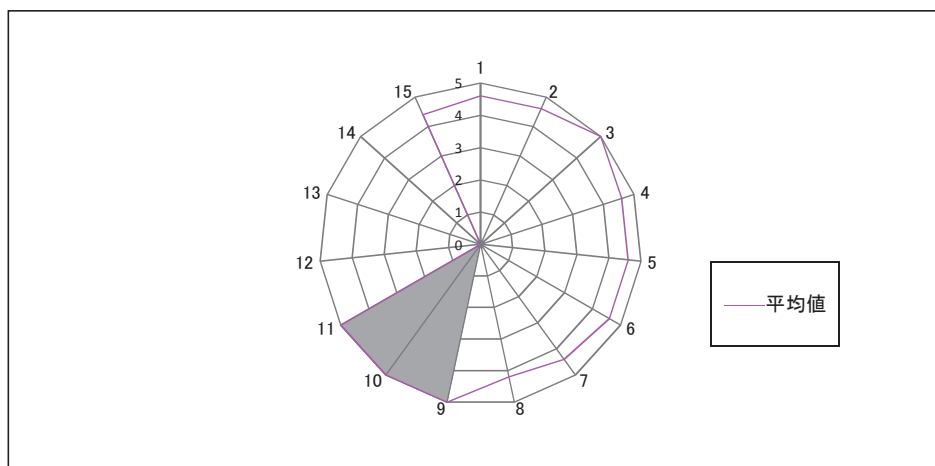
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育制度・経営論  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	1	0	0	4.4



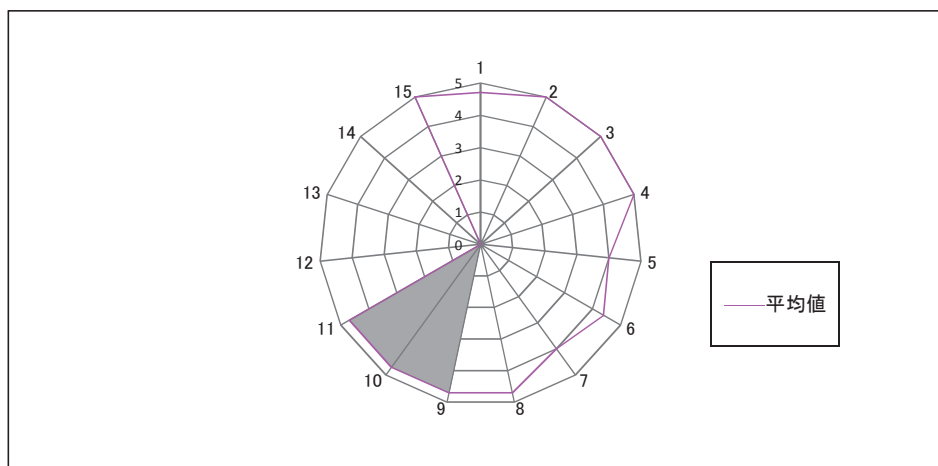
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育社会学  
 評価実施日 令和2年8月25日  
 担当教員名 山本 晃輔

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

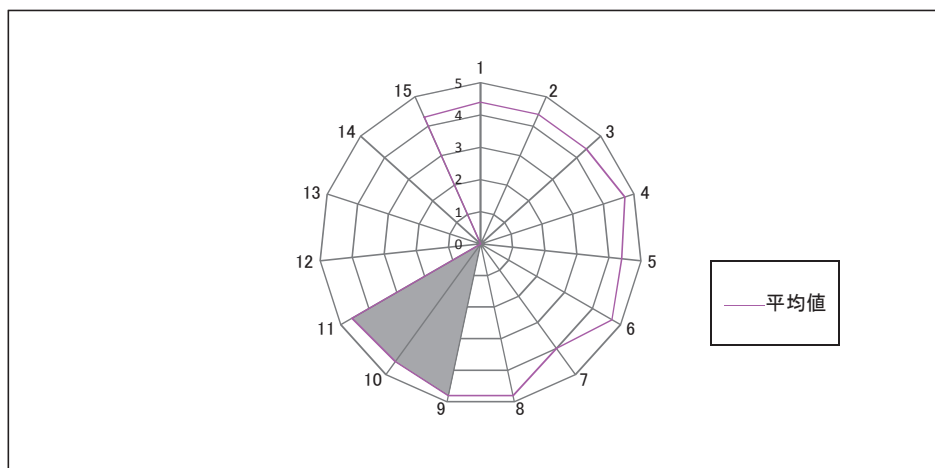
授業科目名 小学校英語教育論(旧課程)

評価実施日 令和2年8月12日

担当教員名 山森 直人, ジェラード マーシェソ, 前田 一平, 藪下 克彦, 眞野 美穂, 佐藤 美智子, 段本 みのり, 竹内 陽子

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3

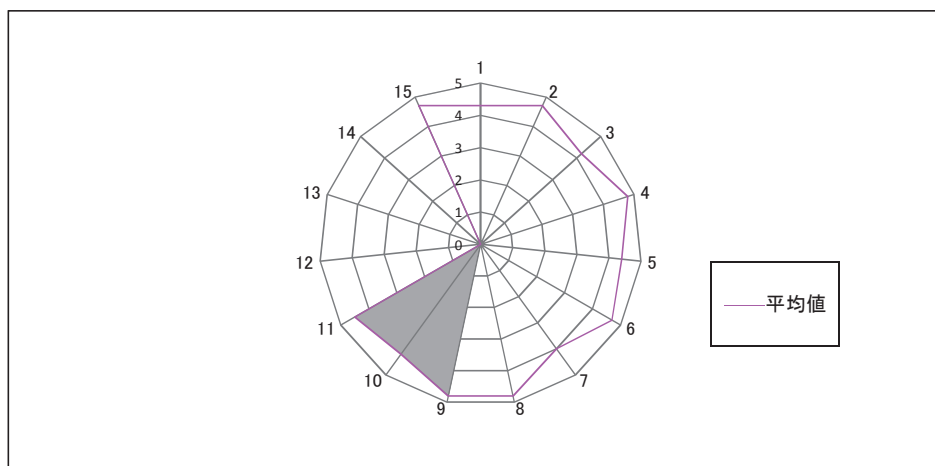


総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等英語科教育論(新課程)  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 山森 直人, ジェラード マーシェン, 佐藤 美智子      回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	3	0	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	3	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	5	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	4	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.7



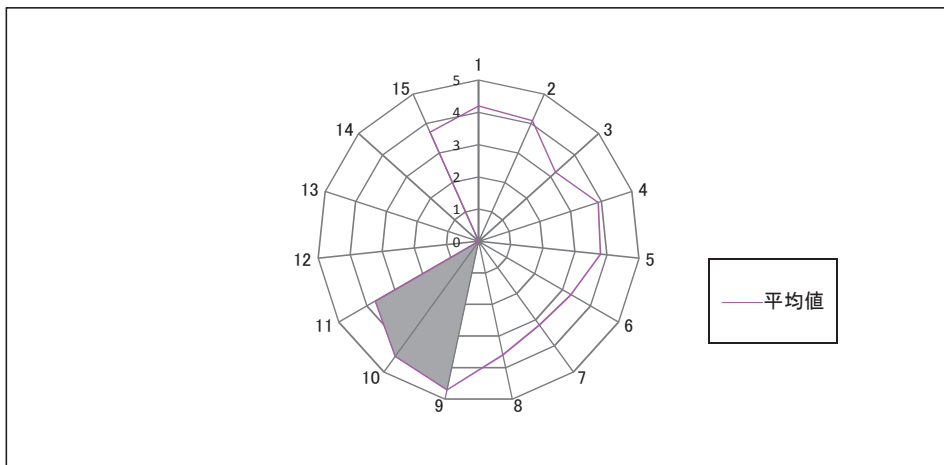
総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 教育課程論(旧課程)  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 幾田 伸司, 前田 洋一, 井上 奈穂, 山田 芳明, 秋田 美代      回答者数 48名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	30	7	4	4	3	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	12	4	5	3	0	4.1
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	6	6	6	13	0	3.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	23	9	8	3	5	0	3.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	19	9	12	3	5	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	8	15	3	9	0	3.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	5	16	1	12	0	3.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	13	7	5	7	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	32	14	1	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	27	14	4	1	2	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	20	8	10	4	6	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	11	9	4	6	0	3.7



総合評価 **3.7**

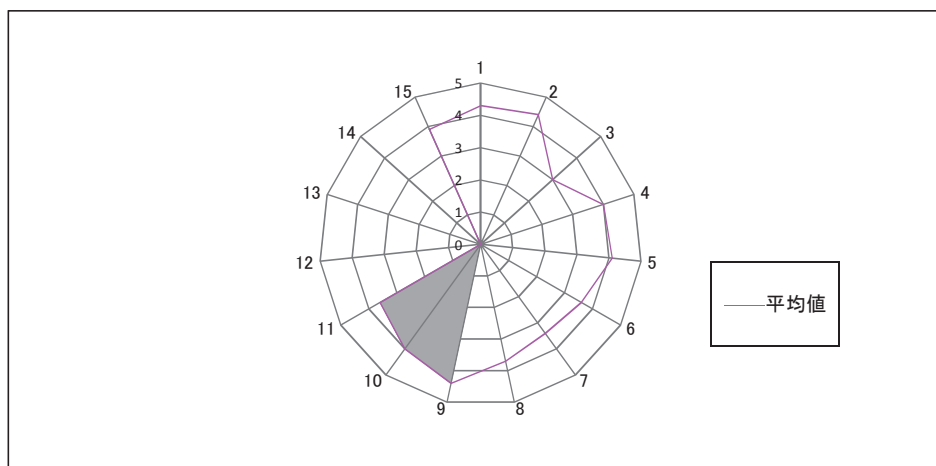
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育課程論(校種間連携を含む。)(新)

評価実施日 令和2年8月11日

担当教員名 幾田 伸司, 前田 洋一, 井上 奈穂, 山田 芳明, 秋田 美代 回答者数 23名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	11	7	4	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	7	3	1	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	4	4	6	0	3.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	7	5	1	1	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	9	4	0	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	5	7	1	3	0	3.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	2	12	1	2	0	3.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	6	3	4	2	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	13	6	4	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	11	2	9	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	10	3	3	3	4	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	11	4	4	2	2	0	3.9



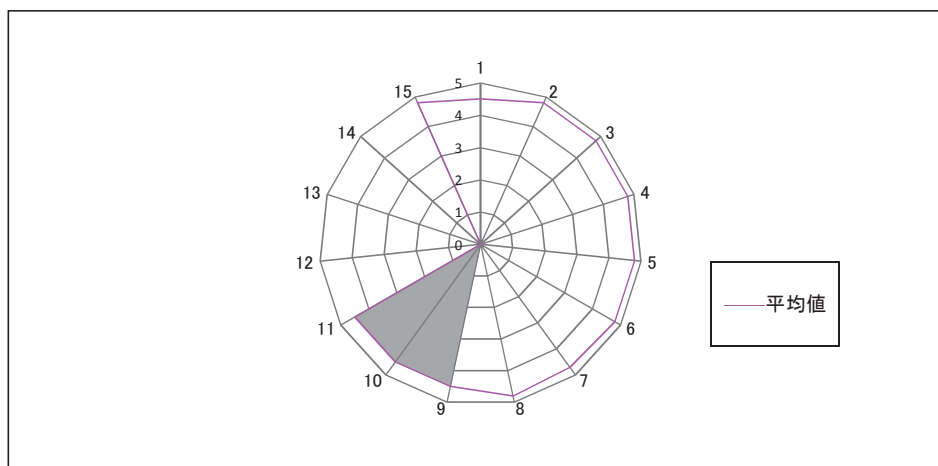
総合評価	3.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 幼児教育課程論  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



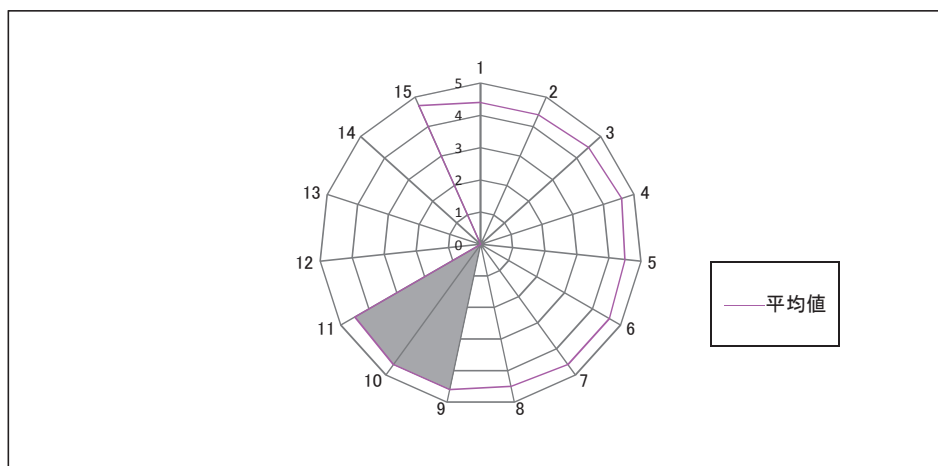
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教科教授学習論(旧課程)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 泰山 裕

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



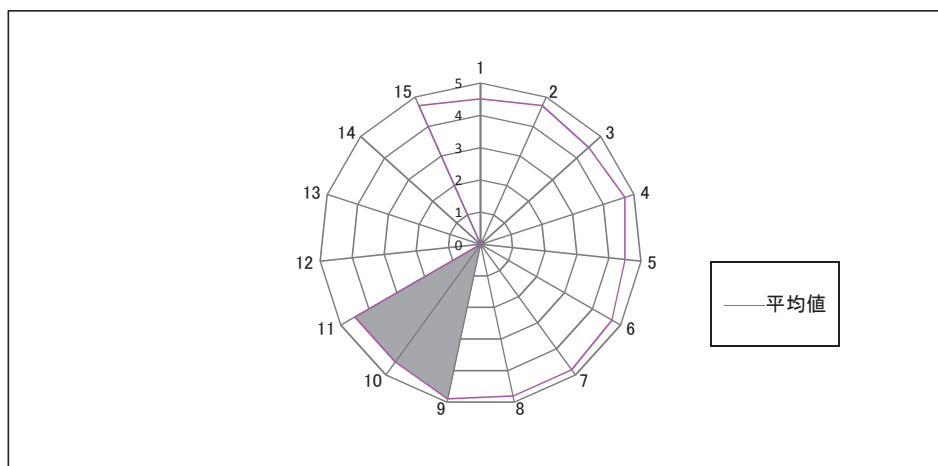
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論A  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 五宝 友哉

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



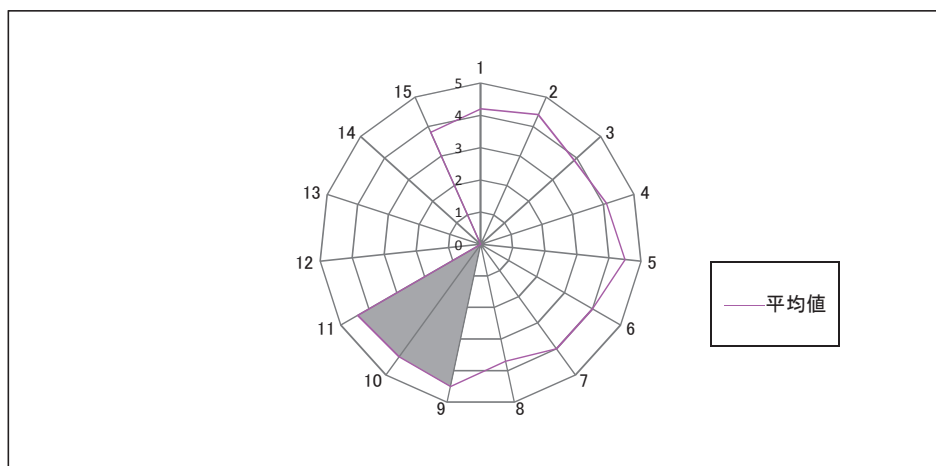
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論B  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 葛上 秀文

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	5	1	1	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	1	3	0	0	3.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	1	2	0	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	6	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	4	3	1	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	2	2	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	5	1	3	0	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	3	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	4	1	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	4	1	3	0	0	3.8

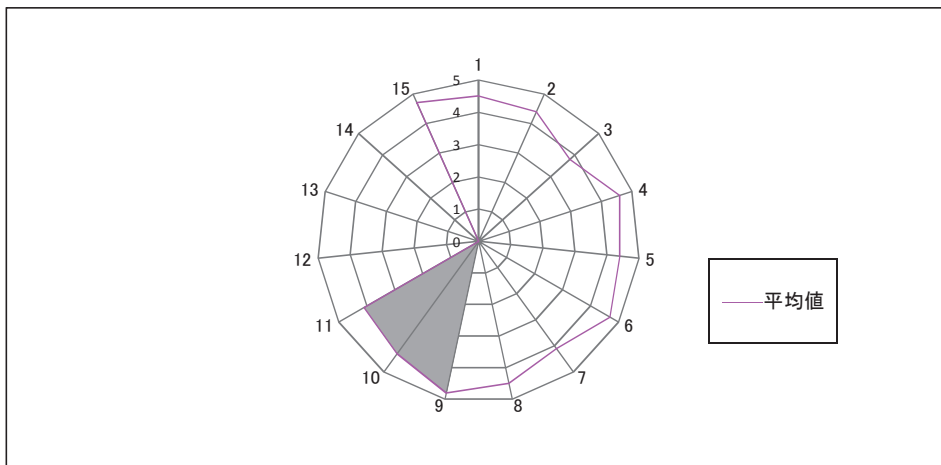


総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育相談論(旧課程)A  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 小倉 正義, 久米 禎子, 吉井 健治, 栗飯原 良造, 川西 智也 回答者数 58名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	33	18	7	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	18	7	1	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	23	11	14	8	2	0	3.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	40	13	3	2	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	33	14	10	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	40	15	3	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	27	14	8	9	0	0	4.1
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	34	18	6	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	43	14	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	29	21	5	2	1	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	25	18	8	5	2	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	41	14	2	1	0	0	4.7



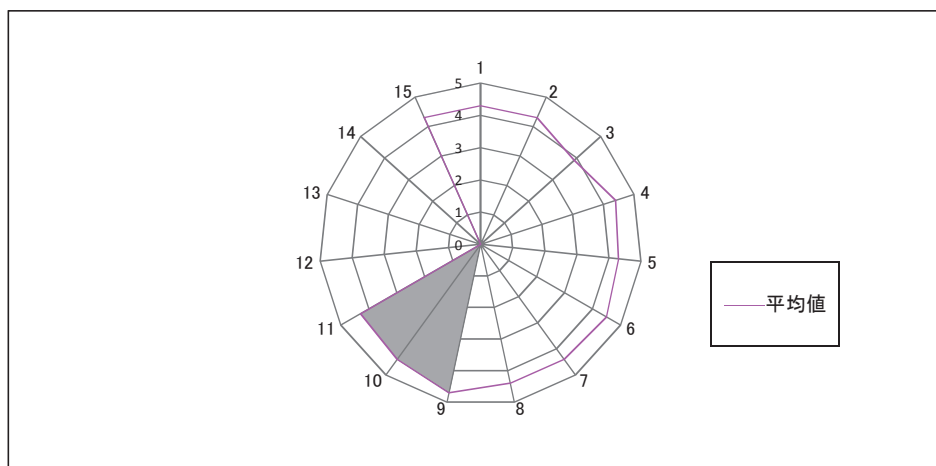
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 総合的な学習の時間の指導法(新課程)  
 評価実施日 令和2年9月21日  
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 62名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	32	19	9	1	1	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	34	15	11	1	1	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	22	12	5	3	0	3.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	36	16	8	0	2	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	28	24	9	0	1	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	36	20	5	0	1	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	36	18	6	0	2	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	35	17	6	2	2	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	46	13	3	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	34	18	8	1	1	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	18	10	3	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	32	21	4	1	4	0	4.3



総合評価 **4.3**

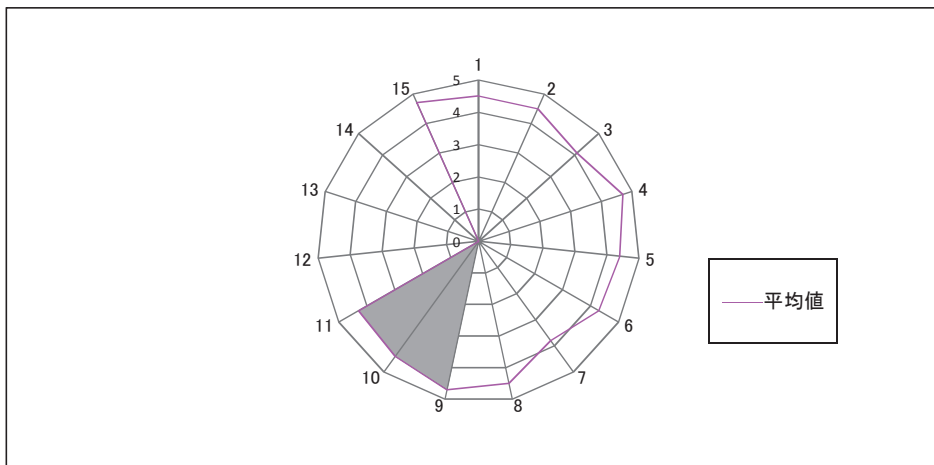
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 初等国語科教育論A  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 70名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	42	19	9	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	38	25	7	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	30	16	21	1	2	0	4.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	46	21	3	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	35	22	13	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	35	19	13	3	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	13	32	2	1	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	40	24	5	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	47	20	3	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	37	23	10	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	32	25	10	3	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	47	20	3	0	0	0	4.7



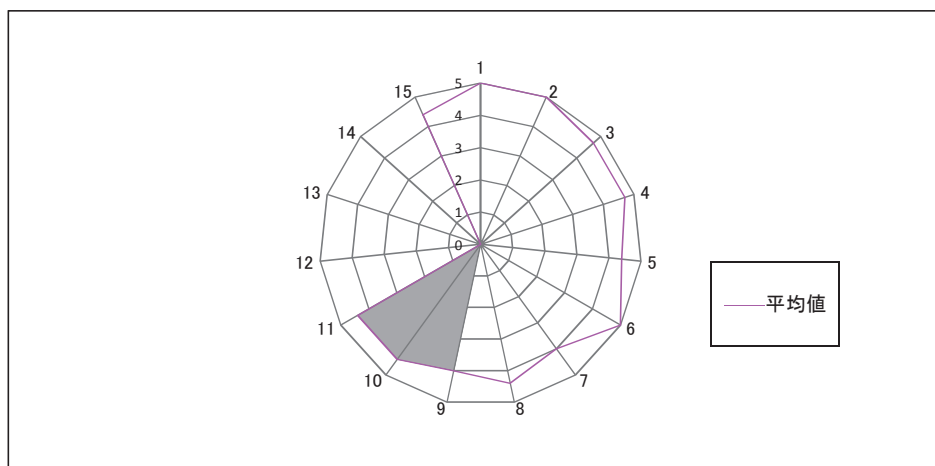
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論B  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	1	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.4

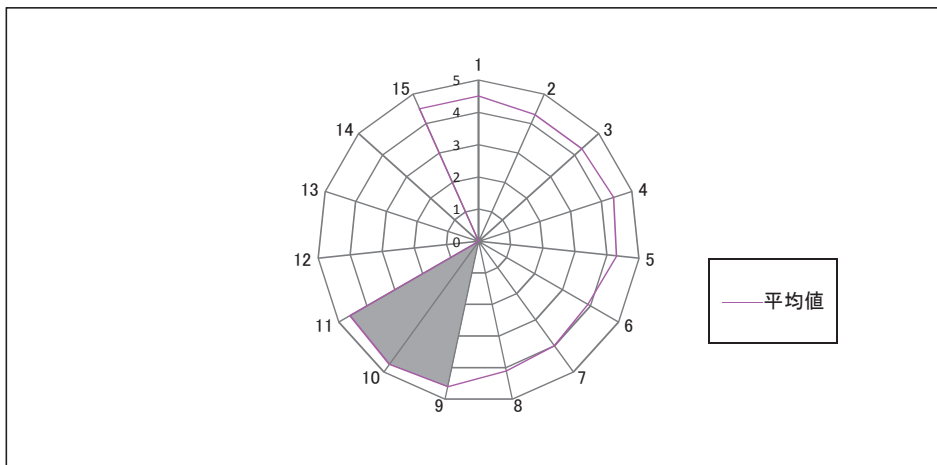


総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科教育論  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 本田 亮, 村田 守, 佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 寺島 幸生 回答者数 24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	10	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	12	1	1	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	8	3	1	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	9	2	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	9	5	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	7	5	2	1	0	3.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	7	7	1	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	7	5	2	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	7	2	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	17	5	2	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	6	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	8	1	1	0	0	4.5



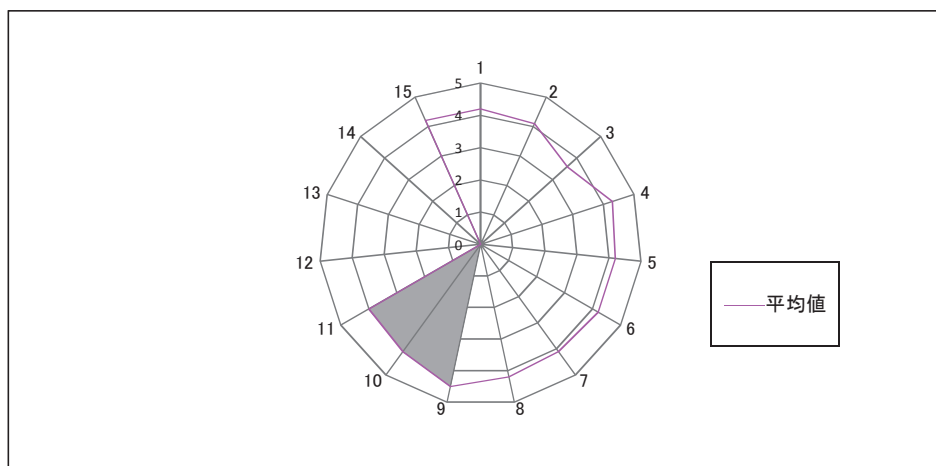
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育科教育論  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 湯口 雅史, 吉本 佐雅子

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



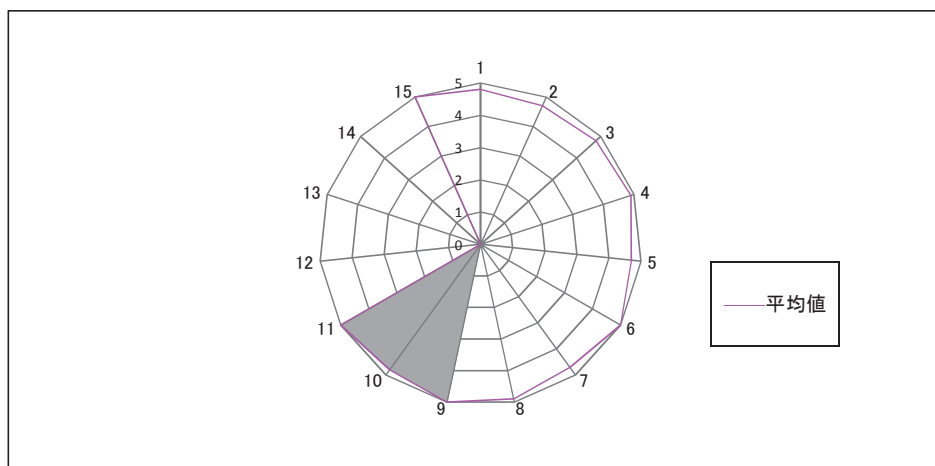
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科教育論  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 原 卓志, 村井 万里子

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



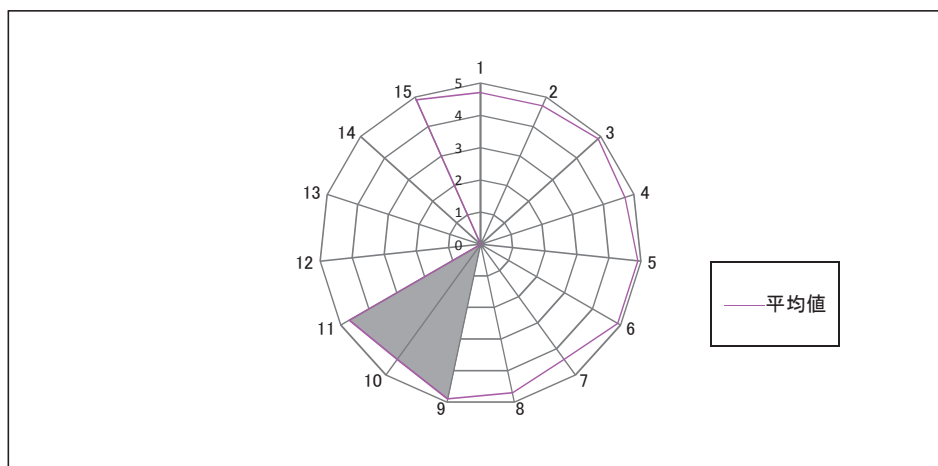
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語科教育特論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



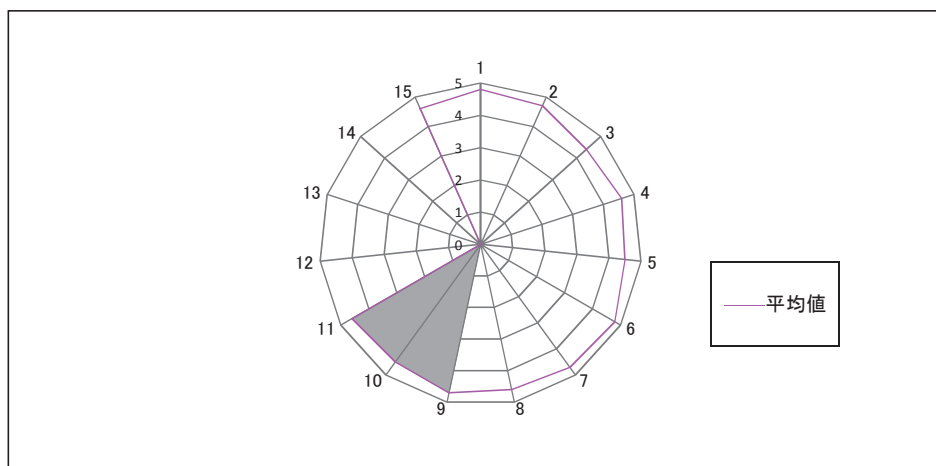
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論 I  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	21	6	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	7	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	5	3	1	1	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	7	0	0	1	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	9	1	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	8	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	9	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	9	0	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	20	6	0	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	16	8	2	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	8	0	1	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	11	1	0	0	0	4.6



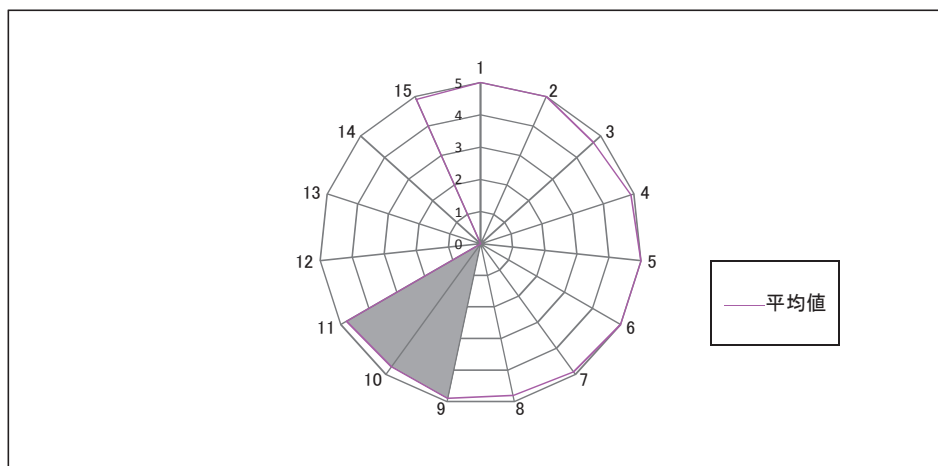
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅲ  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



総合評価	4.9
------	-----

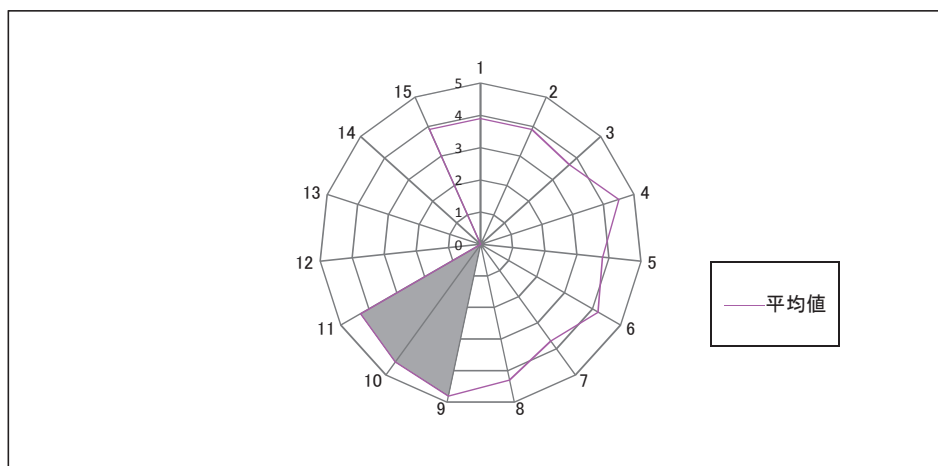
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等社会科授業論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	1	2	0	0	3.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	4	3	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	2	1	1	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	2	2	0	0	3.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	4	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	1	1	2	0	0	3.9



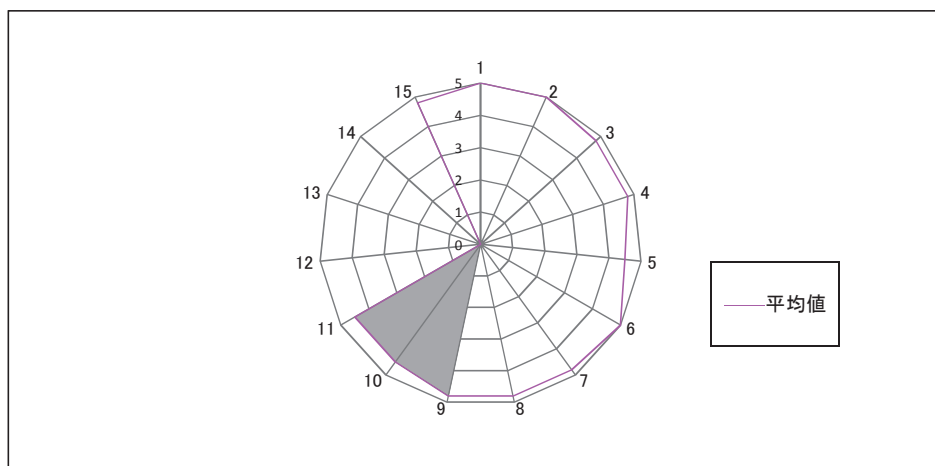
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理歴史科教育論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



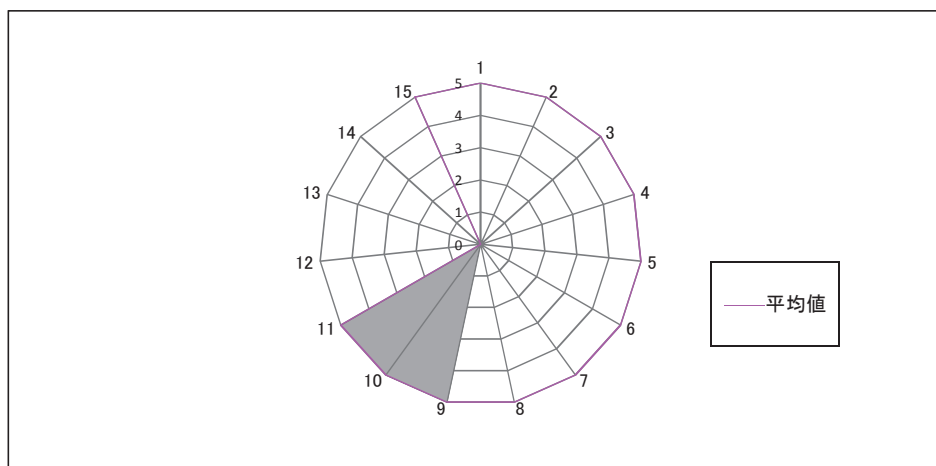
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会科・地理歴史科教材論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 1名

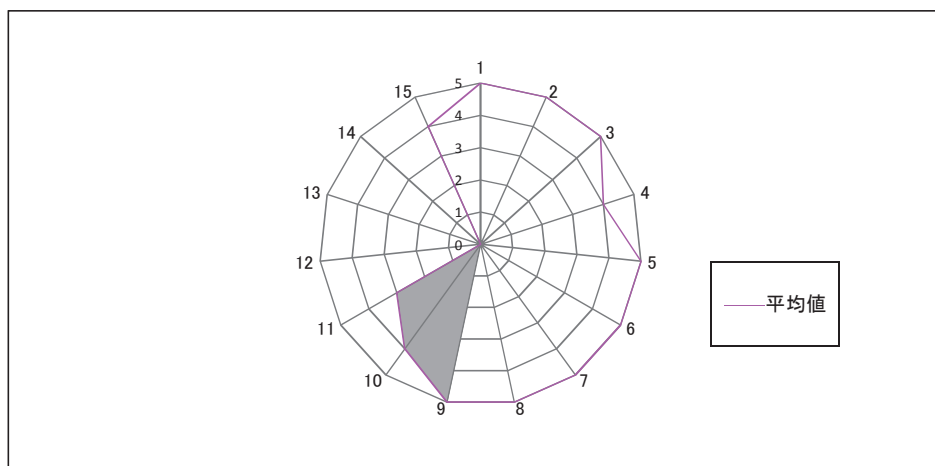
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 公民科教育論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



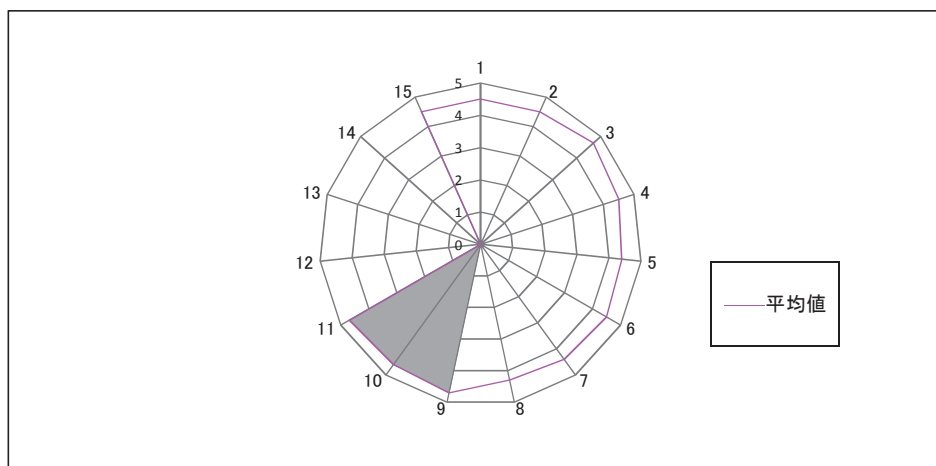
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教材論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	6	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	9	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	5	1	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	6	2	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	7	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	7	0	0	1	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	7	3	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	5	5	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	7	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	7	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	7	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	9	1	0	0	0	4.5



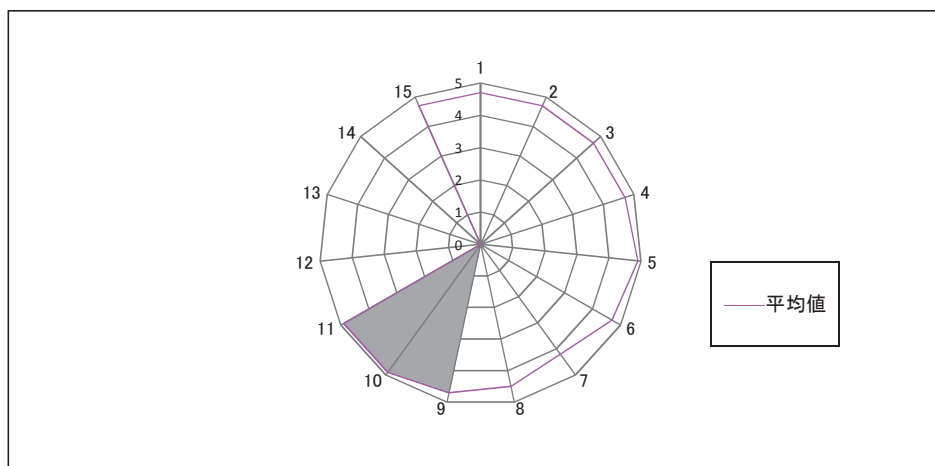
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科授業論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 鉄口 真理子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



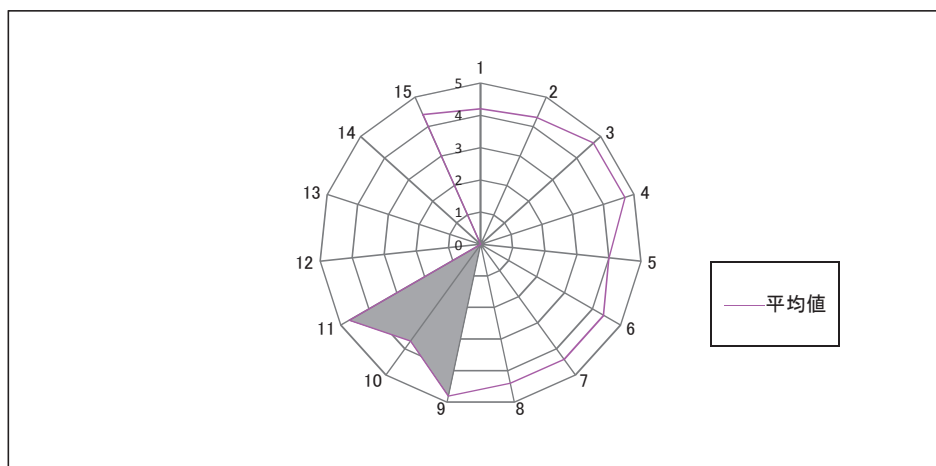
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育論  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



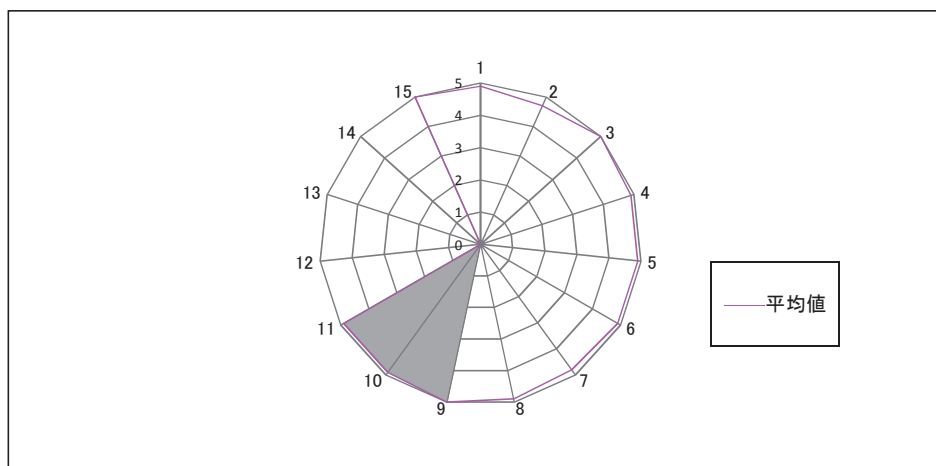
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教育論  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	2	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

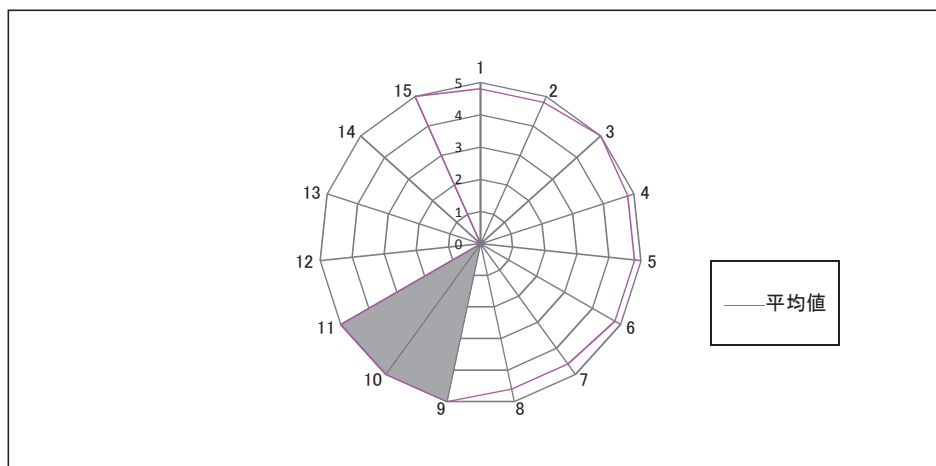
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等家庭科教材論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 西川 和孝, 金 貞均, 坂本 有芳

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

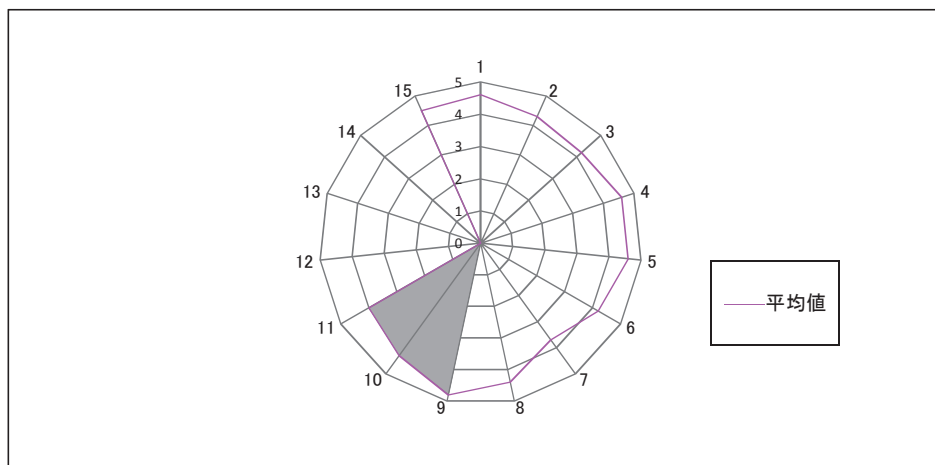
授業科目名 教育心理学(発達心理を含む)(新課程)

評価実施日 令和3年2月4日

担当教員名 皆川 直凡, 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 高原 光恵, 小倉 正義, 内田 香奈子

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						3.7
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.5



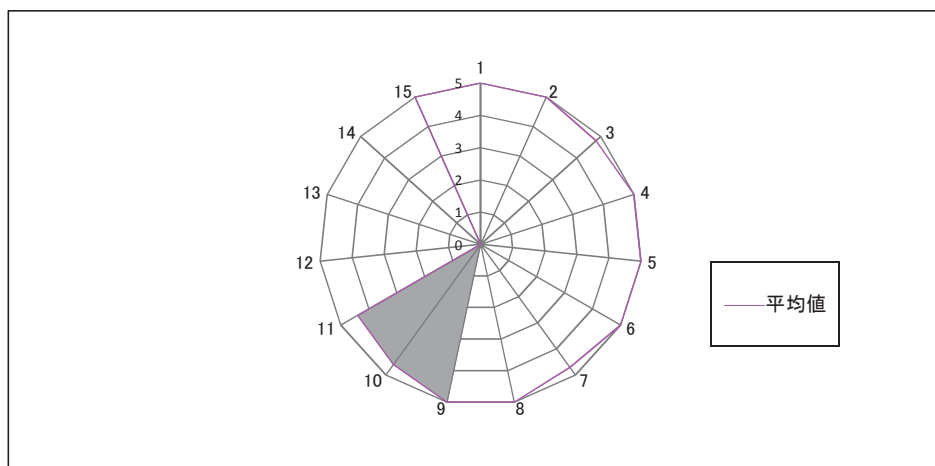
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 保育内容(環境)  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	2	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	1	1	1	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	3	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	0	0	0	0	0	5.0



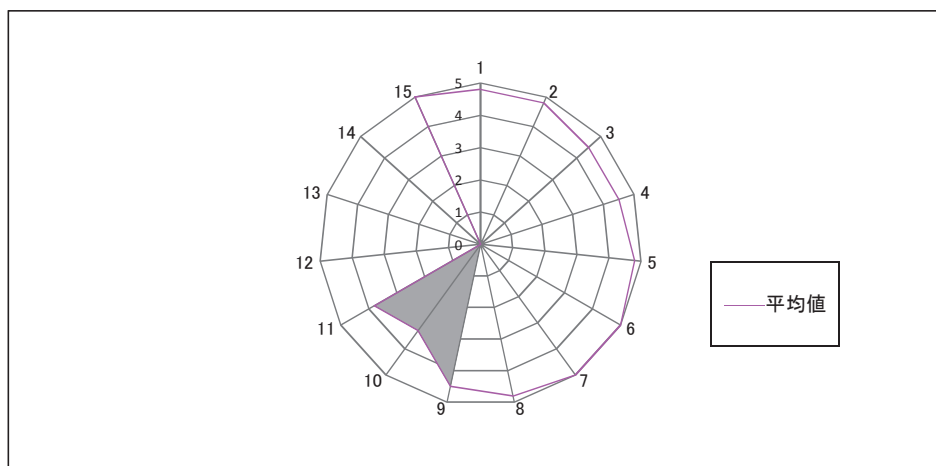
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 発達障害教育論(旧課程)A  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 濱田 健二

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	1	0	1	0	3.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



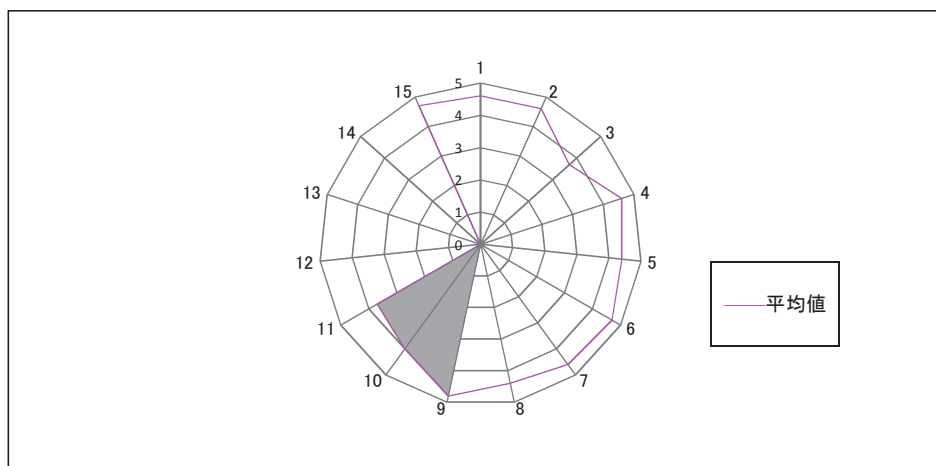
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別支援教育概論(新課程)A  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 濱田 健二

回答者数 82名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	50	29	2	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	52	25	3	2	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	22	29	18	8	5	0	3.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	47	32	2	1	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	42	24	15	1	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	59	19	1	3	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	50	26	5	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	43	32	3	3	1	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	63	18	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	27	33	17	3	2	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	25	19	28	8	2	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	54	24	4	0	0	0	4.7



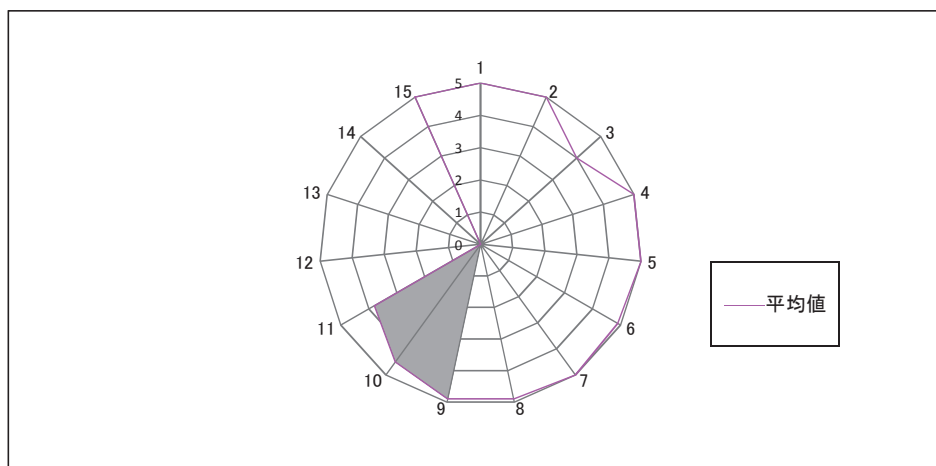
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別支援教育概論(新課程)B  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 濱田 健二

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	3	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	3	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



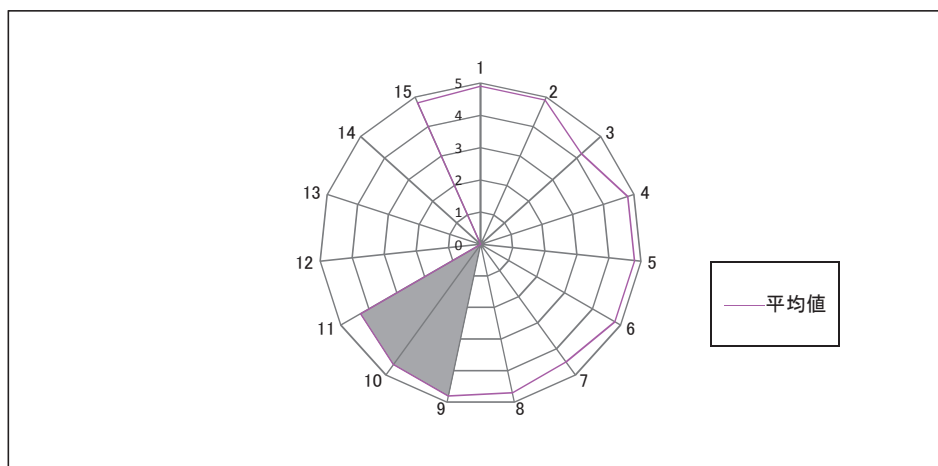
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論A  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 37名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	30	7	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	7	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	11	8	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	28	9	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	29	7	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	29	7	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	10	4	1	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	11	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	30	6	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	22	13	1	1	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	10	6	2	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	29	8	0	0	0	0	4.8



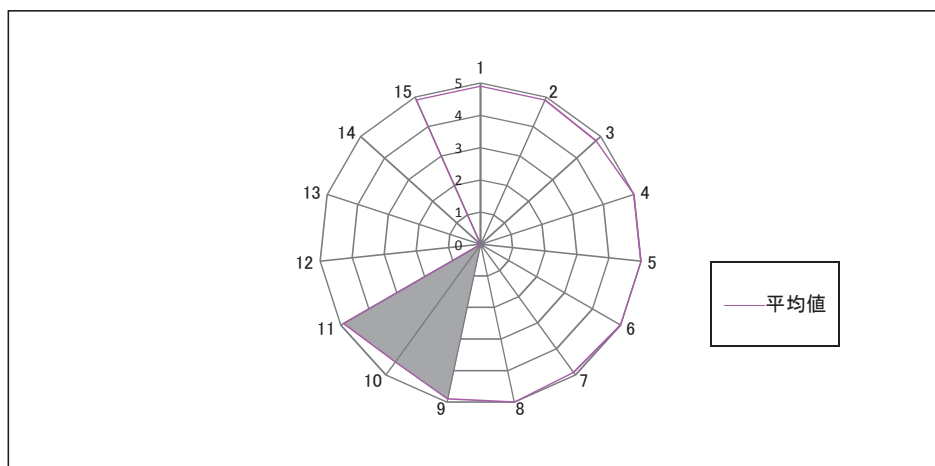
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論B  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 坂田 大輔

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について （コア科目以外の場合は(15)へ）	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



総合評価 4.9

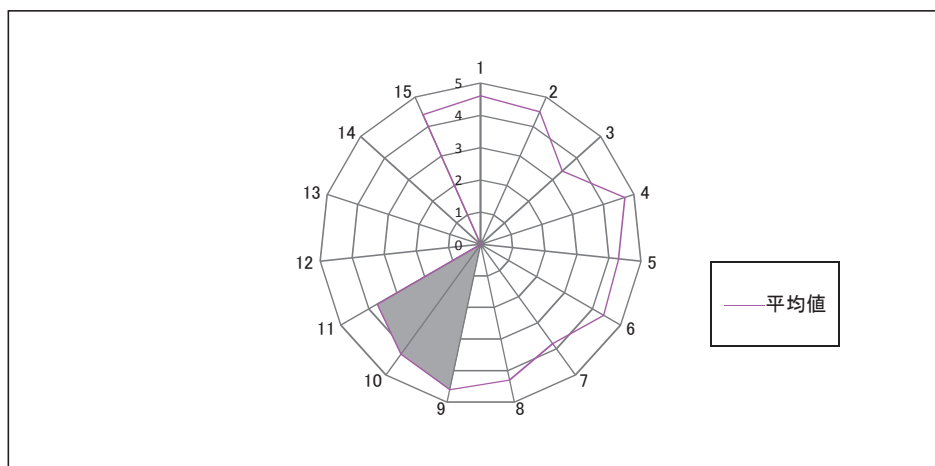
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 算数科教育論A  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 27名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	7	2	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	10	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	9	2	4	0	3.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	18	9	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	9	4	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	13	2	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	8	10	1	1	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	13	4	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	13	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	18	3	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	11	6	3	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	12	1	1	0	0	4.4



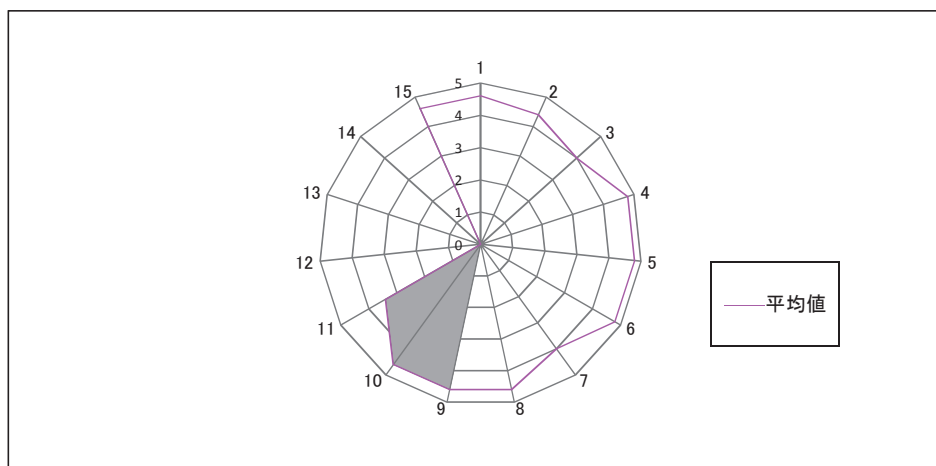
総合評価	4.3
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論B  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	4	0	0	1	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	0	4.6



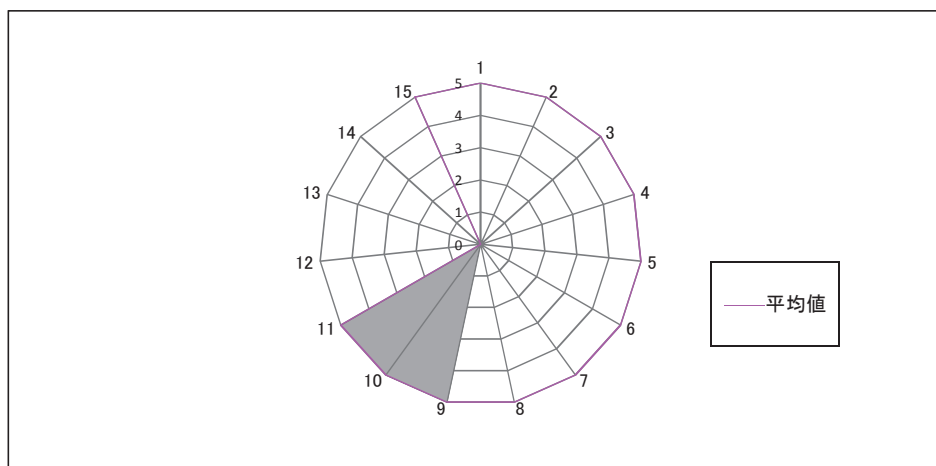
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活科教育論  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 金野 誠志

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



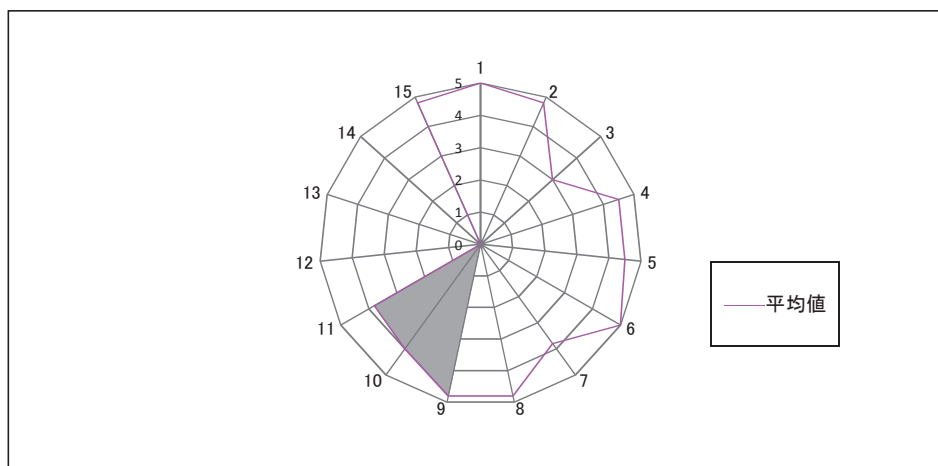
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論A  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						3.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



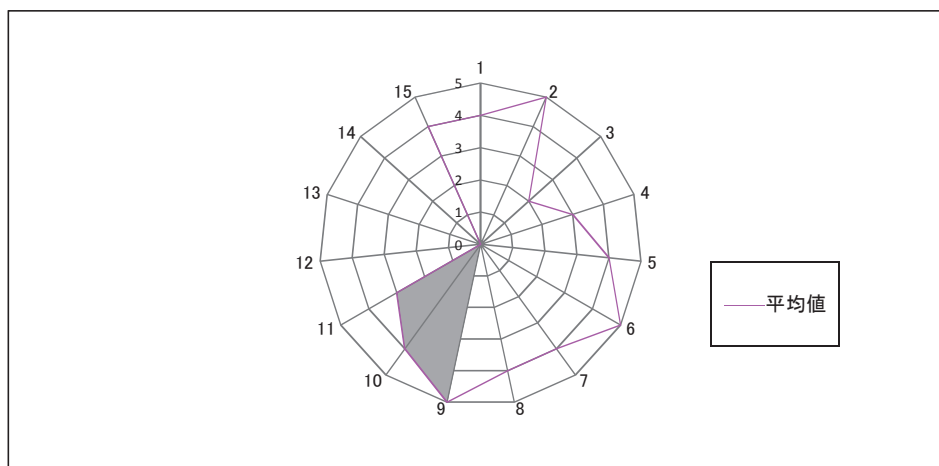
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論B  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	1	0	0	2.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



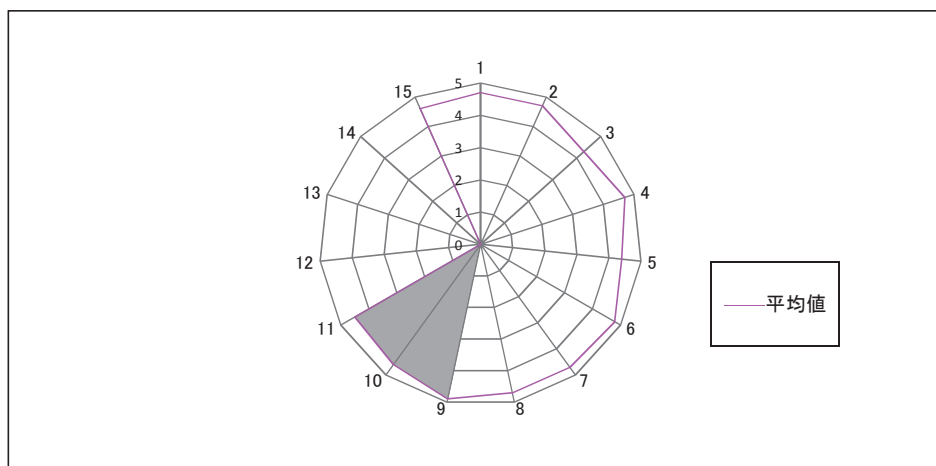
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作科教育論A  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	4	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	5	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	4	2	1	1	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	3	0	1	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	6	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	1	1	1	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	6	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	9	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	5	1	1	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	6	0	1	0	0	4.6



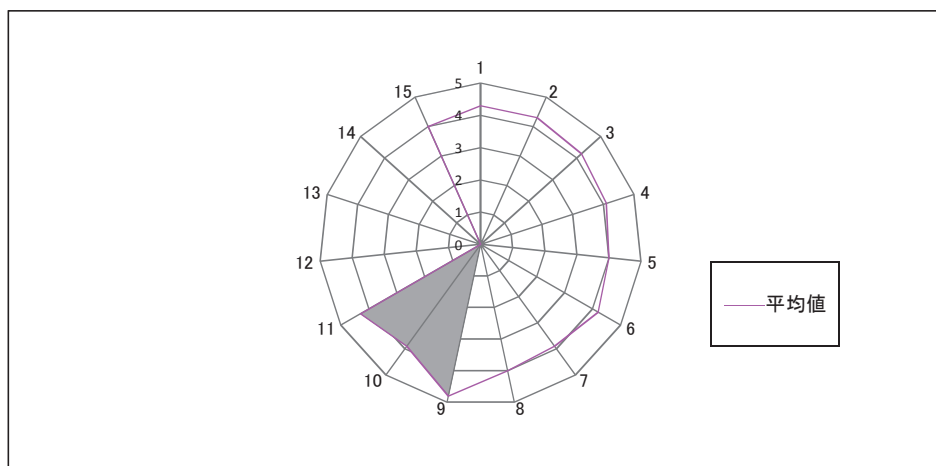
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作科教育論B  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	10	3	1	1	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	10	3	2	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	12	4	1	1	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	12	3	2	1	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	9	6	1	2	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	12	2	2	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	13	7	2	1	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	12	4	2	2	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	23	8	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	8	9	2	1	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	14	3	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	8	5	4	1	0	4.0



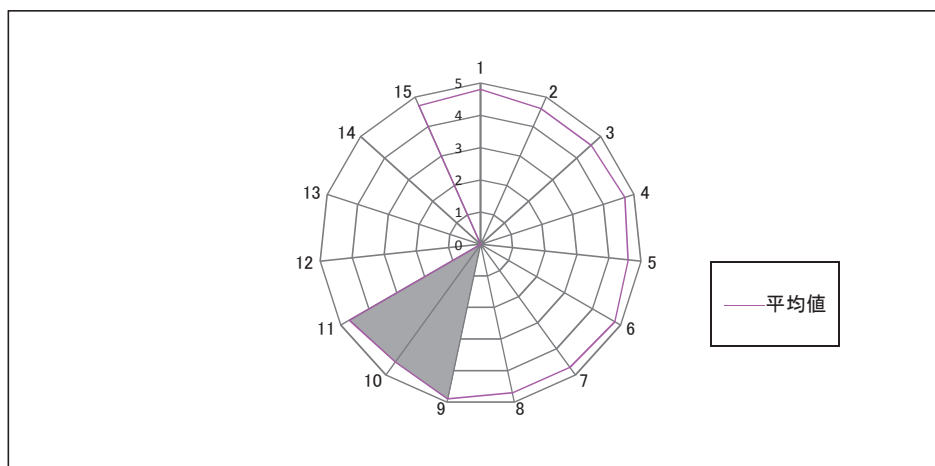
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭科教育論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子

回答者数 68名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	52	14	1	1	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	48	15	2	3	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	45	17	5	1	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	49	16	2	1	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	44	17	6	1	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	55	12	0	1	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	50	15	2	1	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	50	16	1	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	59	9	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	40	22	5	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	45	19	4	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	49	16	3	0	0	0	4.7



総合評価 4.7

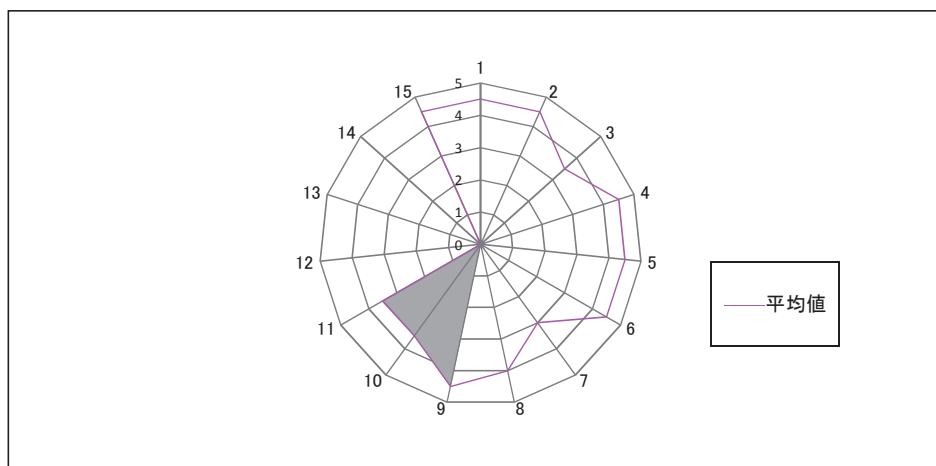
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 道徳教育指導論  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 池田 誠喜

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	1	0	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



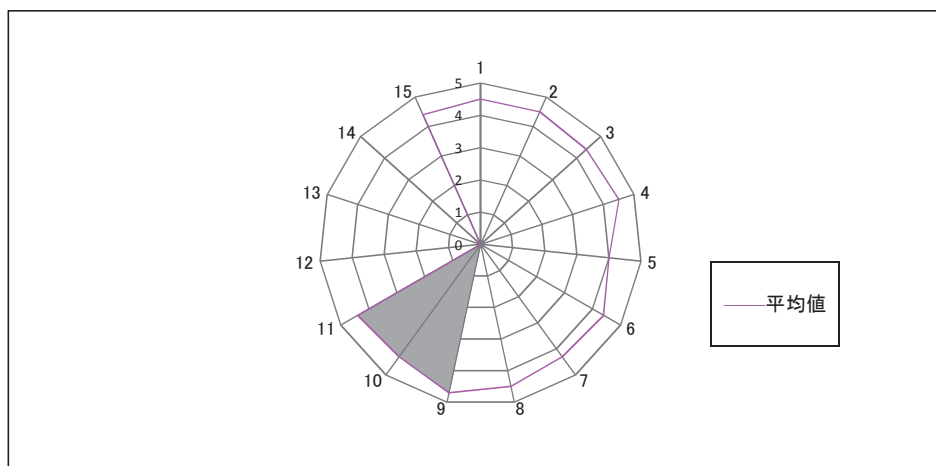
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育工学(旧課程)  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 川上 綾子, 藤原 伸彦, 江川 克弘

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



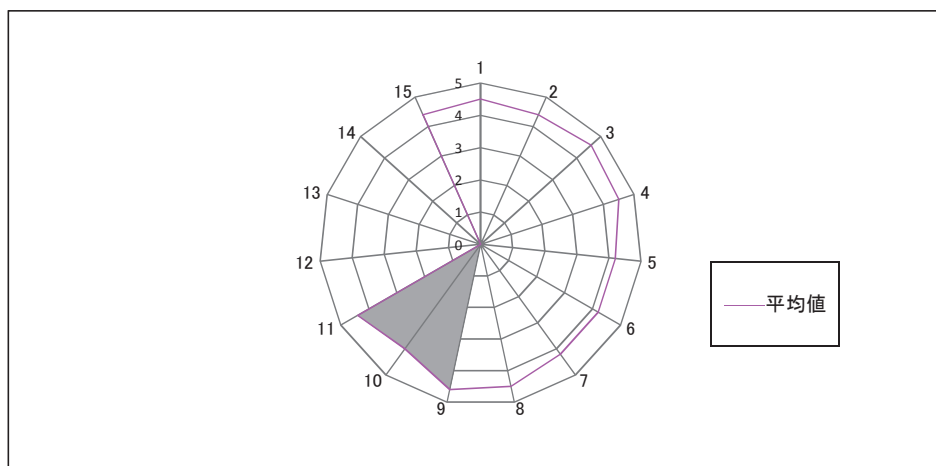
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育工学(新課程)  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 川上 綾子, 藤原 伸彦, 江川 克弘

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	8	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	8	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	5	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	2	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	7	3	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	3	1	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	1	2	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	5	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	5	1	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	6	0	1	0	0	4.4



総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生徒指導論(進路指導を含む。)(新課程)

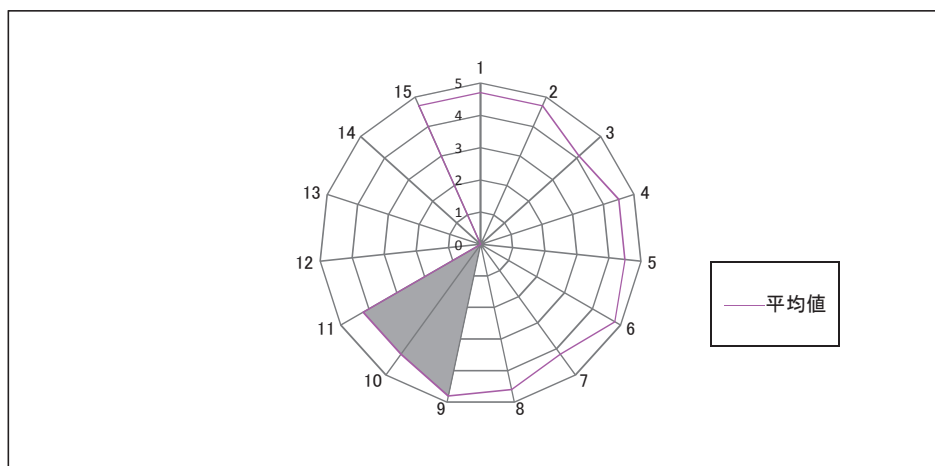
評価実施日 令和3年2月9日

担当教員名 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 池田 誠喜

回答者数

93名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	61	29	1	2	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	62	27	3	1	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	44	24	15	8	2	0	4.1
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	57	27	7	2	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	53	33	6	1	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	71	19	2	0	1	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	44	29	14	6	0	0	4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	58	30	3	1	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	70	22	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	42	32	11	7	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	41	31	14	5	2	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	64	26	2	1	0	0	4.7



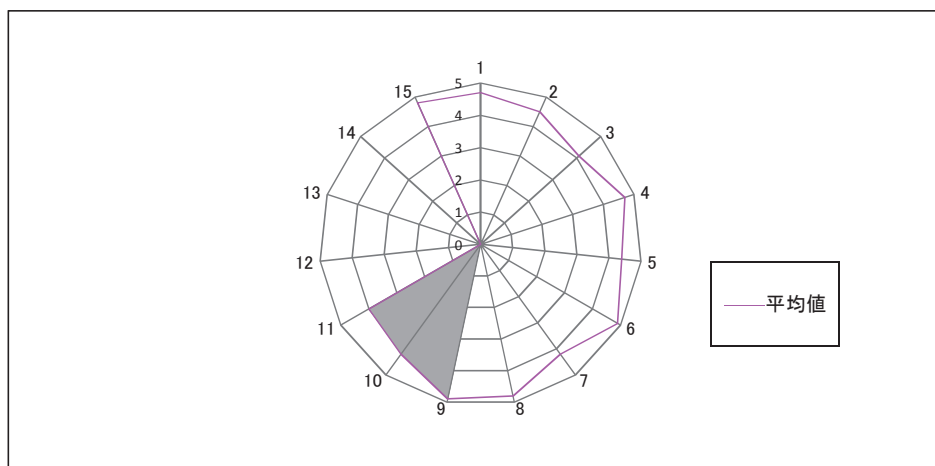
総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 いじめ防止論(新課程)  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 池田 誠喜

回答者数 26名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	17	8	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	10	1	1	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	7	7	0	1	0	4.1
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	17	8	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	14	7	5	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	21	5	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	14	4	6	2	0	0	4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	20	5	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	23	2	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	12	9	3	2	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	11	7	4	3	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	20	6	0	0	0	0	4.8



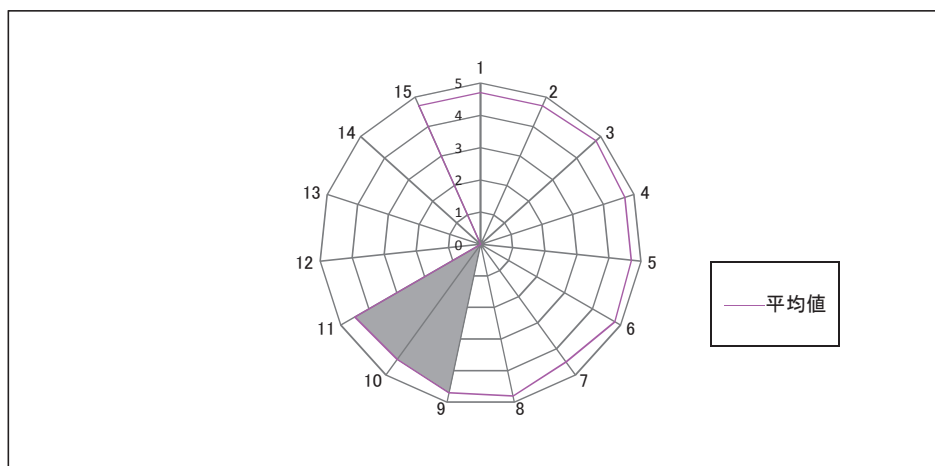
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 中等国語科教材論  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	4	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	1	0	1	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	3	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	12	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	2	1	0	1	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	2	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	5	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	5	1	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	4	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	3	1	0	0	0	4.7



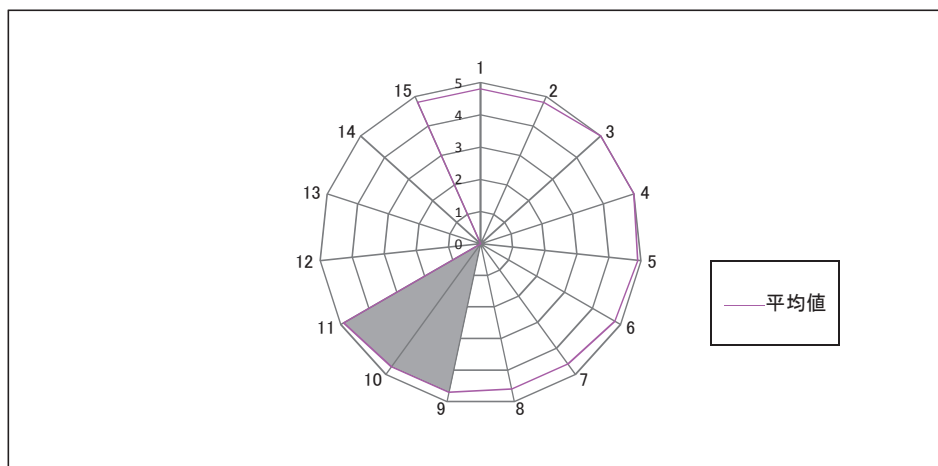
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科授業論  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	1	0	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



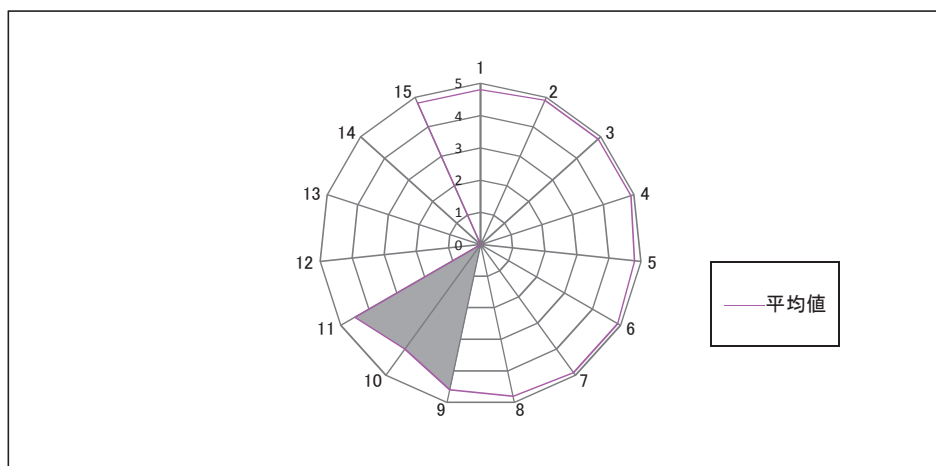
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅳ  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 山森 直人

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	0	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	4	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.9**

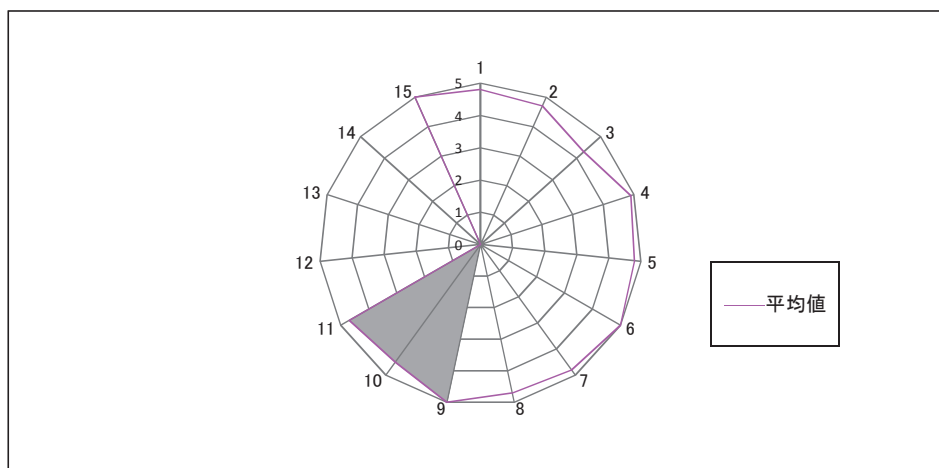
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 中等社会科教育論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



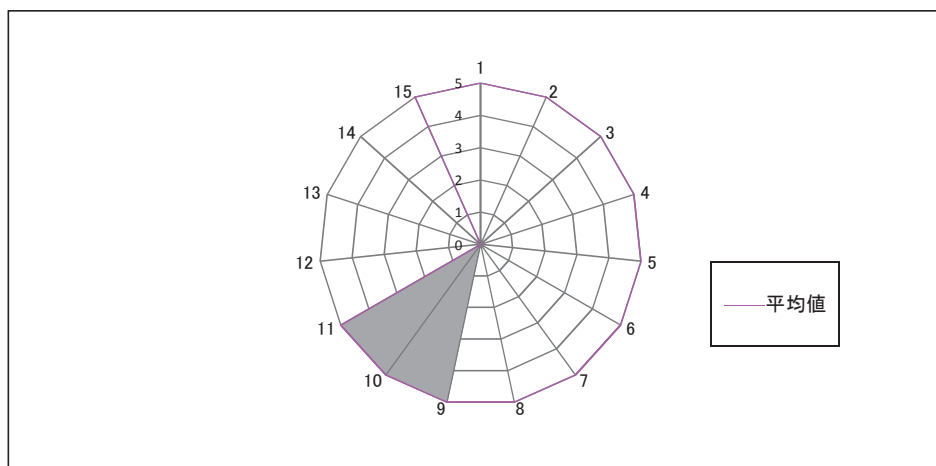
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名           社会科・公民科教材論            
 評価実施日           令和3年2月9日            
 担当教員名           井上 奈穂          

回答者数           1名          

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



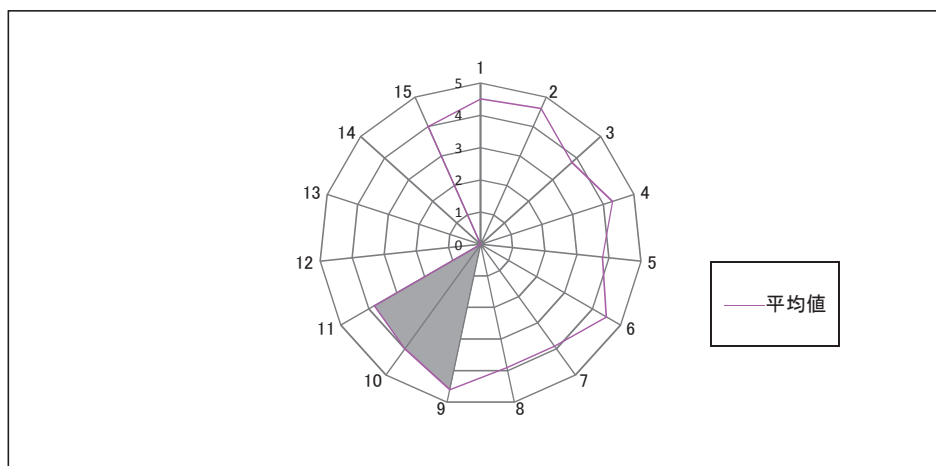
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育論  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 早田 透

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	0	1	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	1	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	2	0	1	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	2	0	1	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	1	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	2	0	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	1	0	1	0	4.0



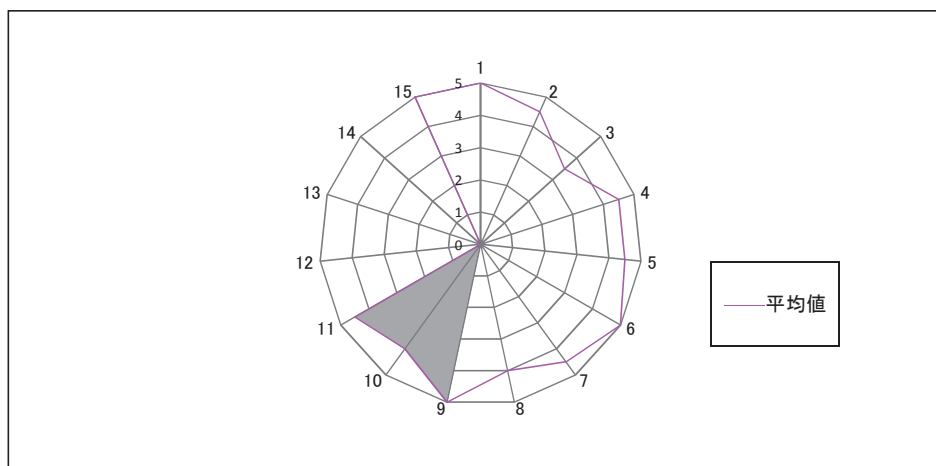
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科教育論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 川内 由子

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



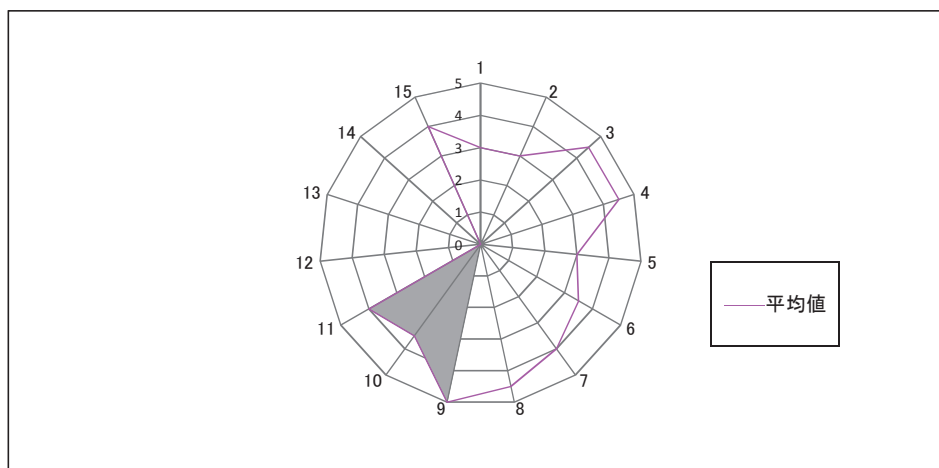
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科授業論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	2	0	0	0	3.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	2	0	0	0	3.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	2	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	1	0	0	0	4.0



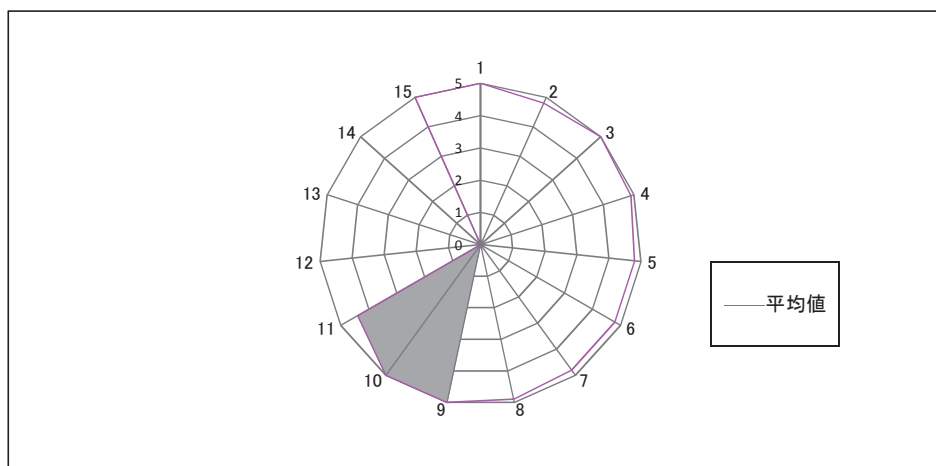
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育特論(新課程)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



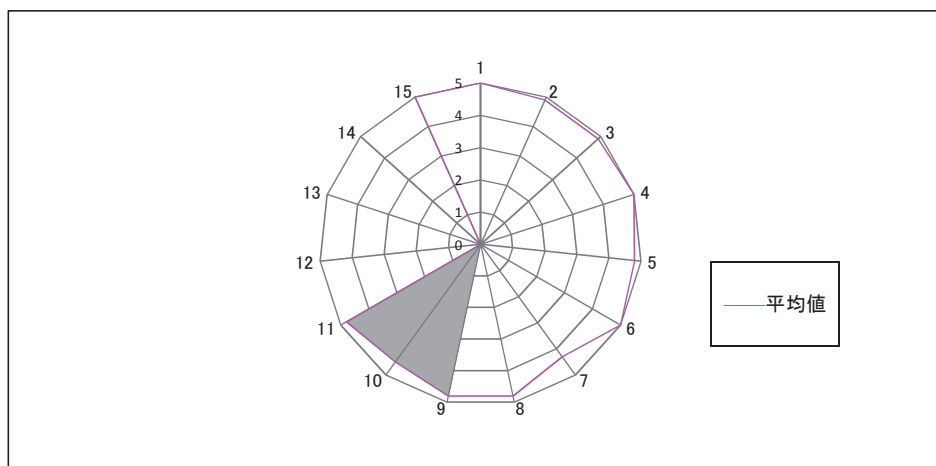
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 湯口 雅史

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	2	0	1	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	2	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	3	2	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	1	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	0	0	0	0	0	5.0



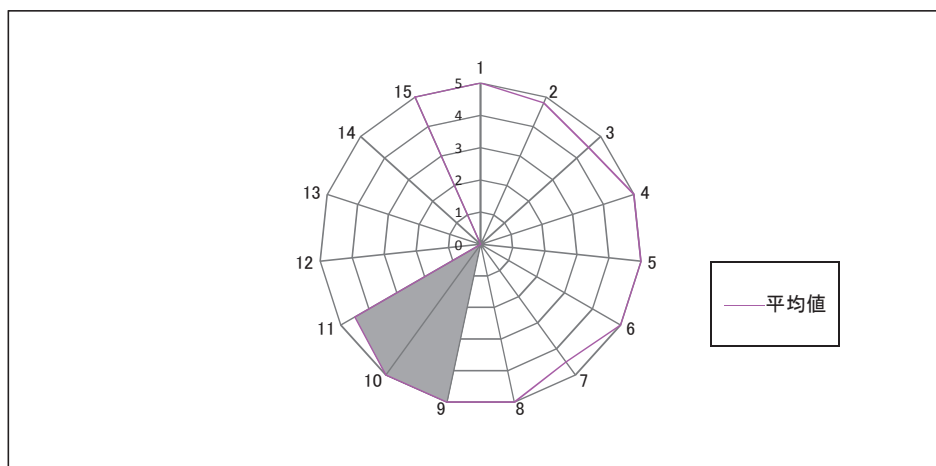
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅲ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 南 隆尚

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

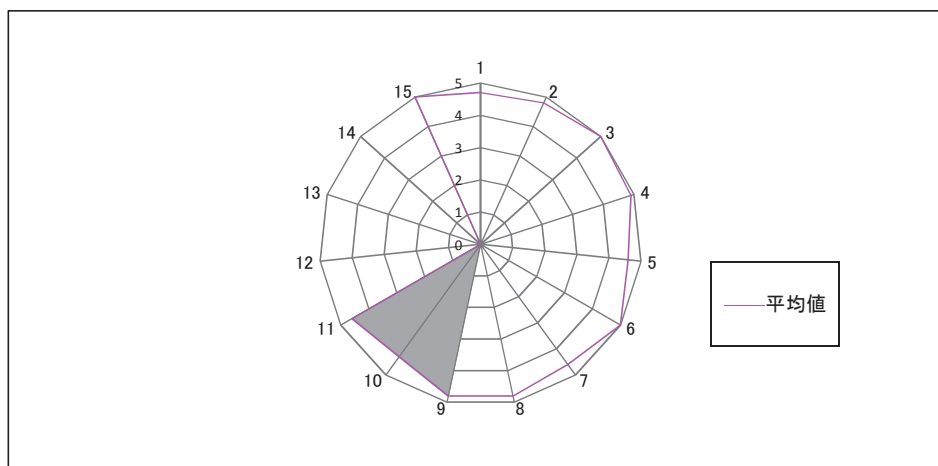
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 情報科教育論Ⅱ  
 評価実施日 令和2年12月25日  
 担当教員名 森山 潤

回答者数 21名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	4	0	1	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	2	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	18	3	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	14	5	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	2	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	3	2	1	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	6	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	17	3	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	7	3	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	6	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	2	0	0	0	0	5.0



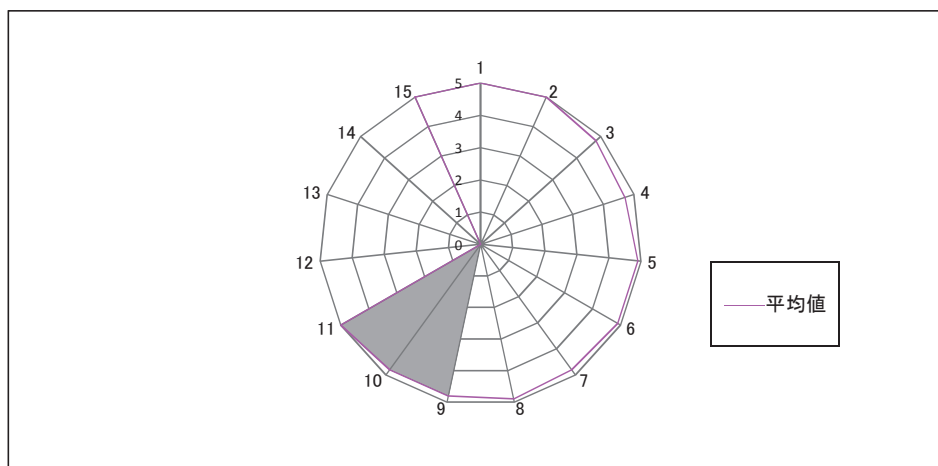
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科授業論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	3	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	1	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

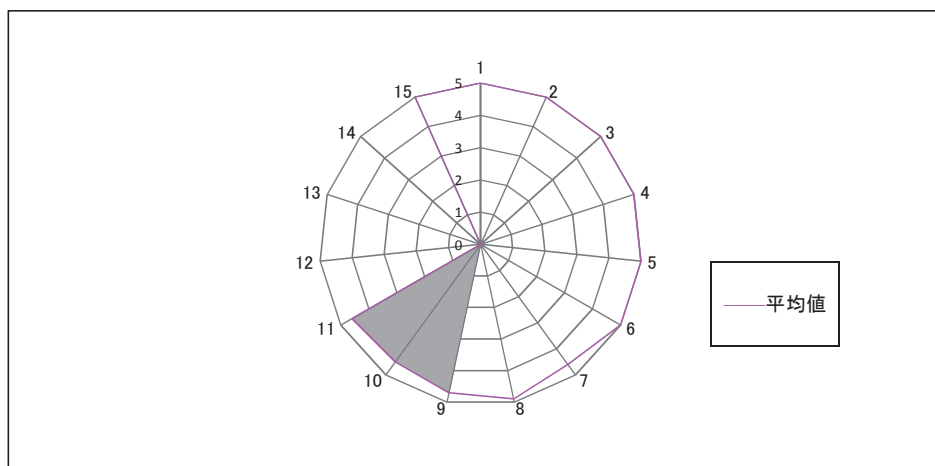
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(国語)

評価実施日 令和3年2月7日

担当教員名 幾田 伸司, 村井 万里子

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

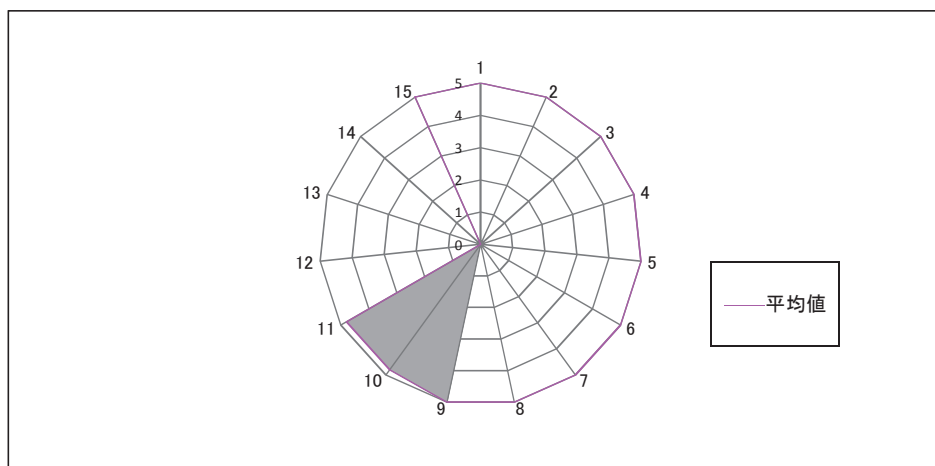
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(英語)

評価実施日 令和3年2月17日

担当教員名 佐藤 美智子, 眞野 美穂

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	5.0
------	-----

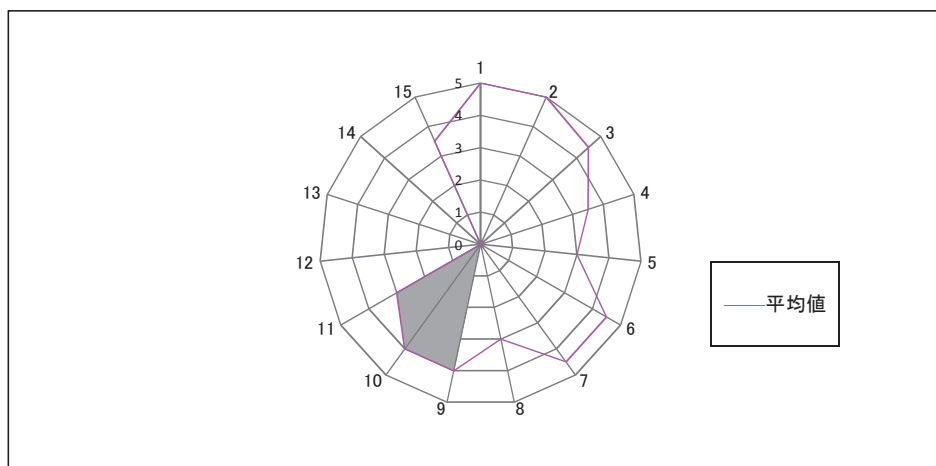
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(音楽)

評価実施日 令和3年1月6日

担当教員名 山田 啓明, 森 正, 頃安 利秀, 山根 秀憲, 鉄口 真理子 回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	2	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	1	0	1	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	1	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	1	0	0	3.5



総合評価	4.1
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

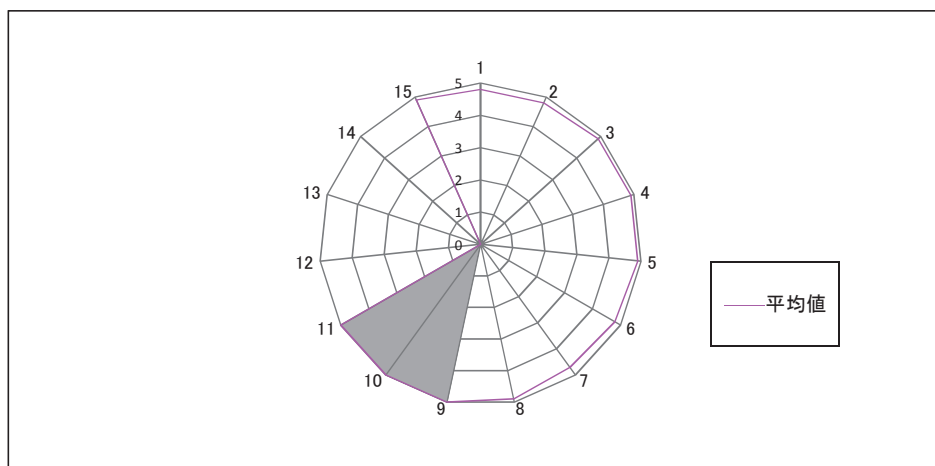
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(家庭)

評価実施日 令和3年2月17日

担当教員名 金 貞均, 西川 和孝

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	8	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



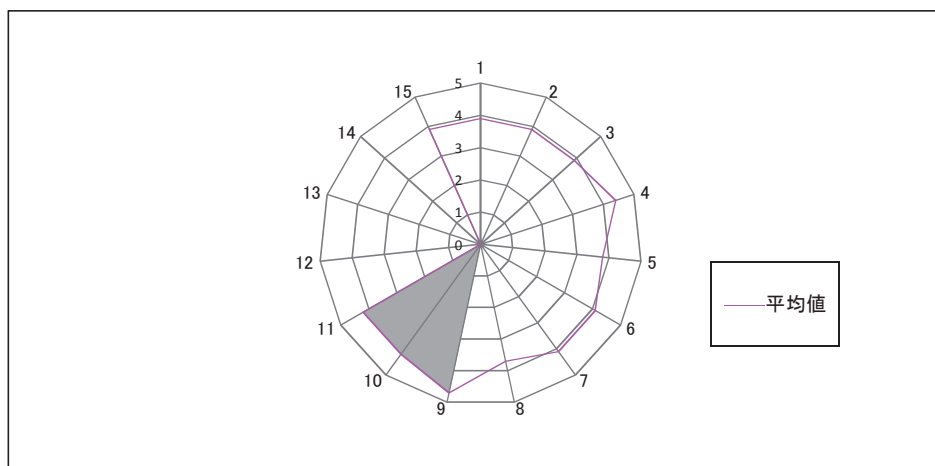
# 專 修 專 門 科 目



授業科目名 学校制度と教育法規(旧課程)  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 石村 雅雄, 大林 正史, 内田 沙希

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	4	2	1	0	0	3.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	2	1	0	0	3.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	4	2	1	0	0	3.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	5	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	5	2	0	0	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	3	3	0	0	0	4.1
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	3	2	2	0	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	6	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	5	0	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	4	2	1	0	0	3.9



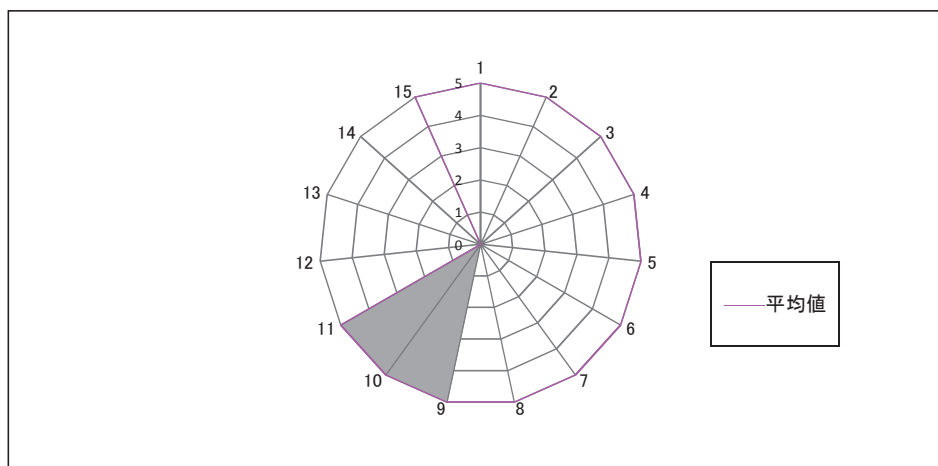
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校の組織と集団(旧課程)  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 芝山 明義, 久我 直人

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



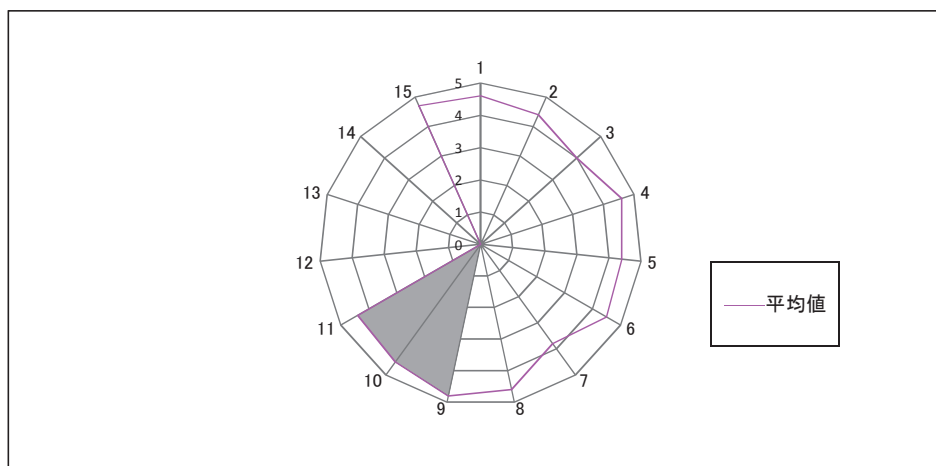
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等社会  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 伊藤 直之

回答者数 53名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						3.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.7



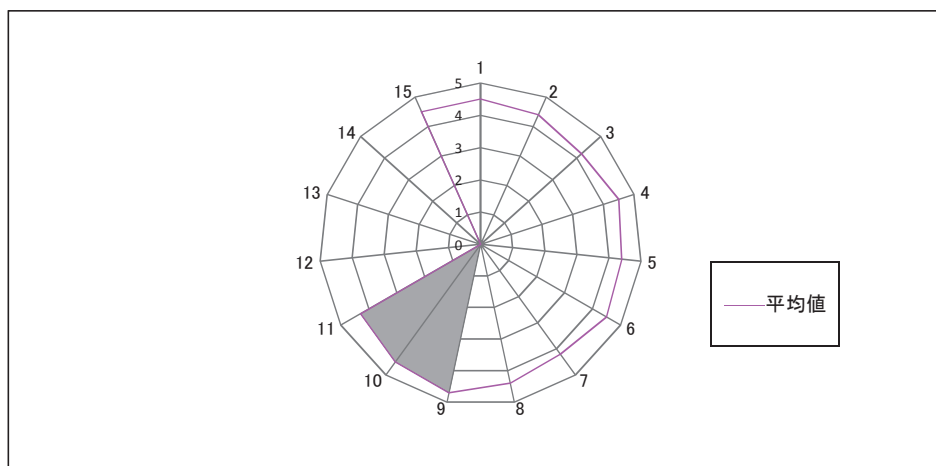
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数A  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 63名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	37	22	2	2	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	35	20	6	2	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	25	26	8	3	1	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	37	21	3	2	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	30	25	5	3	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	33	27	1	2	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	28	24	7	3	1	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	31	25	5	2	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	43	18	0	2	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	38	21	1	3	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	30	25	5	2	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	36	23	2	2	0	0	4.5



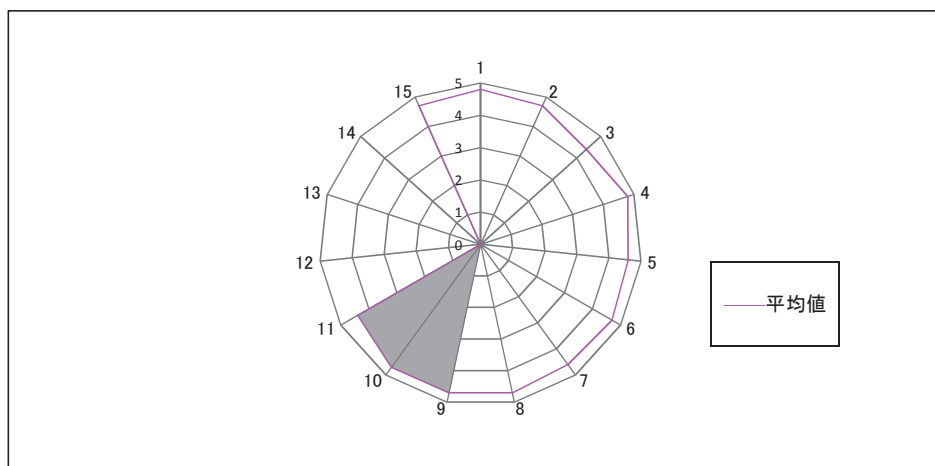
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数B  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	5	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	6	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	4	3	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	5	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	7	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	6	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	2	3	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	6	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	7	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	7	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	5	2	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	6	0	0	0	0	4.7



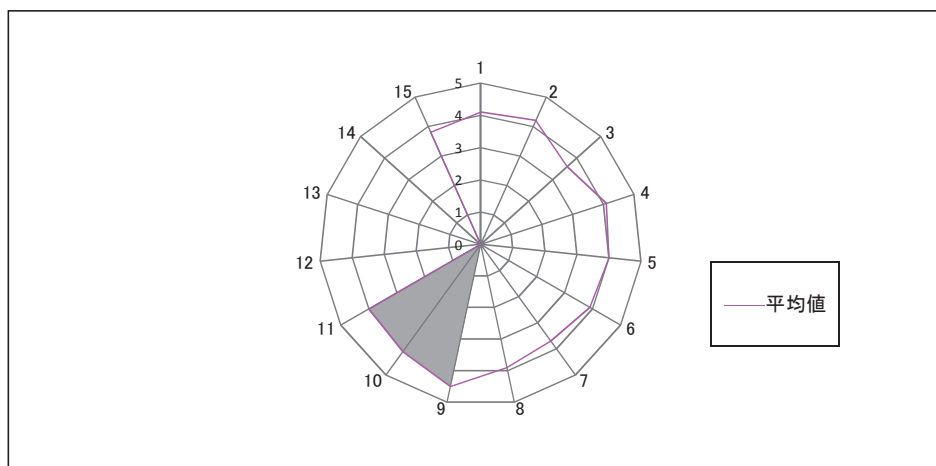
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活B  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 104名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	46	30	15	11	2	0	4.1
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	44	35	17	8	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	31	25	25	12	11	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	43	31	20	8	2	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	43	27	24	9	1	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	40	30	18	10	6	0	3.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	33	31	24	7	9	0	3.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	38	32	16	13	5	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	64	29	7	3	1	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	43	33	19	7	2	0	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	42	31	17	9	5	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	41	26	18	13	6	0	3.8



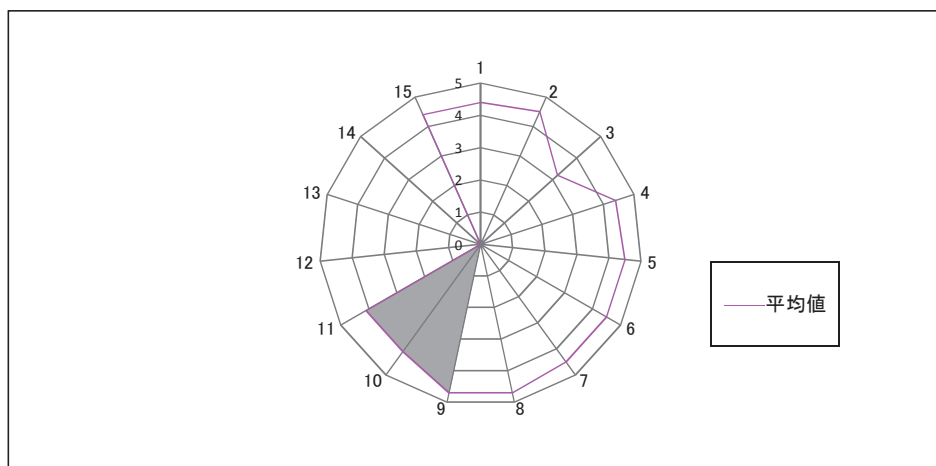
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活A  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	1	1	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	4	0	1	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	4	3	1	0	3.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	2	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	5	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	2	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	5	3	0	0	0	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	6	1	1	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	3	0	0	0	4.4



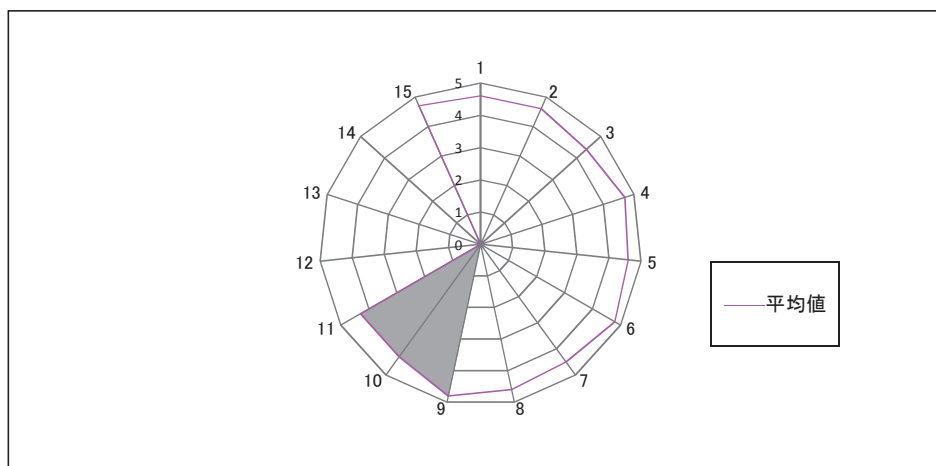
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I A  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 49名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 **4.6**

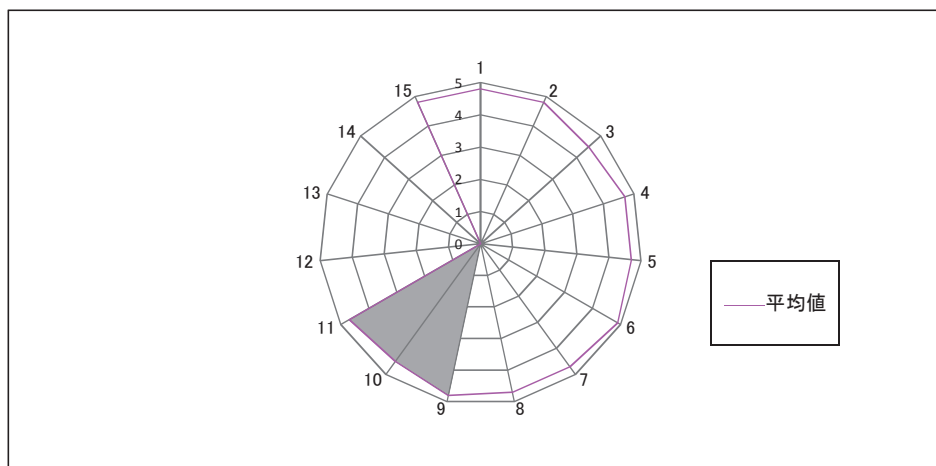
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 図画工作 I B  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 内藤 隆, 井上 史朗

回答者数 40名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	33	6	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	7	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	28	6	4	2	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	30	7	3	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	30	8	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	34	5	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	29	8	3	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	29	8	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	33	5	2	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	24	10	5	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	28	9	3	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	35	2	3	0	0	0	4.8



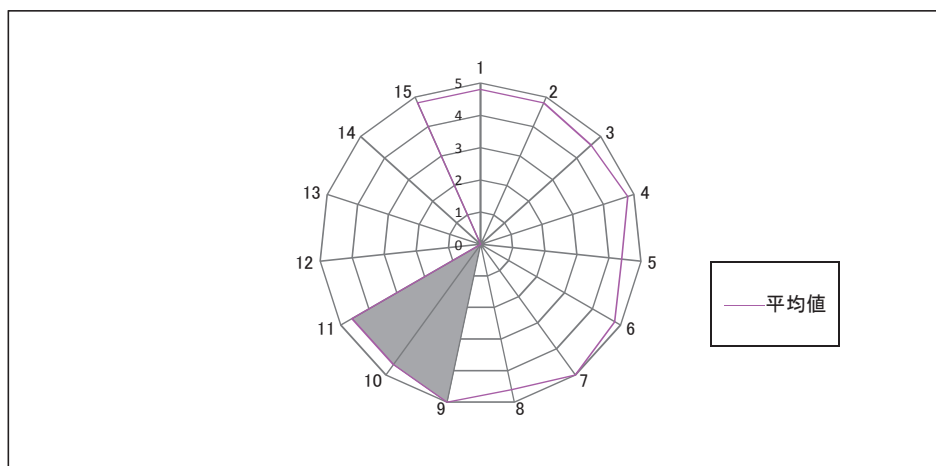
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I D  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 白石 謙二

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8

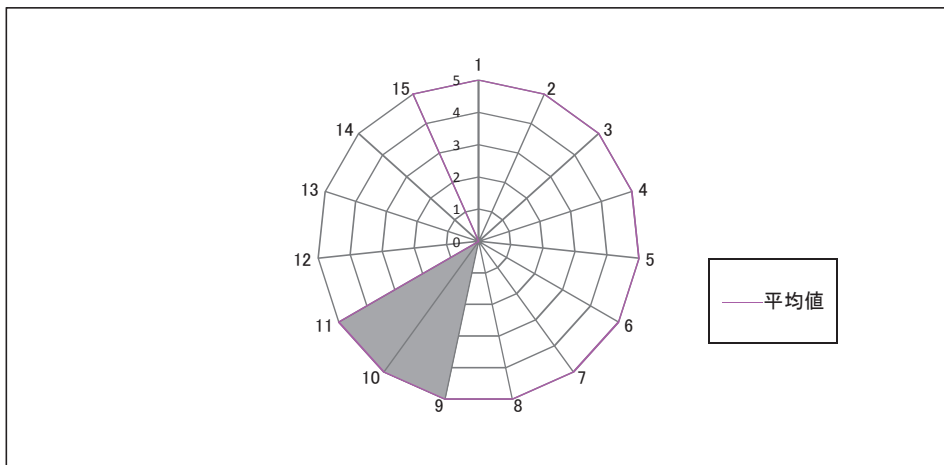


総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 坂本 有芳, 福井 典代, 金 貞均, 西川 和孝, 黒川 衣代 回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



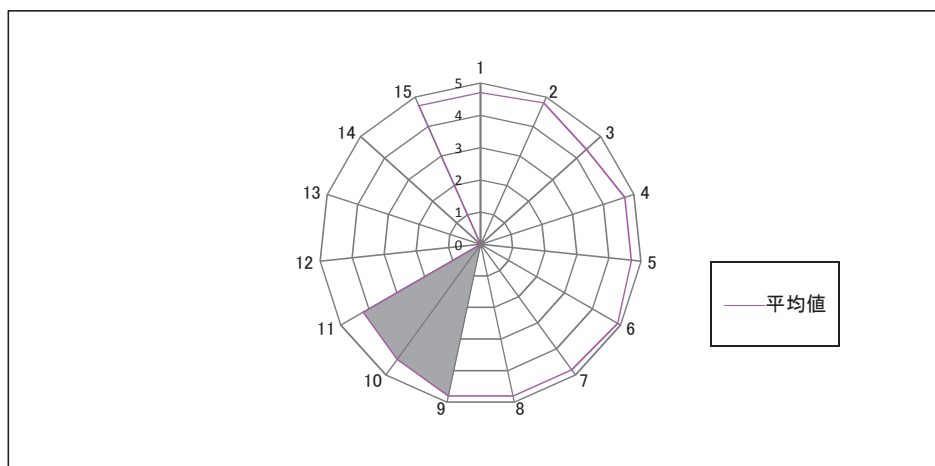
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等英語(新課程)  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 藪下 克彦, 眞野 美穂, 佐藤 美智子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



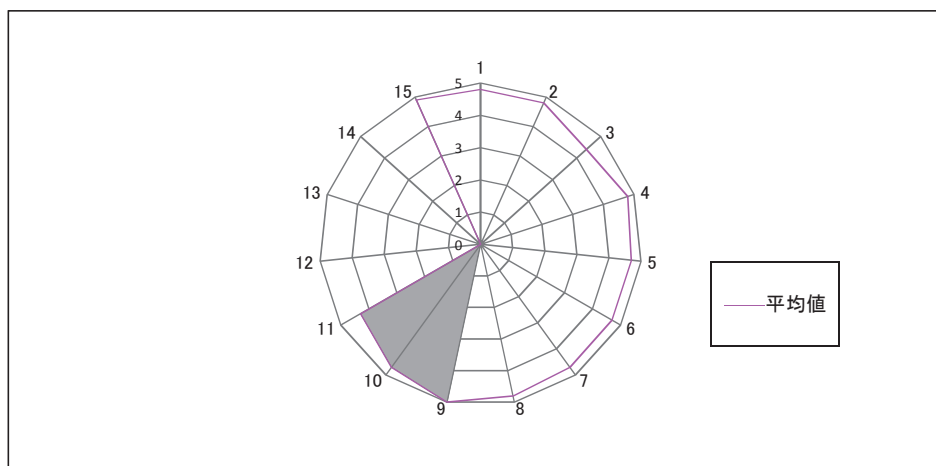
総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 社会福祉論  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	4	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



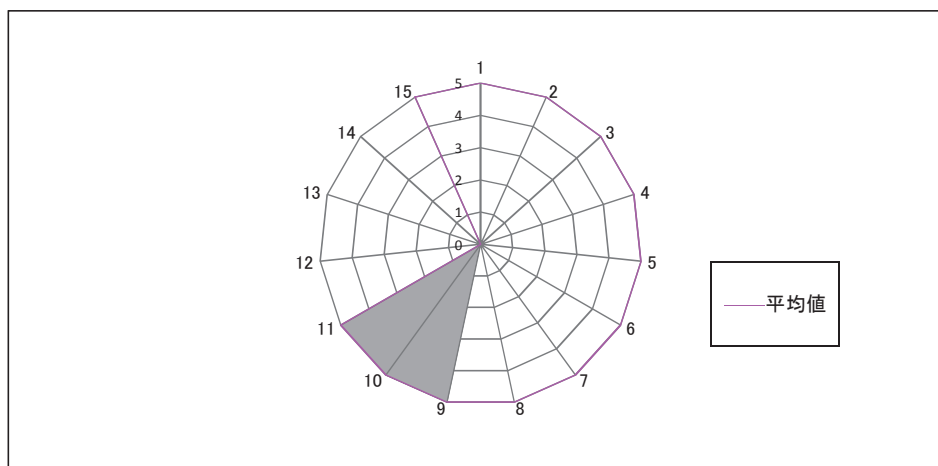
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児と言葉(新課程)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 田村 隆宏

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



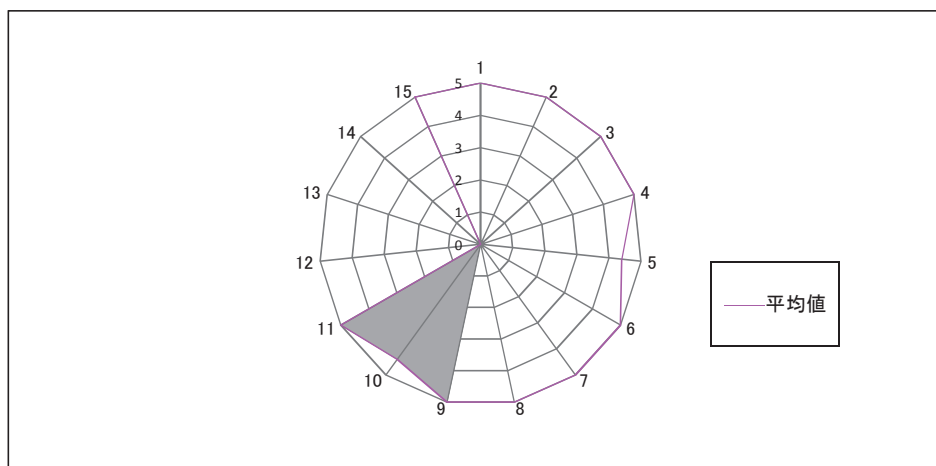
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児と表現(新課程)  
 評価実施日 令和2年9月18日  
 担当教員名 加藤 あや子, 谷口 幹也

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

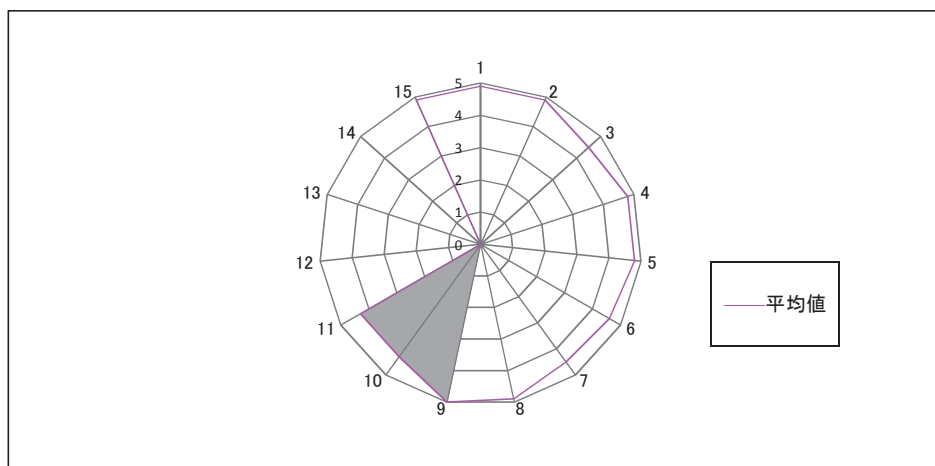
授業科目名 児童家庭福祉論(旧課程)・子ども家庭福祉(新課程)

評価実施日 令和2年8月4日

担当教員名 木村 直子

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	0	4.9



総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



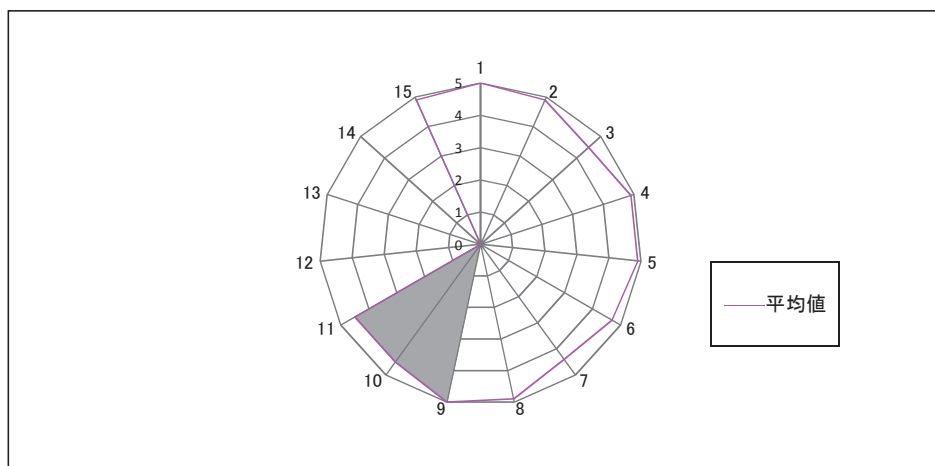
授業科目名 子ども家庭支援の心理学(新課程)

評価実施日 令和2年8月12日

担当教員名 木村 直子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



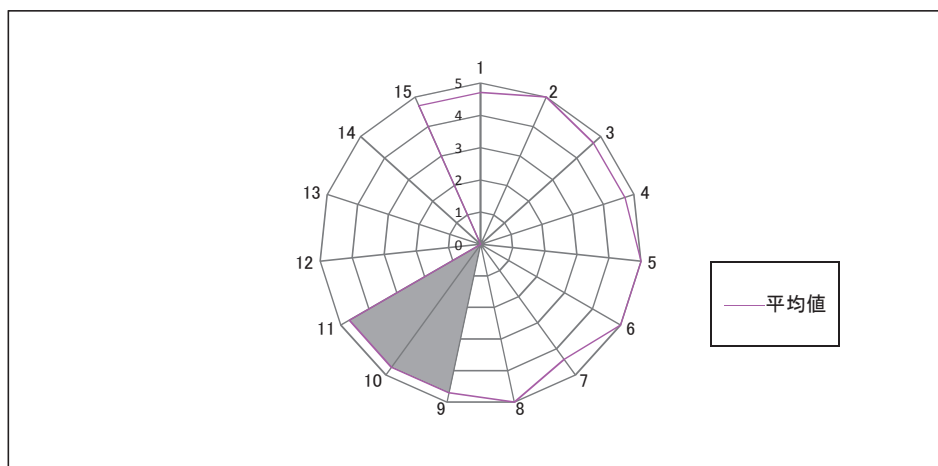
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭支援論(旧課程)  
 評価実施日 令和2年8月30日  
 担当教員名 田辺 昌吾

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



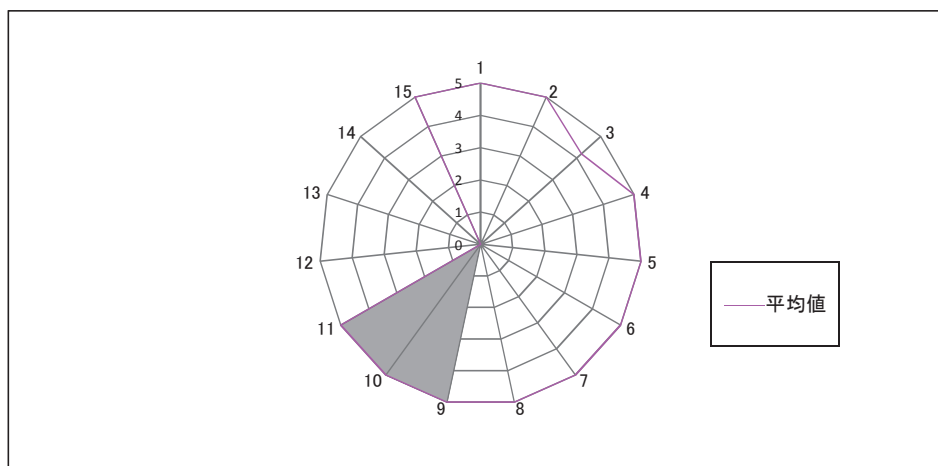
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳児保育 I (新課程)  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学概論(音声言語・文章表現を含む。)

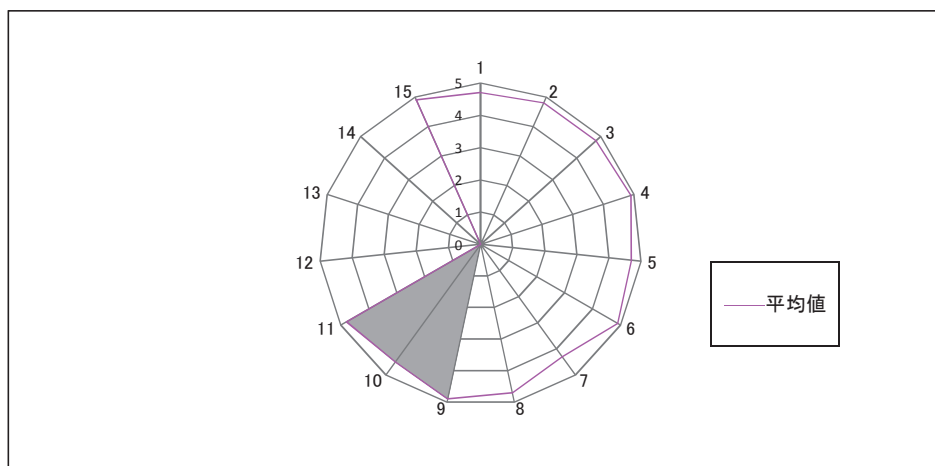
評価実施日 令和2年8月30日

担当教員名 齊藤 学

回答者数

24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	4	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	7	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	6	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	4	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	5	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	3	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	5	3	2	0	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	4	1	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	2	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	8	3	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	20	3	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	1	1	0	0	0	4.9



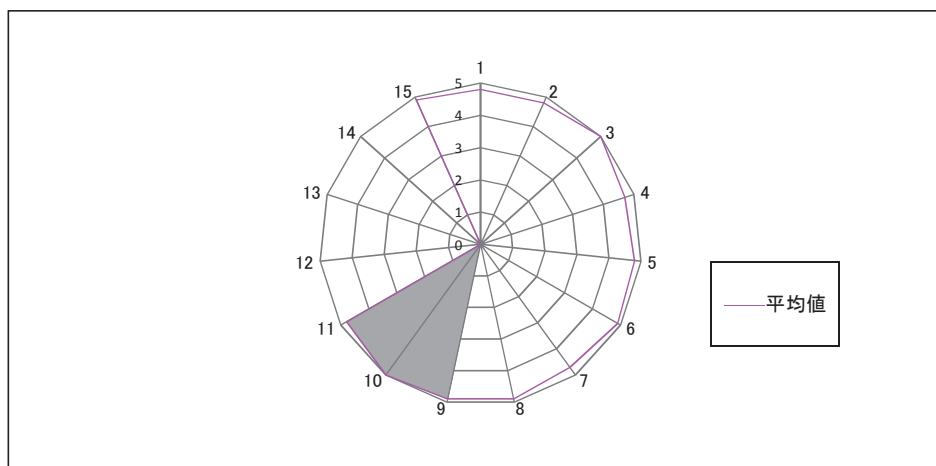
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	2	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	2	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	2	0	1	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	2	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	0	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	1	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	3	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	2	0	0	0	0	4.9



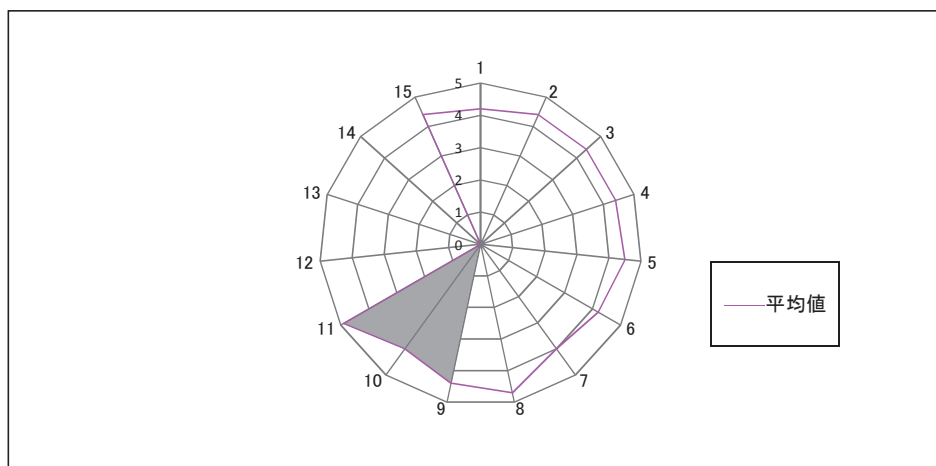
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 黒田 麻衣子

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	1	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	1	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	0	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	1	0	0	4.4



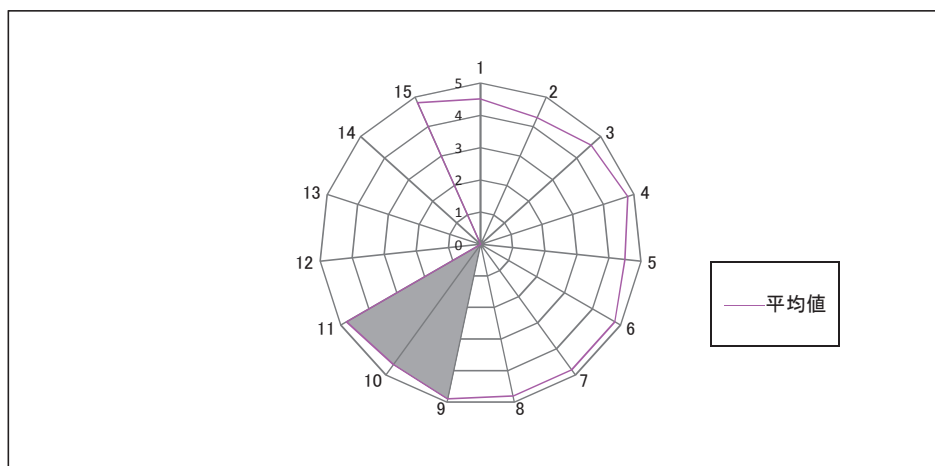
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 原 卓志

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



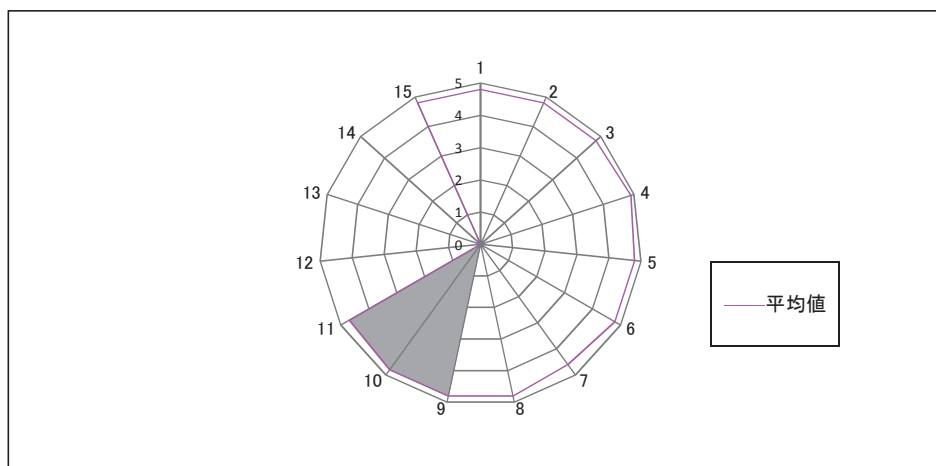
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学 I  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.8**

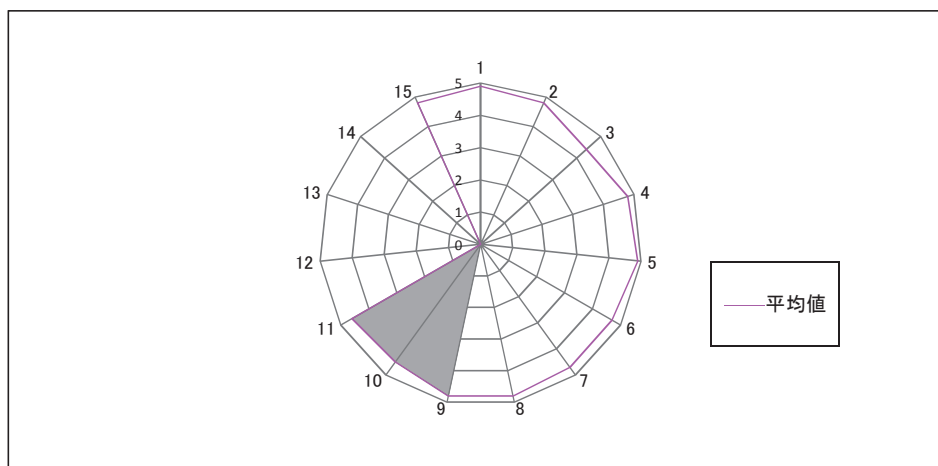
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 国文学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	4	2	0	1	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	2	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	3	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	2	2	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	4	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	5	1	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	7	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	4	0	0	0	0	4.8



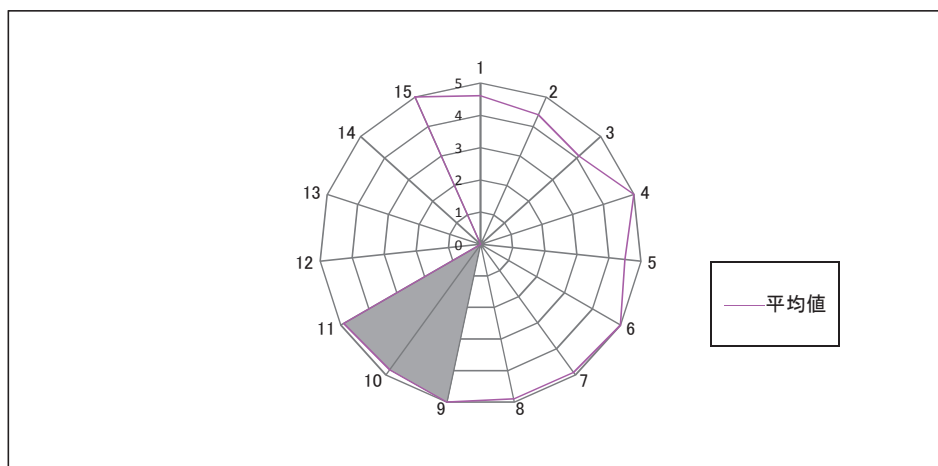
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	2	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	3	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	5	0	0	0	4.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	0	0	1	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	2	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	0	0	0	0	0	5.0



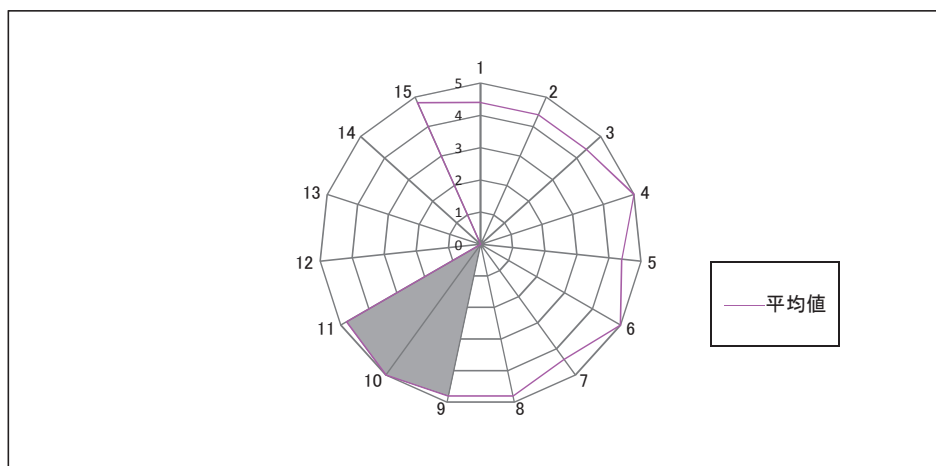
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学演習A  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



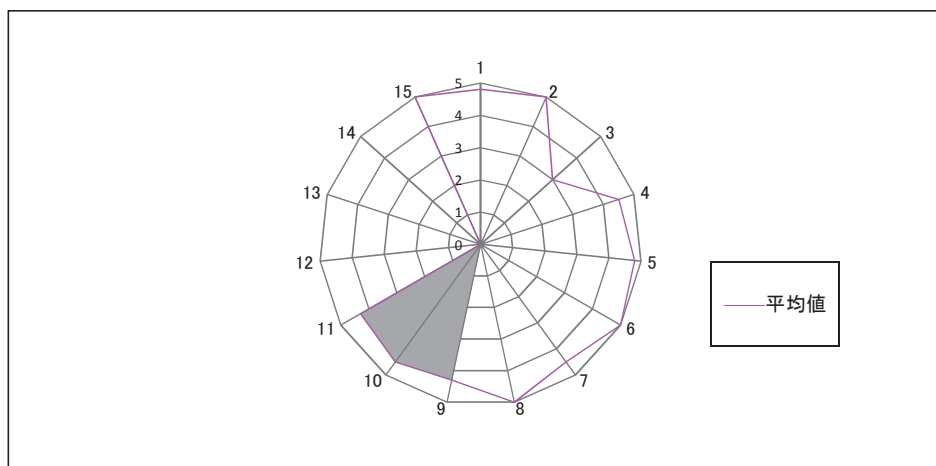
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学演習B  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	2	0	1	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



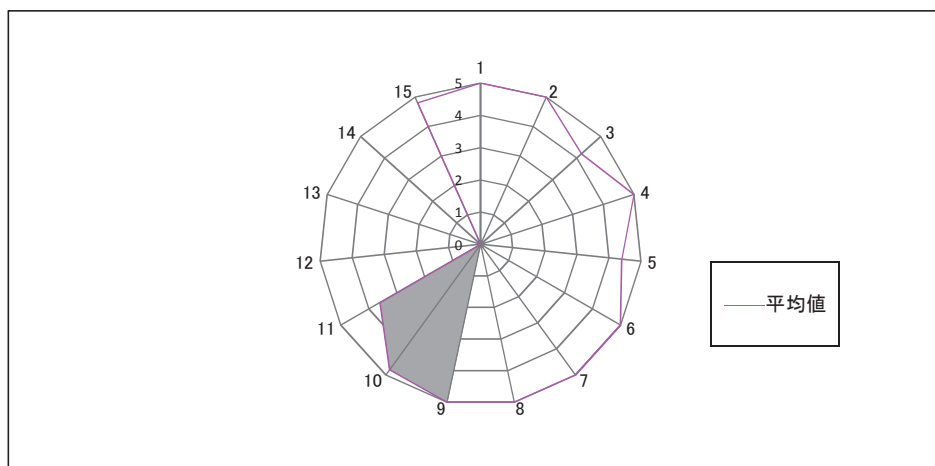
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)  
 評価実施日 令和2年8月25日  
 担当教員名 高西 成介

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	3	0	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



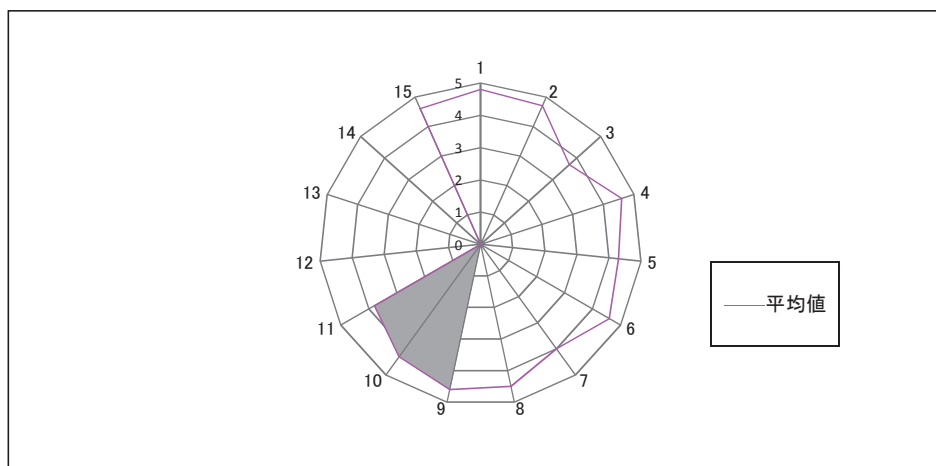
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文講読  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 34名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



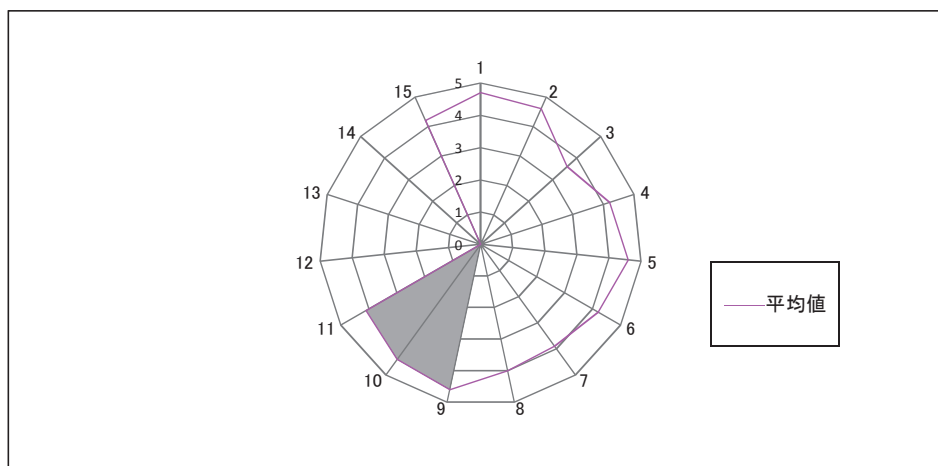
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文学史  
 評価実施日 令和2年8月30日  
 担当教員名 宮崎 隆義

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	6	0	2	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	5	1	2	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	4	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	3	0	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	0	5	1	1	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	3	1	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	6	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	5	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	3	3	0	1	0	4.2



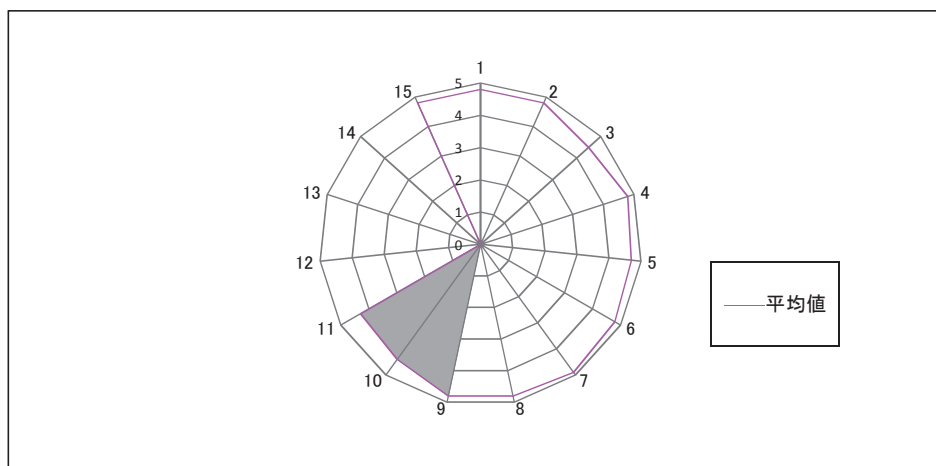
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 米文学史  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 前田 一平

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	2	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	1	0	2	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	0	2	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	1	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

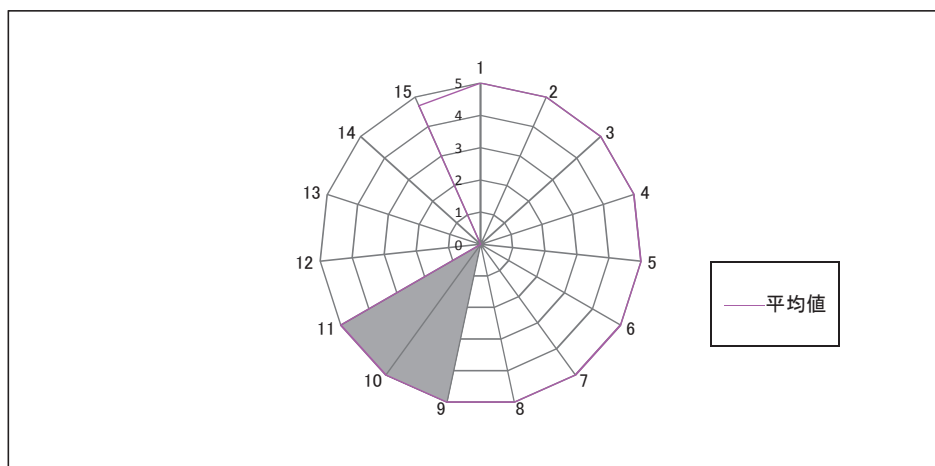
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 英語オーラルコミュニケーションⅡ  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 鎌田スザン・リン

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



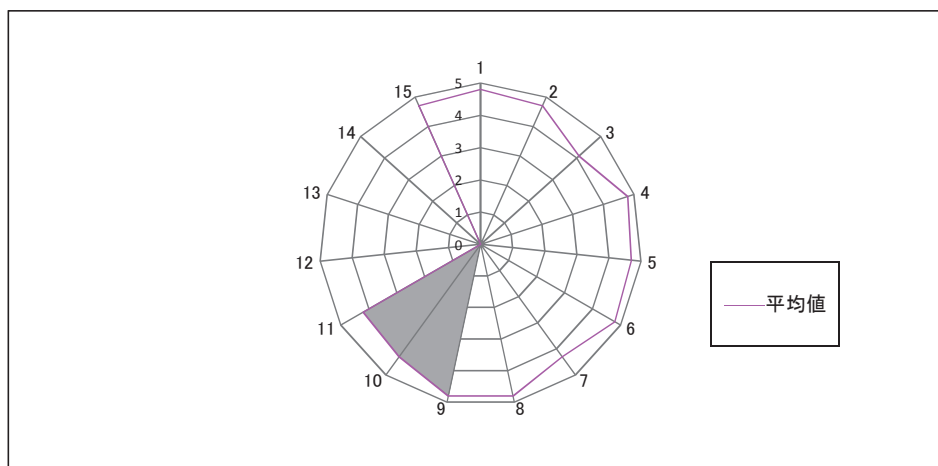
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学概論  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	5	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	7	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	10	1	2	0	0	4.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	5	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	14	5	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	6	1	2	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	4	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	12	0	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	5	6	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	7	0	0	0	0	4.7



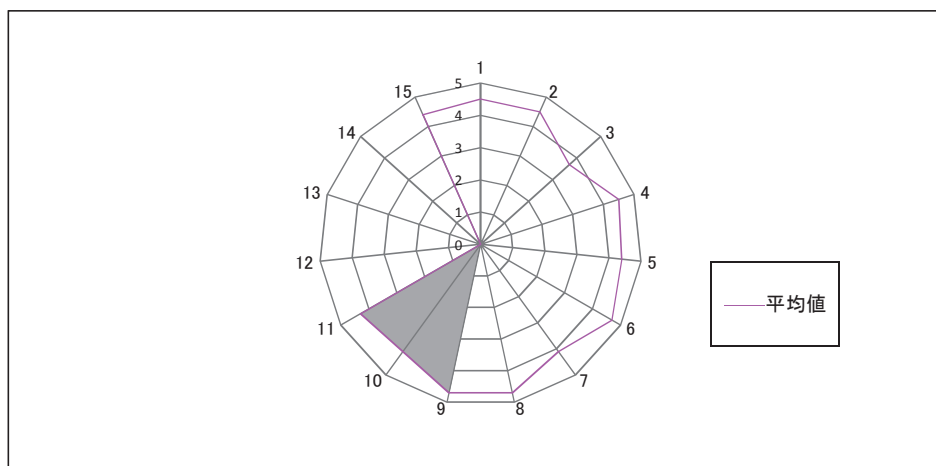
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論Ⅱ(近世・近代)  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 町田 哲

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	1	0	1	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	1	1	2	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	3	0	1	0	4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	3	0	0	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	3	2	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	4	2	0	0	0	4.4



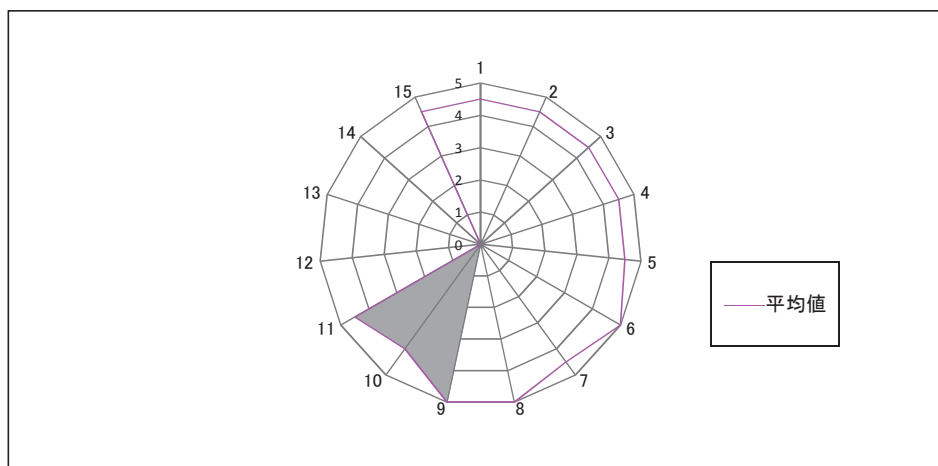
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史学演習  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



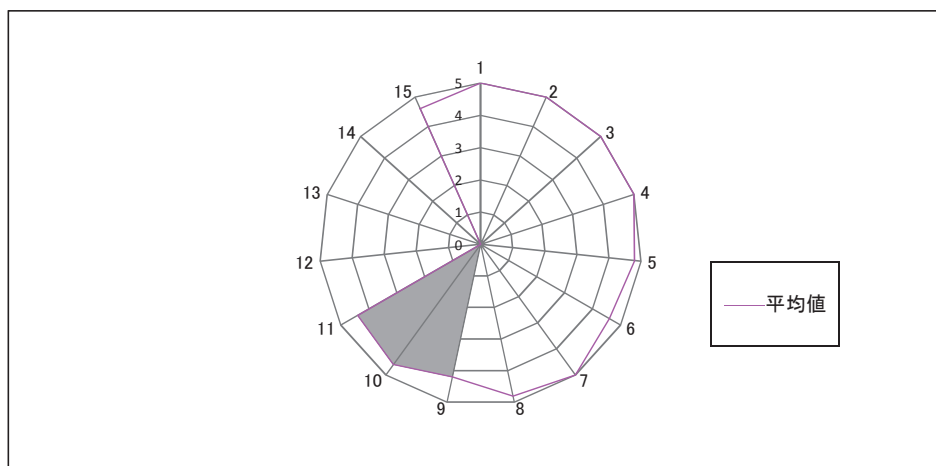
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学演習  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 畠山 輝雄, 立岡 裕士

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	1	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	1	0	0	0	4.6



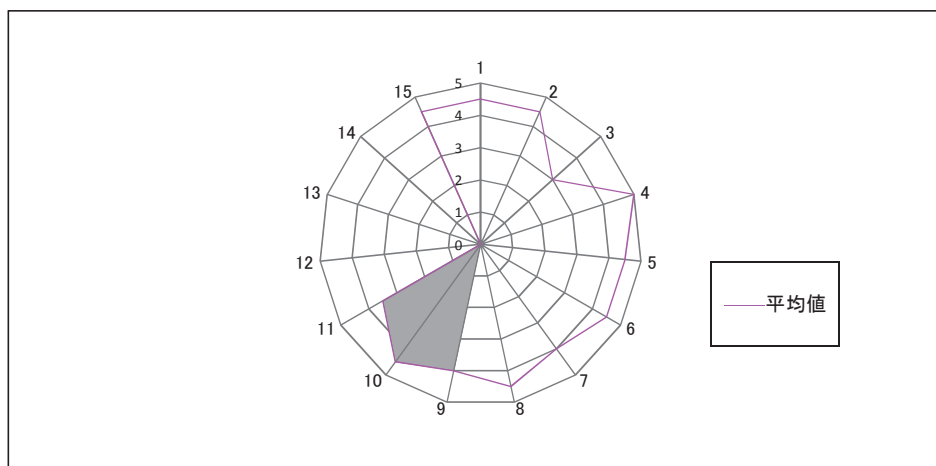
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学特論  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	1	0	3.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	1	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



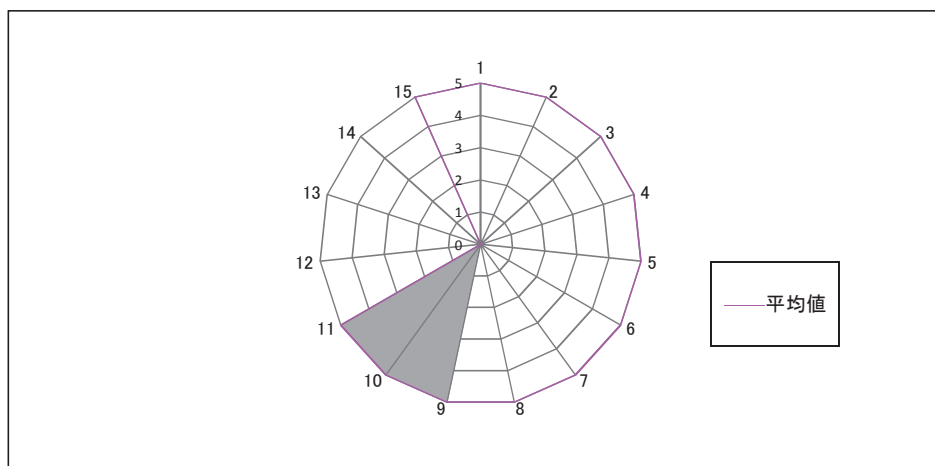
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会学概論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 山本 準

回答者数 1名

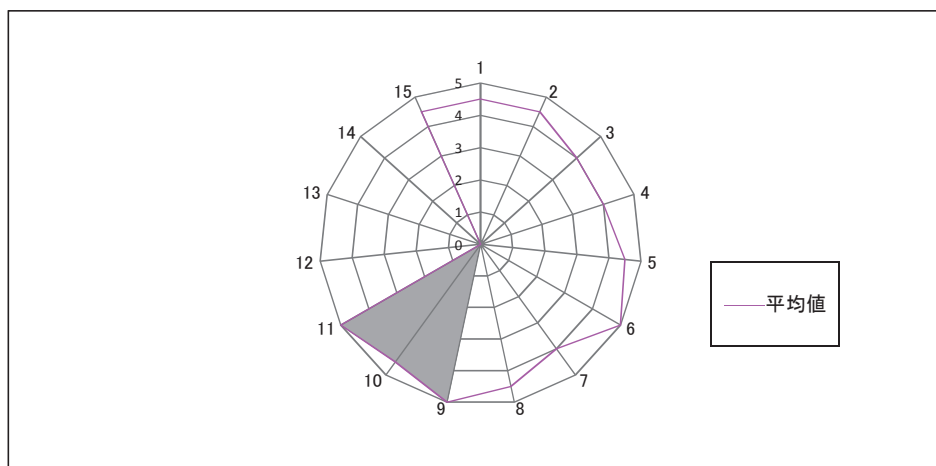
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 哲学・倫理学概論  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 石田 三千雄

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



総合評価 **4.4**

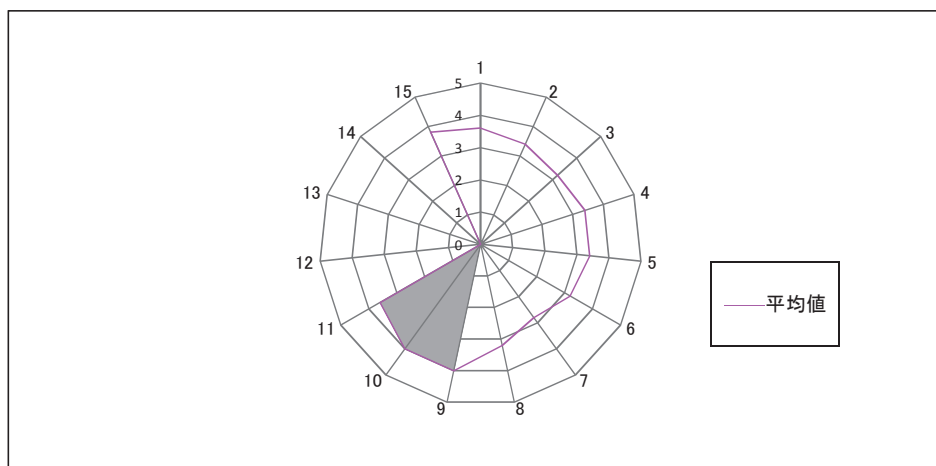
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 代数学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 片山 真一

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	3	0	0	1	0	3.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	4	0	0	1	0	3.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	3	1	0	1	0	3.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	4	0	0	1	0	3.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	4	0	0	1	0	3.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	3	1	0	1	0	3.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	3	0	1	0	2.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	3	1	0	1	0	3.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	1	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	1	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	1	0	3.8



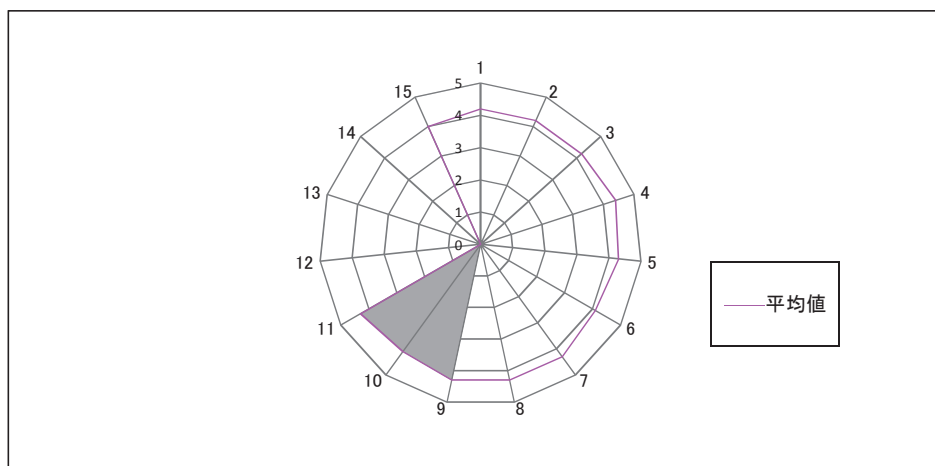
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅲ  
 評価実施日 令和2年8月30日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



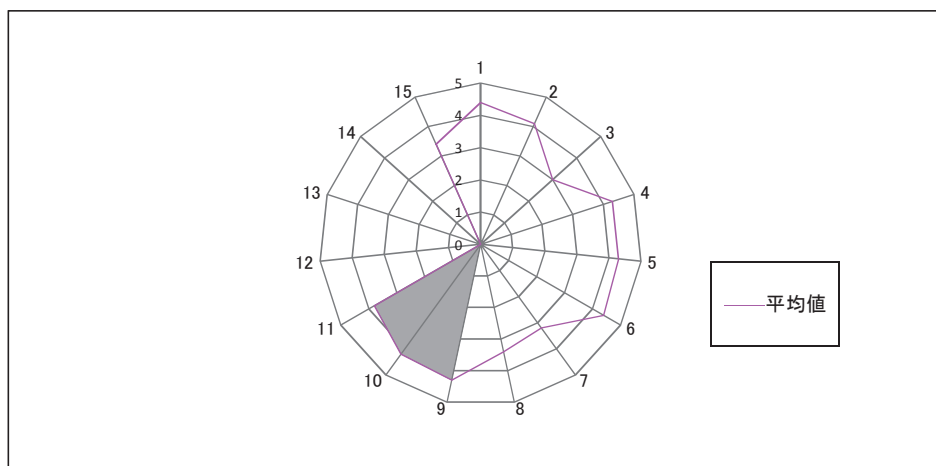
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学 I  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	1	0	1	0	4.1
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	1	3	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	2	0	3	0	3.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	2	1	2	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	1	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	4	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	3	1	0	3.4



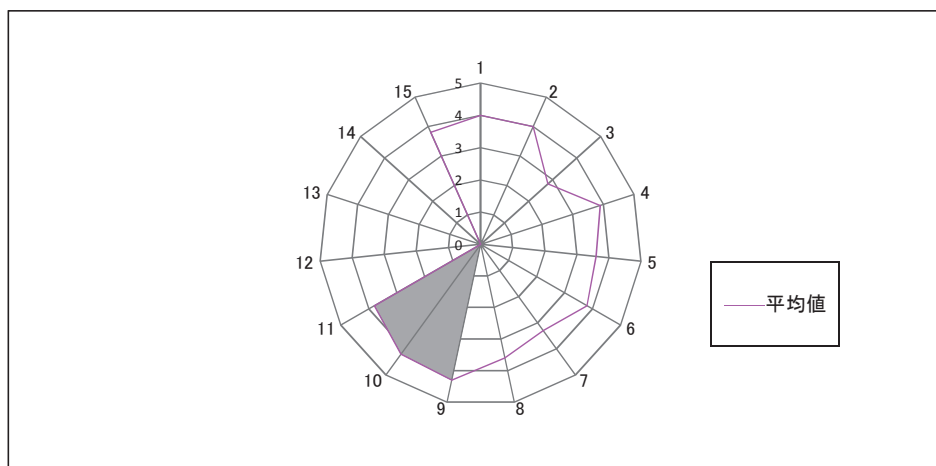
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	4	3	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	6	2	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	3	2	2	0	2.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	1	2	0	0	3.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	4	1	0	0	3.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	4	4	0	0	0	3.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	4	3	1	1	0	3.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	4	0	1	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	5	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	2	2	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	3	1	0	0	3.8



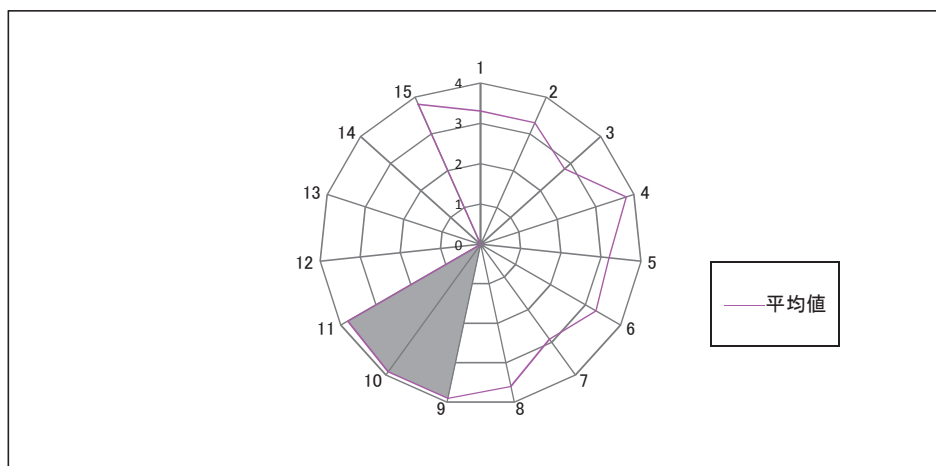
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅲ  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 山中 仁

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	3	0	1	0	3.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	2	3	0	1	0	3.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	4	0	2	0	2.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	1	0	1	0	3.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	3	3	0	1	0	3.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	5	0	1	1	0	3.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	5	0	1	0	2.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	6	0	0	1	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	4	0	0	1	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	1	0	1	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	1	0	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	1	0	1	0	3.8



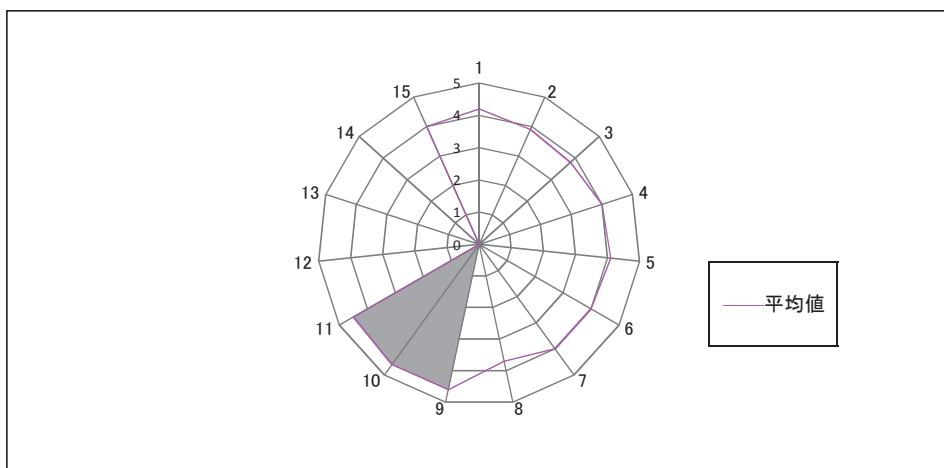
総合評価 **3.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 20名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	7	3	0	1	0	4.2
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	7	6	0	1	0	3.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	8	0	1	0	3.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	5	6	0	1	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	7	4	0	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	7	5	0	1	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	6	4	1	1	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	5	5	1	2	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	8	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	7	1	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	11	7	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	7	5	0	1	0	4.0



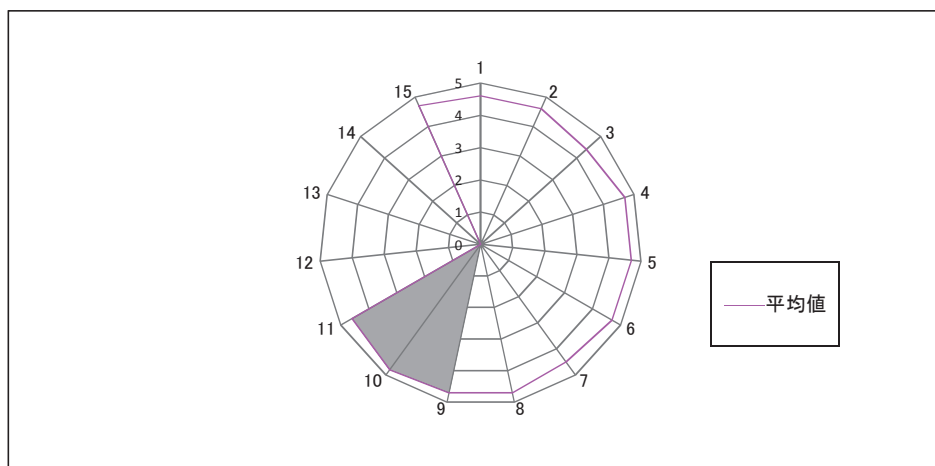
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 確率・統計学  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



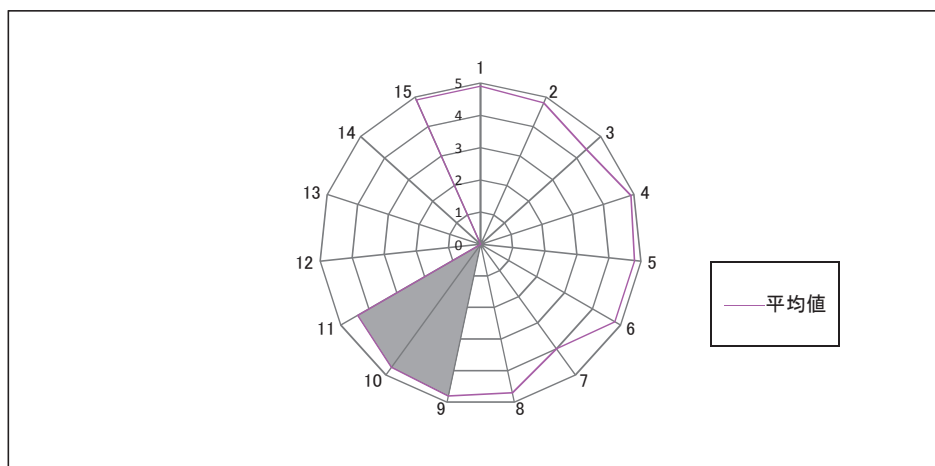
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 計算数学  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	4	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

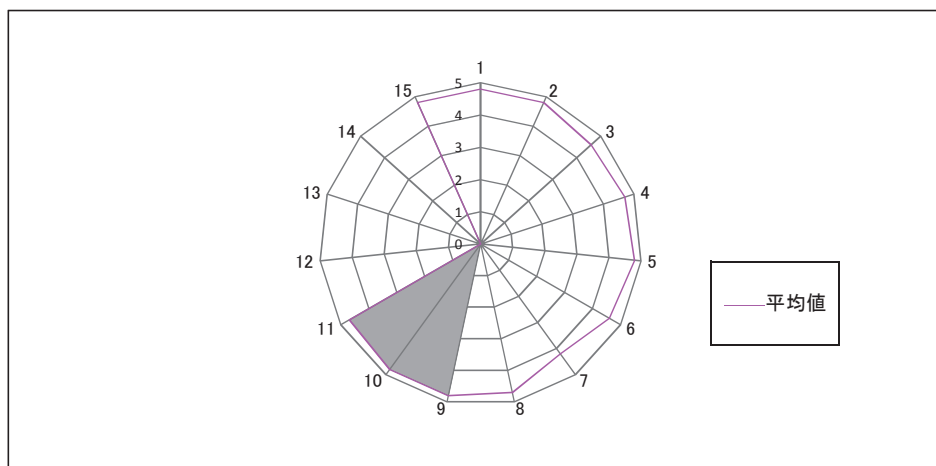


授業科目名 基礎数学 I

評価実施日 令和2年8月11日

担当教員名 宮口 智成, 佐伯 昭彦, 早田 透, 秋田 美代, 成川 公昭, 山中 仁 回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	3	0	1	0	0	4.6
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	3	2	0	1	0	4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	3	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	3	0	0	0	0	4.8



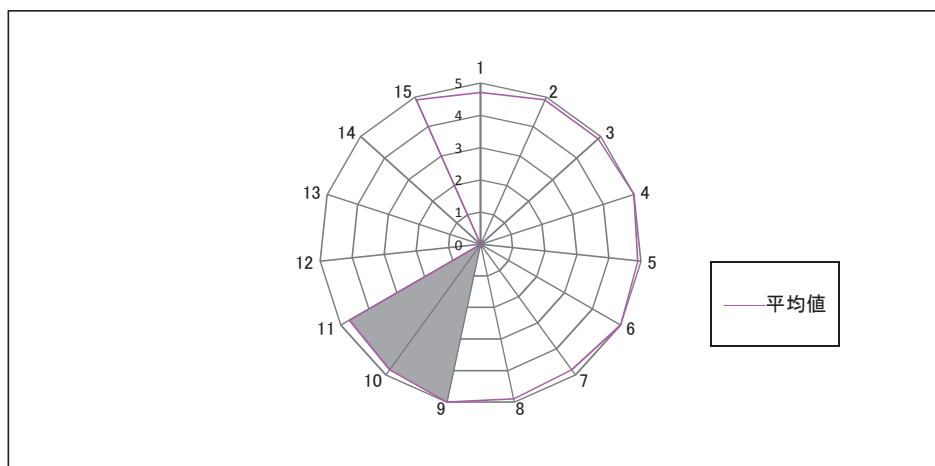
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 基礎数学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	2	0	0	0	0	4.9



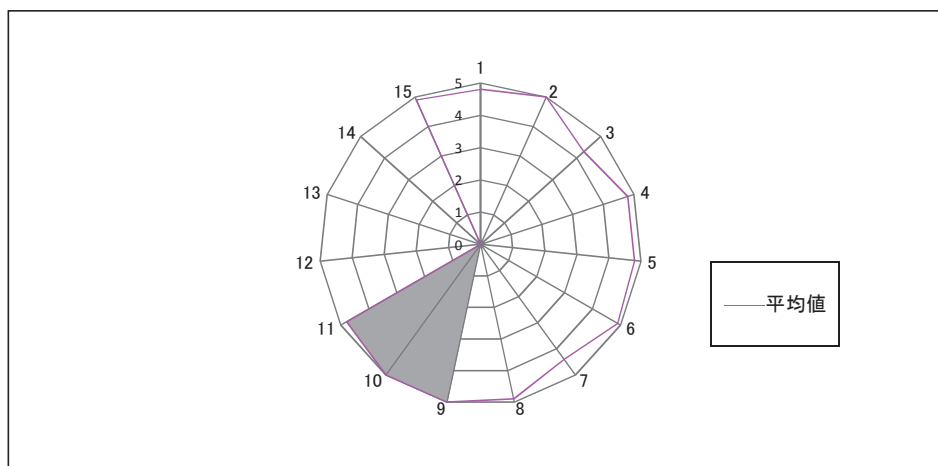
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(化学分野)  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 武田 清

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	1	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



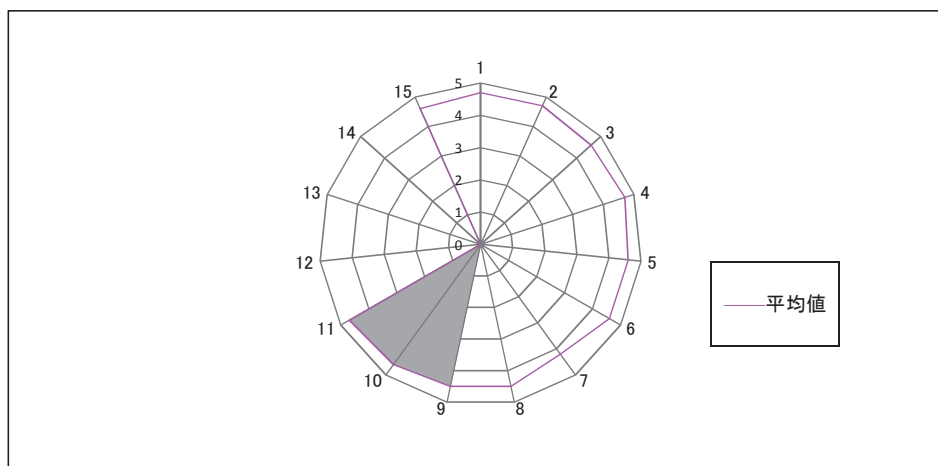
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学実験Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 胸組 虎胤, 武田 清, 早藤 幸隆

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	3	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	3	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	4	0	0	0	0	4.6



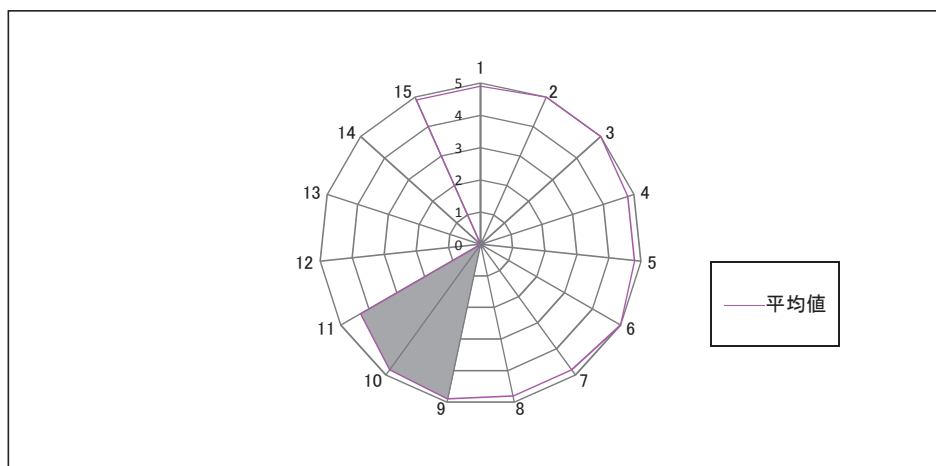
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソルフェージュ  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.9



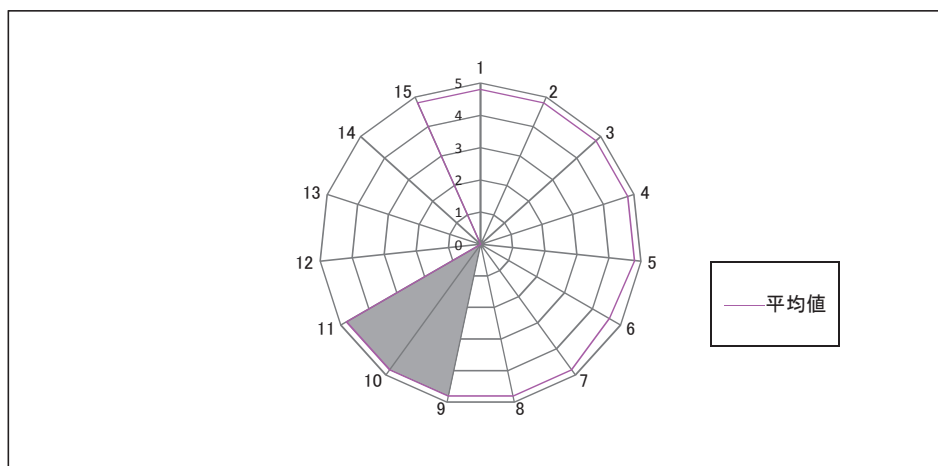
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽(合唱を含む。)  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 頃安 利秀, 真鍋 美恵

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



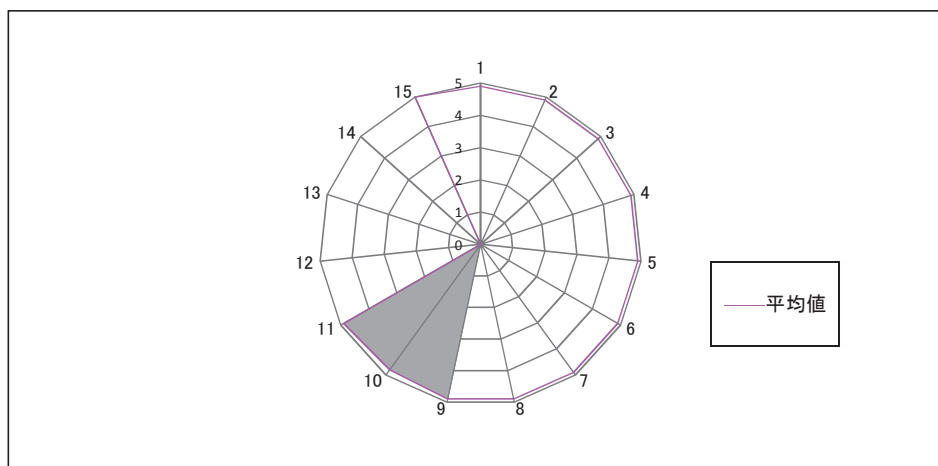
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽基礎Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



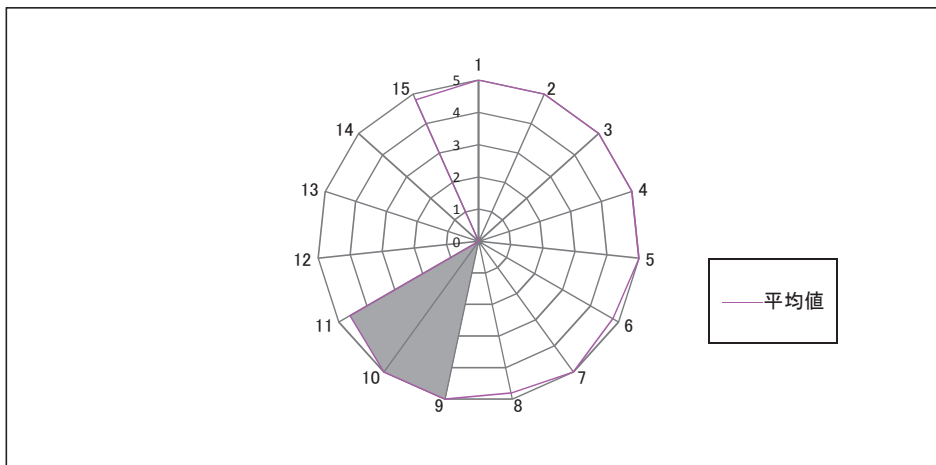
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 器楽(合奏及び伴奏を含む。)  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 森 正, 山根 秀憲, 米田 佳子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.9**

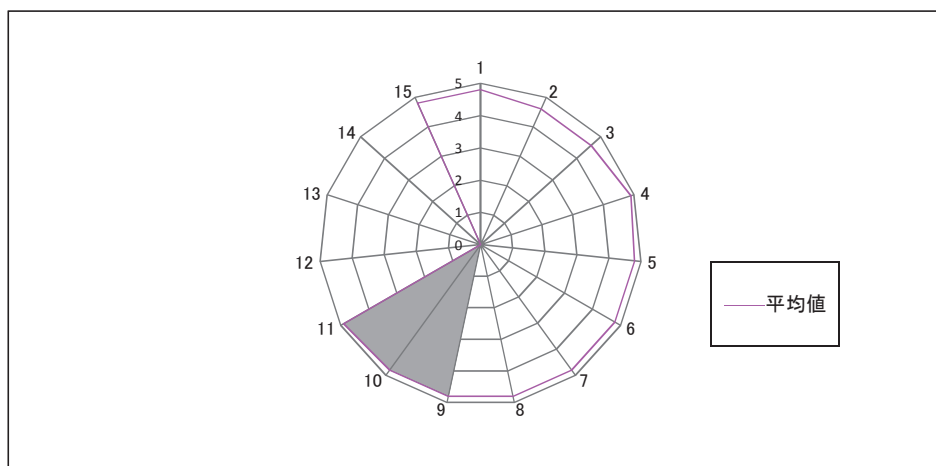
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



授業科目名 ピアノ基礎Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



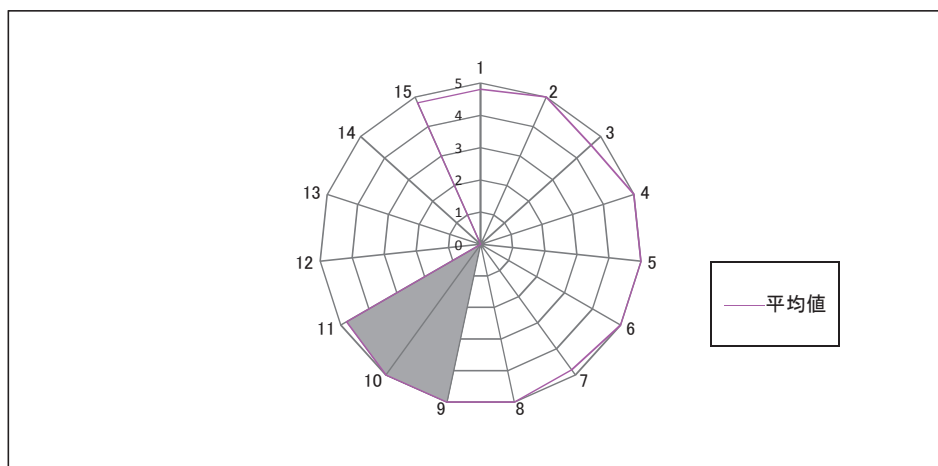
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



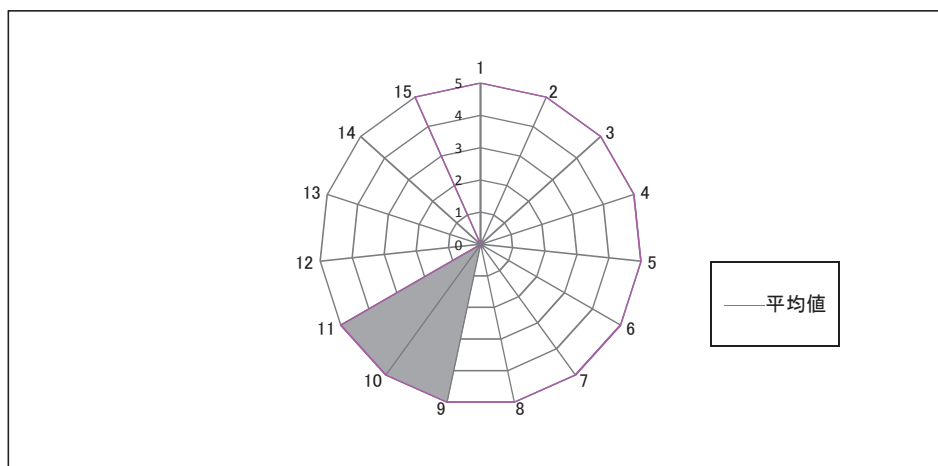
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽の理論と歴史  
 評価実施日 令和2年8月28日  
 担当教員名 松岡 みち子, 片桐 功

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



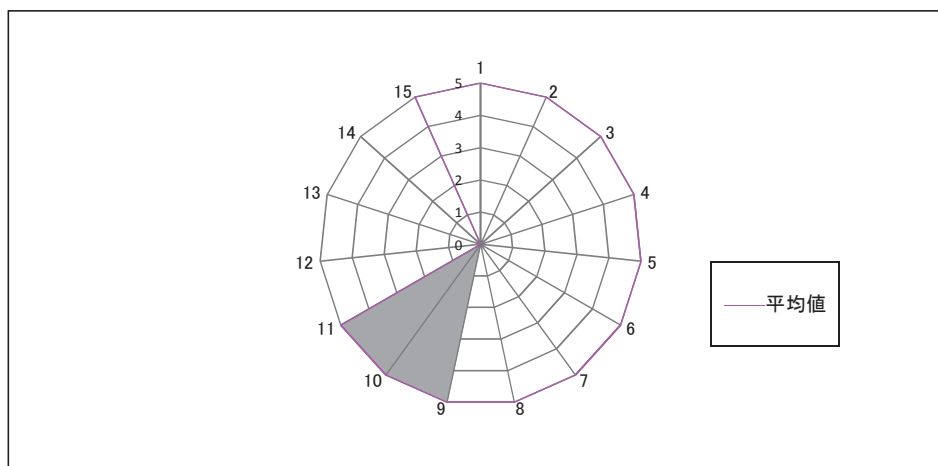
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 作曲法  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 松岡 みち子

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



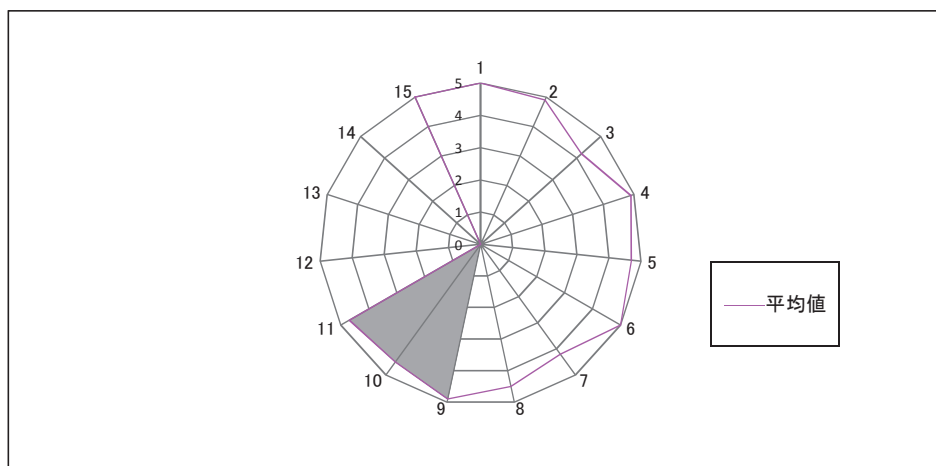
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画 I  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	1	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



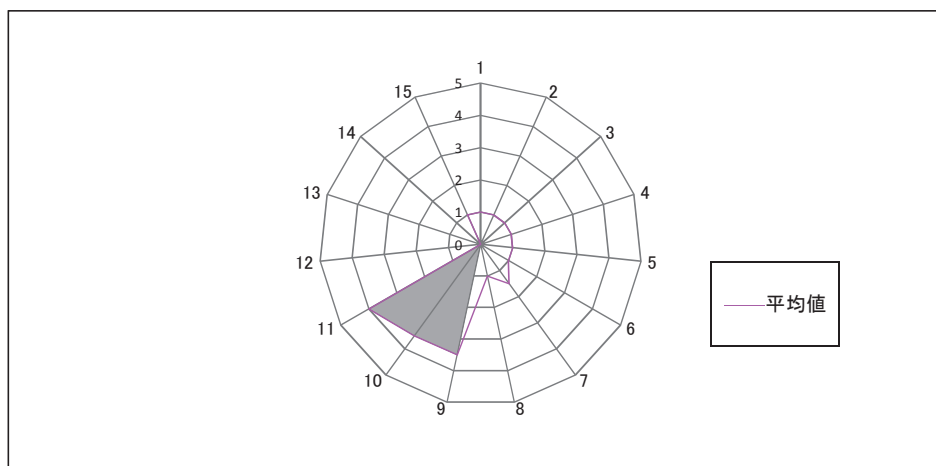
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画特別演習 I  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 西 広生

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	2	0	1.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	2	0	1.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	2	0	1.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	2	0	1.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	2	0	1.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	0	0	2	0	1.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	0	1	1	0	1.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	2	0	1.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	2	0	1.0



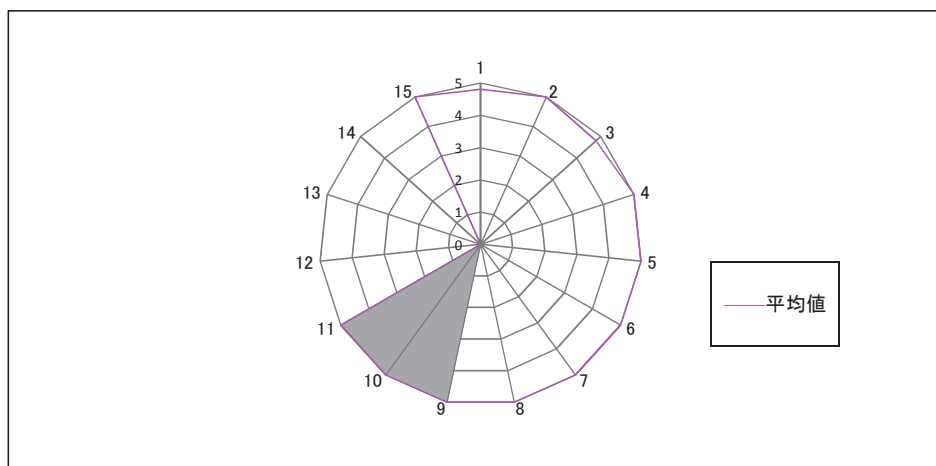
総合評価	1.1
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 三原 敏文

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



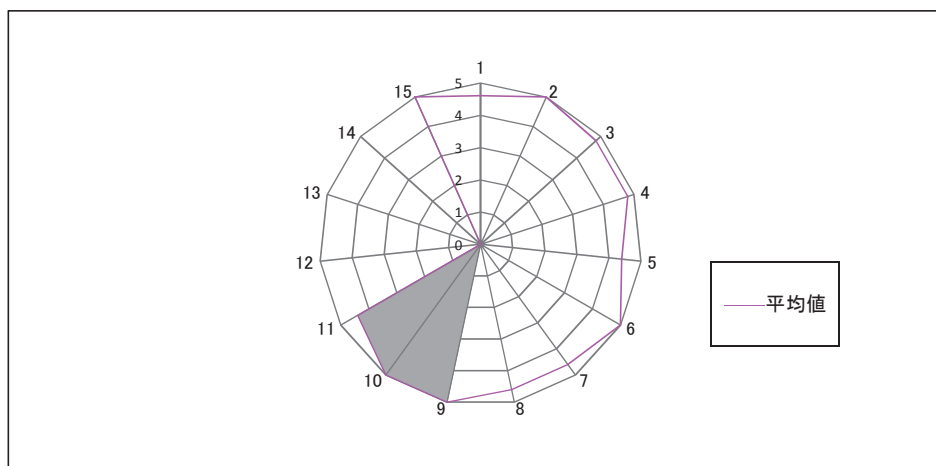
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻材料研究  
 評価実施日 令和2年8月5日  
 担当教員名 三原 敏文

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.8**

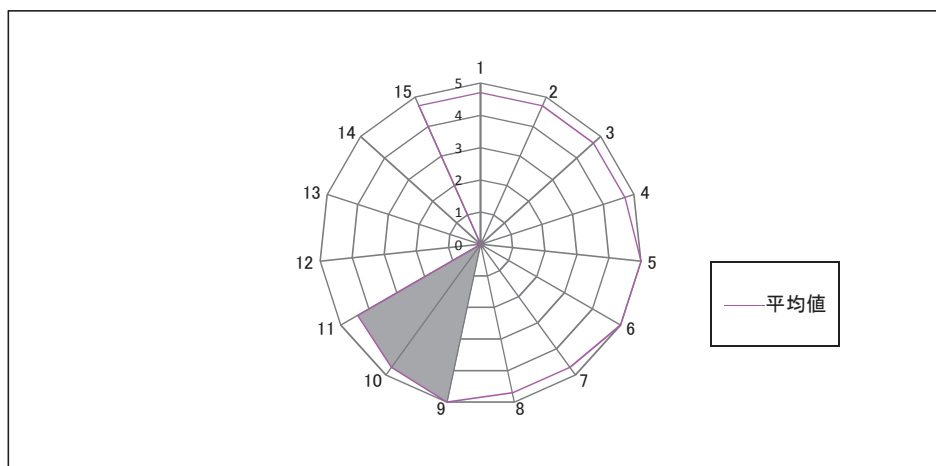
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 構成・デザイン I  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



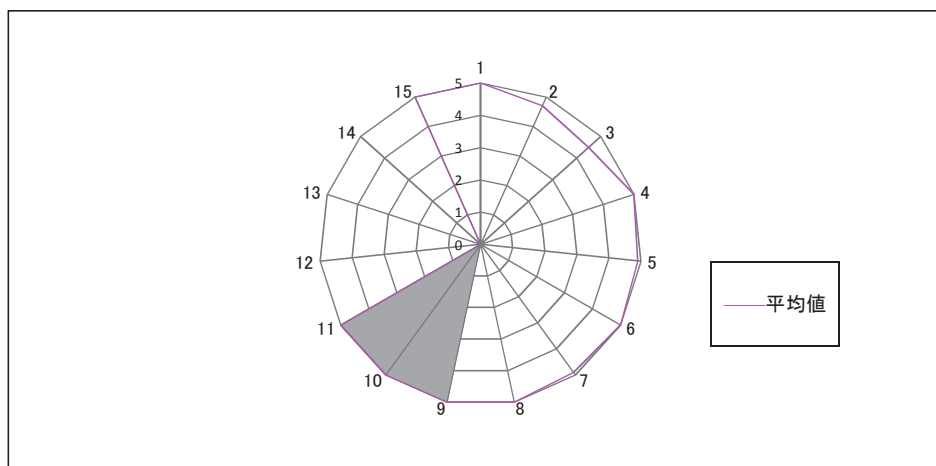
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名        工芸Ⅱ  
 評価実施日        令和2年8月4日  
 担当教員名        栗原 慶

回答者数        6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



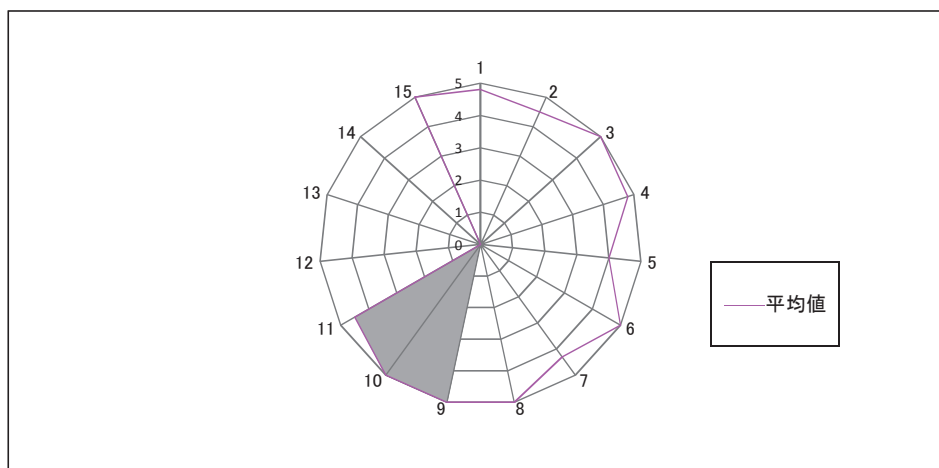
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸特別演習  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



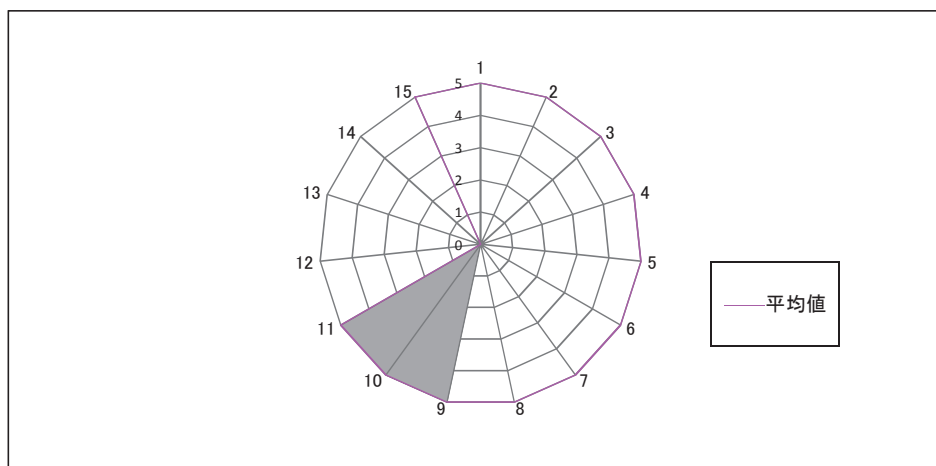
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動方法 I  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 藤田 雅文

回答者数 1名

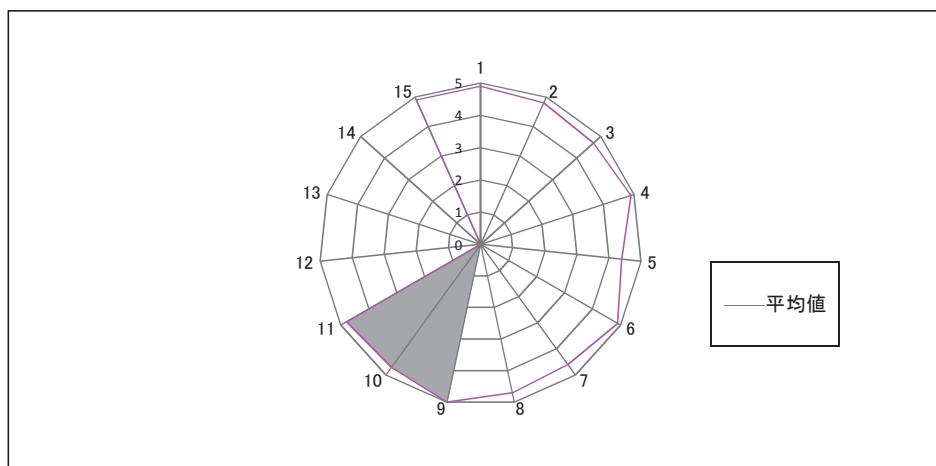
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 運動方法Ⅳ  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 土岡 大介

回答者数 26名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



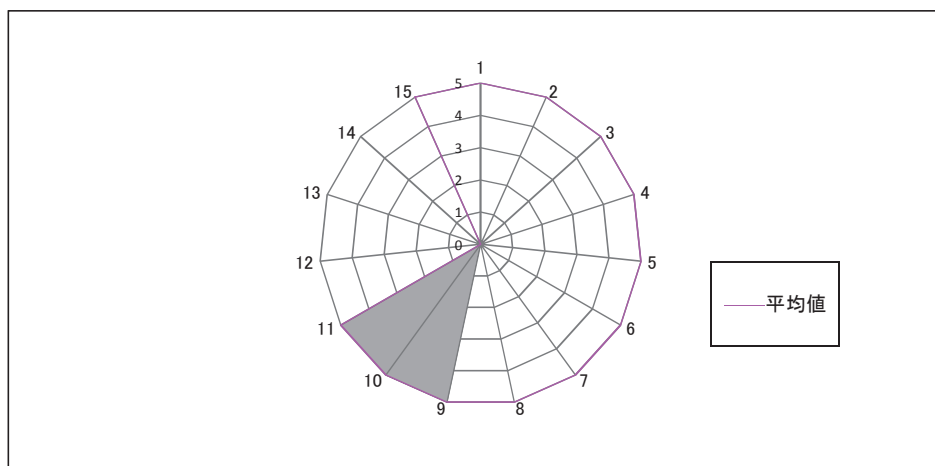
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育哲学 I  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 綿引 勝美

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



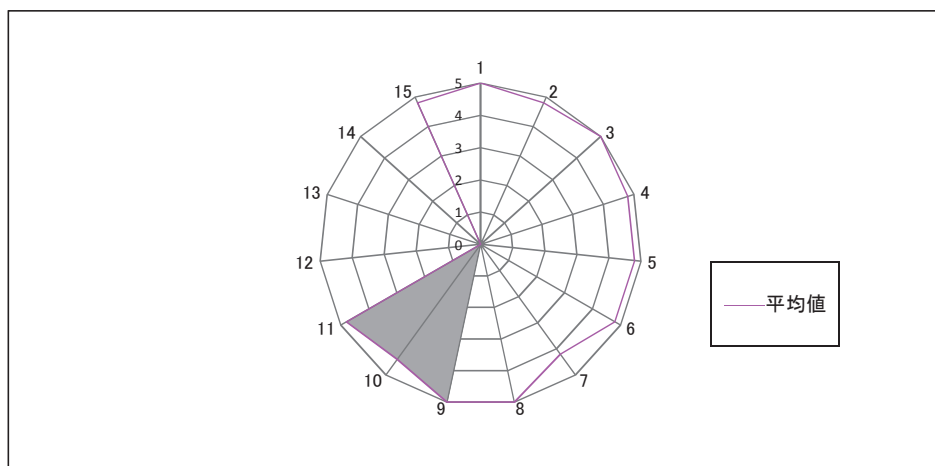
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学 I  
 評価実施日 令和2年8月23日  
 担当教員名 中塚 健太郎

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



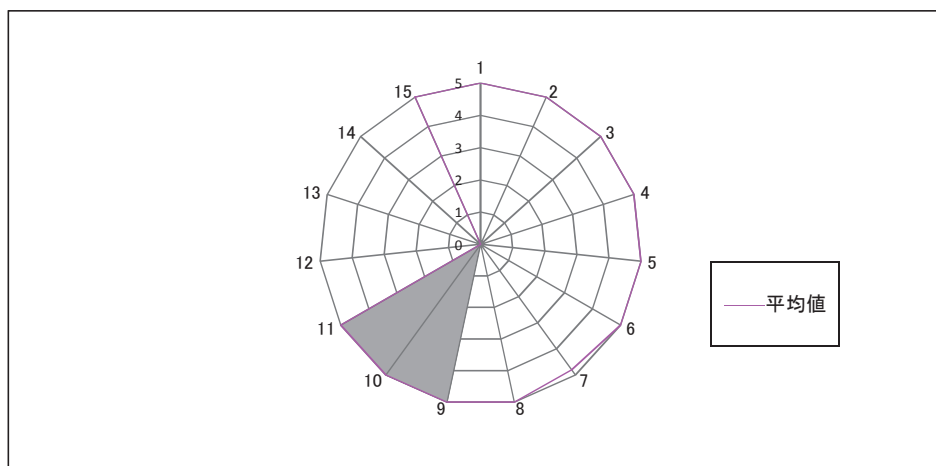
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月29日  
 担当教員名 中塚 健太郎

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	5.0
------	-----

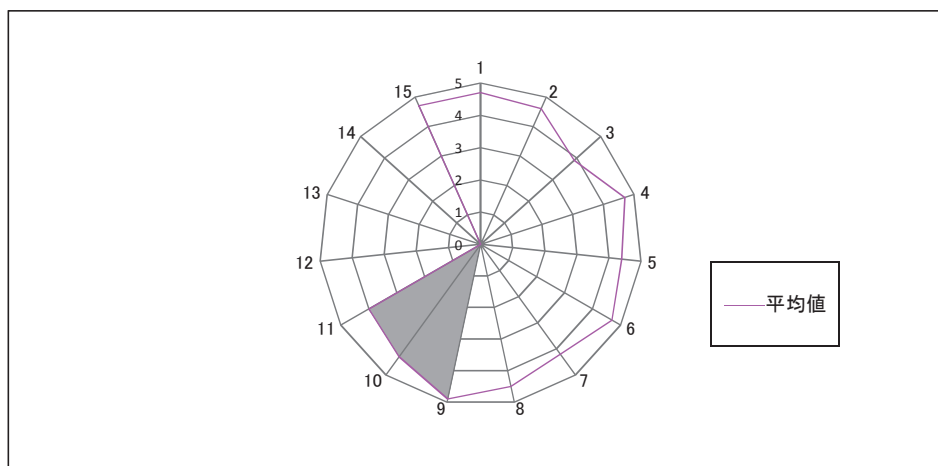
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 学校保健 I  
 評価実施日 令和2年8月25日  
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	5	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	2	3	1	0	3.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	4	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	2	2	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	4	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	5	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	4	1	2	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	3	3	1	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	6	0	0	0	0	4.7



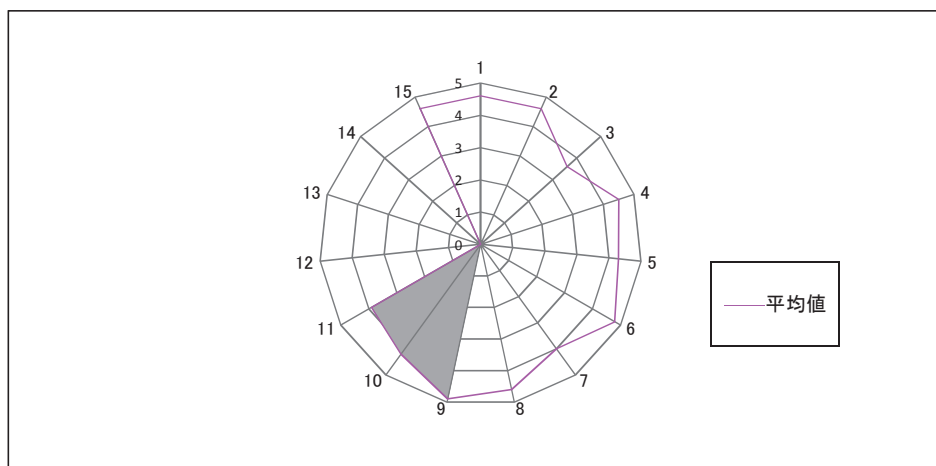
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健Ⅱ  
 評価実施日 令和2年8月27日  
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	1	4	1	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	2	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	4	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	2	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	5	3	0	1	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	7	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	2	2	2	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	4	0	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	6	0	0	0	0	4.6



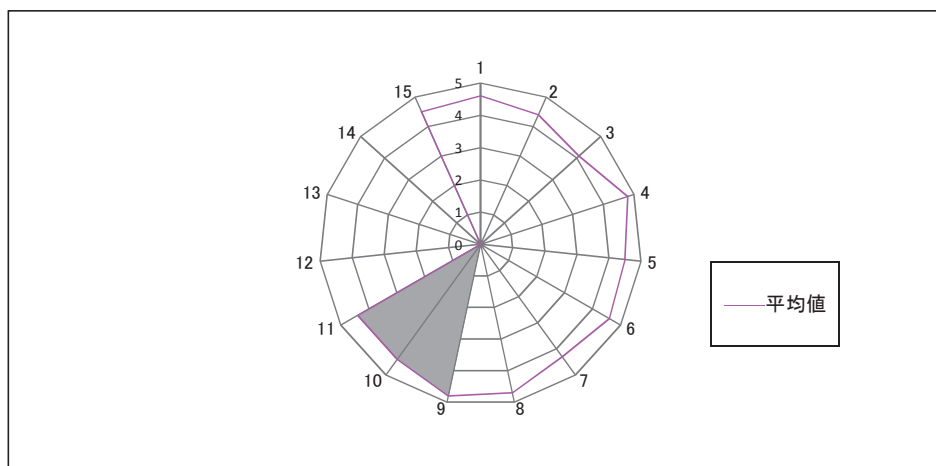
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報技術基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	5	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	7	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	6	2	0	0	0	4.1
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	6	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	5	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	1	1	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	7	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	6	0	0	0	0	4.5



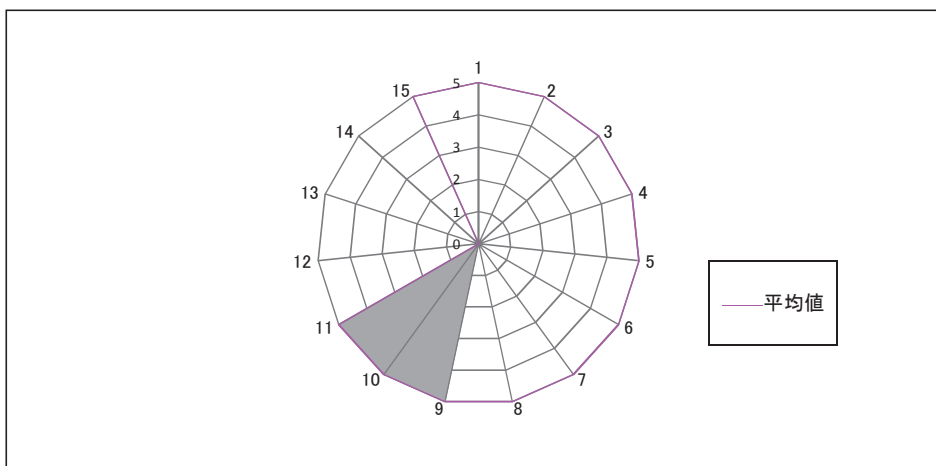
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報処理  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 1名

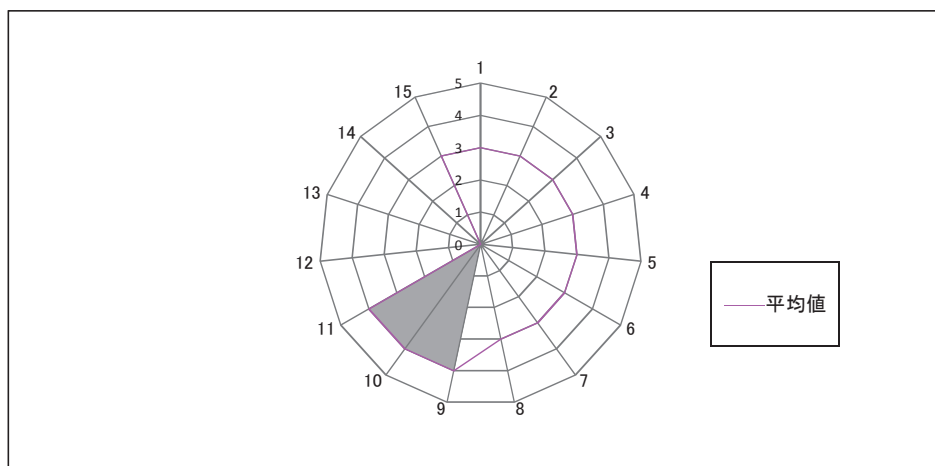
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 情報社会と情報倫理  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 竹口 幸志

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	0	3.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	0	3.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	0	3.0



総合評価 **3.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

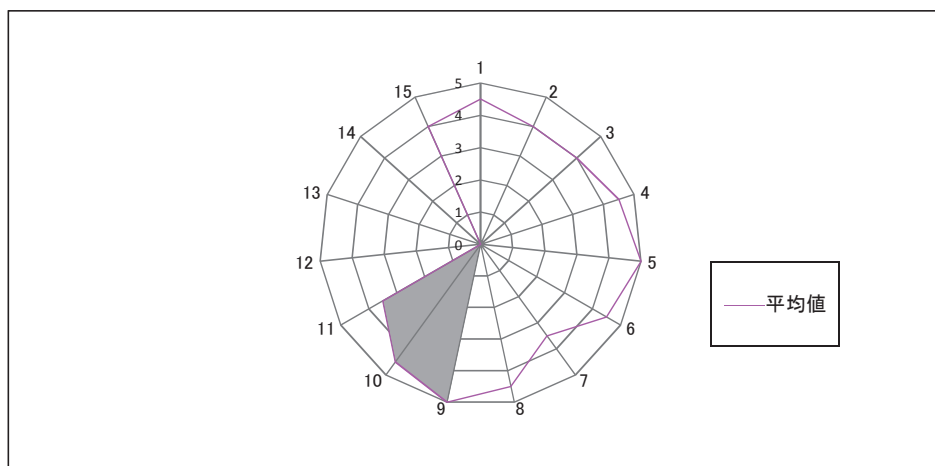
授業科目名 情報エレクトロニクスとコンピュータ

評価実施日 令和2年8月3日

担当教員名 宮本 賢治, 伊藤 陽介

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	1	0	0	3.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	2	0	0	0	0	4.0



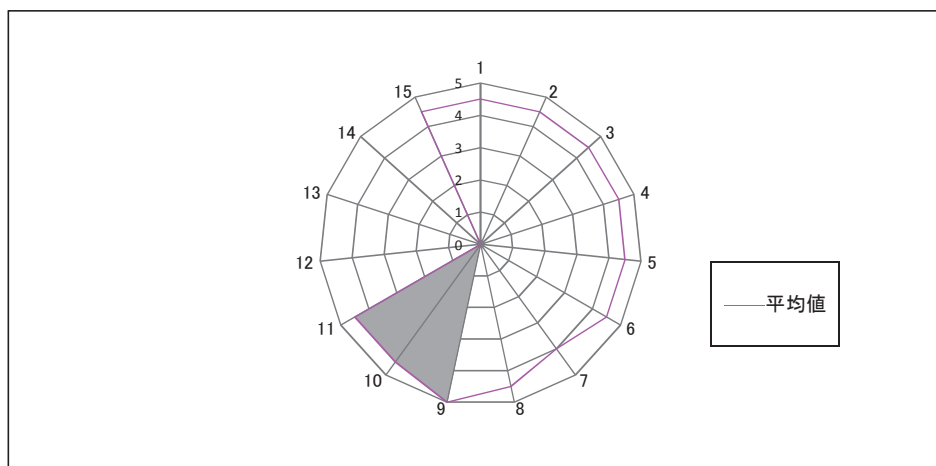
総合評価 4.3

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 情報技術(実習を含む。)  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



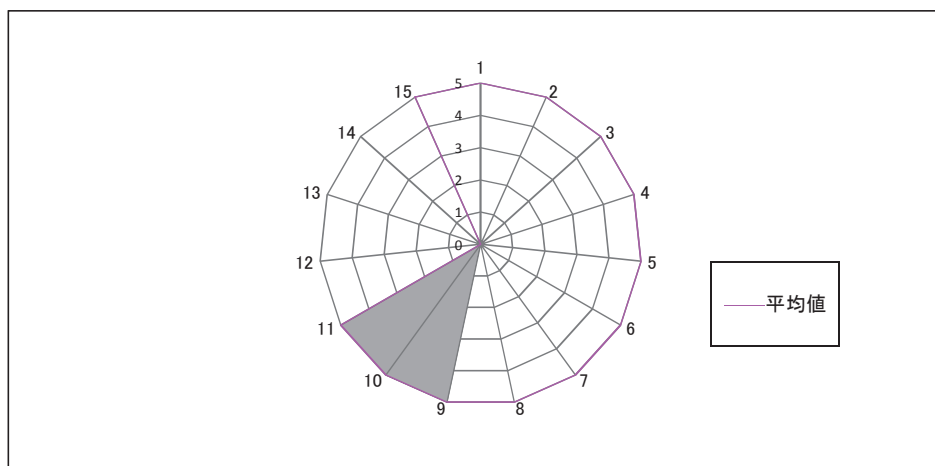
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報通信(実習を含む。)  
 評価実施日 令和2年8月4日  
 担当教員名 菊地 章

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0

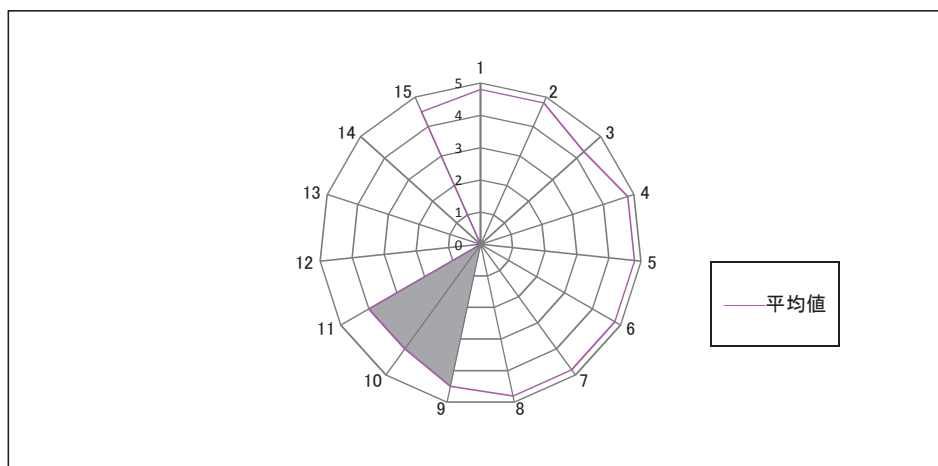




授業科目名 家族論  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 被服学概論(被服製作実習を含む。)

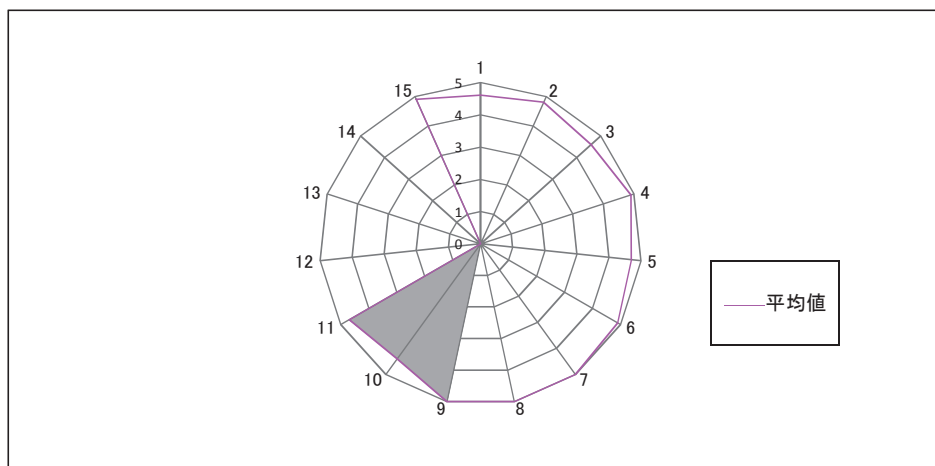
評価実施日 令和2年8月3日

担当教員名 福井 典代

回答者数

12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	2	0	0	0	0	4.9



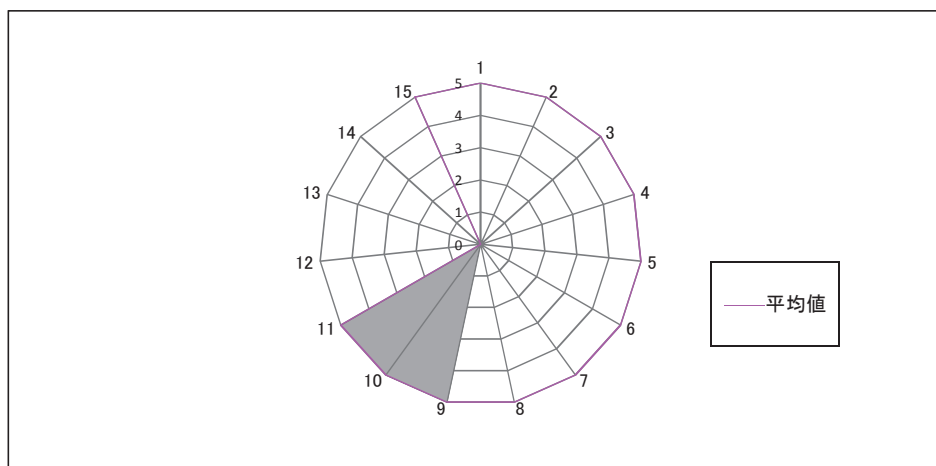
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住生活学  
 評価実施日 令和2年8月3日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



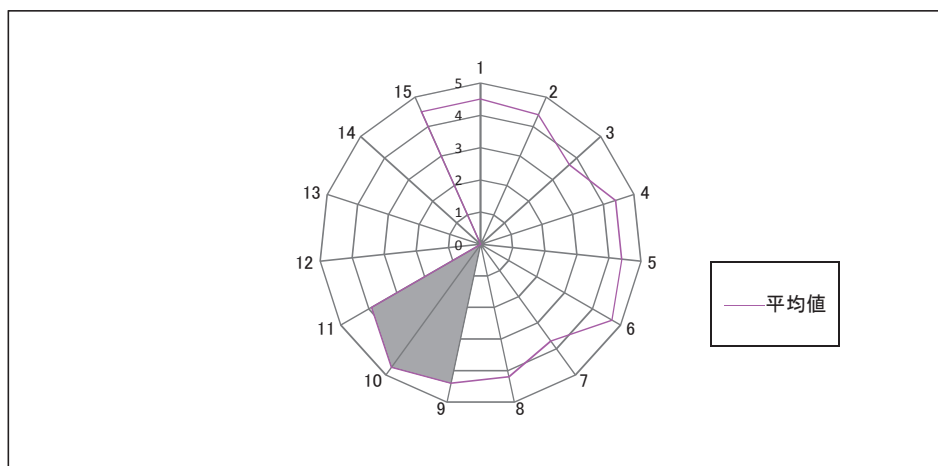
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の生理・病理  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 田中 淳一

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	1	0	1	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	1	1	0	3.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	0	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	0	4.5



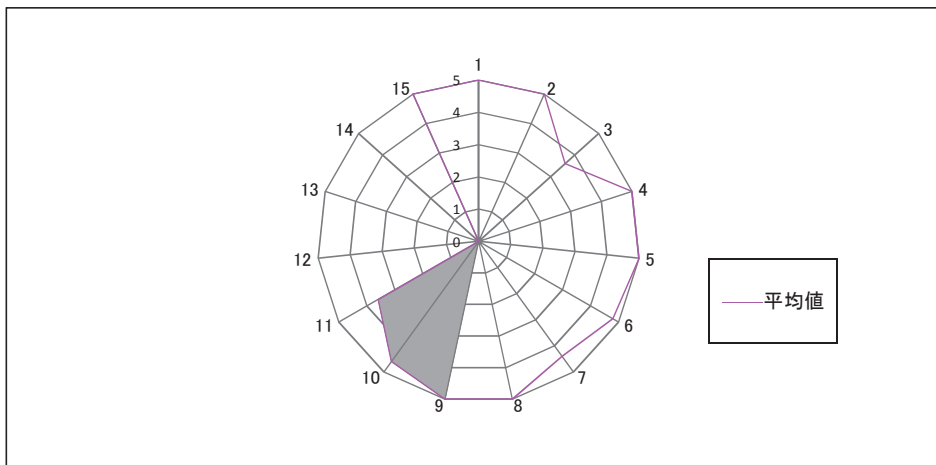
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和2年8月12日  
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	1	1	0	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	1	1	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



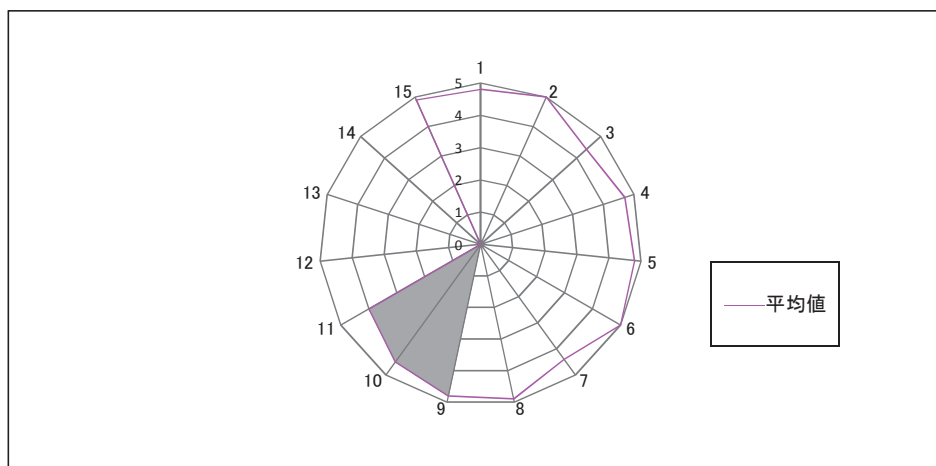
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等教育総論  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 森 慶子

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	2	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	2	3	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



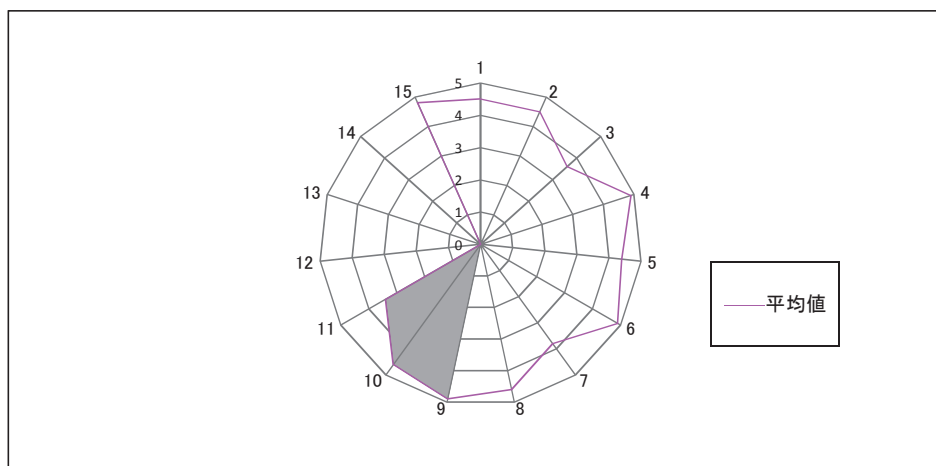
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和2年8月11日  
 担当教員名 高原 光恵

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	4	2	0	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	6	0	0	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	5	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	3	2	1	0	3.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	1	0	0	0	4.8



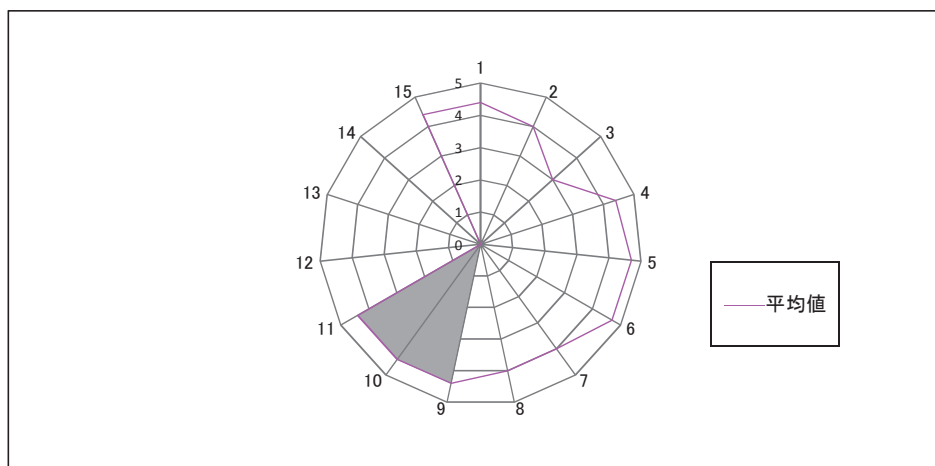
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和2年8月30日  
 担当教員名 島田 亜紀

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	1	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.4



総合評価	4.2
------	-----

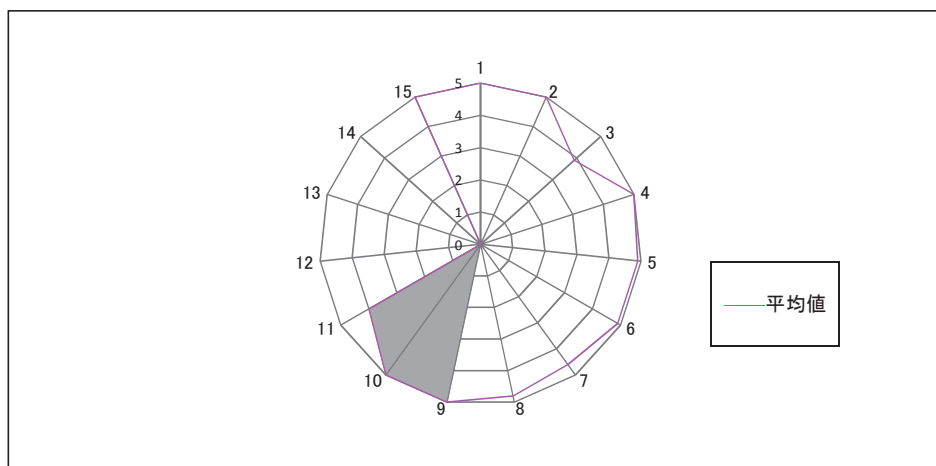
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 視覚障害者教育論  
 評価実施日 令和2年8月25日  
 担当教員名 牟田口 辰巳

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	1	0	0	3.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	2	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



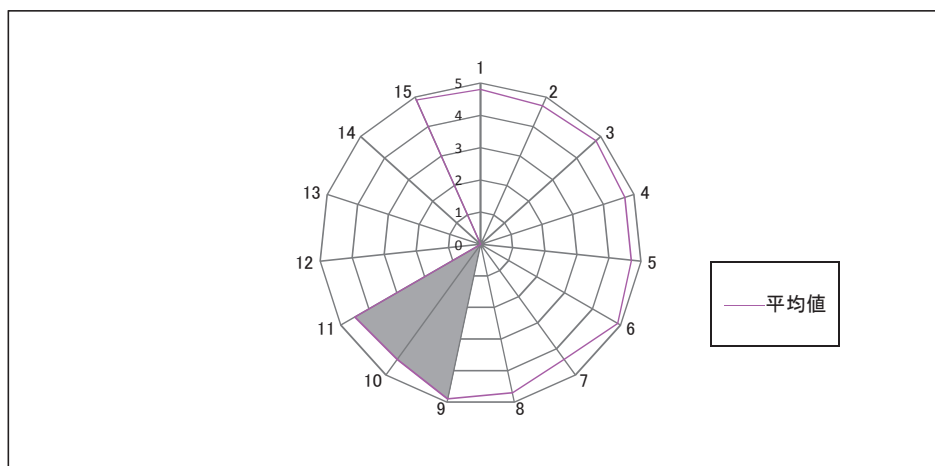
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語A  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 44名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	35	9	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	11	0	1	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	34	10	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	32	11	0	0	1	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	28	15	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	39	5	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	13	5	0	1	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	28	15	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	39	5	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	19	20	5	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	26	12	4	2	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	38	6	0	0	0	0	4.9



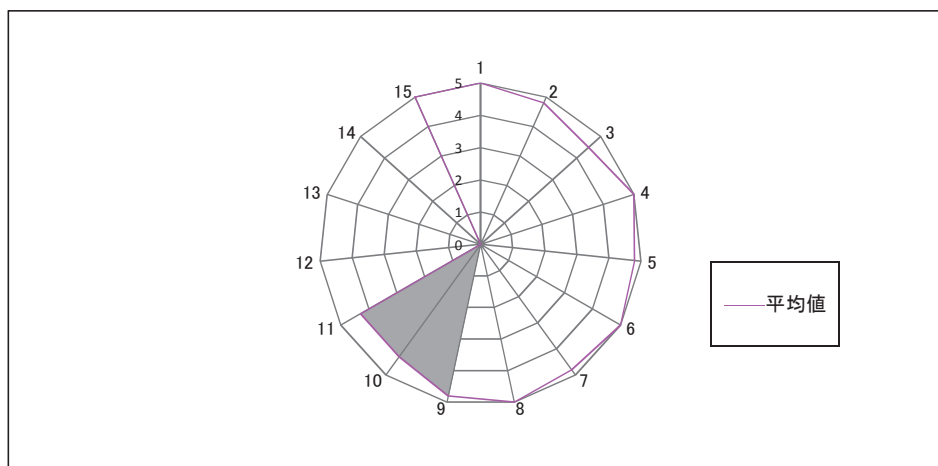
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語B  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



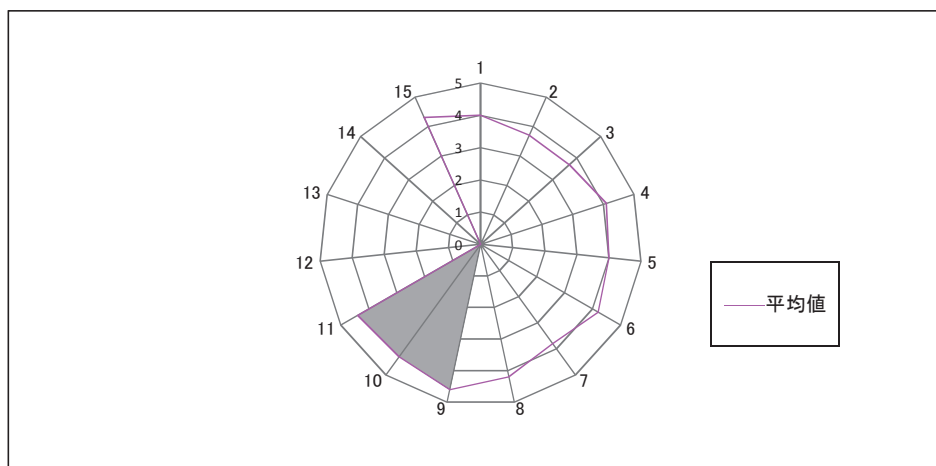
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 本田 亮, 武田 清, 村田 守, 佐藤 勝幸

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	7	1	0	1	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	7	1	0	2	0	3.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	6	4	1	0	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	8	2	0	0	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	7	0	2	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	7	2	0	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	6	3	0	1	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	1	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	5	1	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	7	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	6	2	0	0	0	4.3

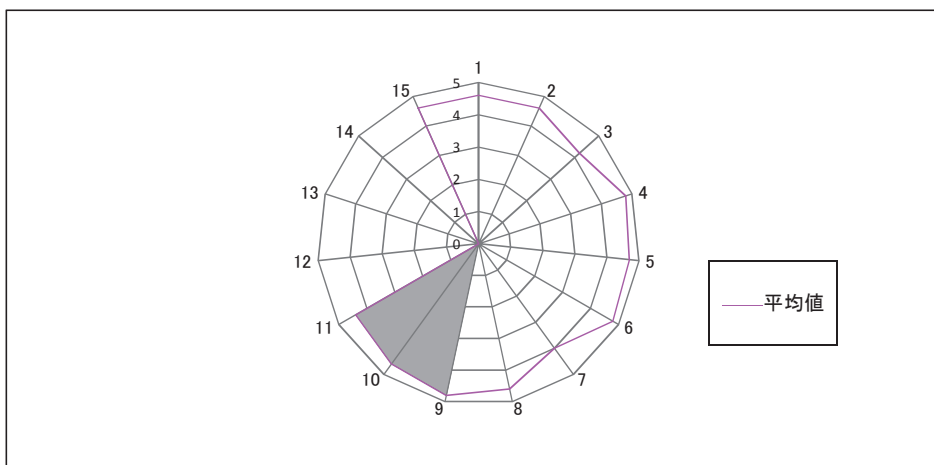


総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽 I  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 真鍋 美恵, 朝香 友貴, 鉄口 真理子      回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	1	1	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	4	1	0	0	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	13	1	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	12	2	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	4	3	2	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	4	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	3	2	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	2	4	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	11	2	2	0	0	0	4.6

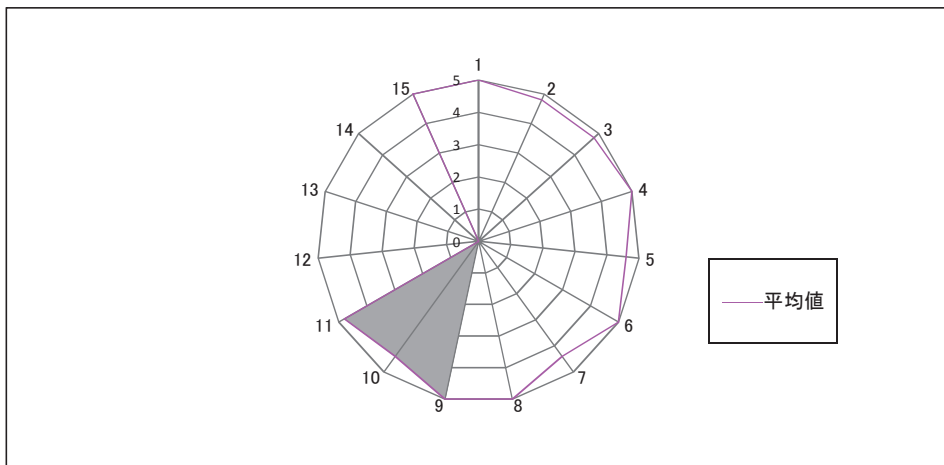


総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 増田 篤志 回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



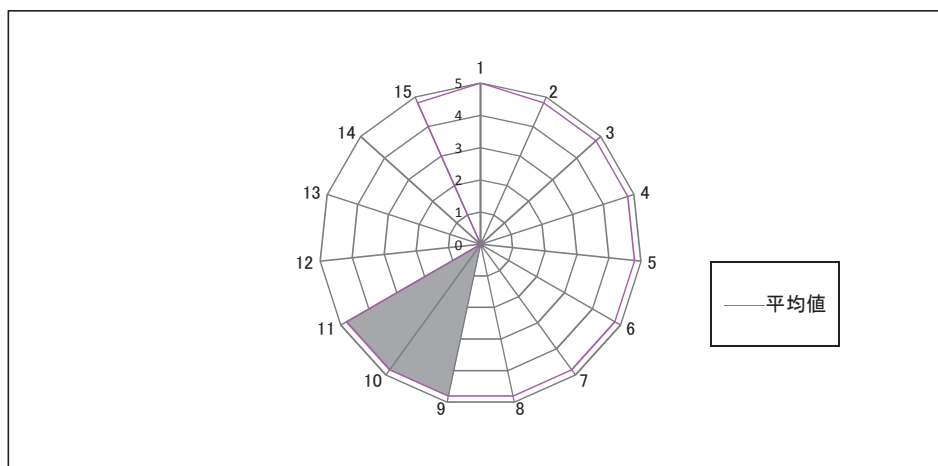
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 内藤 隆, 井上 史朗

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



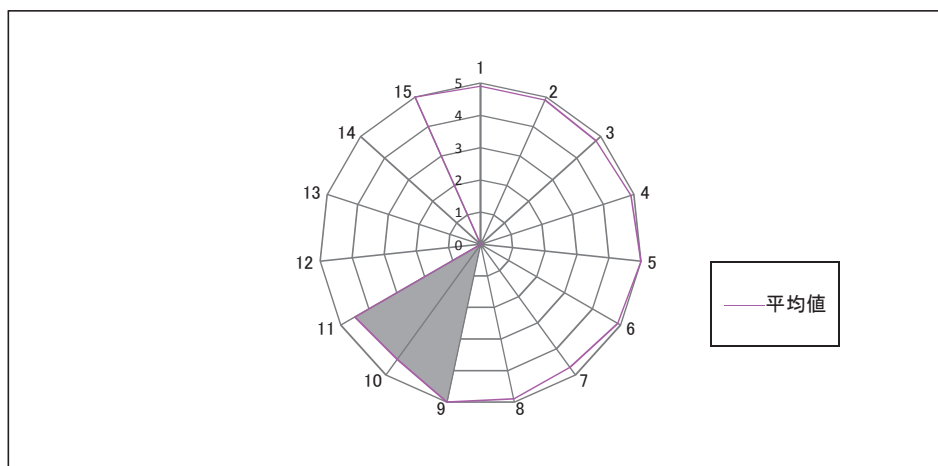
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児と環境(新課程)  
 評価実施日 令和2年11月26日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

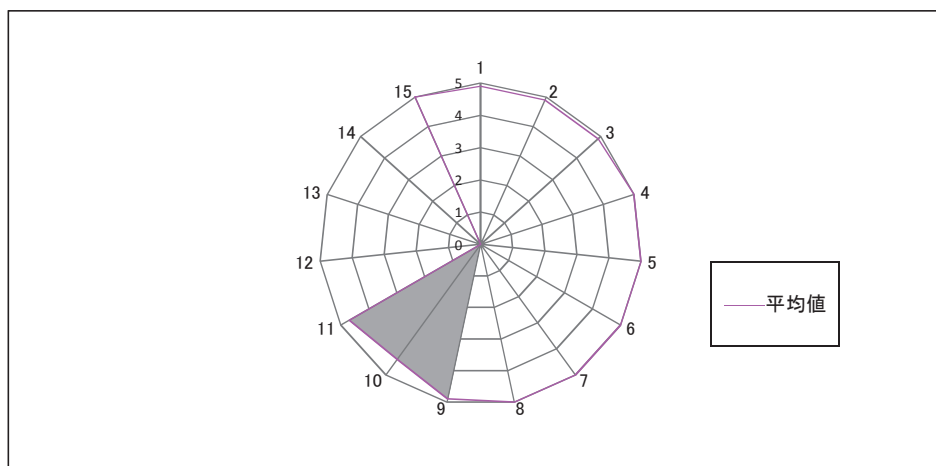
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 保育原論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



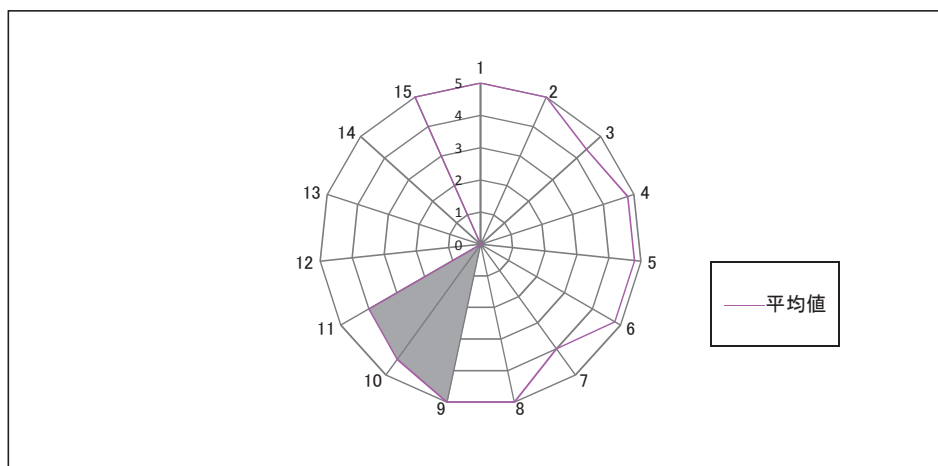
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護 I (新課程)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	3	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



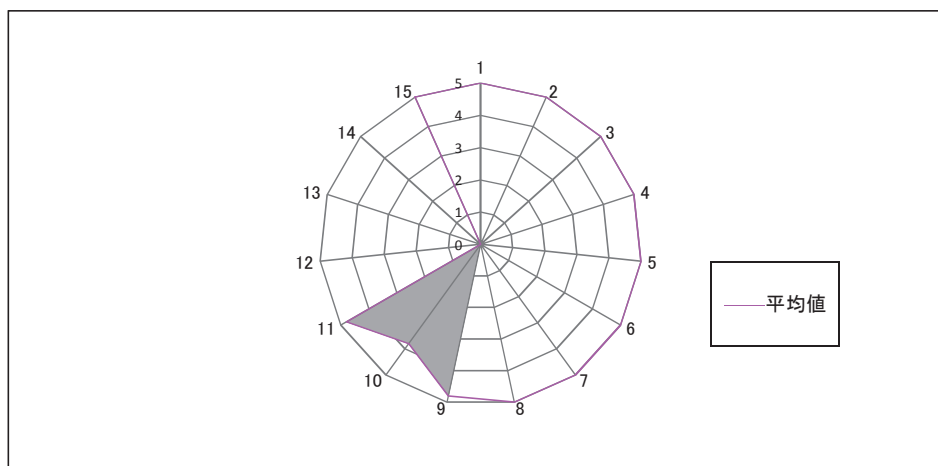
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子育て支援(新課程)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



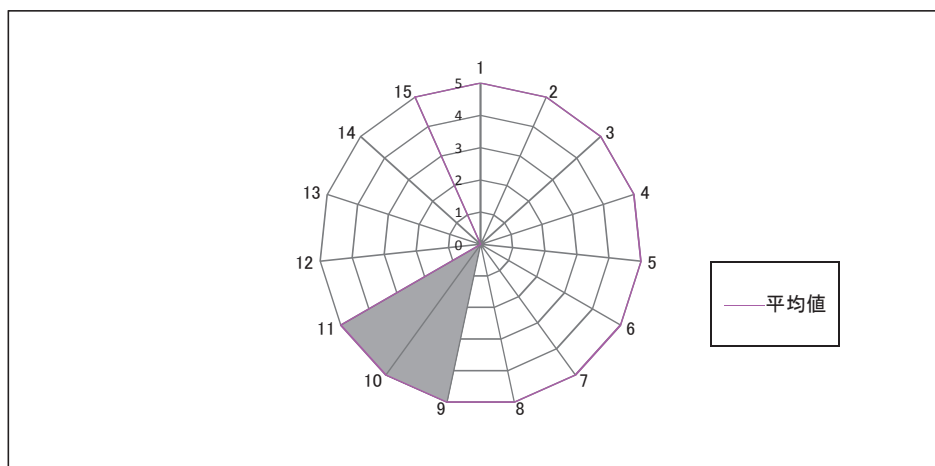
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健(新課程)  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



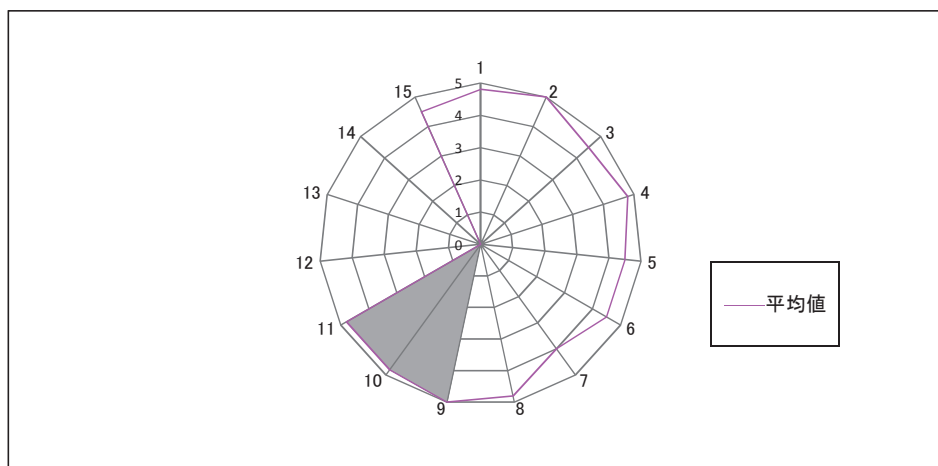
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの食と栄養  
 評価実施日 令和2年12月25日  
 担当教員名 馬場 公恵

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



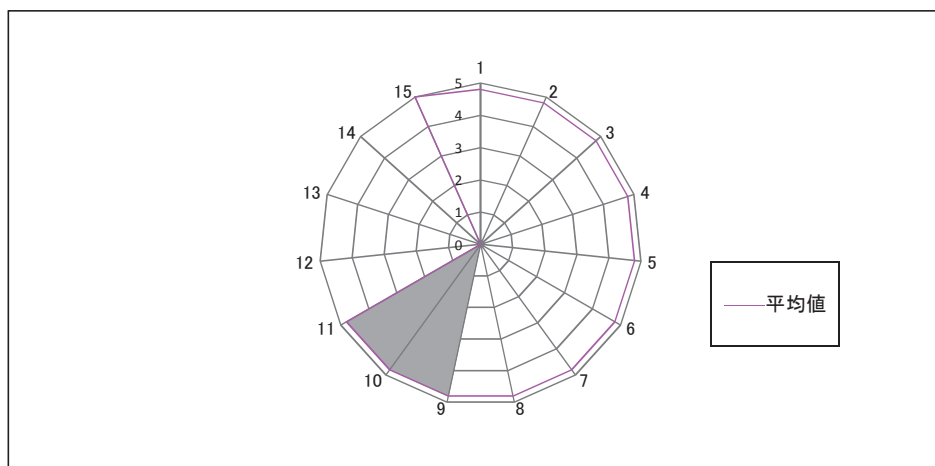
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳児保育Ⅱ(新課程)  
 評価実施日 令和2年11月25日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



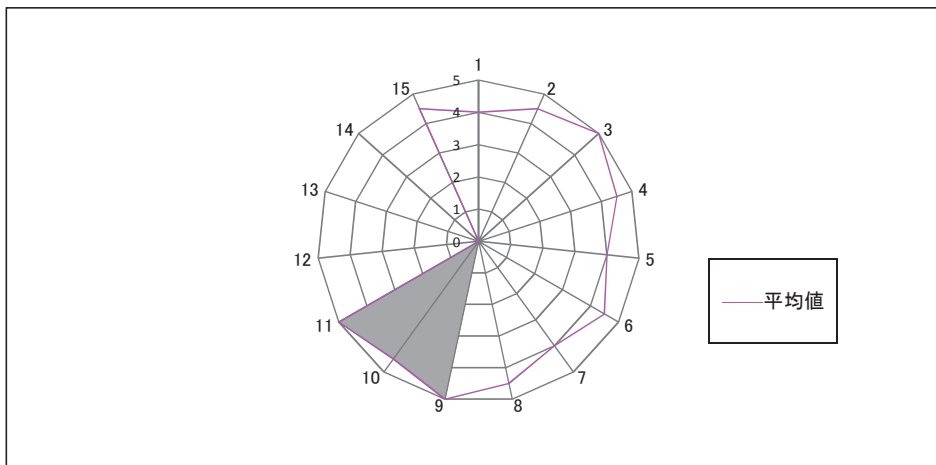
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳幼児教育研究法 I  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



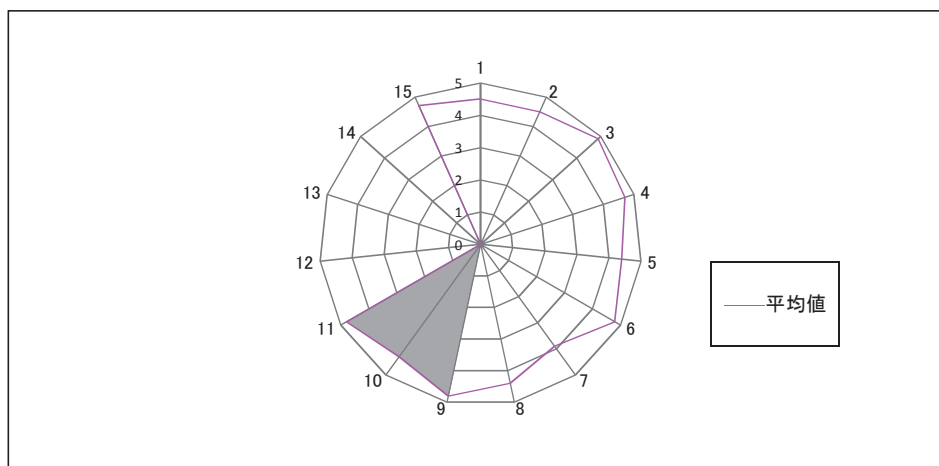
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学 I  
 評価実施日 令和2年12月25日  
 担当教員名 齊藤 学

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	1	1	0	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	5	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.5**

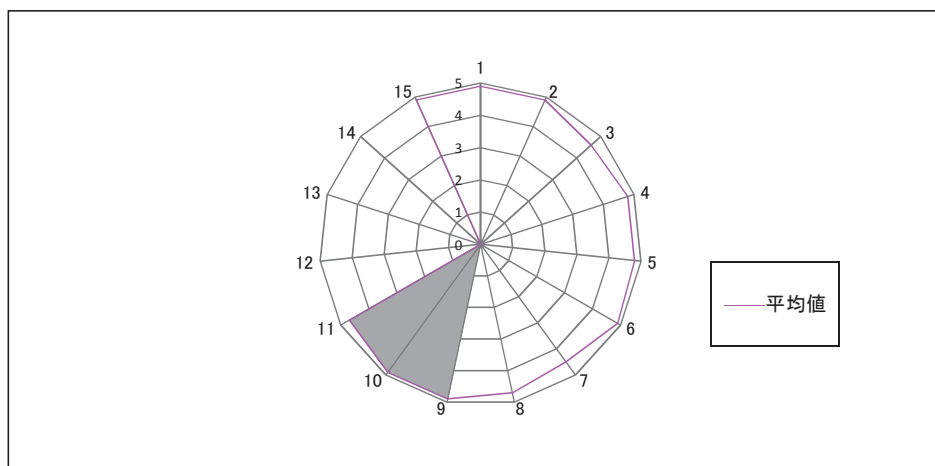
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 国文学概論(国文学史を含む。)  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	4	2	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	2	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	17	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	2	4	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	3	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	0	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	4	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	3	0	0	0	0	4.9



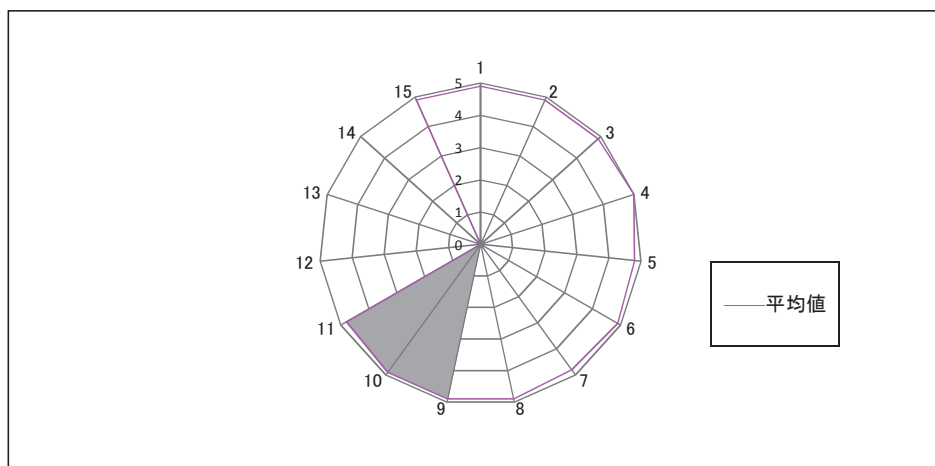
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論 I  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	3	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	3	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	3	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	2	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	3	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	19	3	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	3	0	1	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	3	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	19	2	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	18	4	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	3	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	3	0	0	0	0	4.9



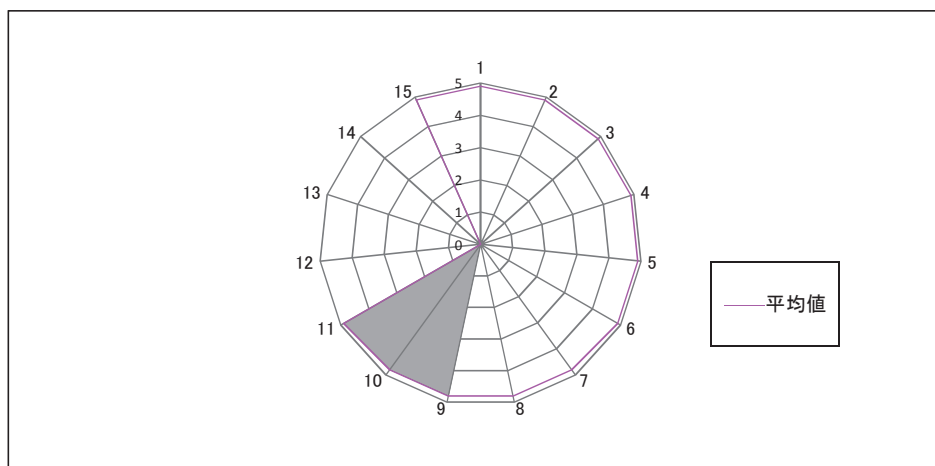
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 黒田 俊太郎, 平川 恵美子

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	2	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	0	4.9



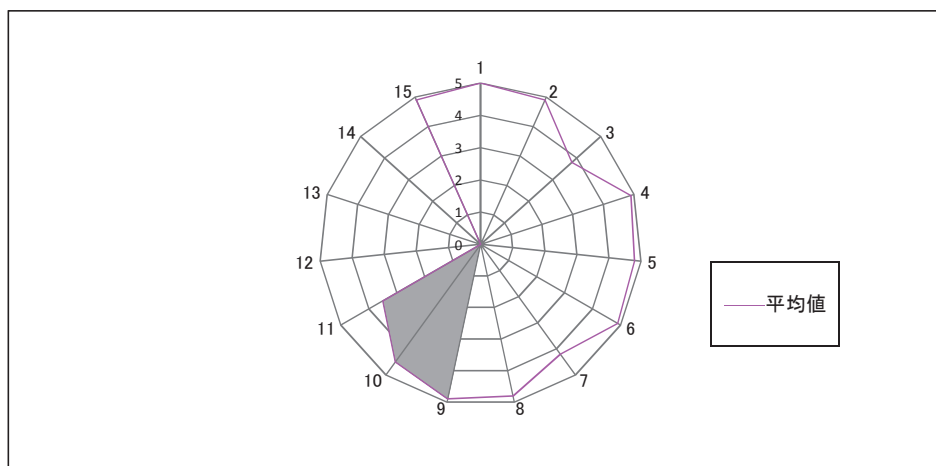
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 漢文学概論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 佐伯 雅宣

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	4	0	0	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	2	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	4	2	1	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	0	4.9



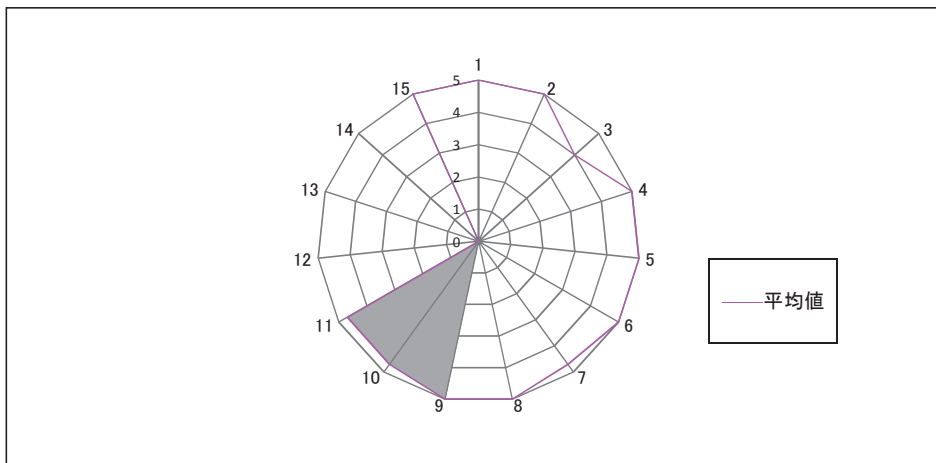
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写 I  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



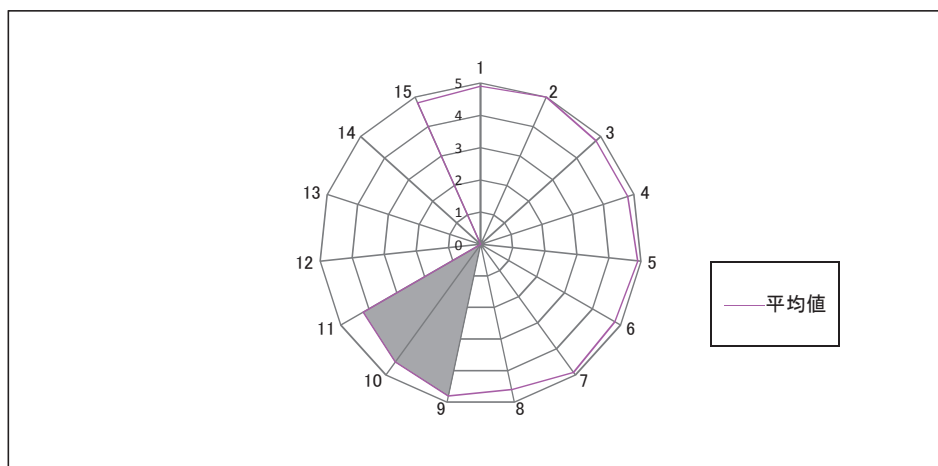
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	0	4.8



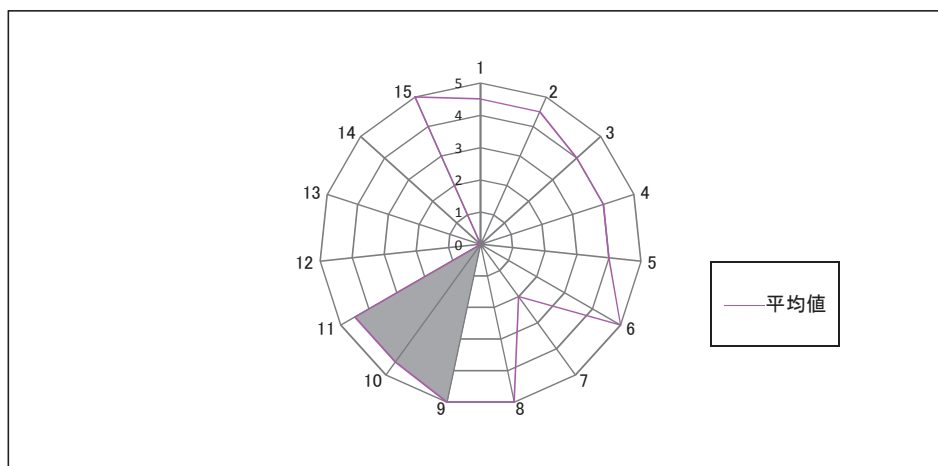
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語基礎研究  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	1	0	2.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



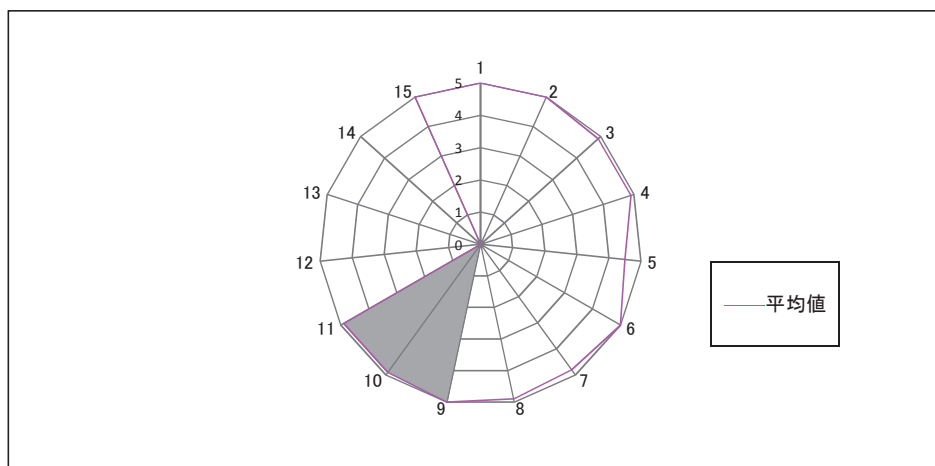
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学概論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 眞野 美穂, 藪下 克彦

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



総合評価	4.9
------	-----

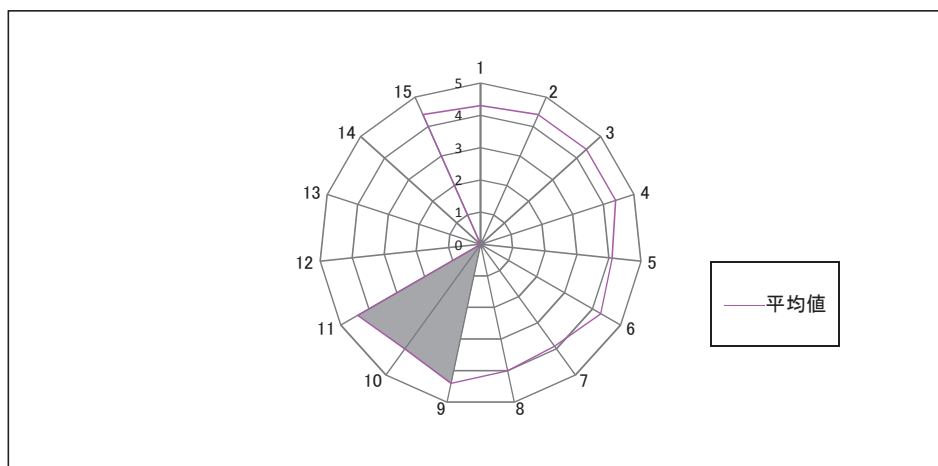
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 学習英文法  
 評価実施日 令和3年2月23日  
 担当教員名 西村 秀夫, 藪下 克彦

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	1	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	1	0	1	0	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	3	0	0	1	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	1	1	1	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	4	1	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	1	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	3	0	1	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	0	0	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	1	0	4.4



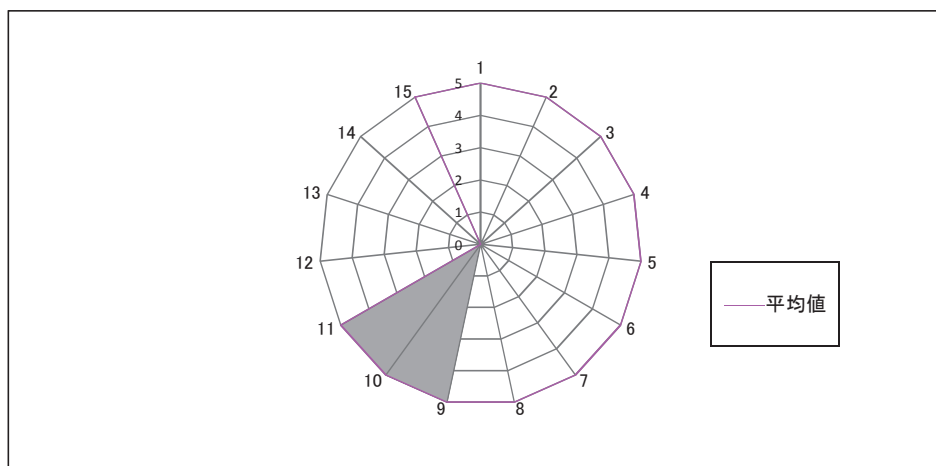
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語音声学  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



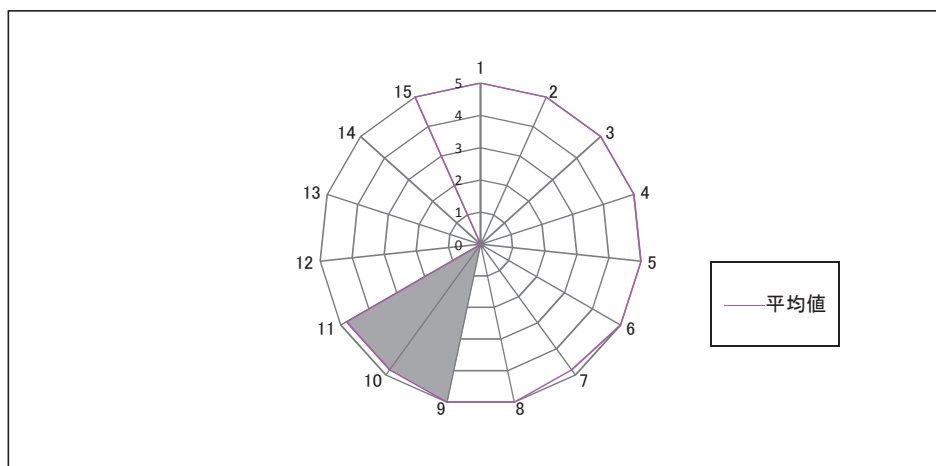
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



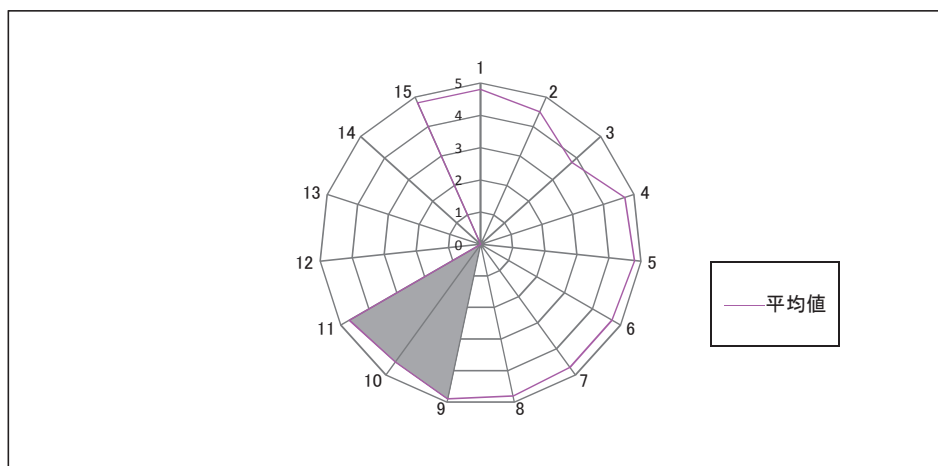
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究 I  
 評価実施日 令和2年12月20日  
 担当教員名 宮崎 隆義

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	1	2	0	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	0	4.8



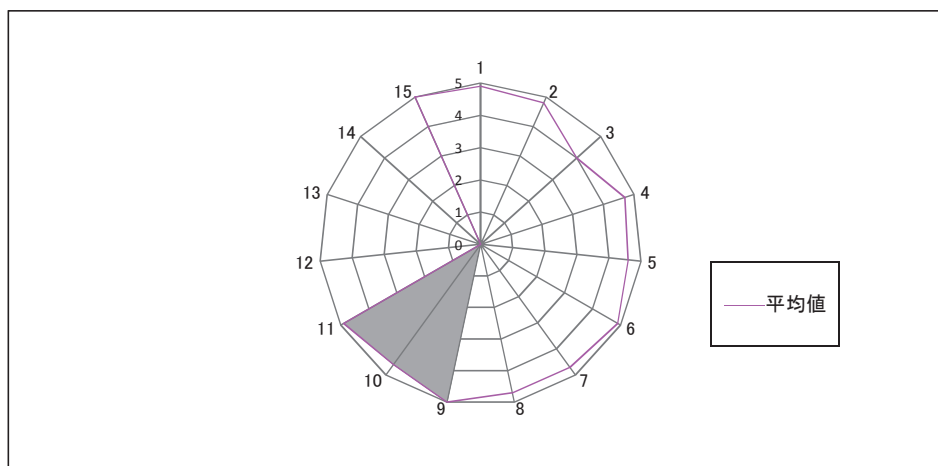
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史特論  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



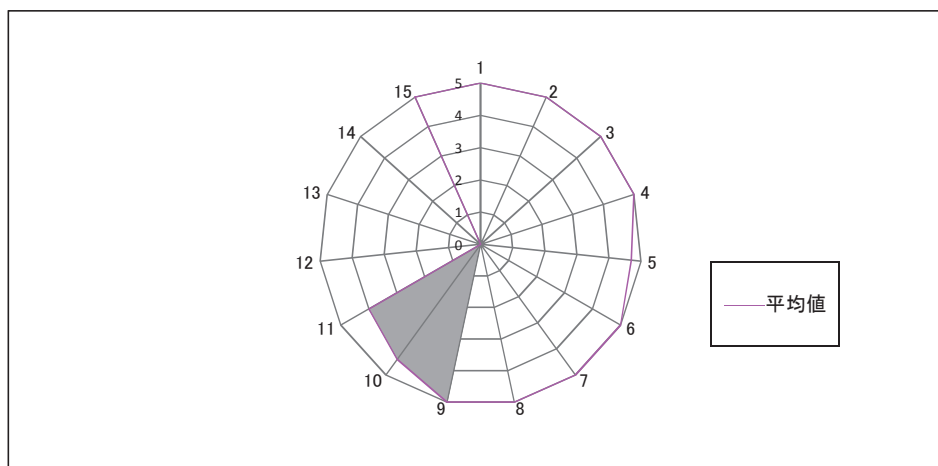
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史料講読  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



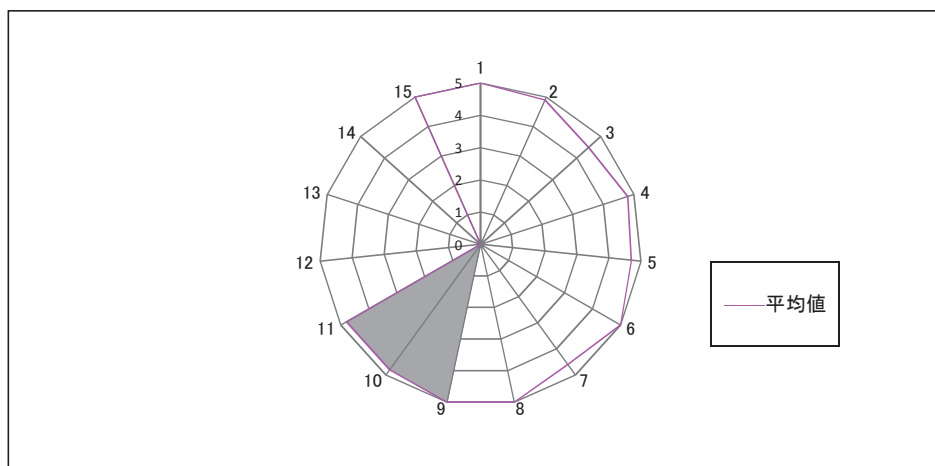
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 人文地理学特論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	3	0	1	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	0	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	3	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	0	5.0



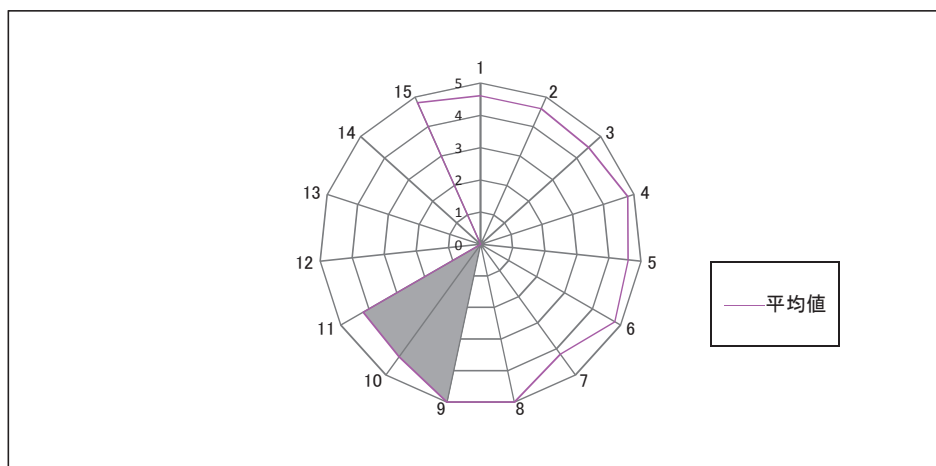
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学概論  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.7**

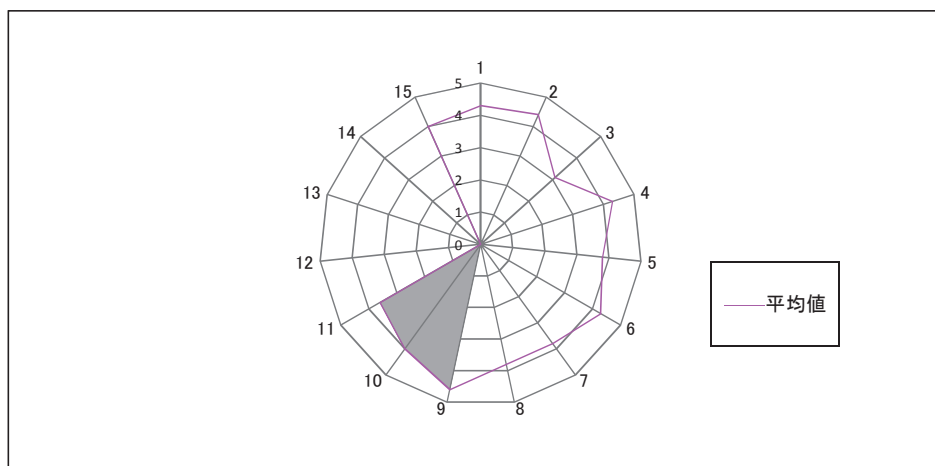
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 地誌学概論  
 評価実施日 令和2年11月25日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1 N.A	(項目別)	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	1	0	1	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	7	0	0	1	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	4	1	3	4	0	3.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	2	0	1	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	8	2	0	2	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	6	1	0	1	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	5	0	2	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	8	2	0	2	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	3	0	0	1	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	7	3	0	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	6	3	1	2	0	3.6
4 教育実践コア科目について （コア科目以外の場合は(15)へ）	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	5	2	0	2	0	4.0



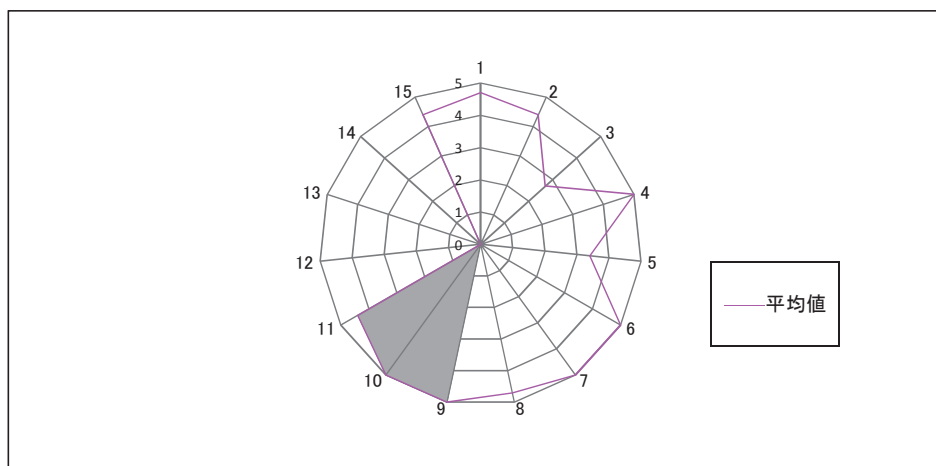
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学特論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	1	1	0	2.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	2	0	0	0	3.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	1	0	0	0	4.4



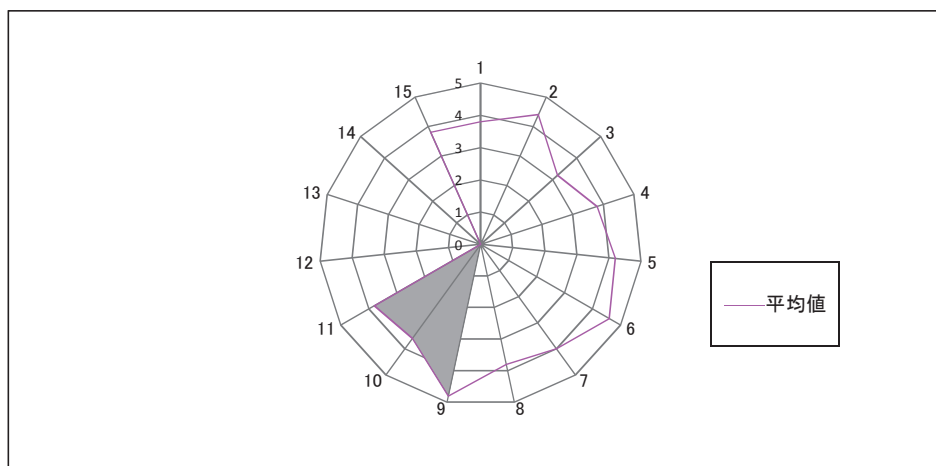
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地図学概論  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	1	2	0	0	3.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	0	1	0	0	3.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	2	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	3	0	0	0	3.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	2	2	0	0	0	3.8



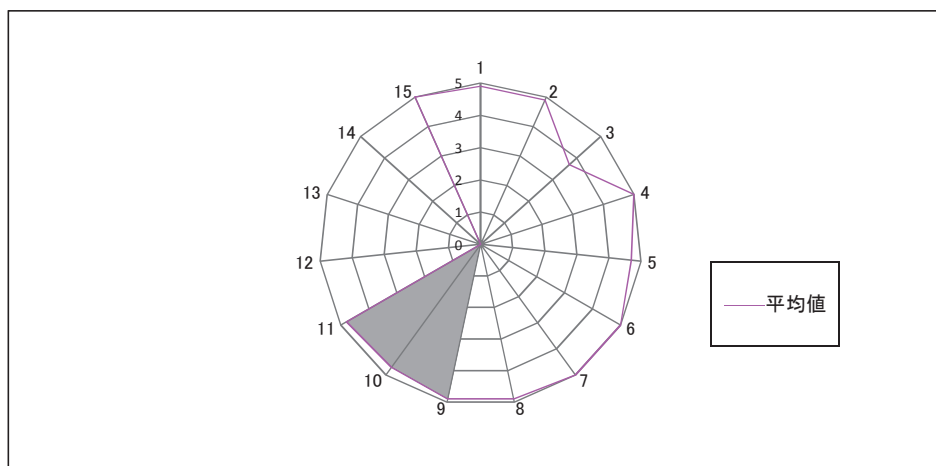
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学概論(国際法を含む。)  
 評価実施日 令和3年2月3日  
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	3	1	1	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



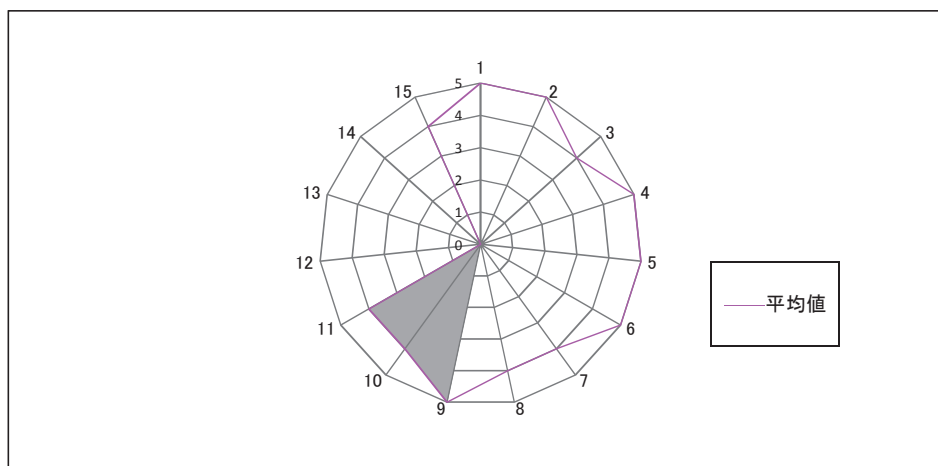
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 経済学概論  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 青葉 暢子

回答者数 1名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



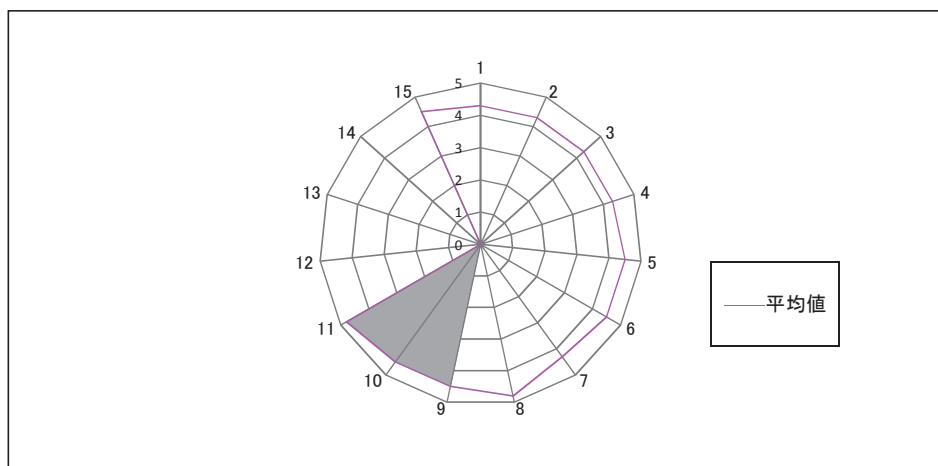
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学特論  
 評価実施日 令和2年12月25日  
 担当教員名 平野 康之

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



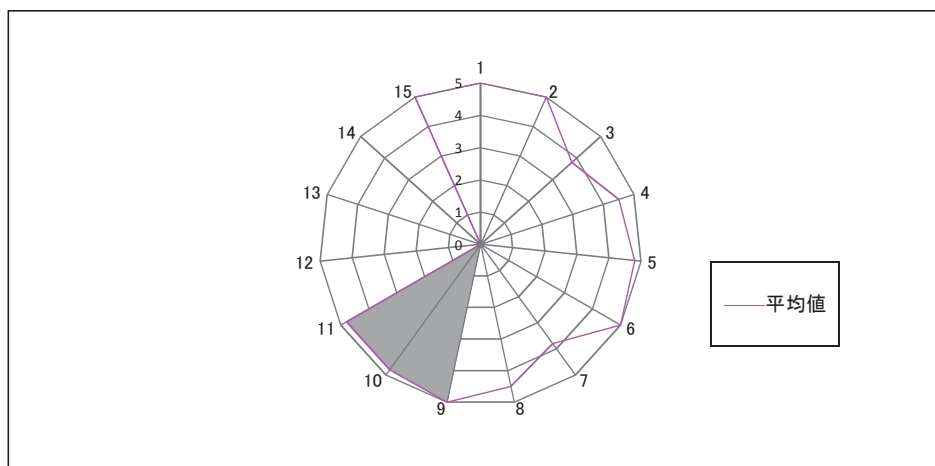
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学 I  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	1	0	0	3.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	1	1	0	0	3.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



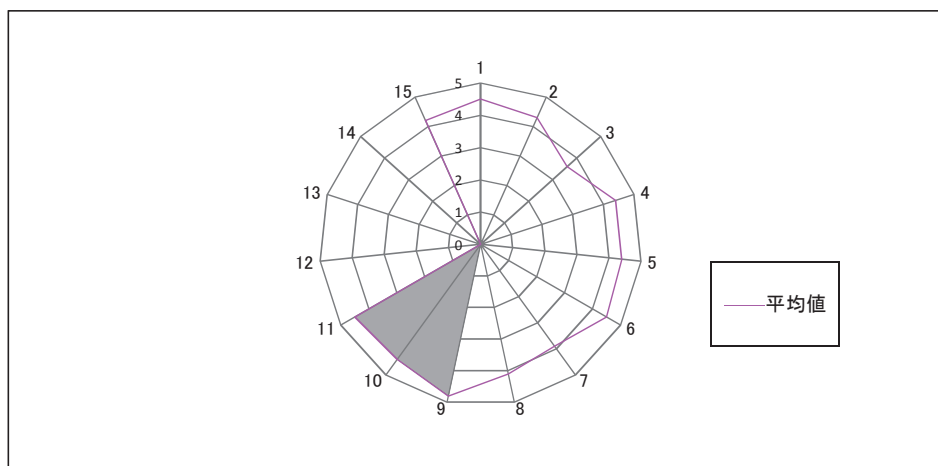
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学 I (新課程)  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	1	1	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	5	2	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	4	1	1	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	3	2	1	1	0	3.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	4	2	1	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	1	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	4	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	5	1	1	0	0	4.2



総合評価 **4.2**

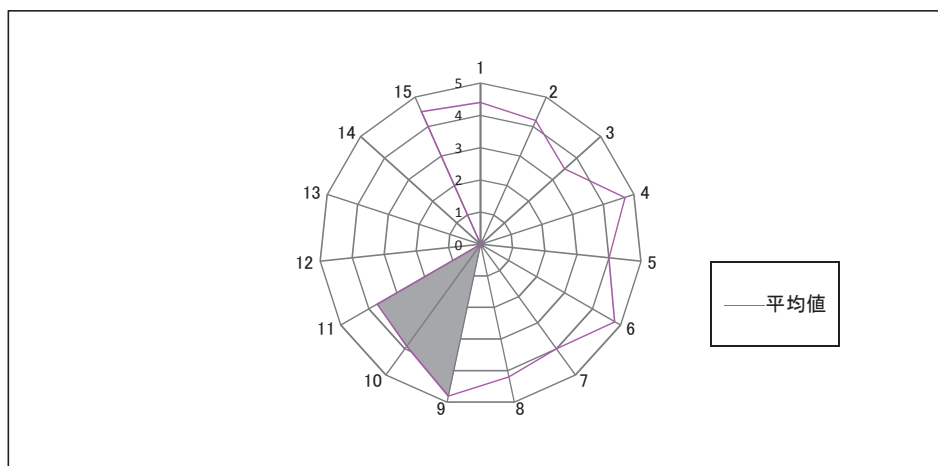
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 生物学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 工藤 慎一

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	1	1	1	0	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	1	0	1	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	1	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	3	0	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	1	2	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	2	1	0	0	0	4.5



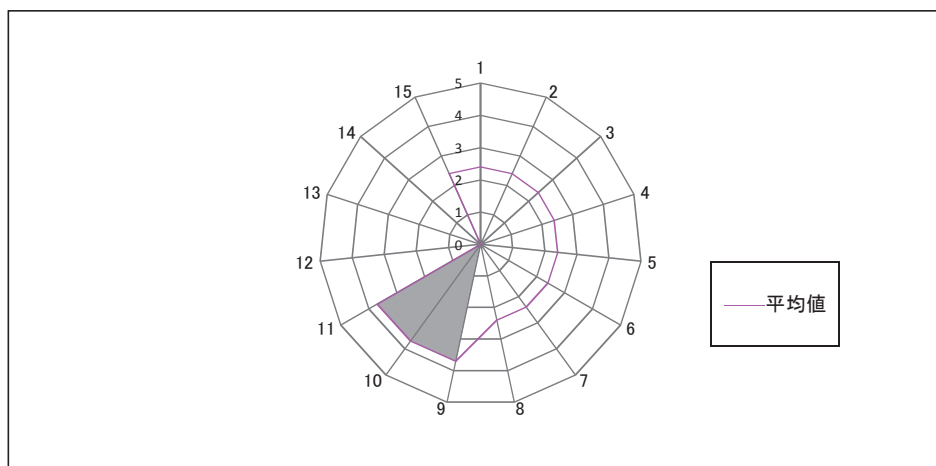
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学 I (新課程)  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 村田 守

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	2	0	2.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	2	0	2.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	2	0	2.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	2	0	2.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	2	0	2.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	2	0	2.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	2	0	2.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	2	0	2.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	1	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	1	0	3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	2	0	2.4



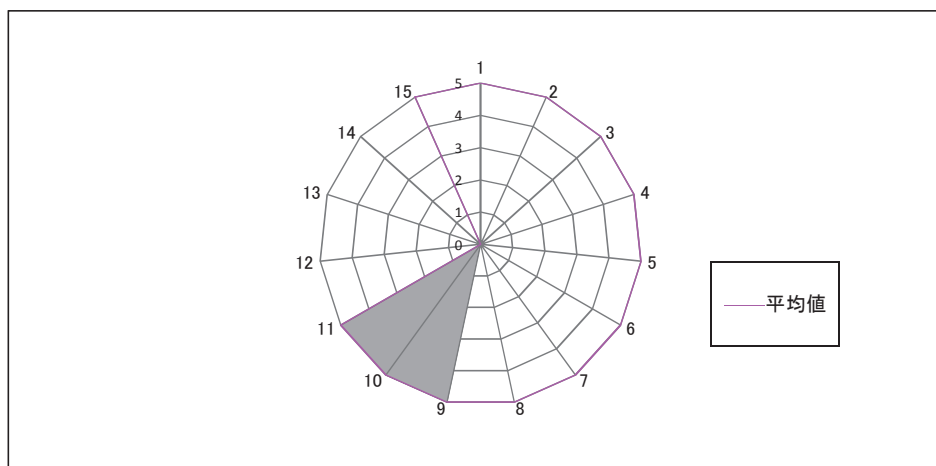
総合評価 **2.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学実験 I (野外実習)  
 評価実施日 令和2年11月26日  
 担当教員名 村田 守, 小澤 大成

回答者数 1名

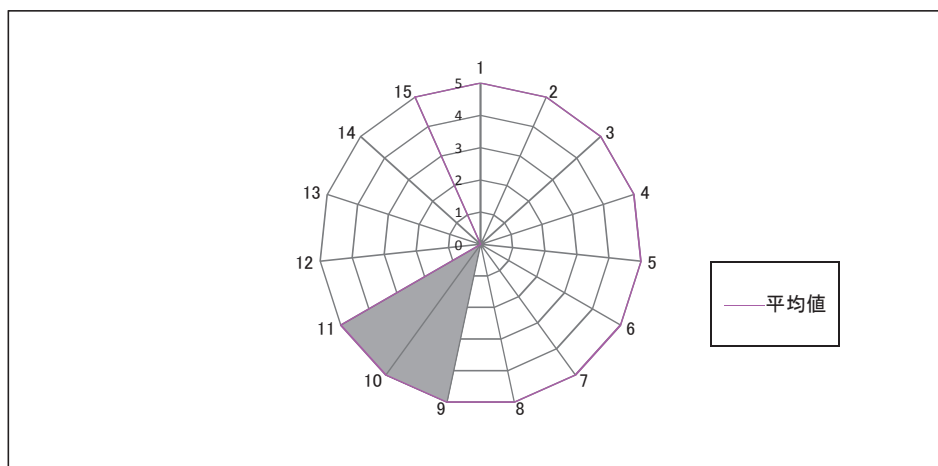
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0



授業科目名 地学実験Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 村田 守, 小澤 大成

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



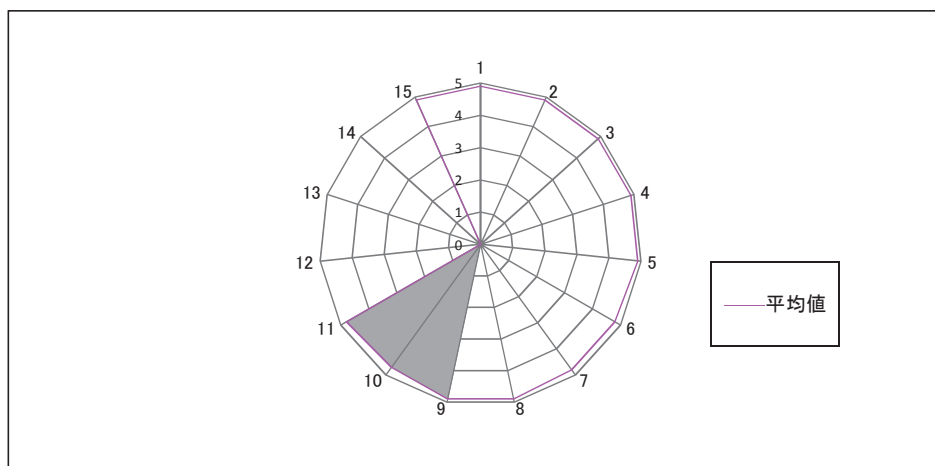
授業科目名 日本伝統音楽(日本の伝統的な歌唱を含む)

評価実施日 令和3年2月4日

担当教員名 丸岡 安弥乃

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は、適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



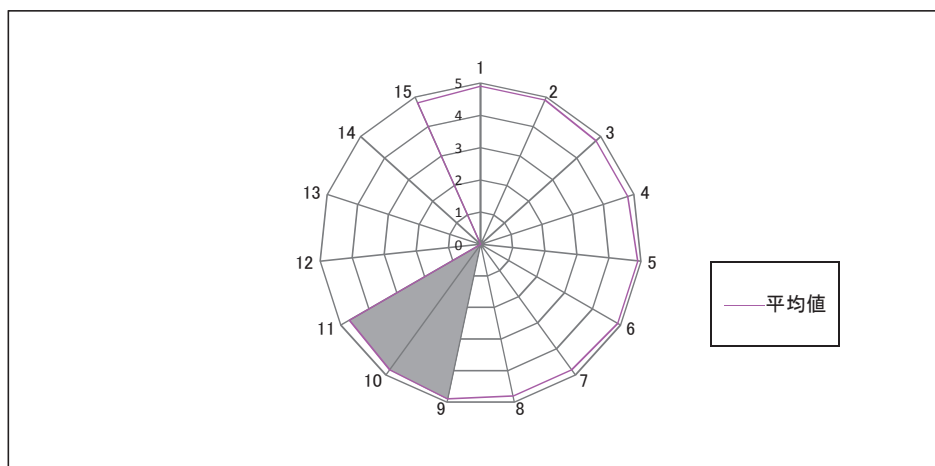
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 声楽基礎 I  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	0	4.8



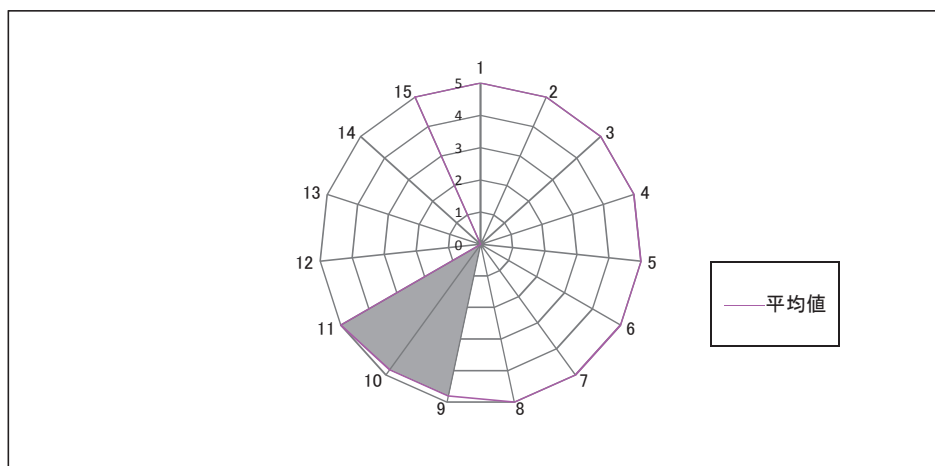
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 歌唱法 I  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



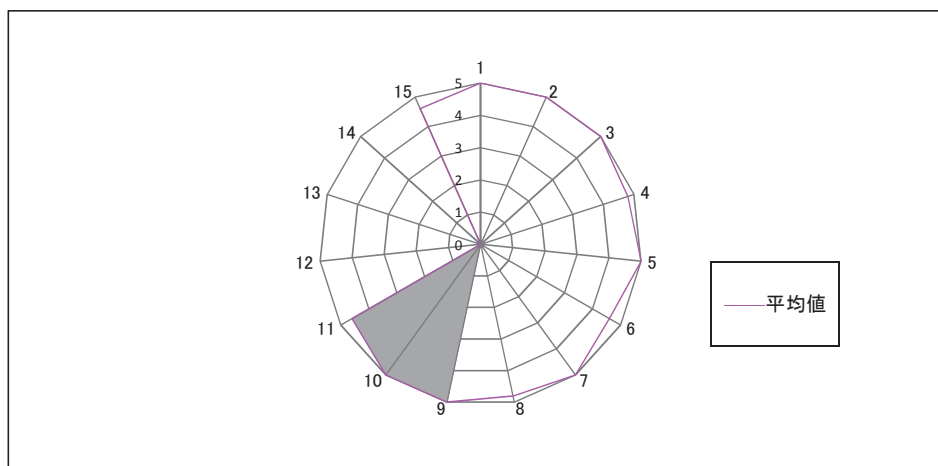
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本の伝統音楽(和楽器)  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 横山 佳世子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	1	0	0	0	4.6



総合評価 **4.9**

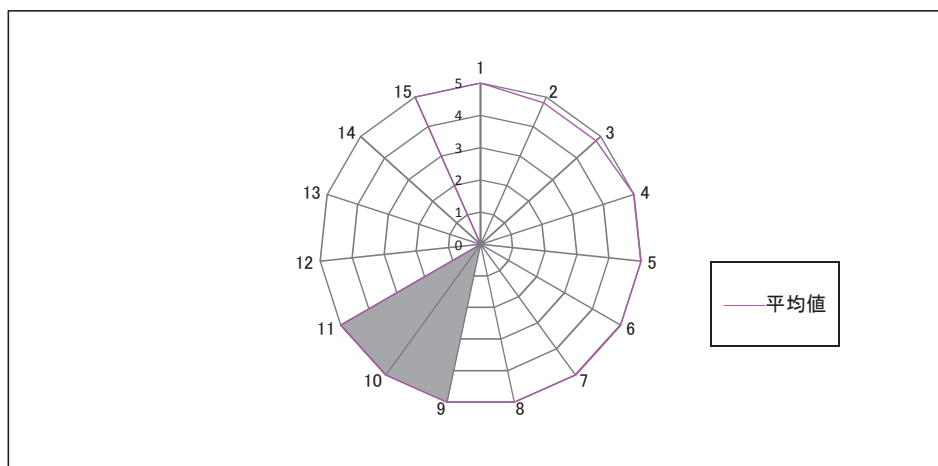
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 ピアノ基礎 I  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 森 正, 米田 佳子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



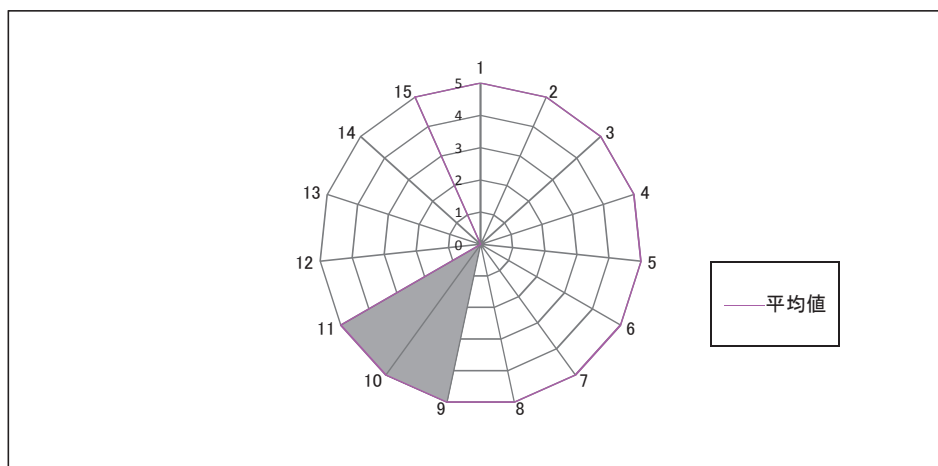
総合評価	5.0
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ I  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



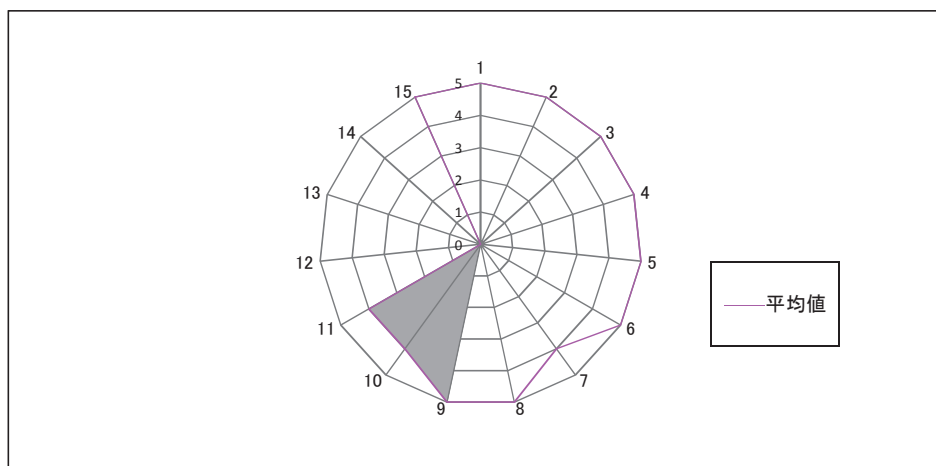
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器 I  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



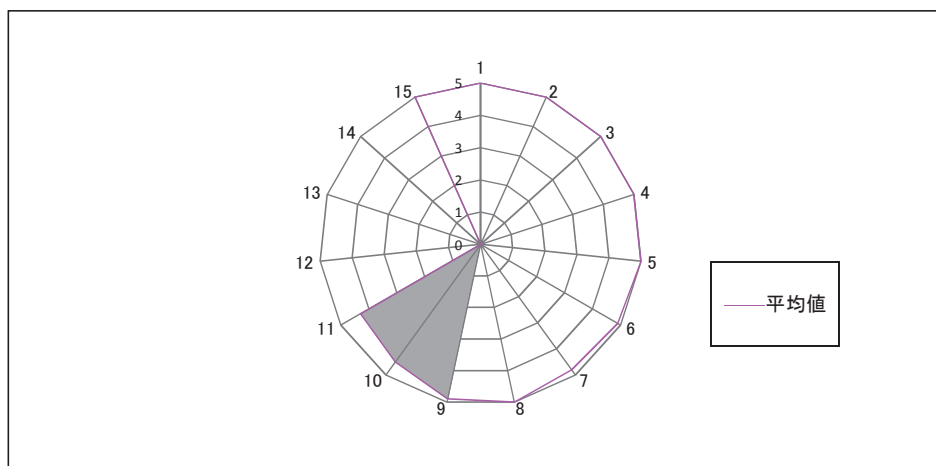
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮法  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	4	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



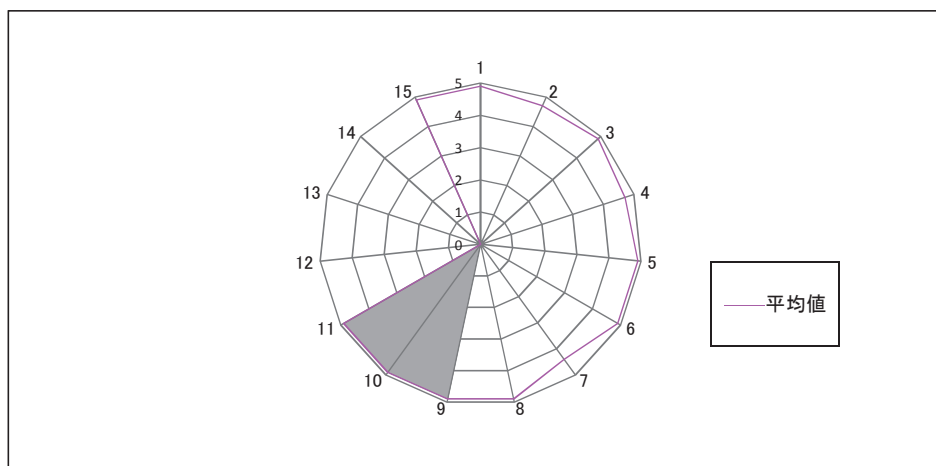
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



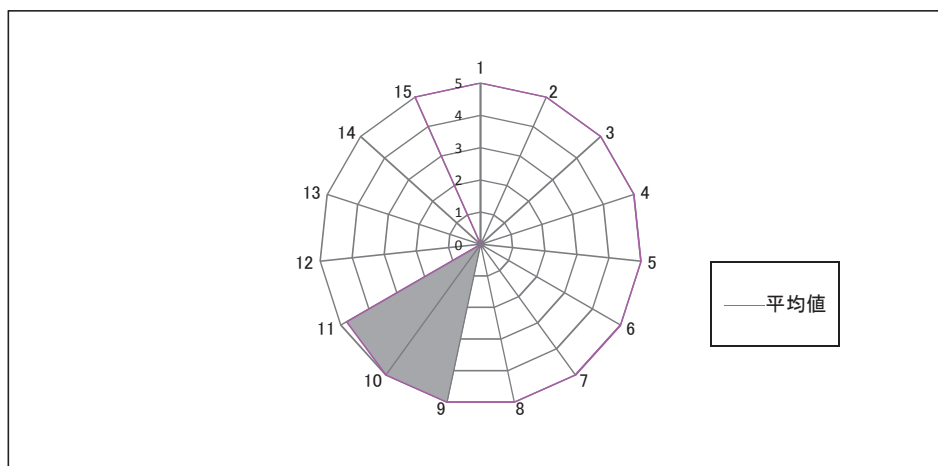
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 音楽通論  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 松岡 みち子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



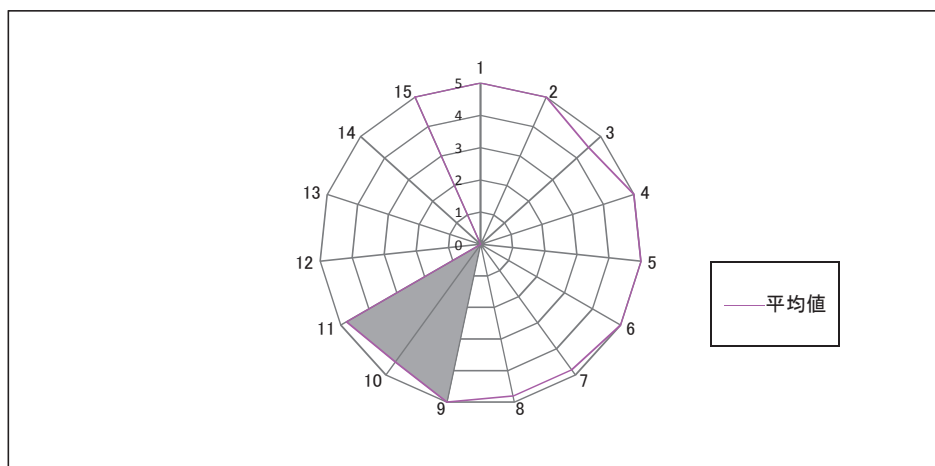
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



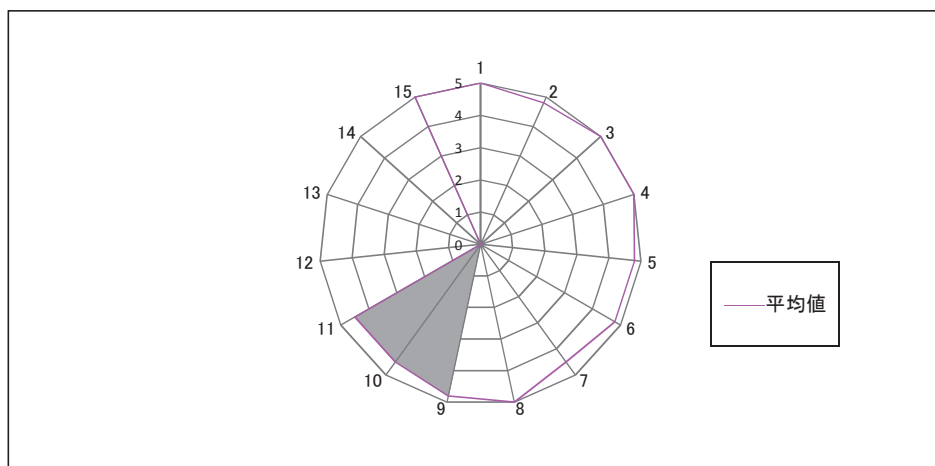
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画材料研究  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

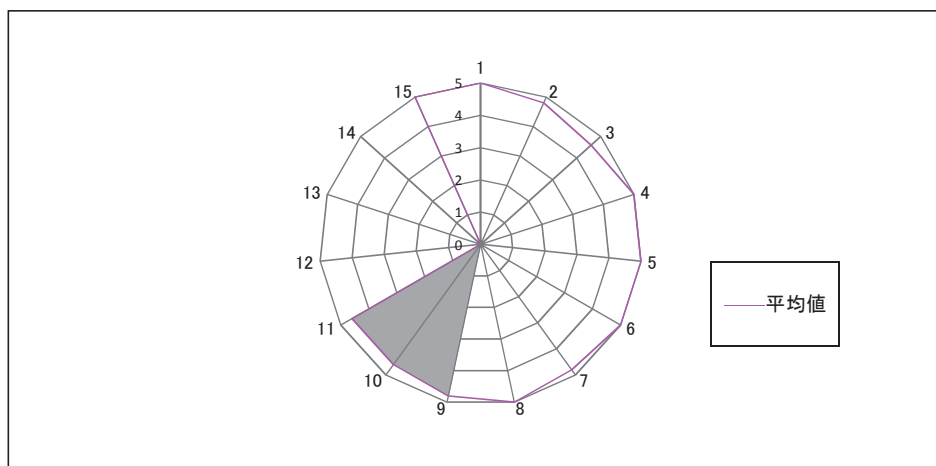
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 素描  
 評価実施日 令和3年2月16日  
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	0	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



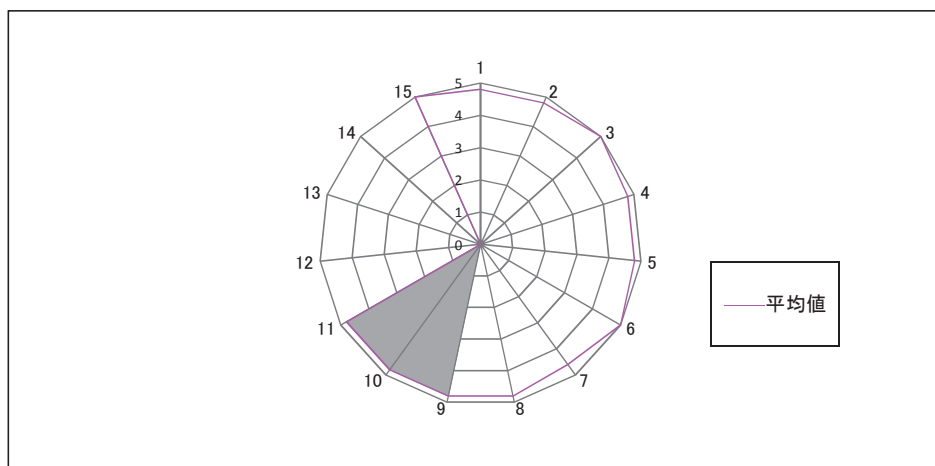
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻 I  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 三原 敏文

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



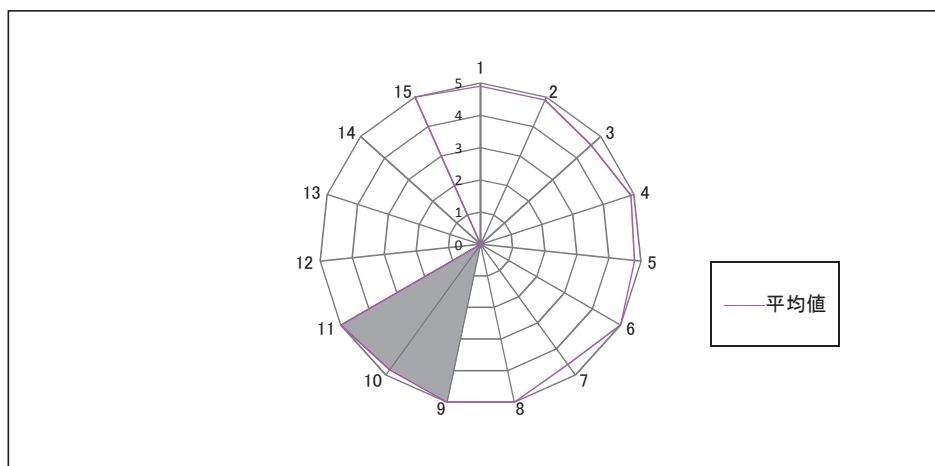
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザインⅡ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



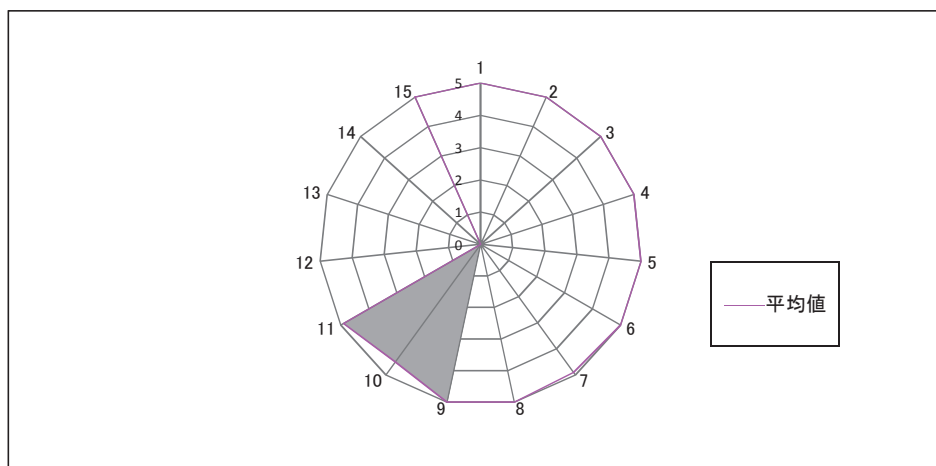
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名        工芸 I  
 評価実施日        令和3年2月4日  
 担当教員名        栗原 慶

回答者数        6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



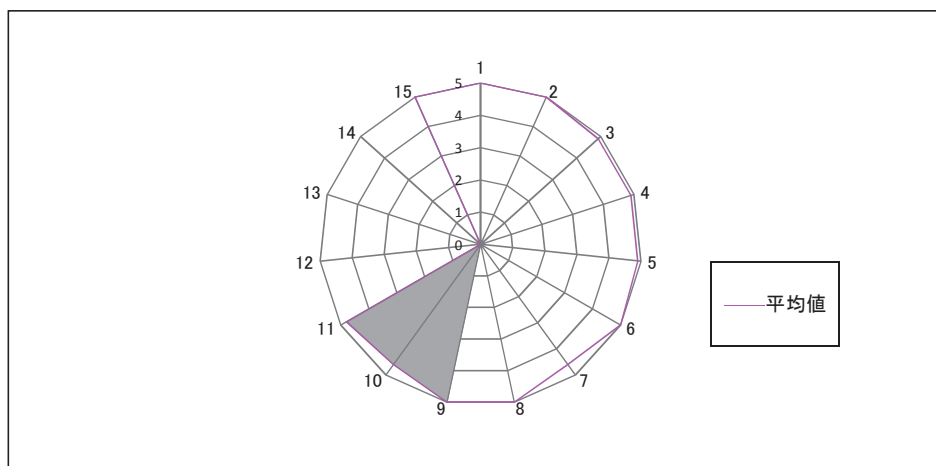
総合評価        5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸材料研究  
 評価実施日 令和2年12月21日  
 担当教員名 福井 一真

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	1	0	1	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0



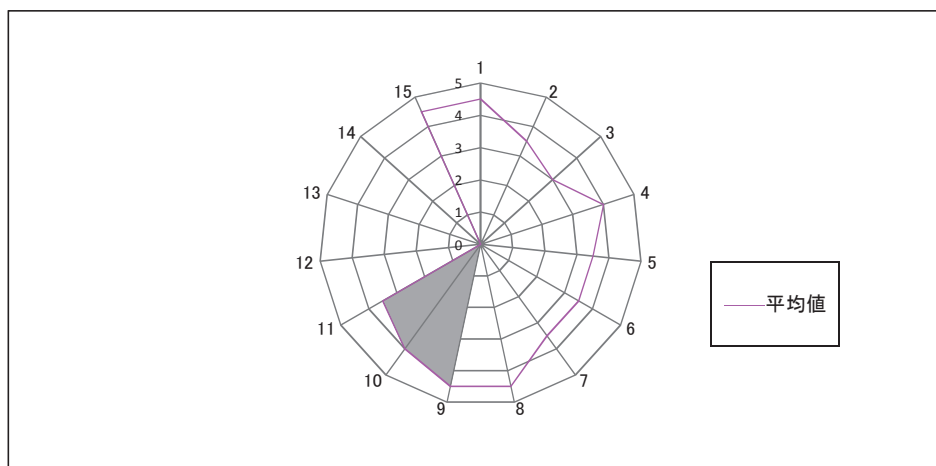
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術理論・美術史 I  
 評価実施日 令和3年2月9日  
 担当教員名 小川 勝

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	1	0	0	3.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	1	0	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	1	0	0	0	3.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



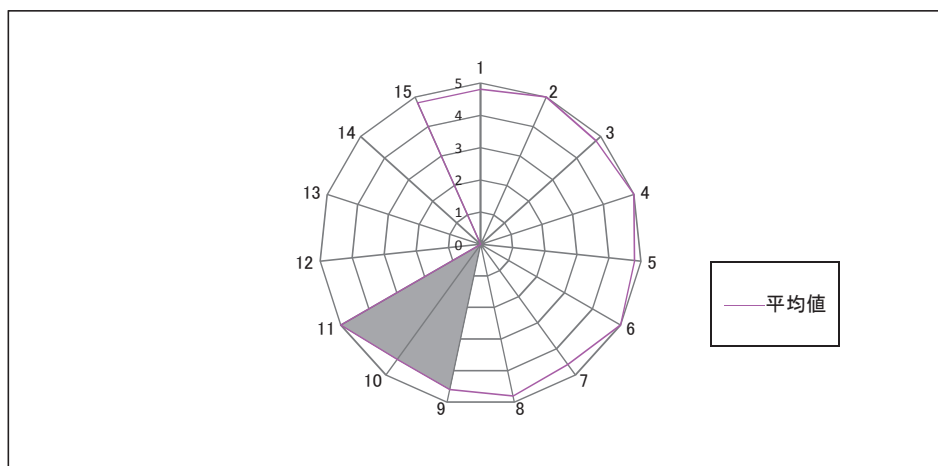
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動方法V  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 山口 晏奈

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	0	4.8



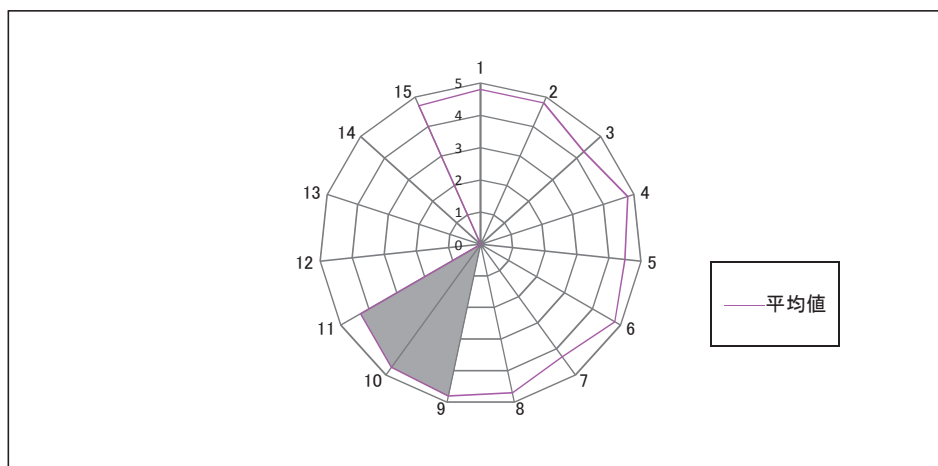
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動学 I  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	0	2	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	1	1	0	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	5	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	7	0	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	5	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.6**

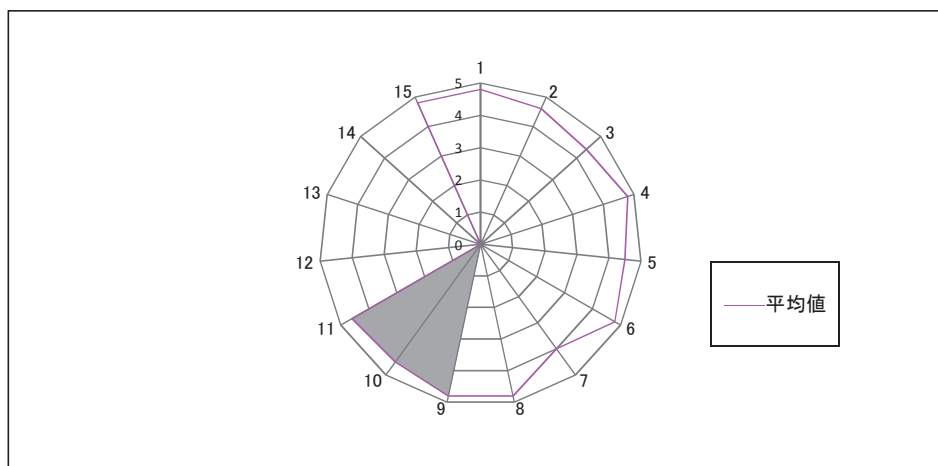
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 運動学Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	6	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	4	1	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	4	1	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	6	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	4	0	0	0	0	4.8



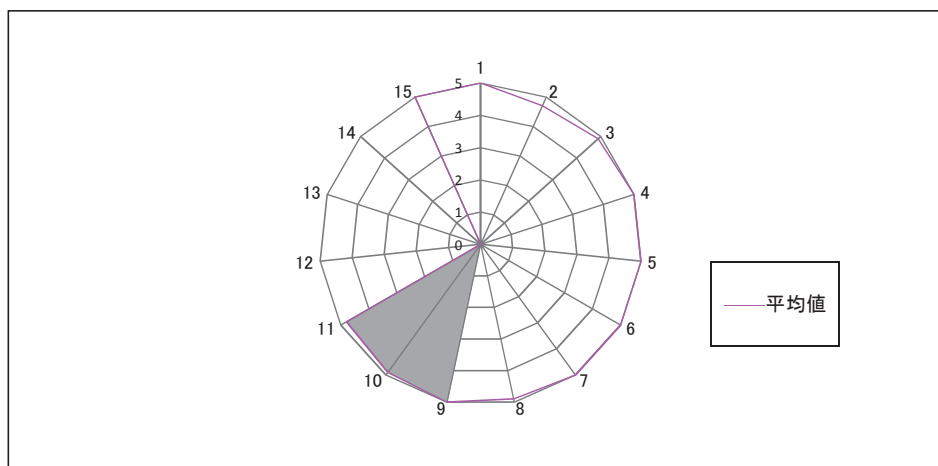
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生理学 I  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 田中 弘之

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	3	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	14	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	4	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	1	0	0	0	0	5.0



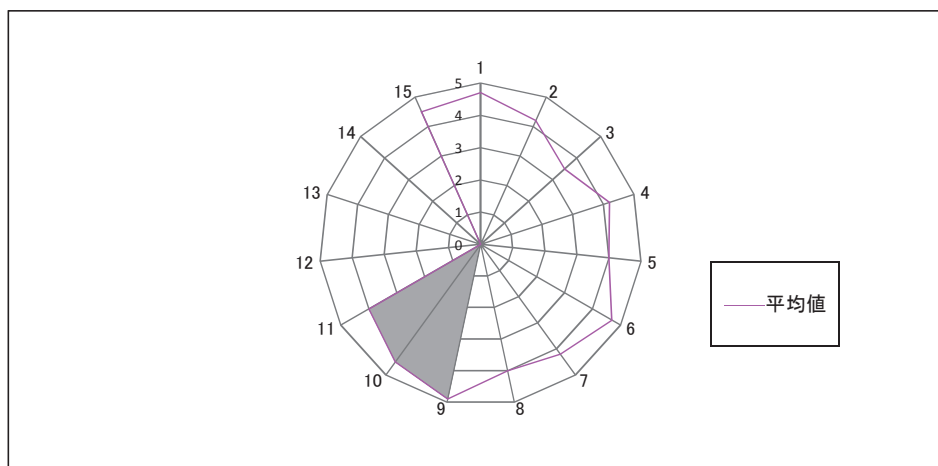
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衛生学・公衆衛生学 I  
 評価実施日 令和2年12月1日  
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	1	0	0	4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	2	0	1	0	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	1	0	4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	1	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	1	0	0	4.5



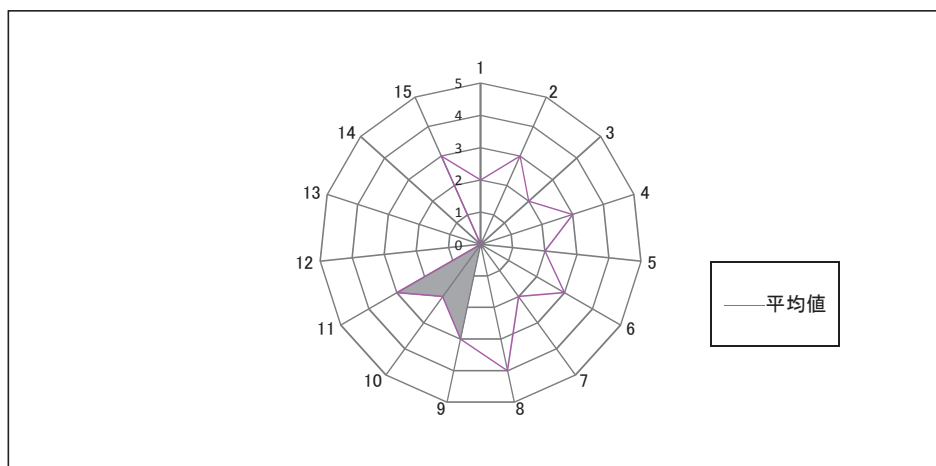
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	1	0	0	2.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	1	0	0	2.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	1	0	0	2.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	0	1	0	0	2.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	0	1	0	0	0	3.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	0	0	1	0	0	2.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	0	3.0



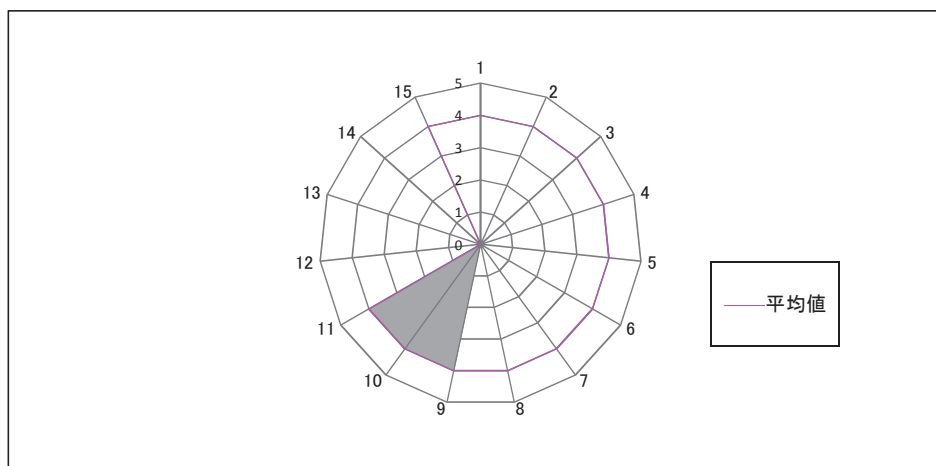
総合評価 **2.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電気基礎(実習を含む。)  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	1	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	0	4.0



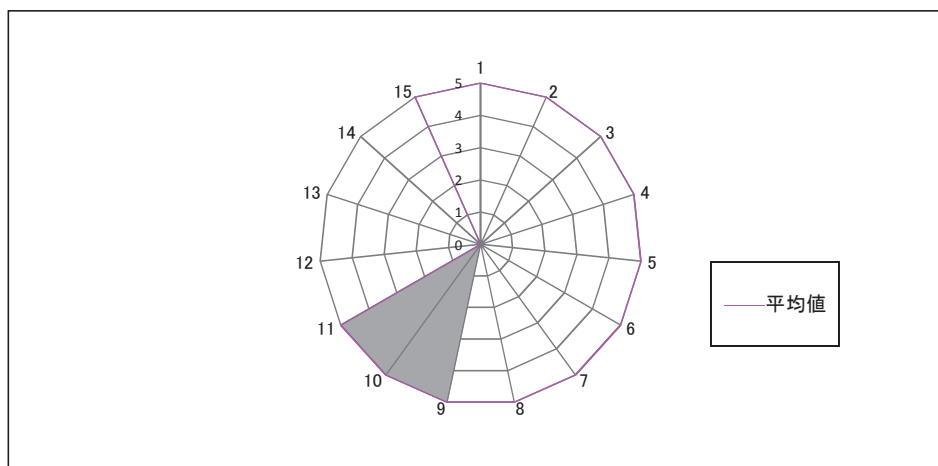
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 職業指導  
 評価実施日 令和2年12月20日  
 担当教員名 城 仁士

回答者数 1名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	0	5.0



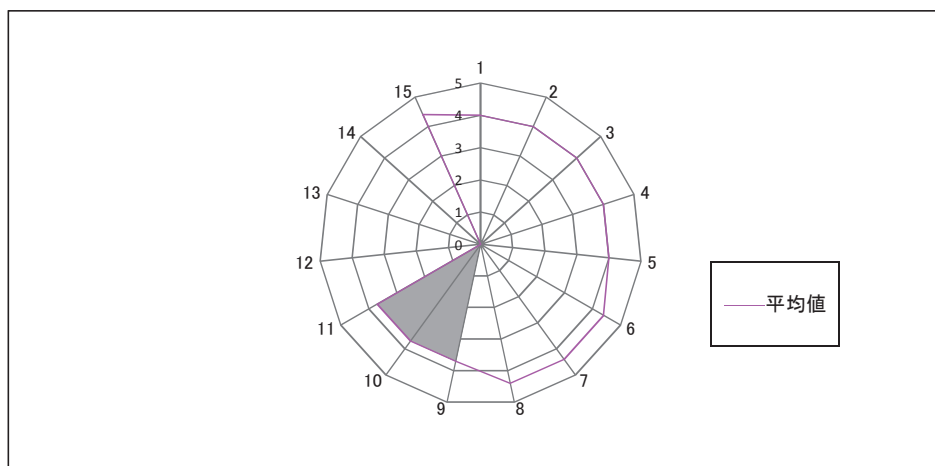
授業科目名 情報ネットワーク演習(実習を含む。)

評価実施日 令和3年2月4日

担当教員名 曾根 直人

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	3	0	0	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	3	0	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	1	0	0	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	1	0	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	0	4.4



総合評価	4.2
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

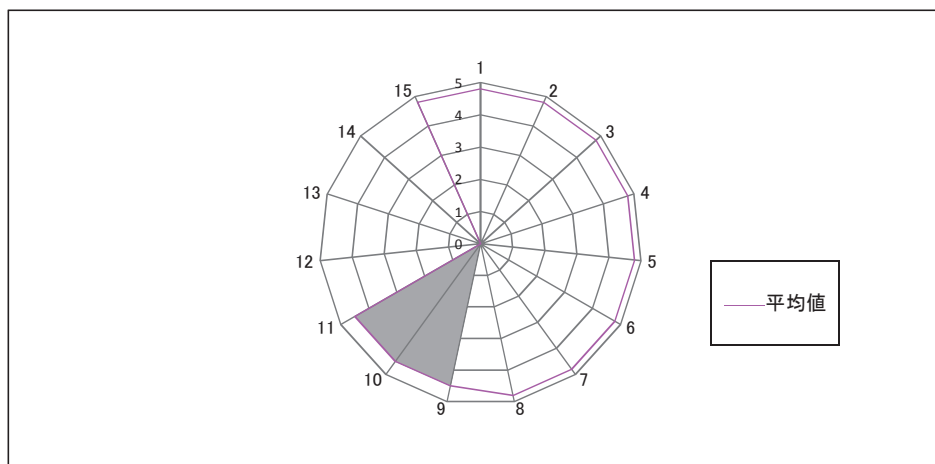
授業科目名 マルチメディアと教育技術(実習を含む。)

評価実施日 令和3年2月20日

担当教員名 宮崎 英一

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



総合評価	4.8
------	-----

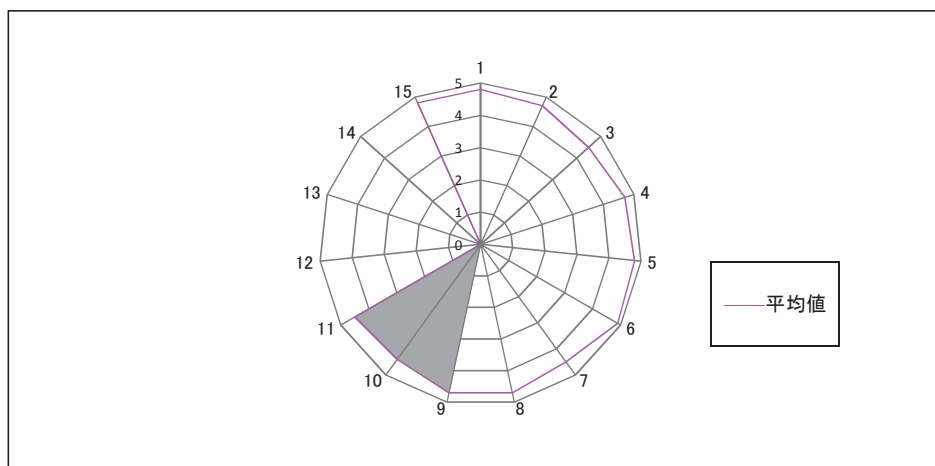
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 家庭経営学概論  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 黒川 衣代, 坂本 有芳

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	5	0	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	5	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

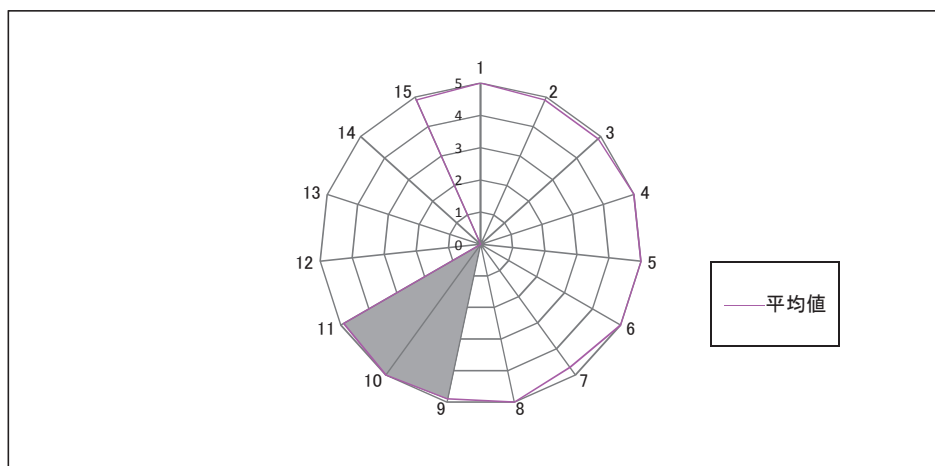
授業科目名 消費者経済学(旧課程)／消費生活論(新課程)

評価実施日 令和3年2月3日

担当教員名 坂本 有芳

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



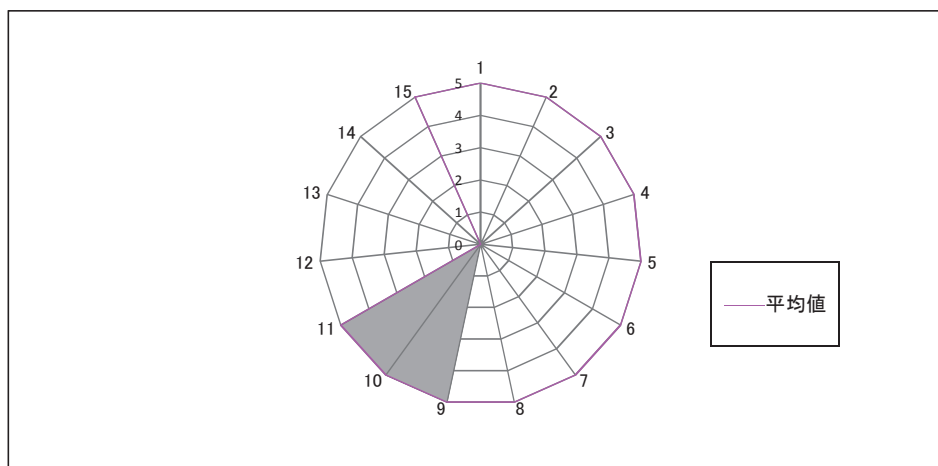
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学演習  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 坂本 有芳

回答者数 2名

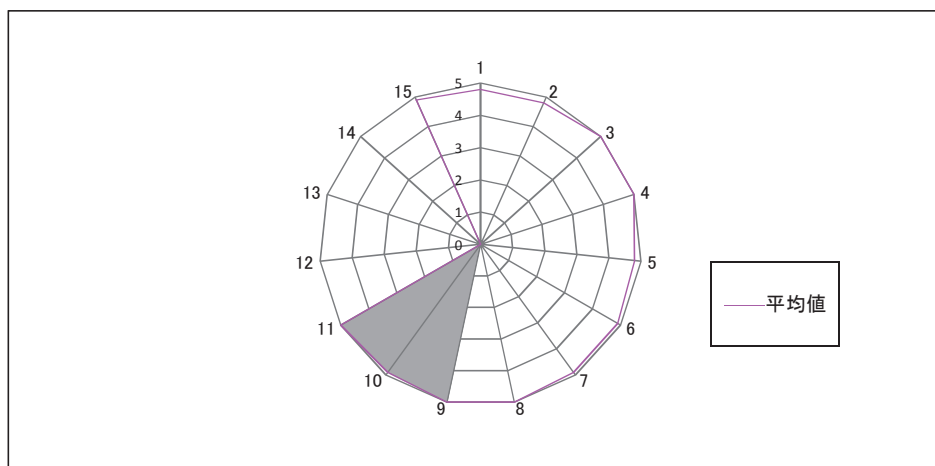
質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



授業科目名 衣生活学  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 福井 典代

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	0	4.9



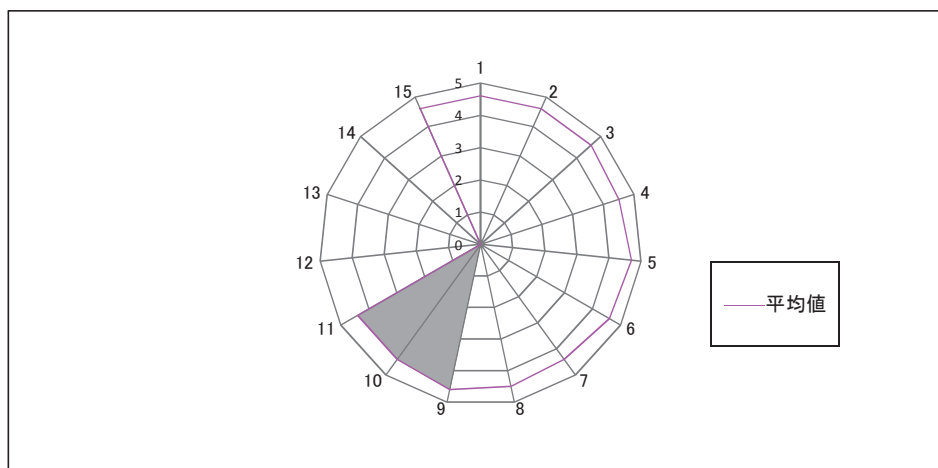
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住居学概論(製図を含む。)  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	5	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	2	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	4	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	4	0	0	0	0	4.6



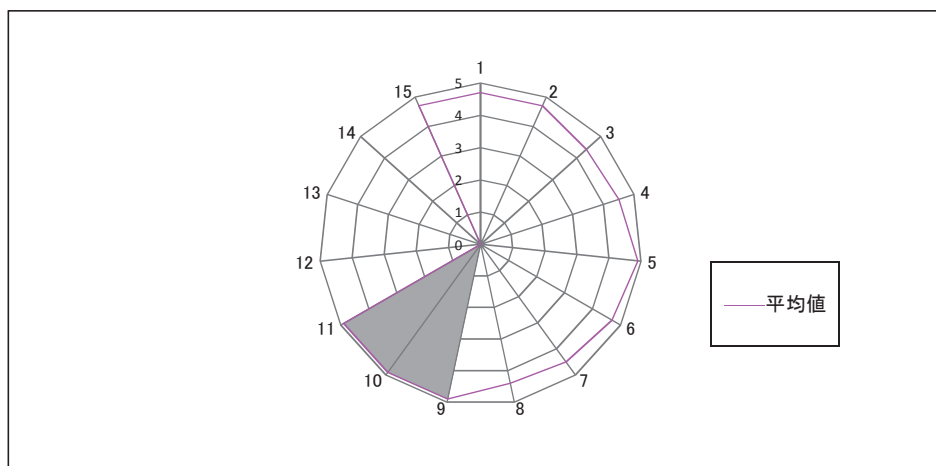
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住居設計・製図  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 金 貞均

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育学(実習及び家庭看護を含む。)

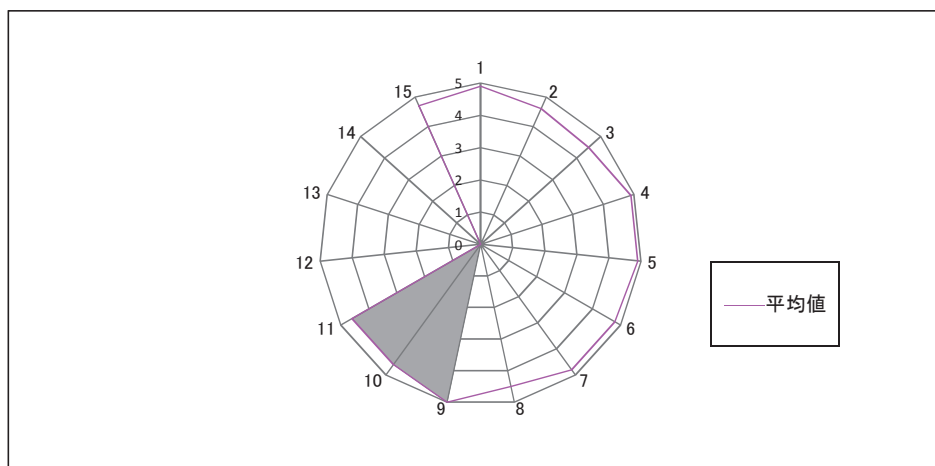
評価実施日 令和3年2月9日

担当教員名 黒川 衣代

回答者数

12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	3	2	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	5	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	0	0	0	0	4.7



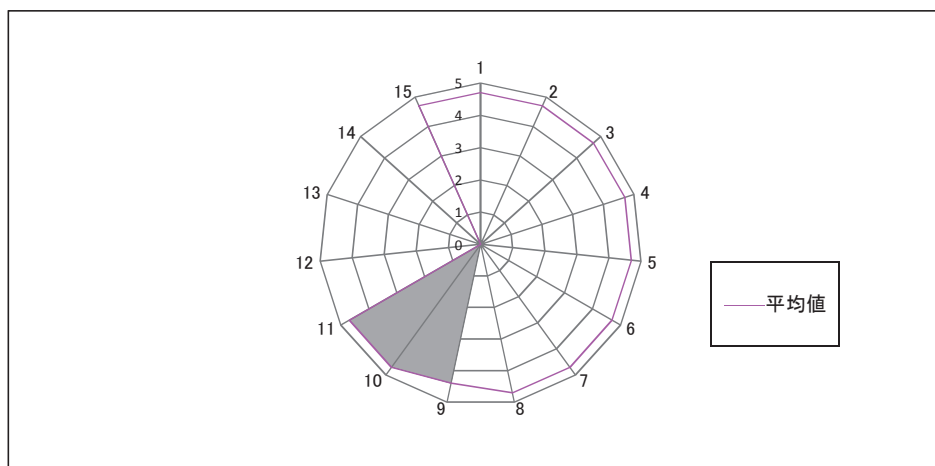
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭電気・機械及び情報処理  
 評価実施日 令和3年2月8日  
 担当教員名 山本 耕司

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.7**

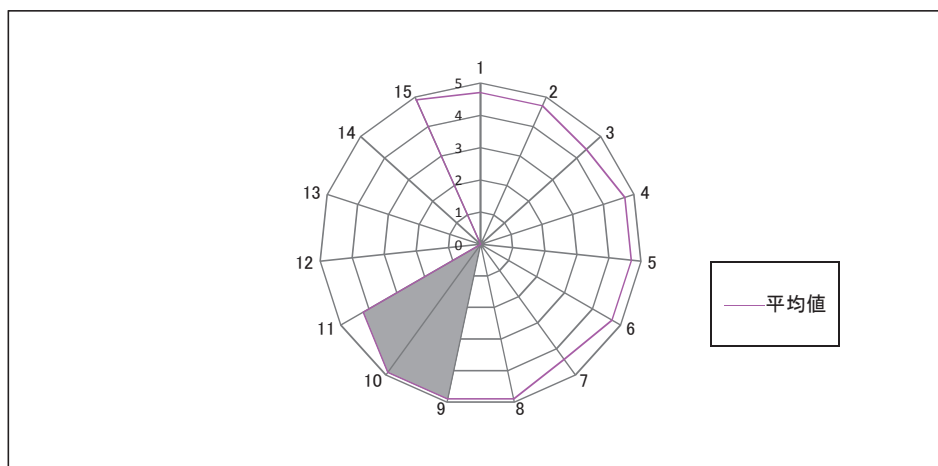
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値



授業科目名 障害児教育概説 I  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 高橋 眞琴

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.9



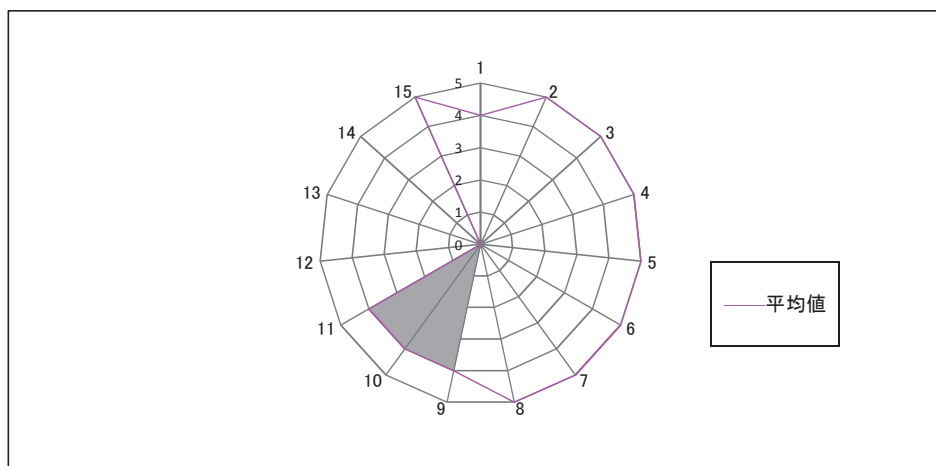
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 2名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	0	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	0	5.0



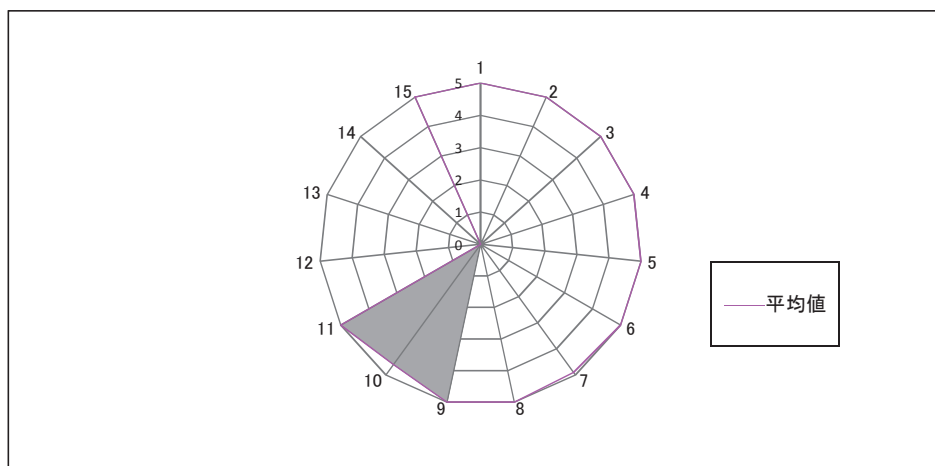
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育 I  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	1	0	0	0	0	5.0



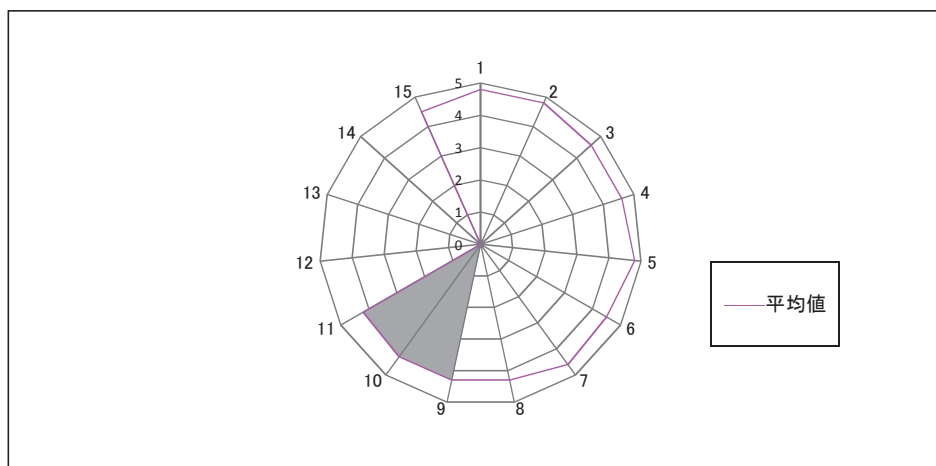
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育Ⅱ  
 評価実施日 令和3年2月4日  
 担当教員名 高橋 眞琴

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



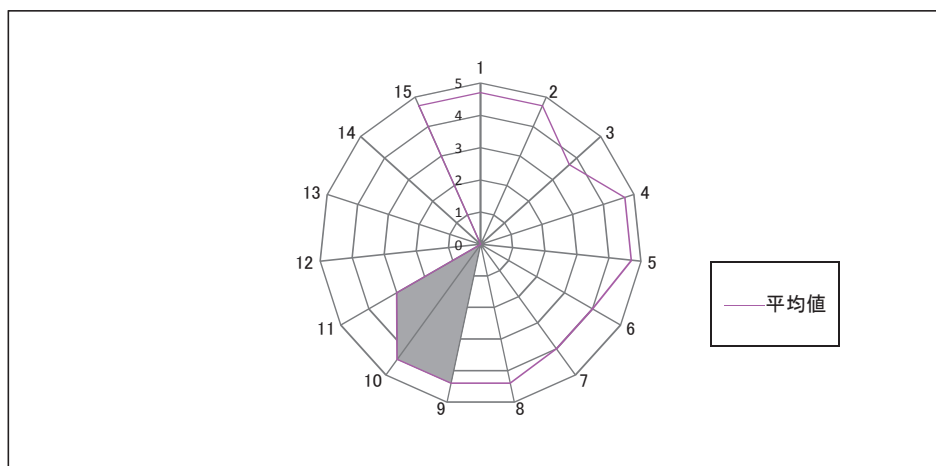
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由者の心理・生理・病理  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 伊藤 弘道, 高原 光恵

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	2	0	0	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	3	0	0	0	3.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	0	4.7



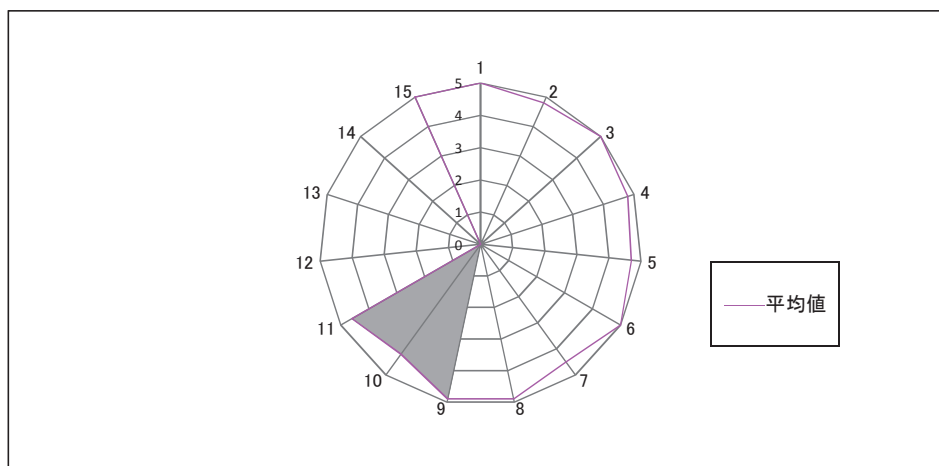
総合評価	4.4
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 肢体不自由教育  
 評価実施日 令和2年12月25日  
 担当教員名 須田 正信

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	1	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	6	1	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	1	0	0	0	0	5.0



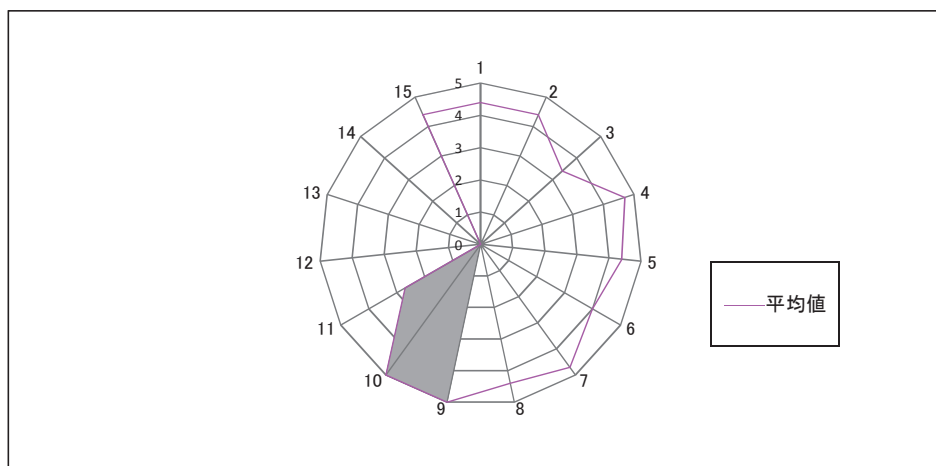
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等の特性  
 評価実施日 令和3年2月5日  
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						2.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



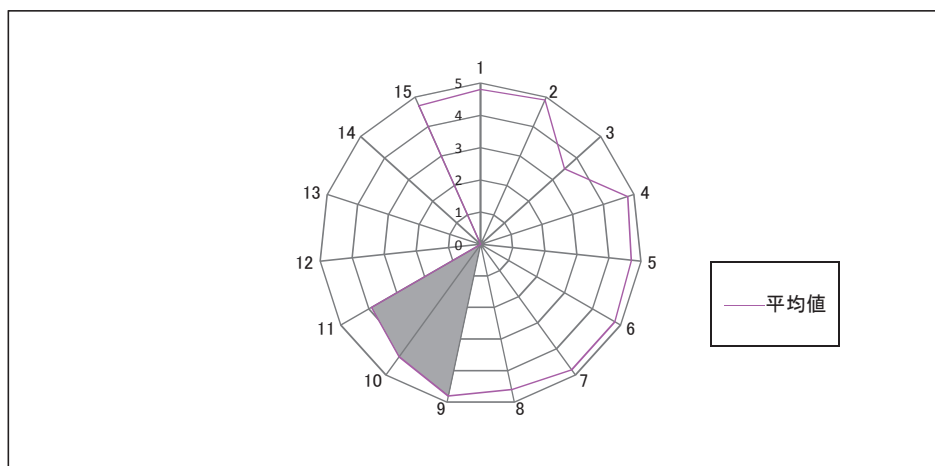
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者教育論  
 評価実施日 令和2年12月27日  
 担当教員名 加藤 哲則

回答者数 24名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	20	3	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	2	1	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	6	7	3	2	0	3.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	21	2	0	1	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	19	2	2	1	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	2	0	1	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	19	4	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	5	0	2	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	20	3	0	1	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	9	3	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	5	5	4	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	3	1	1	0	0	4.7



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値





## あとがき

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の世界的な急拡大が始まり我が国でも4月に緊急事態宣言が出され、大混乱の年であった。本学においても感染予防対策に迫られ、前期授業の開始時期を遅らさざるを得なくなり、一時期は全ての授業がオンライン実施になった。多くの教員が、初めて接するMoodle、Teams、Zoomなどのオンライン授業システムと格闘しながら授業を手探りで開発し運営した。学生にとっても未知のオンライン授業を、全く不十分な事前説明、貧弱なネット環境、他学生との交流がない孤独な環境で受講した。また授業評価の方法も、従来は教員が配布したアンケート用紙に学生が授業中に回答する方法であったものが、オンラインで回答する方法に変更された。

本年度の授業評価結果は、上記のコロナ禍や授業評価方法変更の影響を強く受けている。まず授業評価を実施した科目数は322（昨年度は350）とやや減った程度であるが、有効回答数は3,727（昨年度は7,565）と半減になった。アンケート用紙がない状態で、オンラインでの回答を学生に依頼することの難しさが分かる。オンラインでの授業評価アンケート実施は、オンライン授業では不可避であるし効率良く集計できる利点がある上、スマホ世代の学生にとっても馴染みやすい方法であるので、さらに回答数が増えるように実施方法を工夫して継続することが望ましい。

教養基礎科目・教育実践コア科目・教職共通科目・専修専門科目のそれぞれにおいて、総合評価「5」の回答率が70%前後、「4」と併せて90%以上であり、昨年度と比較して若干向上している。これまでと同様に、いずれの領域においても、概して学生から肯定的に評価されていることが示された。若干の向上については、有効回答数が半減していることが影響している可能性があり、何とも言えない。

コロナ禍の影響を大きく受けた令和2年度の授業であったが、概ね従来通りの総合評価がなされたことは、教職員と学生が困難な中でも真摯に良い大学教育の実現に努力した結果であり、関係者としてまずは胸をなでおろした。しかし今後も様々な理由でオンライン授業が必要になるであろうから、オンラインであっても質の高い授業を提供できるように全教員のさらなる工夫と努力が求められる。本報告書がその一助となれば幸いである。

令和2年度学校教育学部教務委員会  
学生による授業評価専門部会 主査  
宮下晃一

## 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会 委員名簿

(令和2年度)

委員長	大石雅章	副学長	
副委員長	木村直子	幼児教育専修	准教授
委員	高原光恵	特別支援教育専修	准教授
〃	川上綾子	学校教育実践コース	教授
〃	余郷裕次	国語科教育コース	教授
〃	前田一平	英語科教育コース	教授
〃	井上奈穂	社会科教育コース	准教授
〃	早田透	算数科・数学科教育コース	講師
〃	本田亮	理科教育コース	教授
〃	森正	音楽科教育コース	教授
〃	山田芳明	図画工作科・美術科教育コース	教授
〃	湯口雅史	体育科・保健体育科教育コース	准教授
〃	宮下晃一	技術科教育コース	教授
〃	速水多佳子	家庭科教育コース	准教授
〃	湯口雅史	教育実習総合支援センター	所長
〃	尾関美和	教育実習総合支援センター	講師
〃	中内英雄	教務課長	
〃	美馬持仁	オブザーバー	副学長

## 令和2年度 学生による授業評価実施報告書

令和4年3月発行

編集 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会  
発行 鳴門教育大学  
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748  
電話 088-687-6093  
FAX 088-687-6107